

東浦町の環境を守る基本計画改定のための

環境に関するアンケート調査

結果報告書

2020（令和）2年3月

東 浦 町

<目次>

調査の概要	1
【住民アンケート調査】	
回答者の属性	2
東浦町の環境に対する評価・大切さ	7
環境に対する興味・関心・認知	27
東浦町の環境に対する認知・考え	37
環境に貢献する行動・考え	46
S D G s に関する意識	71
調査結果のまとめ	76
自由意見	78
調査票	83
【町内事業所アンケート調査】	
環境問題に対する意識	95
環境に配慮した行動	97
地域等との協働	100
S D G s に関する意識	102
回答事業所の属性	103
調査結果のまとめ	104
調査票	105

調査の概要

（１）調査の趣旨

東浦町では、「東浦町の環境を守る基本条例」に基づく「東浦町の環境を守る基本計画」を策定し、住民・事業者との協働により、環境にやさしいまちづくりを進めている。

本調査は、東浦町を取り巻く様々な変化や今後の潮流などを見据えて計画を改定し、将来に向けた環境施策を推進するため、住民等の環境問題への意識や取組状況、今後の意向などをうかがうそれぞれアンケート調査を、住民向けと町内事業所向けにそれぞれ実施した。

（２）調査対象

【住民アンケート】

住民基本台帳から 16 歳以上（高校生年代以上を想定）1,450 名を年齢別地区別に無作為に抽出し、調査対象とした。

年齢については、前回調査の年齢別回答率を踏まえ、回答者の年齢構成が同程度になるよう傾斜配分をして抽出した。

【町内事業所アンケート】

町内事業所の中から規模や業種のバランス等を考慮し、50 社を調査対象として選定した。

（３）調査方法

調査票は郵送配布し、東浦町環境課宛で郵送回収した。

調査票は、大半を選択式とし、各設問で一つあるいは複数の○をつける形式とした。

（４）調査時期

調査票の発送：2019 年 10 月 11 日（金）

投函の締切日：2019 年 10 月 29 日（火）

※2019 年 11 月中旬までに到着した調査票については回収数に入れ、集計した。

（５）配布数・回収数

【住民アンケート】

発送数	1,450 通
回収数	437 通
有効回答数	30.1%

【町内事業所アンケート】

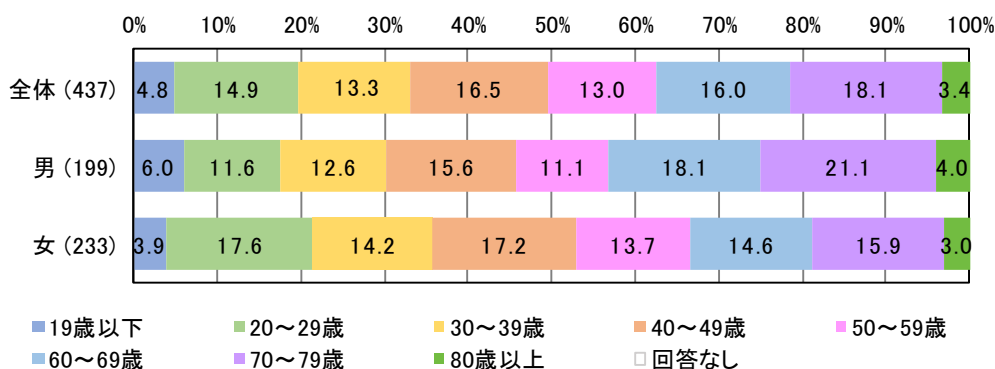
発送数	50 通
回収数	28 通
有効回答数	56.0%

【住民アンケート調査】

回答者の属性

<性別・年齢>

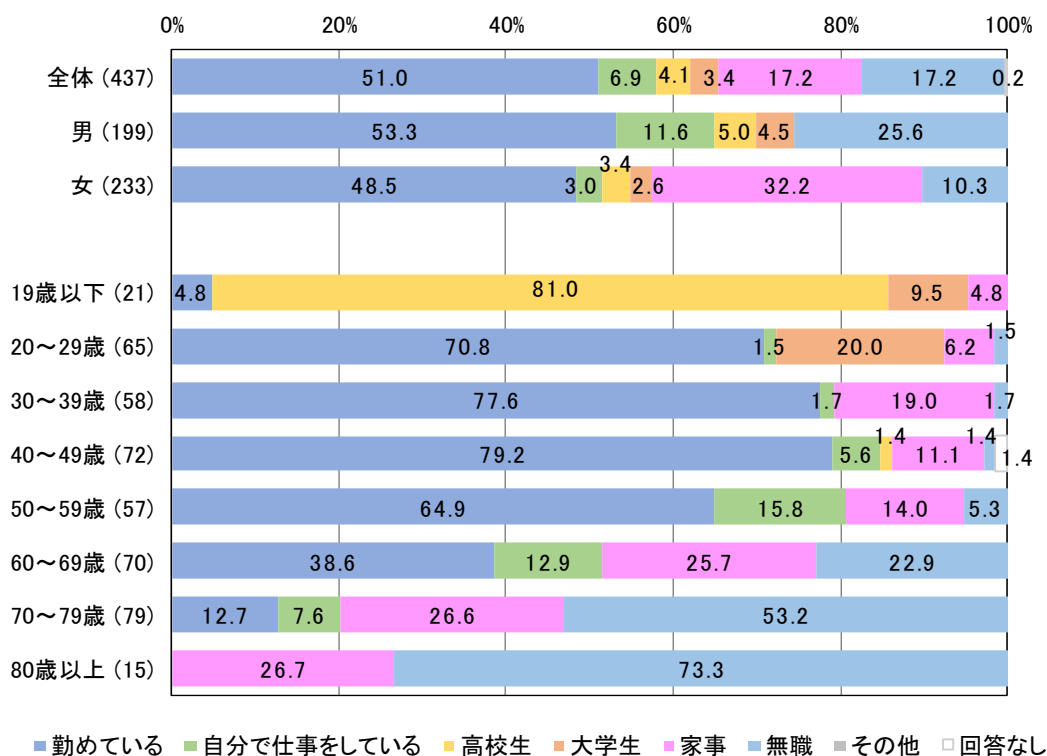
- ・回答者の性別割合は、男性が45.5%、女性が54.5%となっている。
- ・年齢については、概して各年代のバランスがとれているものの、60歳以上（計37.5%）がやや多くなっている。



※なお、性別の「回答なし」（5名）については、以降のグラフから除くものとする。

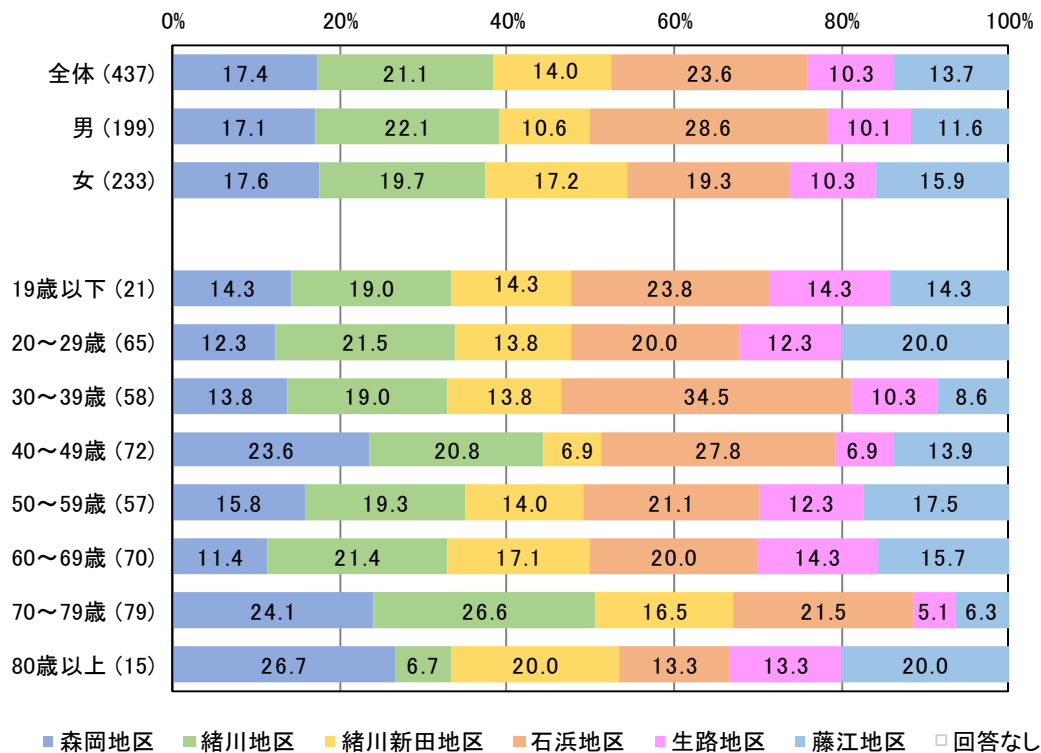
<仕事などの状況>

- ・仕事の状況は「勤めている」（51.0%）が半数以上を占めており、次いで「家事」、「無職」（いずれも17.2%）となっている。



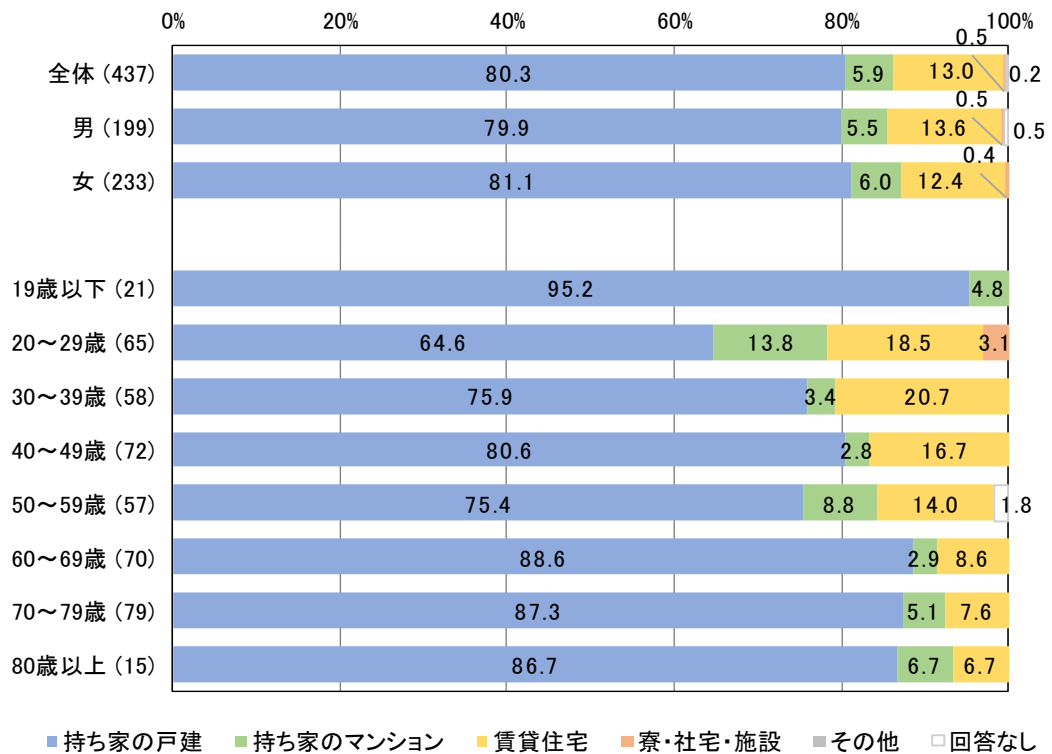
<お住いの地区>

・お住いの地区は、「石浜地区」(23.6%)、「緒川地区」(21.1%)の順となっている。



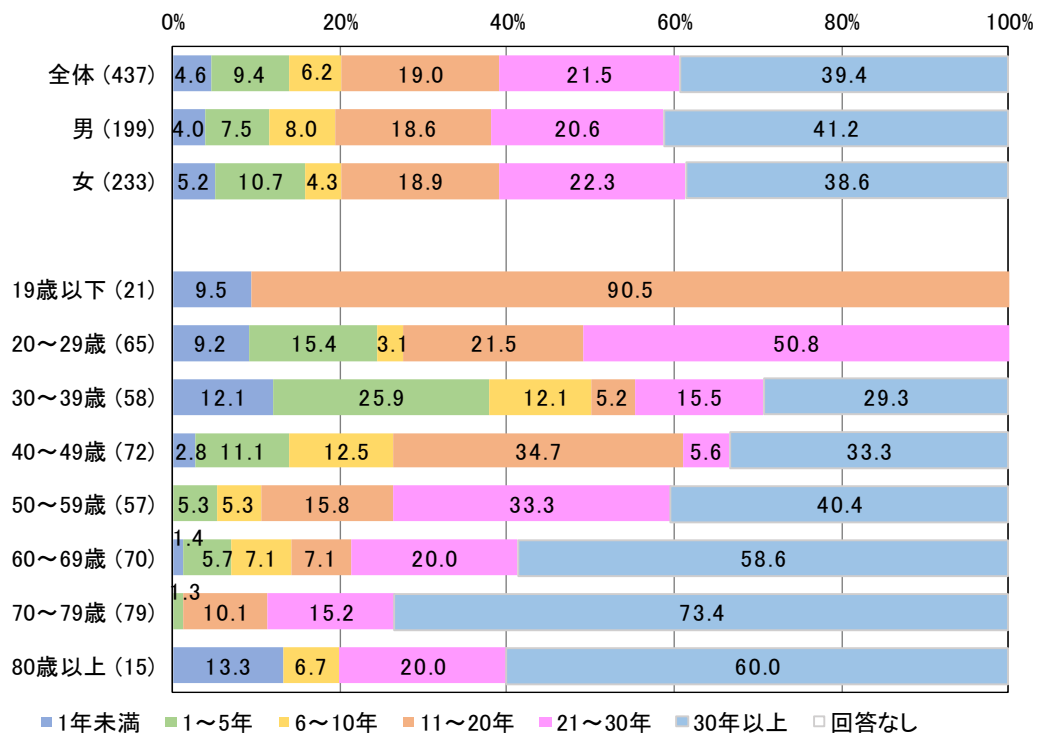
<現在住んでいる住宅の種類>

・現在住んでいる住宅の種類は、「持ち家の戸建」(80.3%)が大半を占め、次いで「賃貸住宅」(13.0%)となっている。



<東浦町に住んでいる年数>

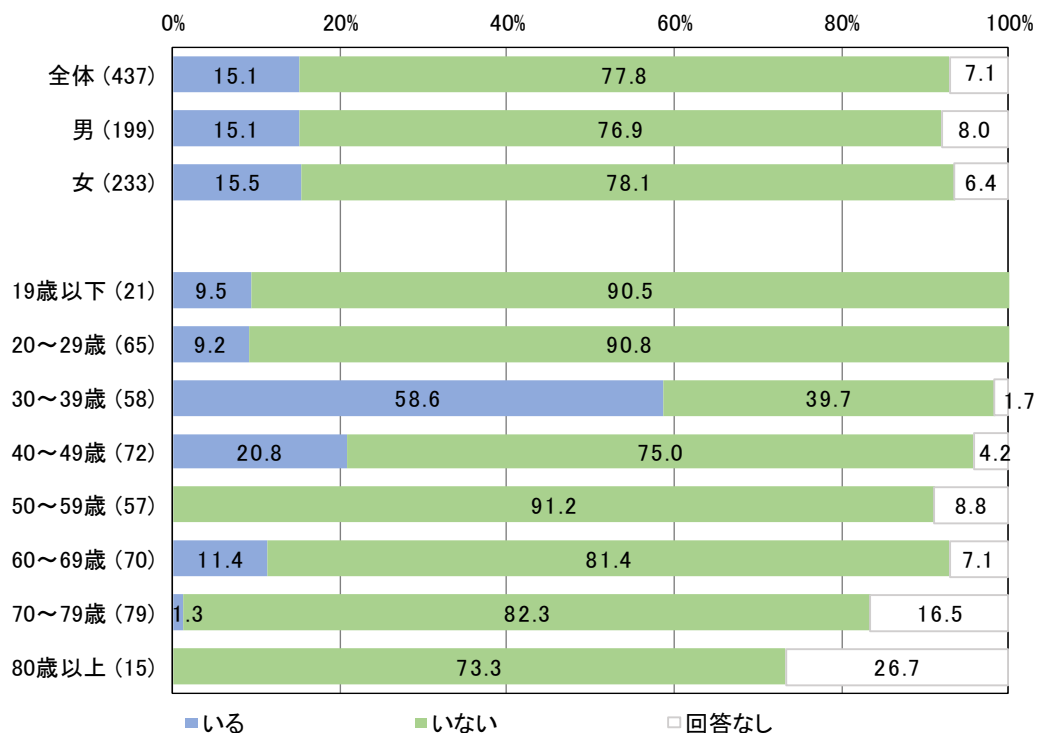
- ・東浦町に住んでいる年数は、「30 年以上」（39.4%）と「21～30 年」（21.5%）を合わせると 60.9%となる。



<同居している家族などの状況>

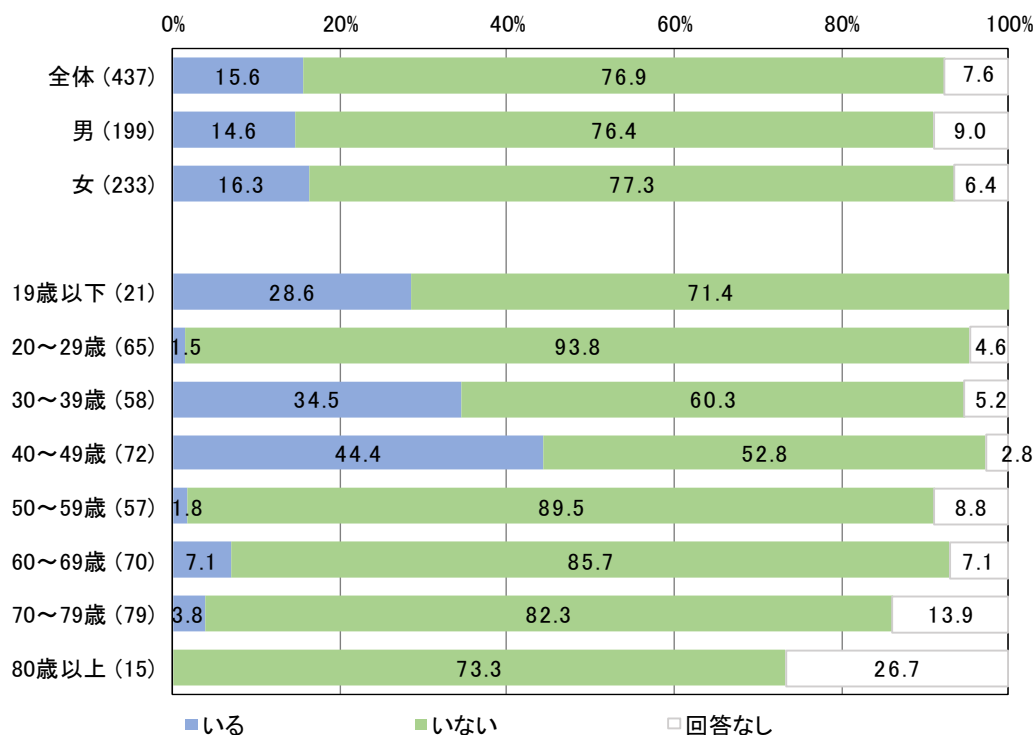
ア) 小学校入学前の子どもが同居家族にいるか

- ・小学校入学前の子どもと同居している回答者は、全体の 15.1%となっている。



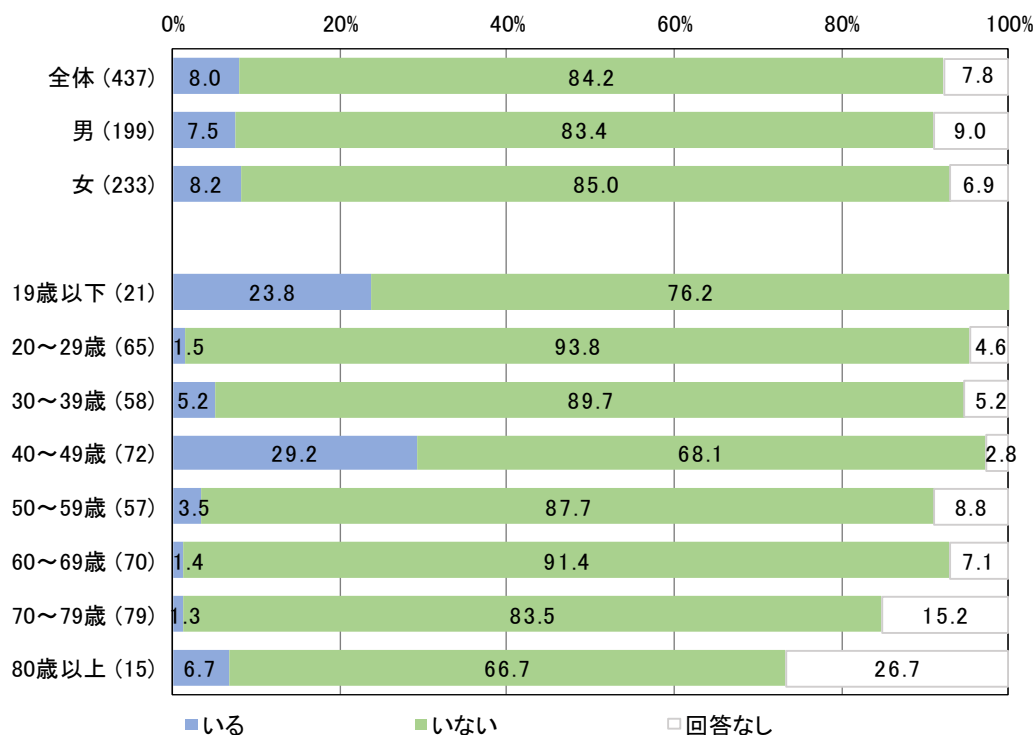
イ) 小学生が同居家族にいるか

- ・小学生と同居している回答者は、全体の 15.6%となっている。



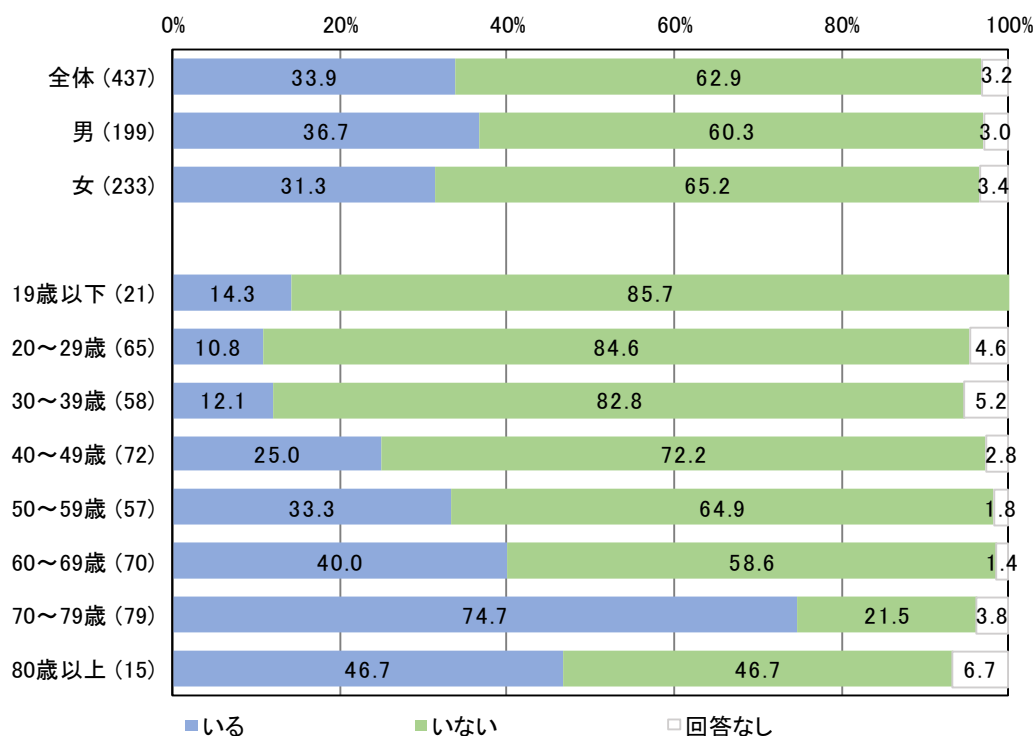
ウ) 中学生が同居家族にいるか

- ・中学生と同居している回答者は、全体の 8.0%となっている。



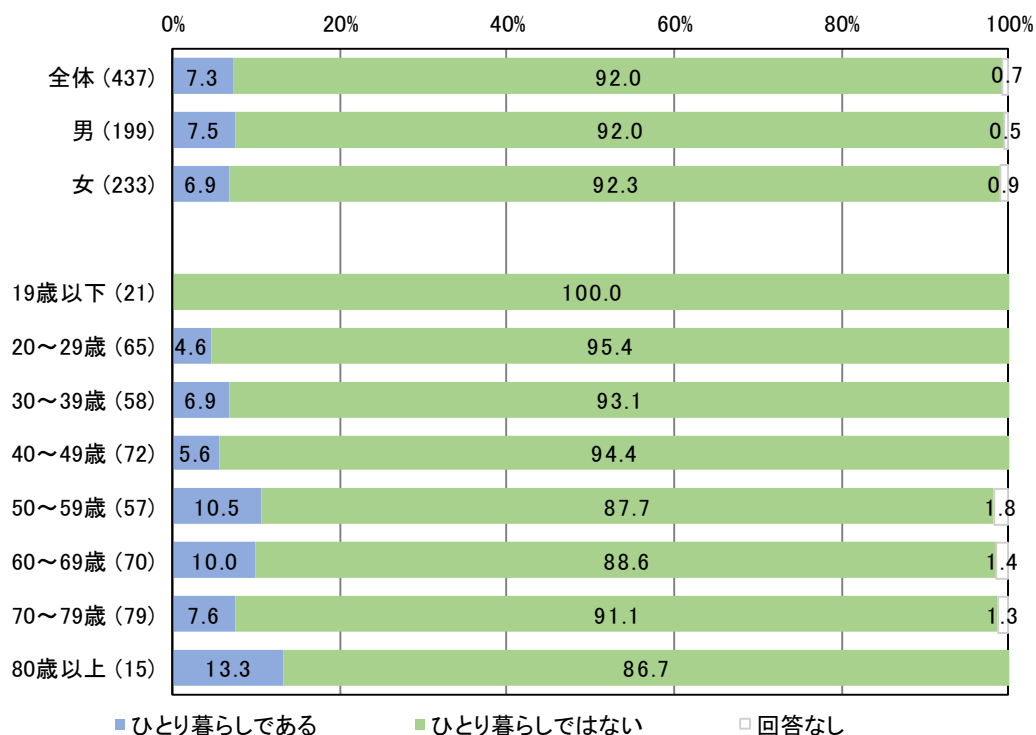
エ) 65 歳以上が同居家族にいるか（自分は除く）

・ 65 歳以上の家族と同居している回答者は、全体の 33.9%となっている。



オ) ひとり暮らしかどうか

・ ひとり暮らしであるという回答者は、全体の 7.3%となっている。

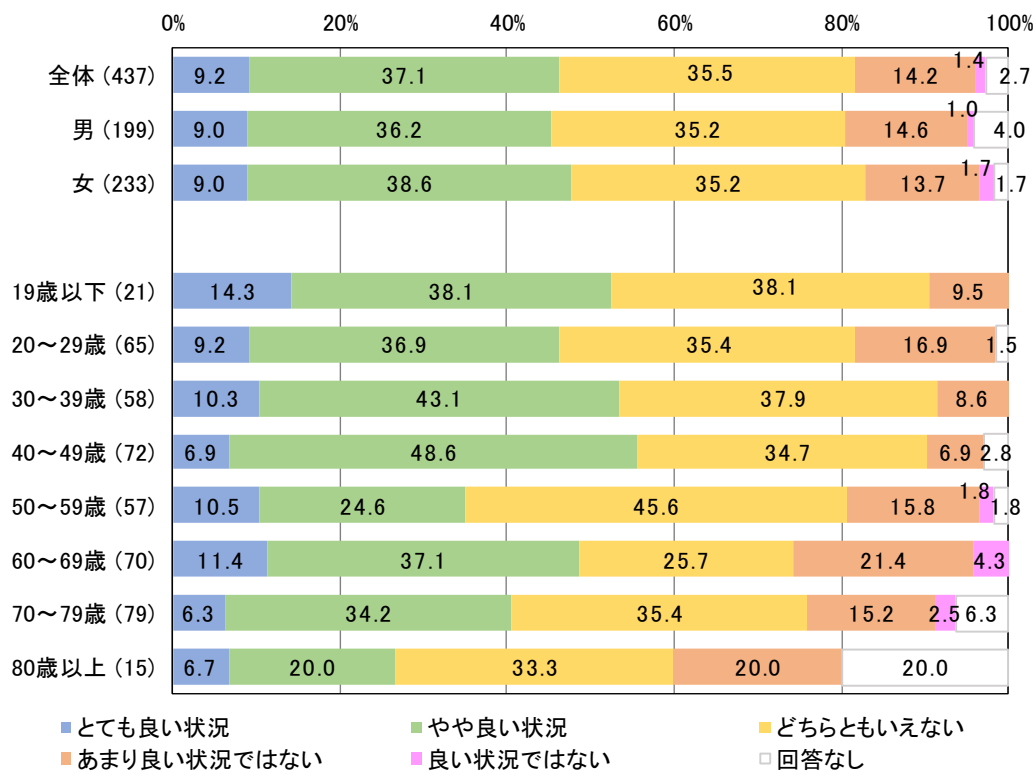


東浦町の環境に対する評価・大切さ

<東浦町の環境に関する取組の評価>

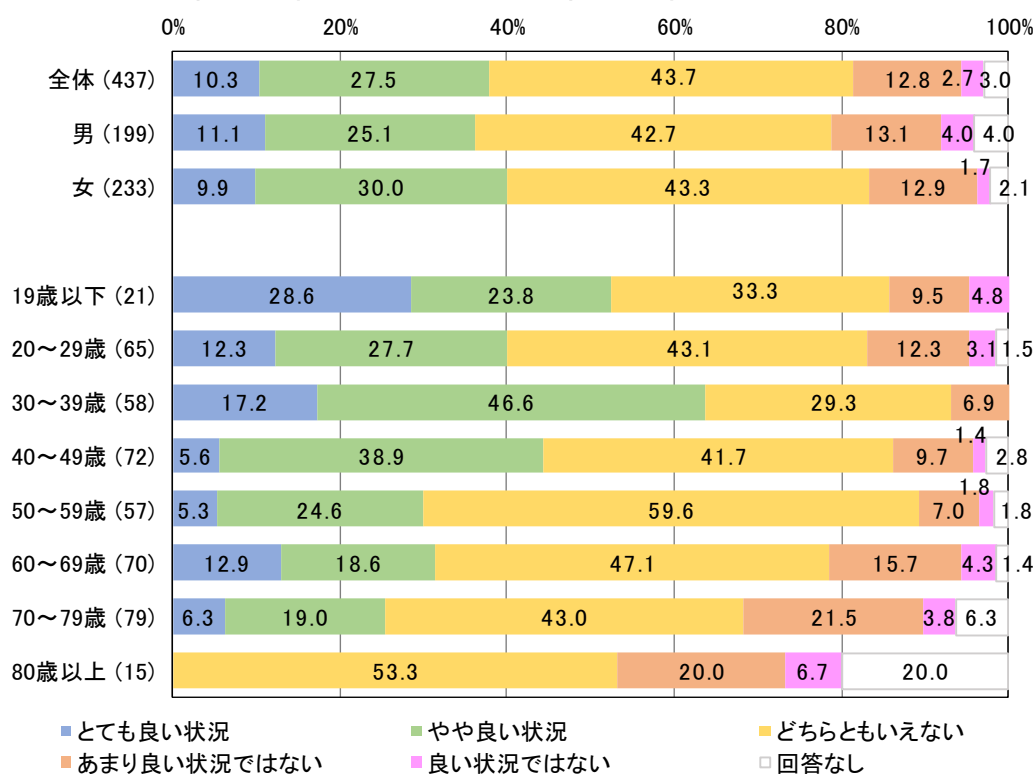
(1) 地域にある自然や生き物の保全

・「とても良い状況」(9.2%)、「やや良い状況」(37.1%)を合わせると46.3%となる。



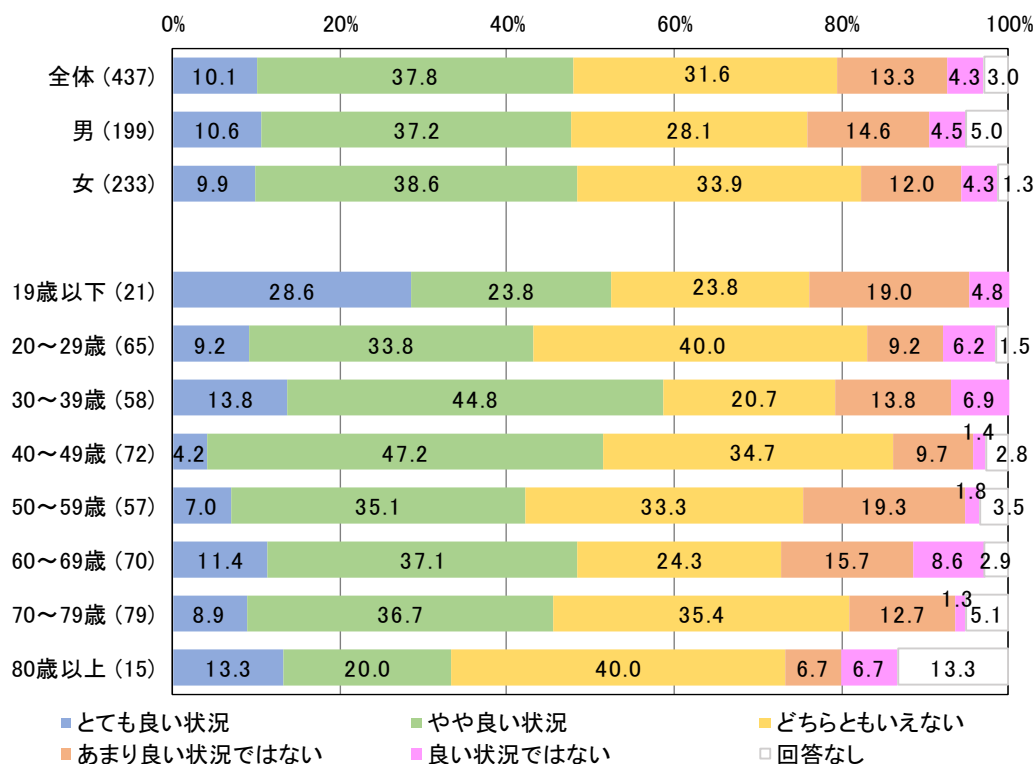
(2) 田んぼや畑など農地保全や農業振興

・「とても良い状況」(10.3%)、「やや良い状況」(27.5%)を合わせると37.8%となる。



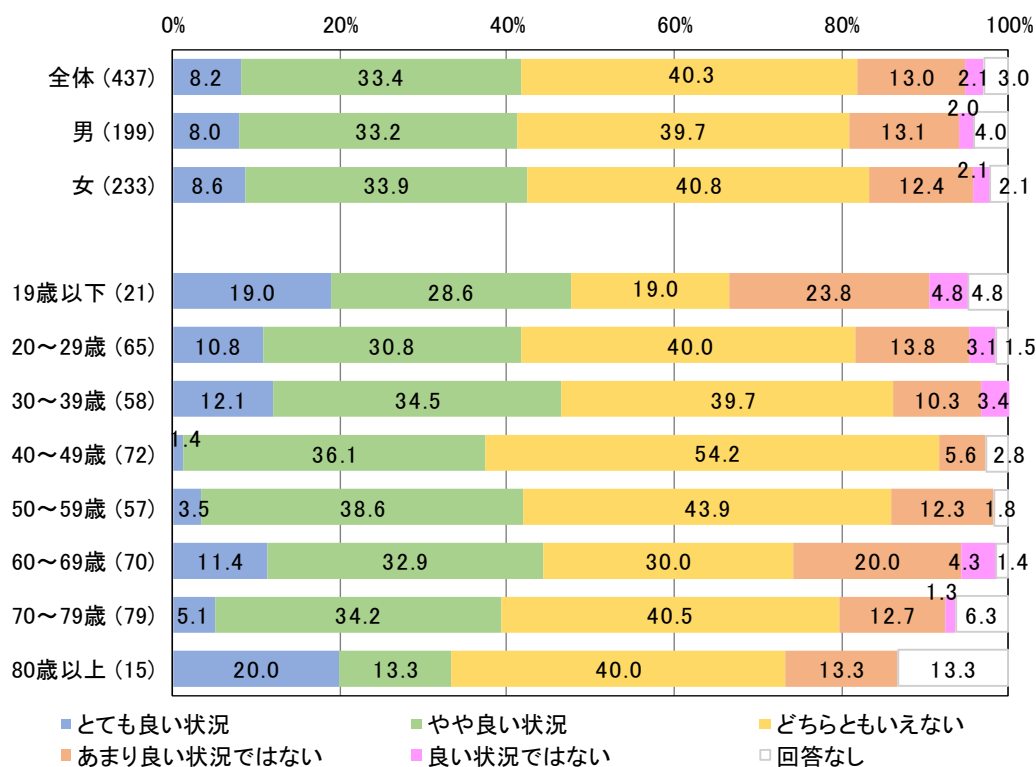
(3) 公園や施設の緑化・植栽

・「とても良い状況」(10.1%)、「やや良い状況」(37.8%)を合わせると47.9%となる。



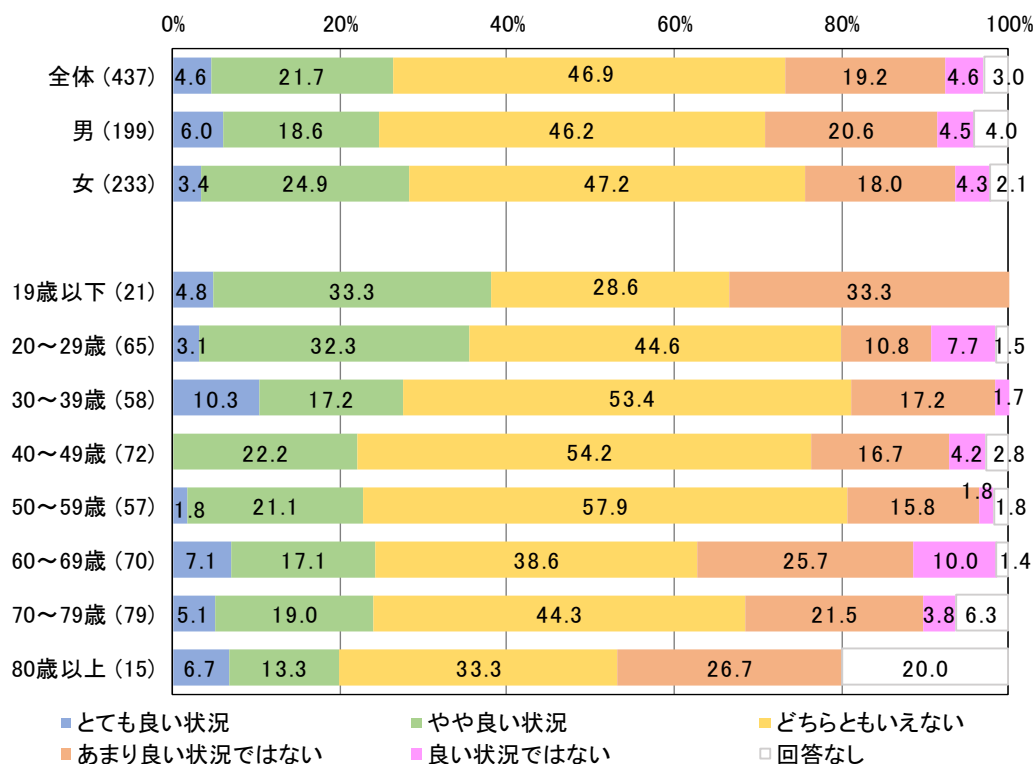
(4) 町民が自然とふれあう場の整備

・「とても良い状況」(8.2%)、「やや良い状況」(33.4%)を合わせると41.6%となる。



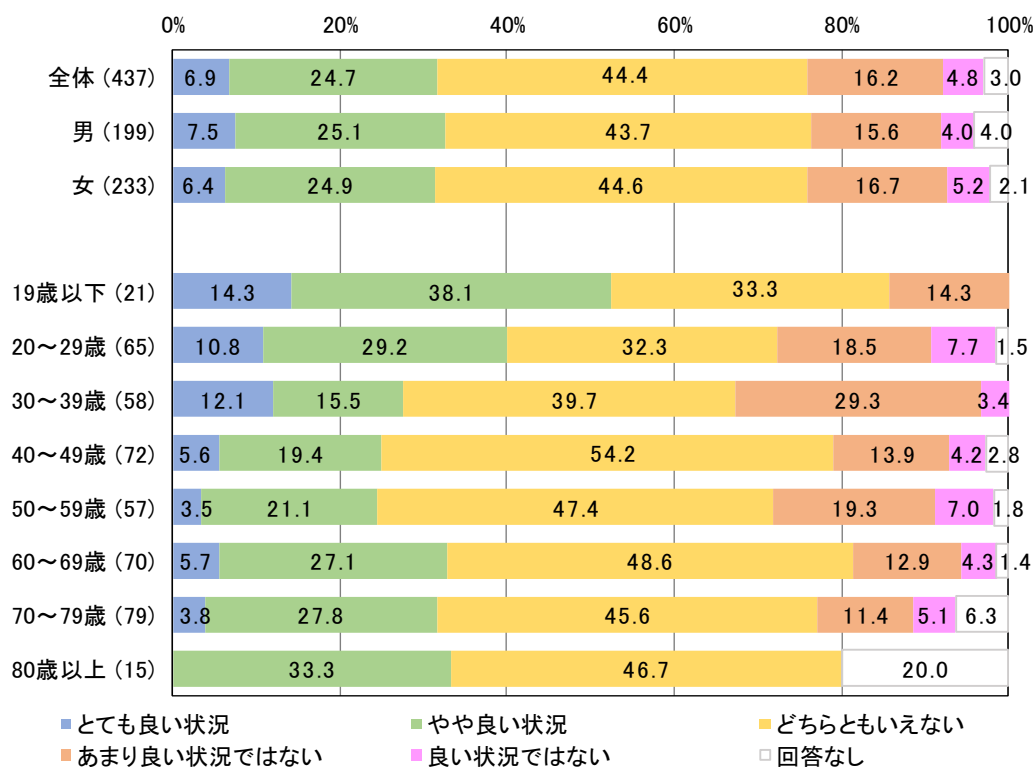
(5) 河川やため池など水辺の保全・活用

・「とても良い状況」(4.6%)、「やや良い状況」(21.7%)を合わせると26.3%となる。



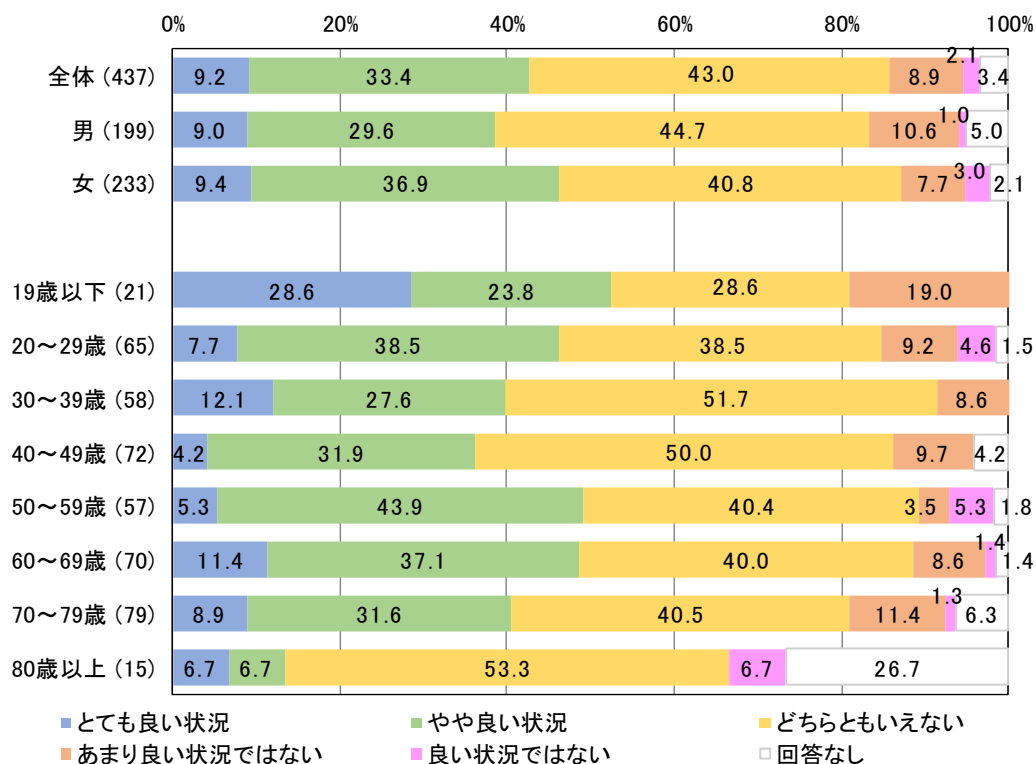
(6) 美しい町並みや快適な住環境の保全

・「とても良い状況」(6.9%)、「やや良い状況」(24.7%)を合わせると31.6%となる。



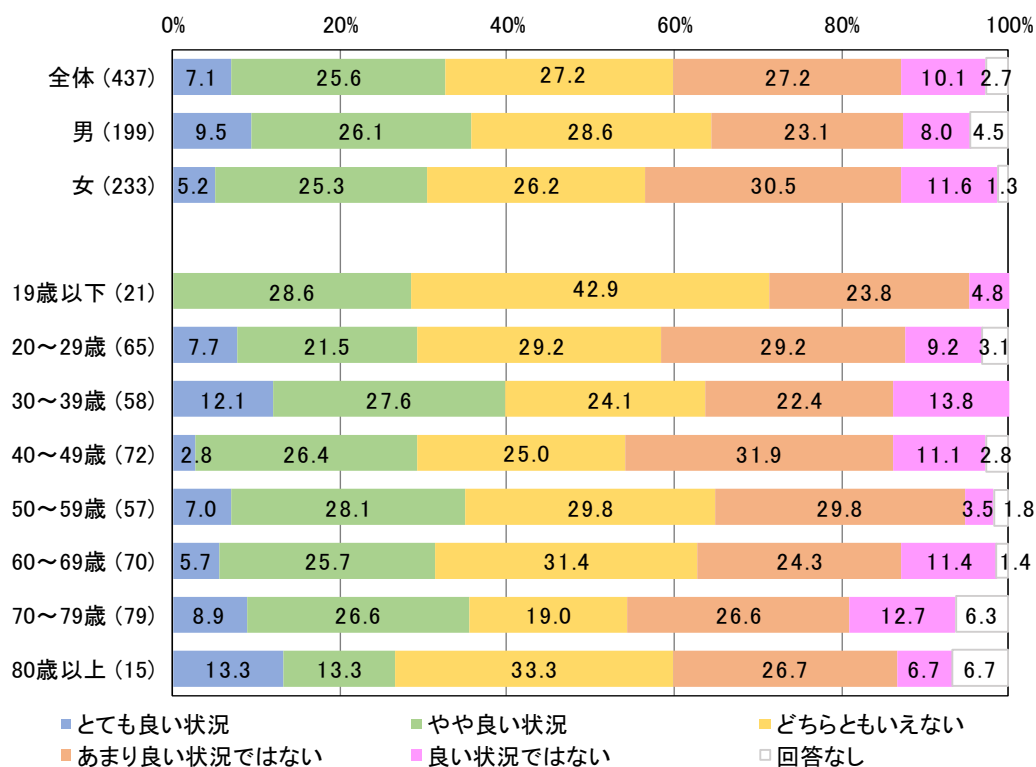
(7) 郷土の歴史・文化資源の保存・活用

・「とても良い状況」(9.2%)、「やや良い状況」(33.4%)を合わせると42.6%となる。



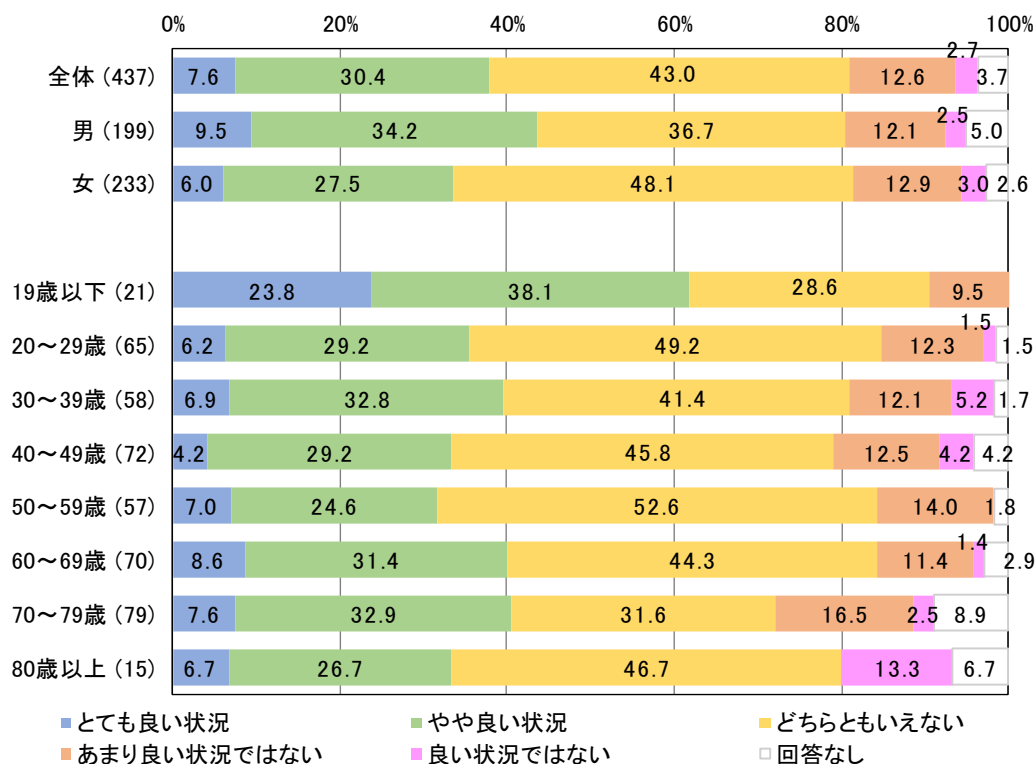
(8) ごみのポイ捨てや不法投棄の少なさ

・「とても良い状況」(7.1%)、「やや良い状況」(25.6%)を合わせると32.7%となる。



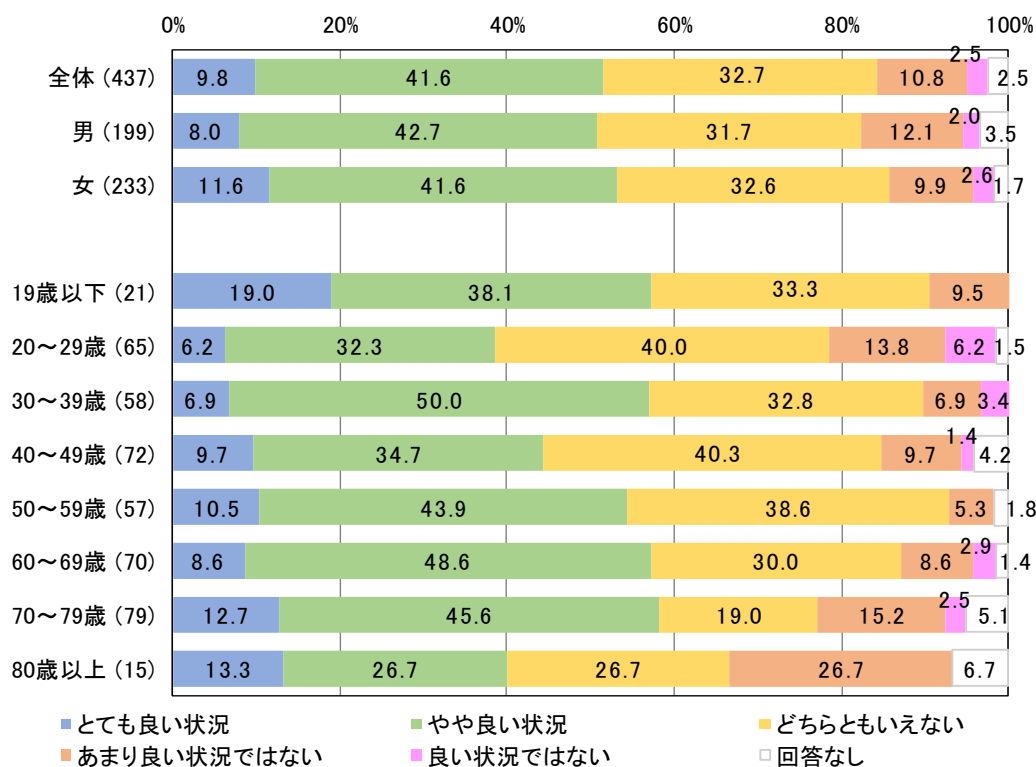
(9) 大気汚染、騒音・振動など公害への対応

・「とても良い状況」(7.6%)、「やや良い状況」(30.4%)を合わせると 38.0%となる。



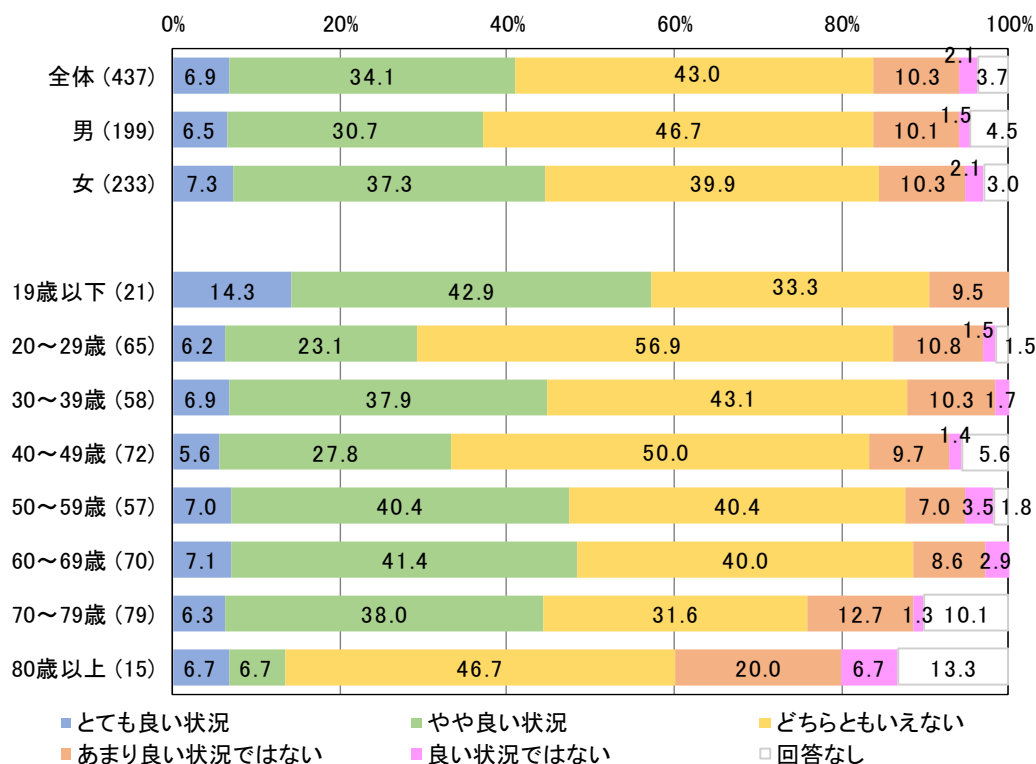
(10) ごみの減量への取組

・「とても良い状況」(9.8%)、「やや良い状況」(41.6%)を合わせると 51.4%となる。



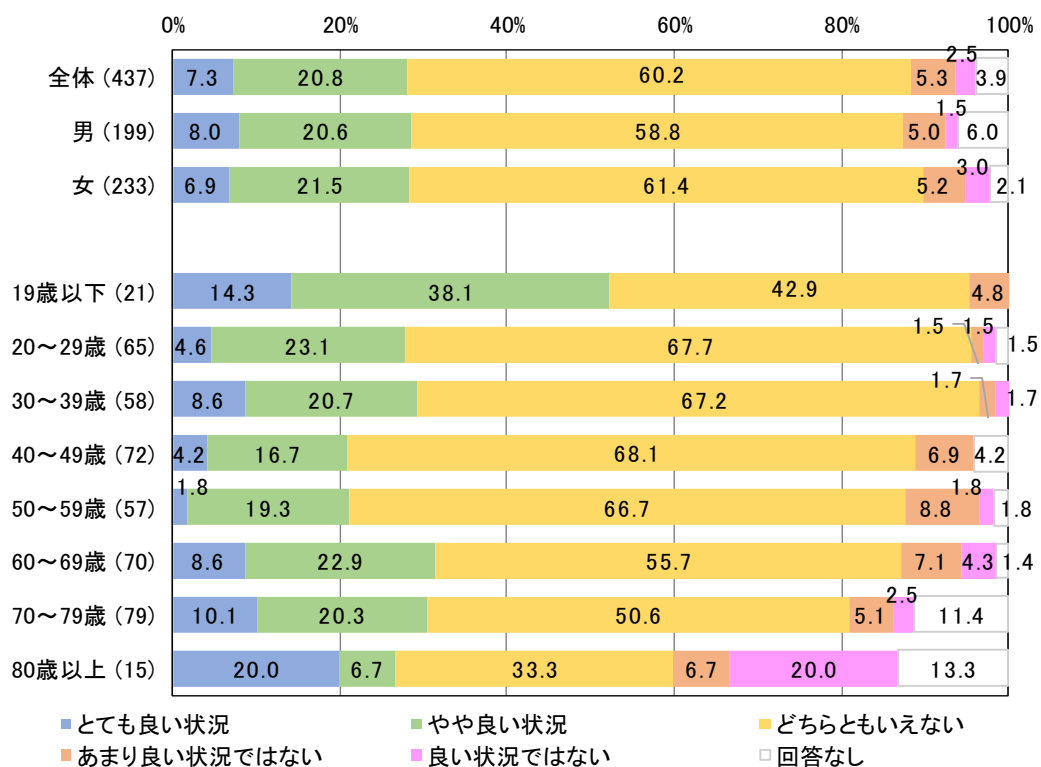
(11) リサイクルやリユースの取組

・「とても良い状況」(6.9%)、「やや良い状況」(34.1%)を合わせると41.0%となる。



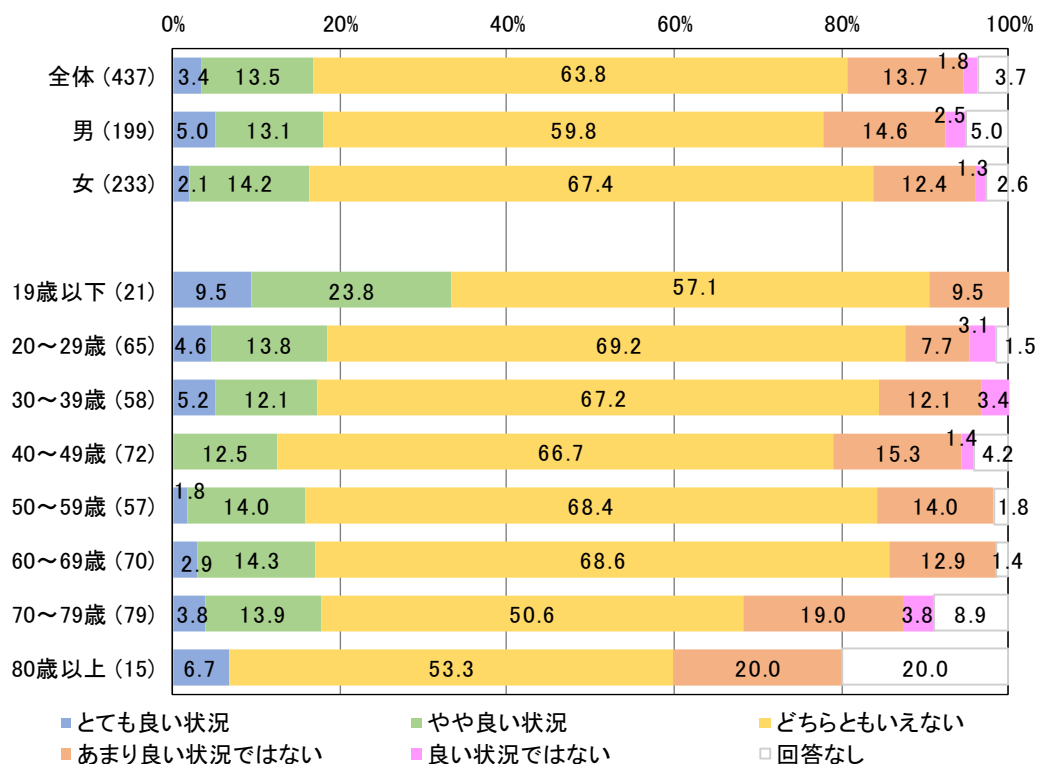
(12) 事業所からのごみの適正な処理

・「とても良い状況」(7.3%)、「やや良い状況」(20.8%)を合わせると28.1%となる。



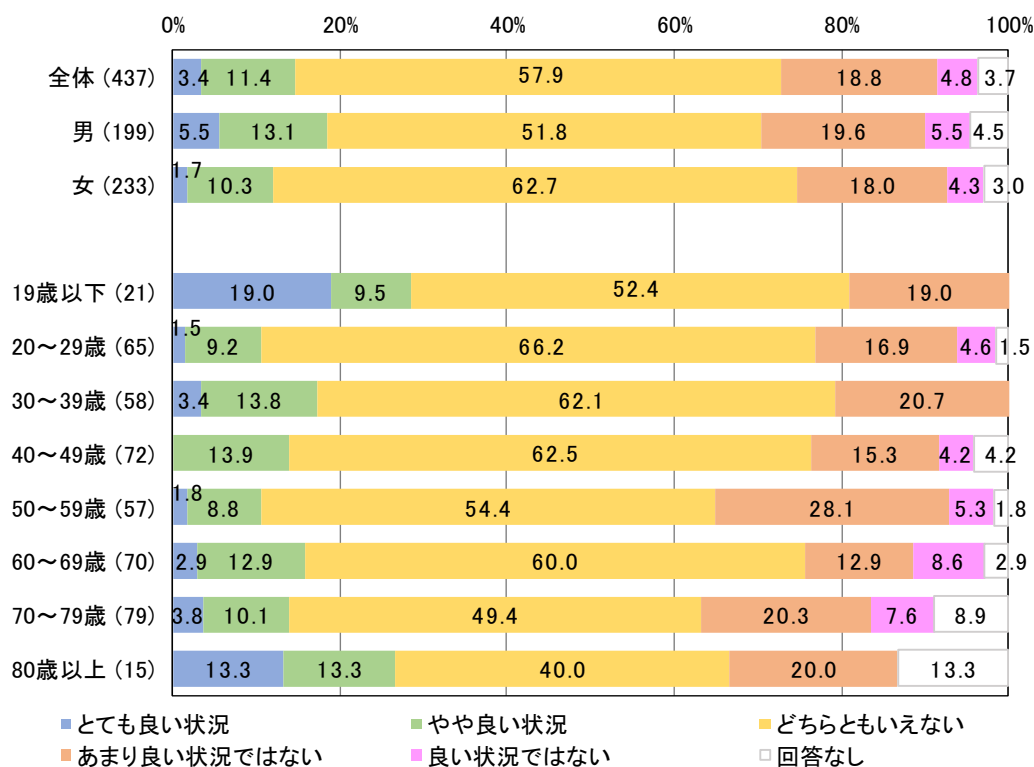
(13) 省エネルギーの促進

・「とても良い状況」(3.4%)、「やや良い状況」(13.5%)を合わせると16.9%となる。



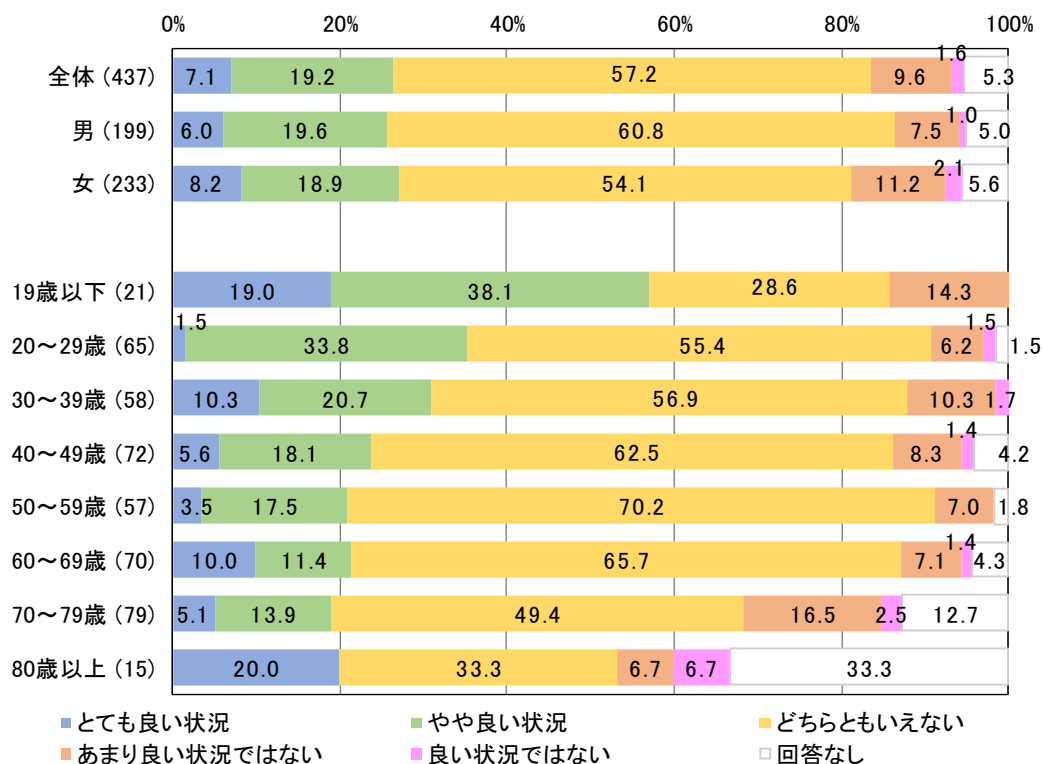
(14) 太陽光や風力など自然エネルギーの活用

・「とても良い状況」(3.4%)、「やや良い状況」(11.4%)を合わせると14.8%となる。



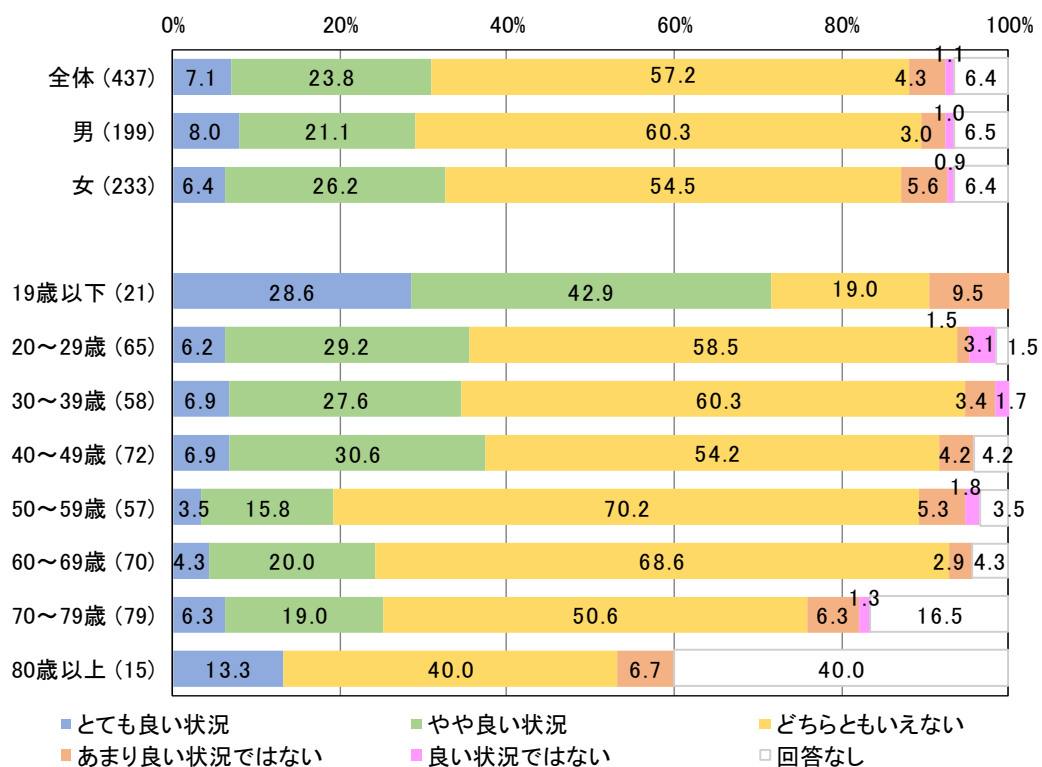
(15) 環境に関する学習活動

・「とても良い状況」(7.1%)、「やや良い状況」(19.2%)を合わせると 26.3%となる。



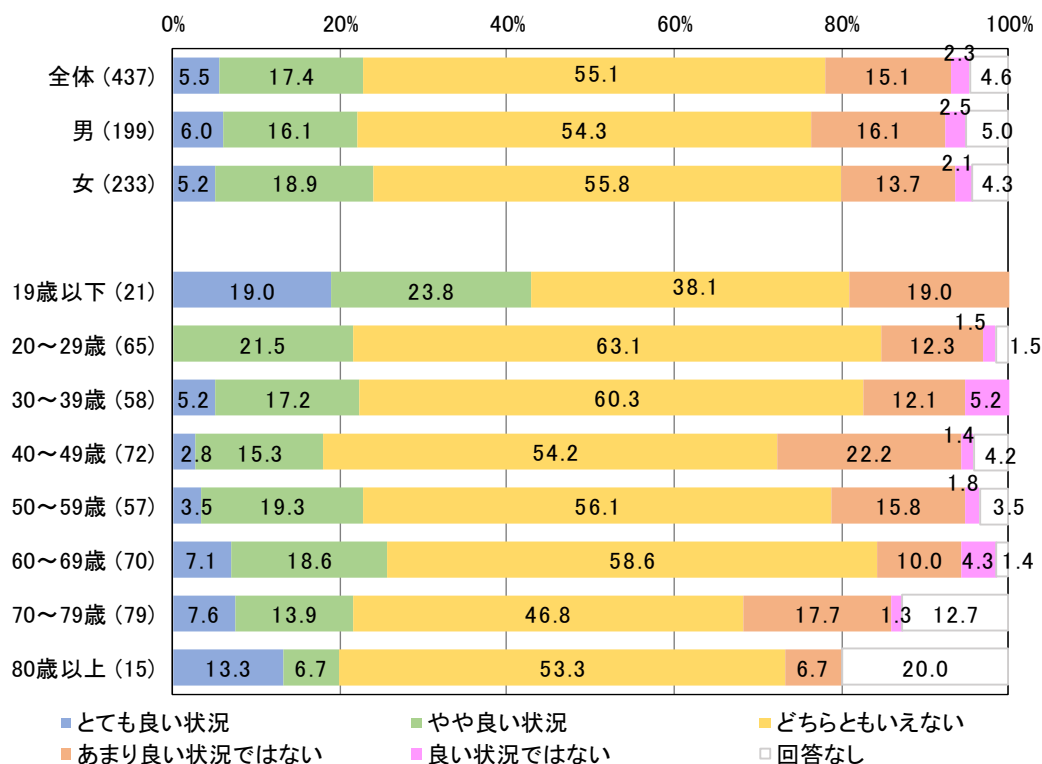
(16) 学校における環境教育

・「とても良い状況」(7.1%)、「やや良い状況」(23.8%)を合わせると 30.9%となる。



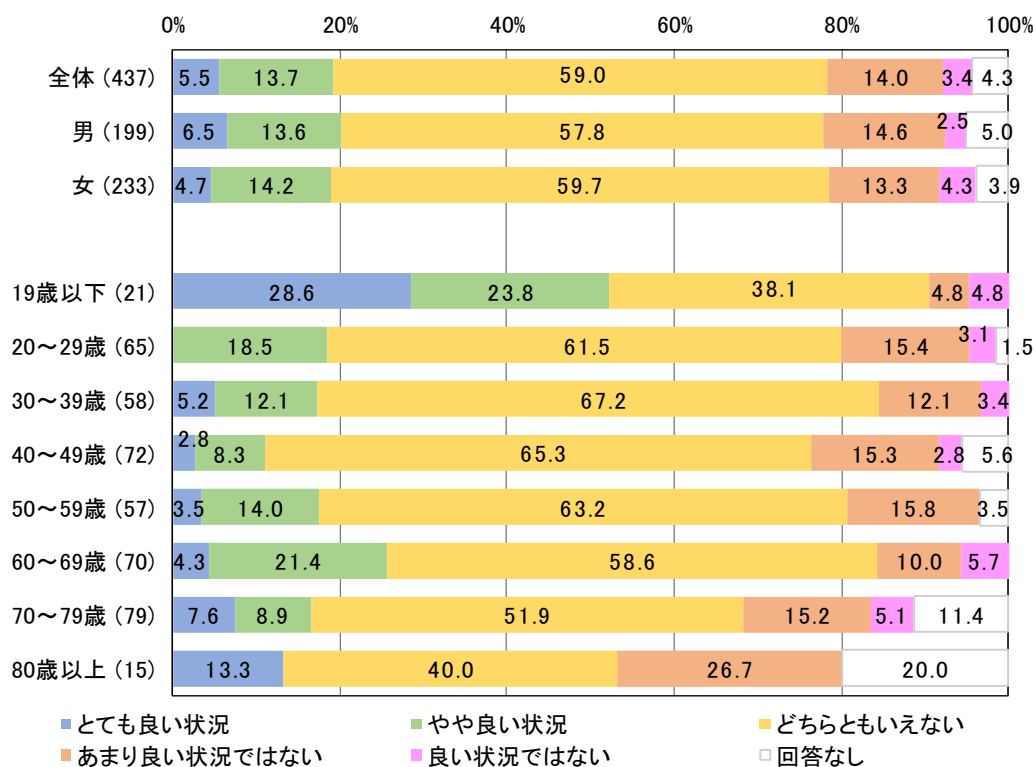
(17) 環境に関する情報発信

・「とても良い状況」(5.5%)、「やや良い状況」(17.4%)を合わせると22.9%となる。



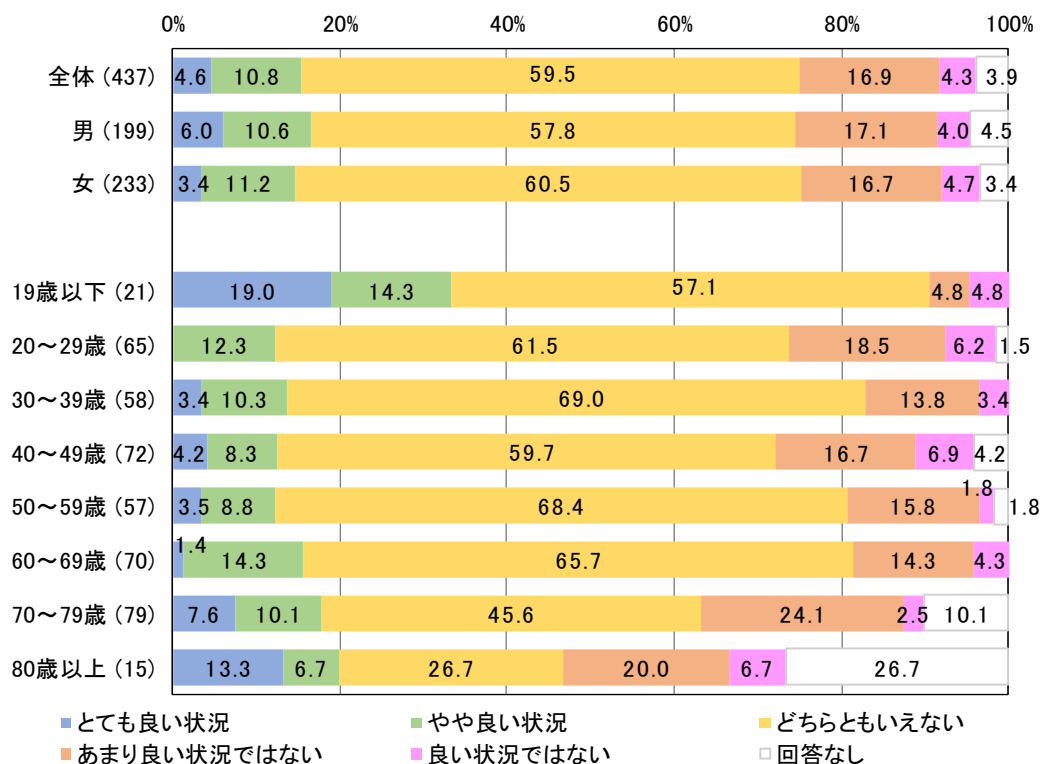
(18) 住民や事業者中心の環境の取組

・「とても良い状況」(5.5%)、「やや良い状況」(13.7%)を合わせると19.2%となる。



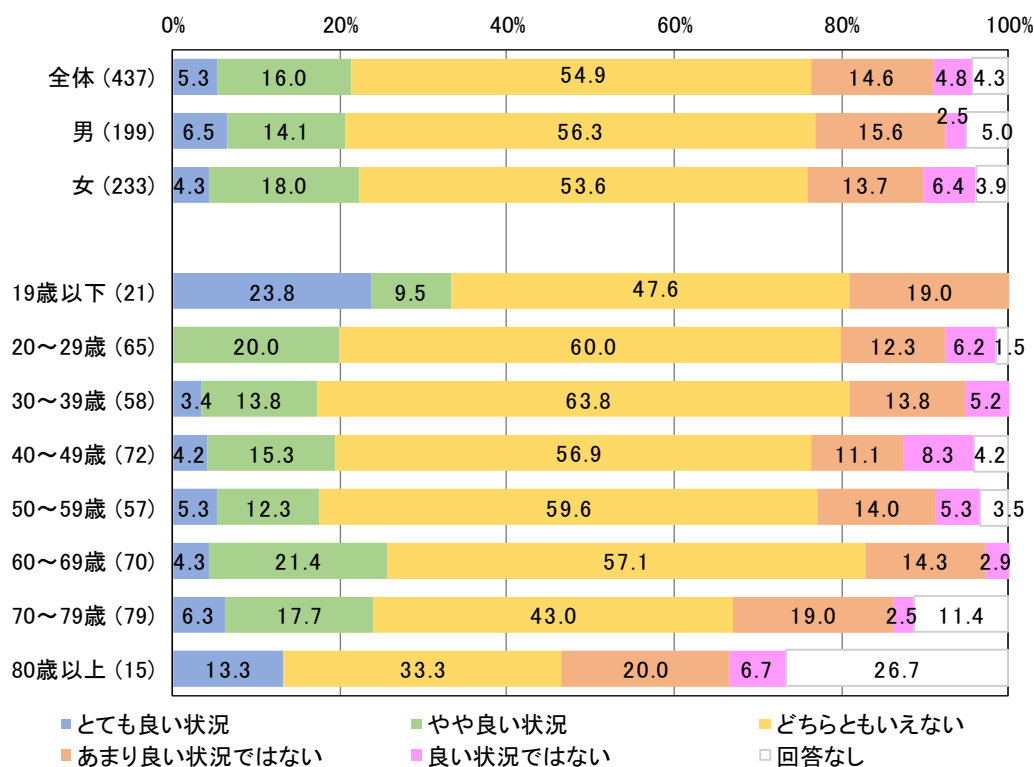
(19) 地域の環境リーダーの育成

・「とても良い状況」(4.6%)、「やや良い状況」(10.8%)を合わせると15.4%となる。



(20) 東浦町役場の率優先的な環境行動

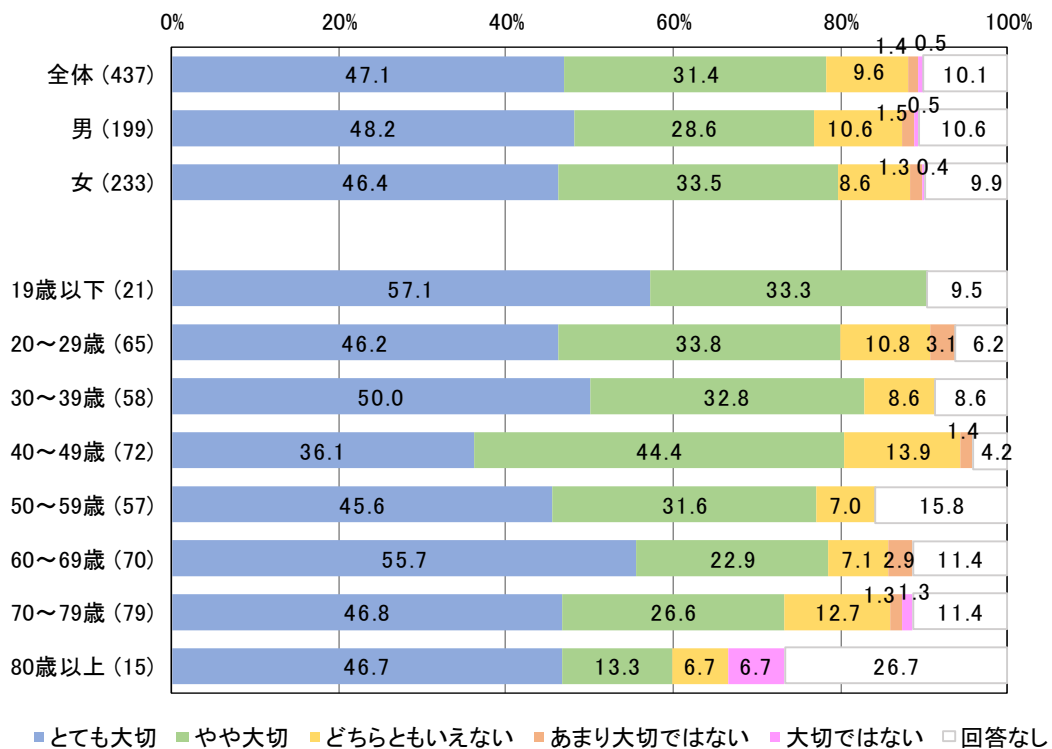
・「とても良い状況」(5.3%)、「やや良い状況」(16.0%)を合わせると21.3%となる。



<東浦町の環境に関する取組の大切さ>

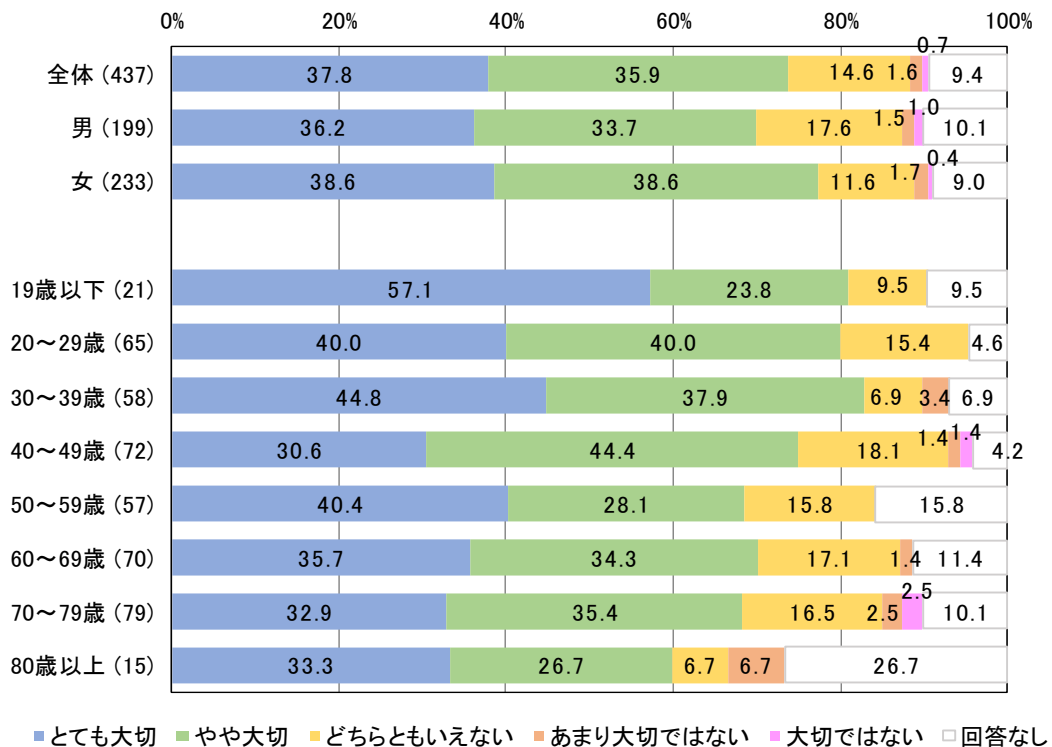
(1) 地域にある自然や生き物の保全

・「とても大切」(47.1%)、「やや大切」(31.4%) を合わせると 78.5%となる。



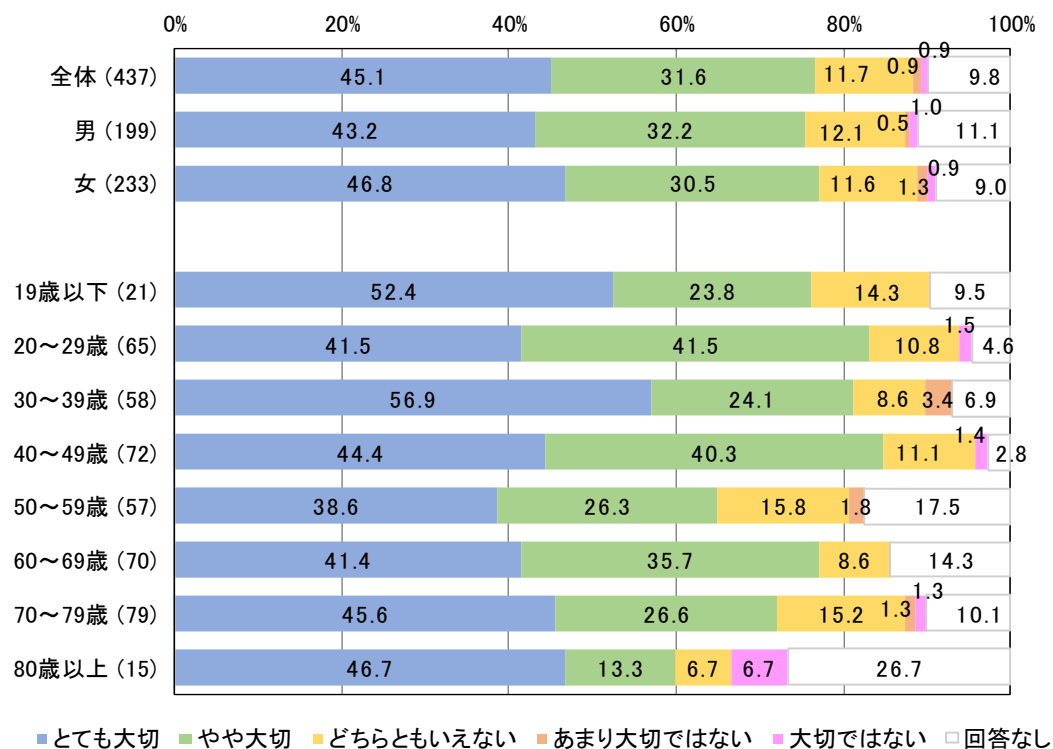
(2) 田んぼや畑など農地保全や農業振興

・「とても大切」(37.8%)、「やや大切」(35.9%) を合わせると 73.7%となる。



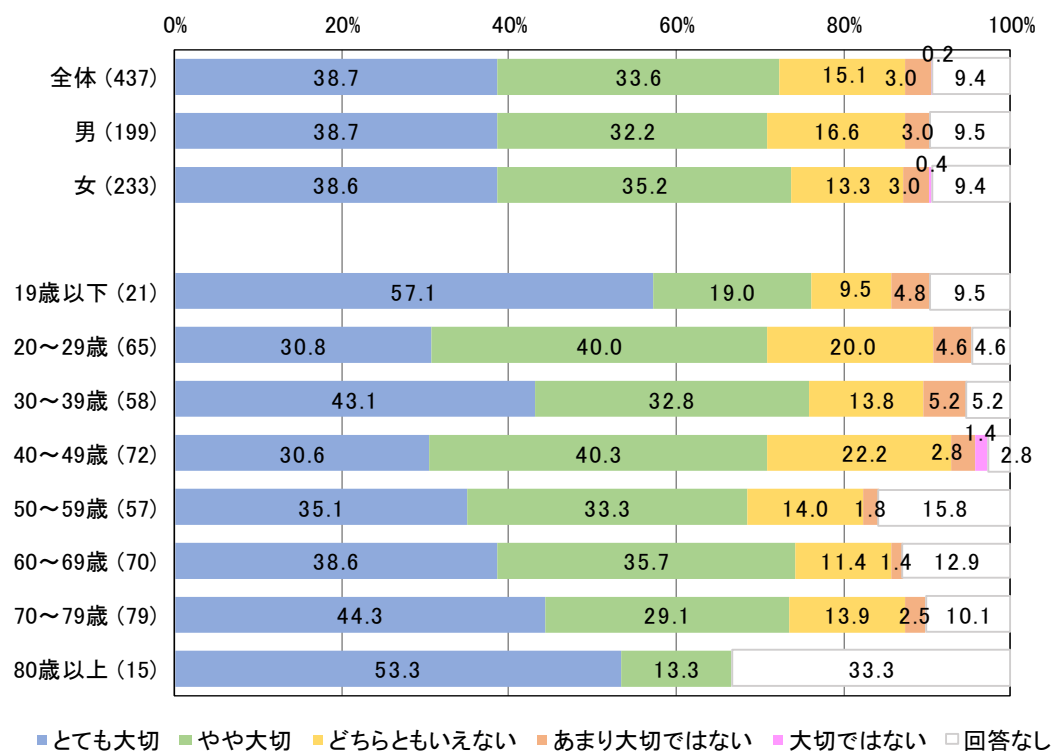
(3) 公園や施設の緑化・植栽

・「とても大切」(45.1%)、「やや大切」(31.6%) を合わせると 76.7%となる。



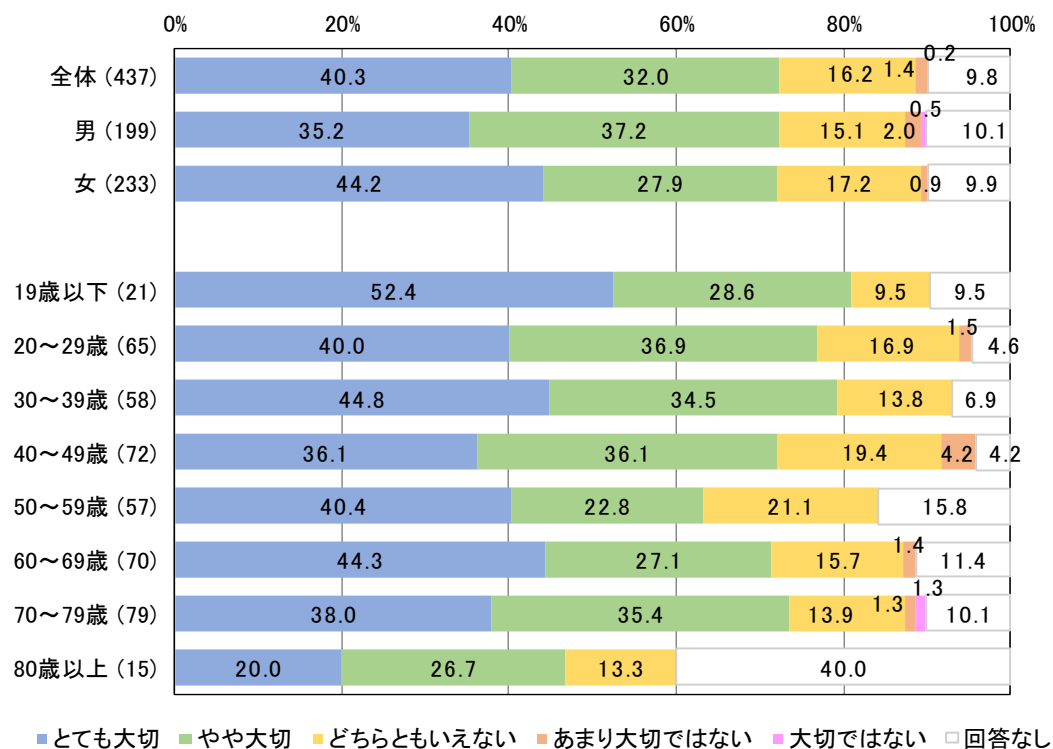
(4) 町民が自然とふれあう場の整備

・「とても大切」(38.7%)、「やや大切」(33.6%) を合わせると 72.3%となる。



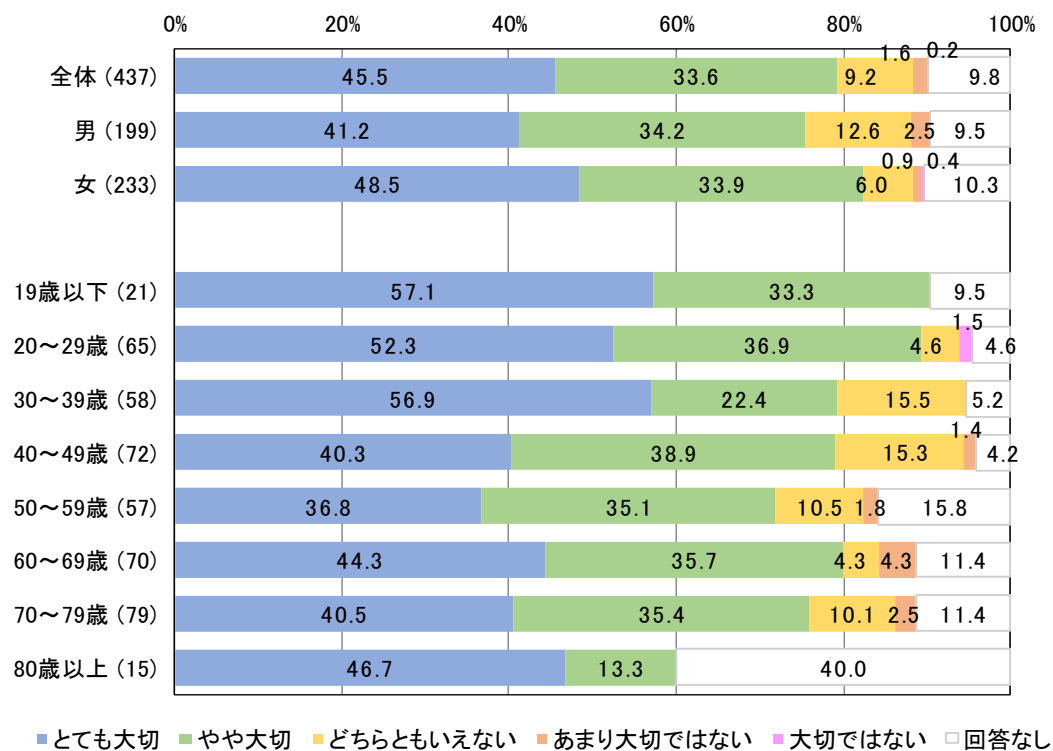
(5) 河川やため池など水辺の保全・活用

・「とても大切」(40.3%)、「やや大切」(32.0%) を合わせると 72.3%となる。



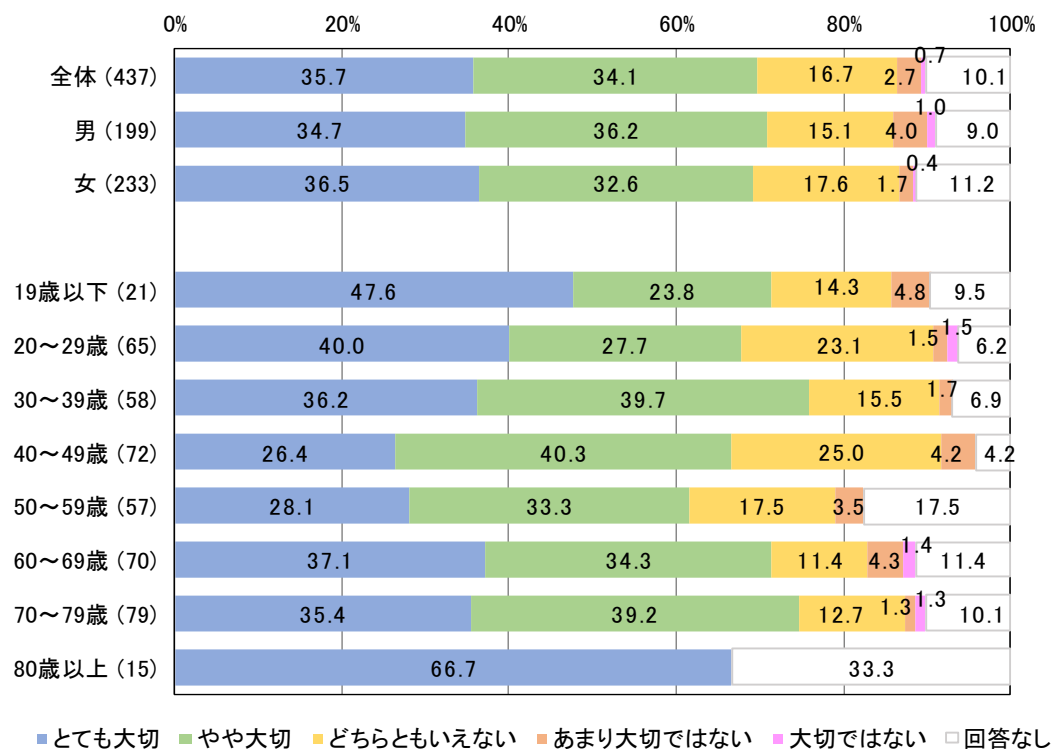
(6) 美しい町並みや快適な住環境の保全

・「とても大切」(45.5%)、「やや大切」(33.6%) を合わせると 79.1%となる。



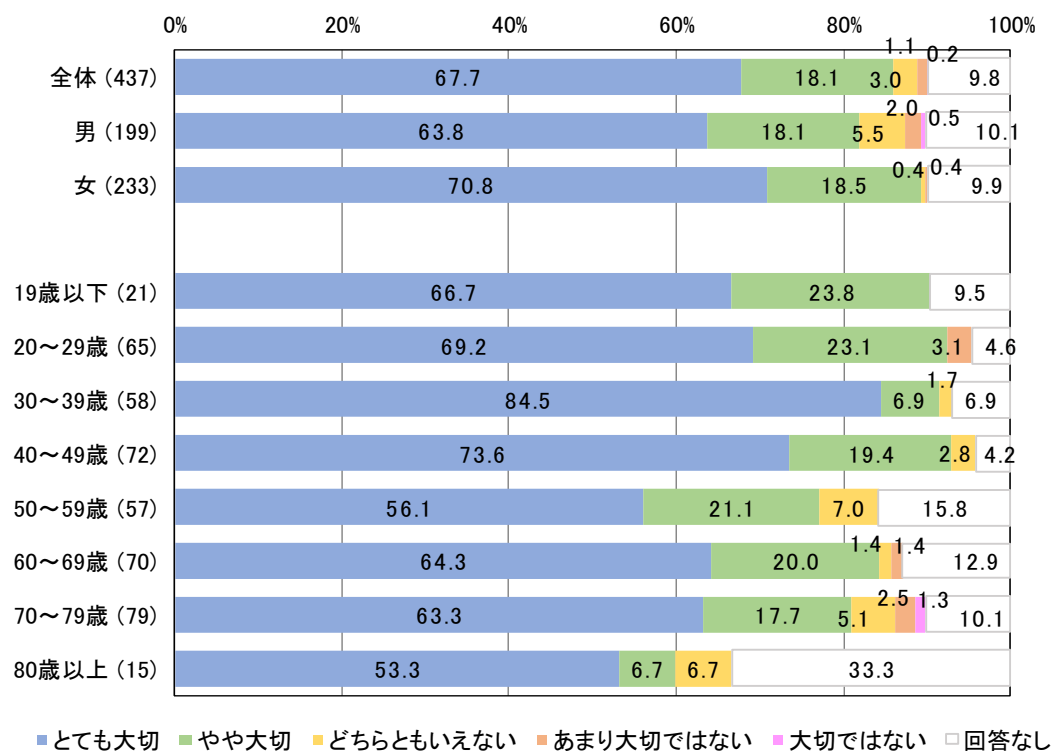
(7) 郷土の歴史・文化資源の保存・活用

・「とても大切」(35.7%)、「やや大切」(34.1%) を合わせると 69.8%となる。



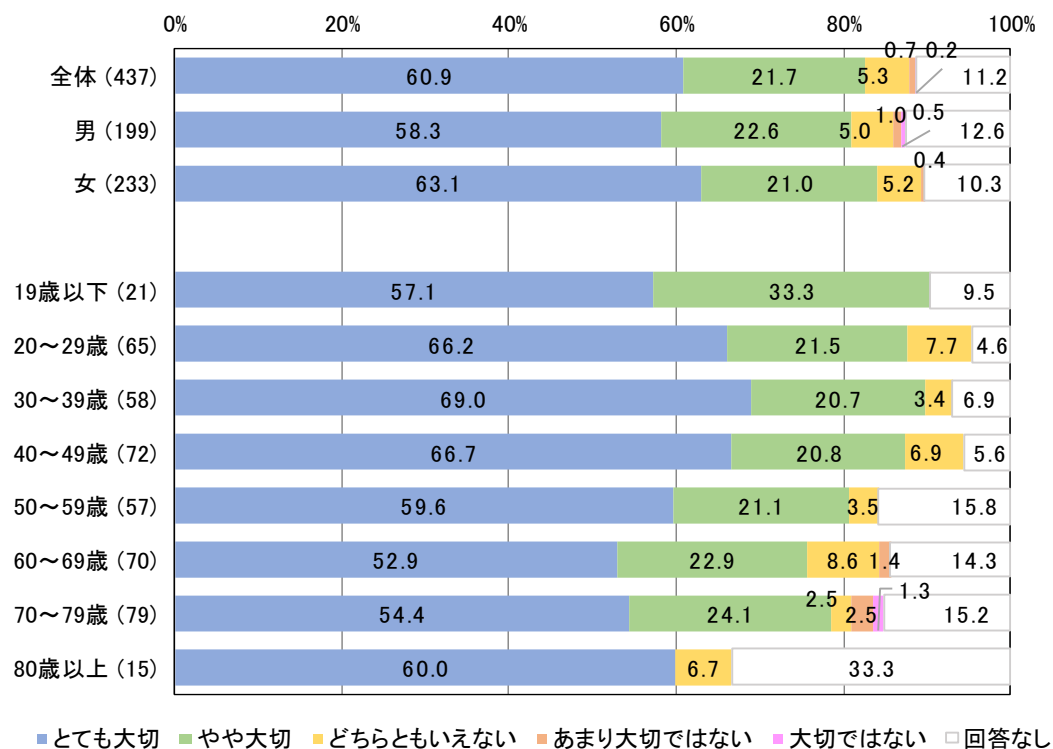
(8) ごみのポイ捨てや不法投棄の少なさ

・「とても大切」(67.7%)、「やや大切」(18.1%) を合わせると 85.8%となる。



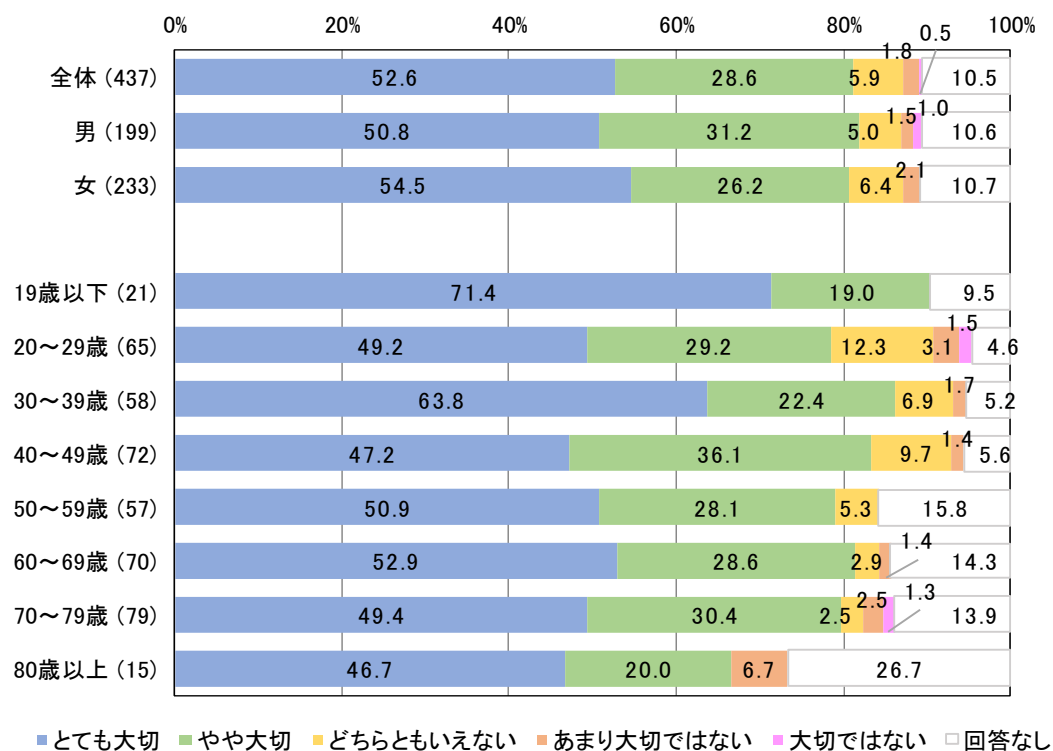
(9) 大気汚染、騒音・振動など公害への対応

・「とても大切」(60.9%)、「やや大切」(21.7%) を合わせると 82.6%となる。



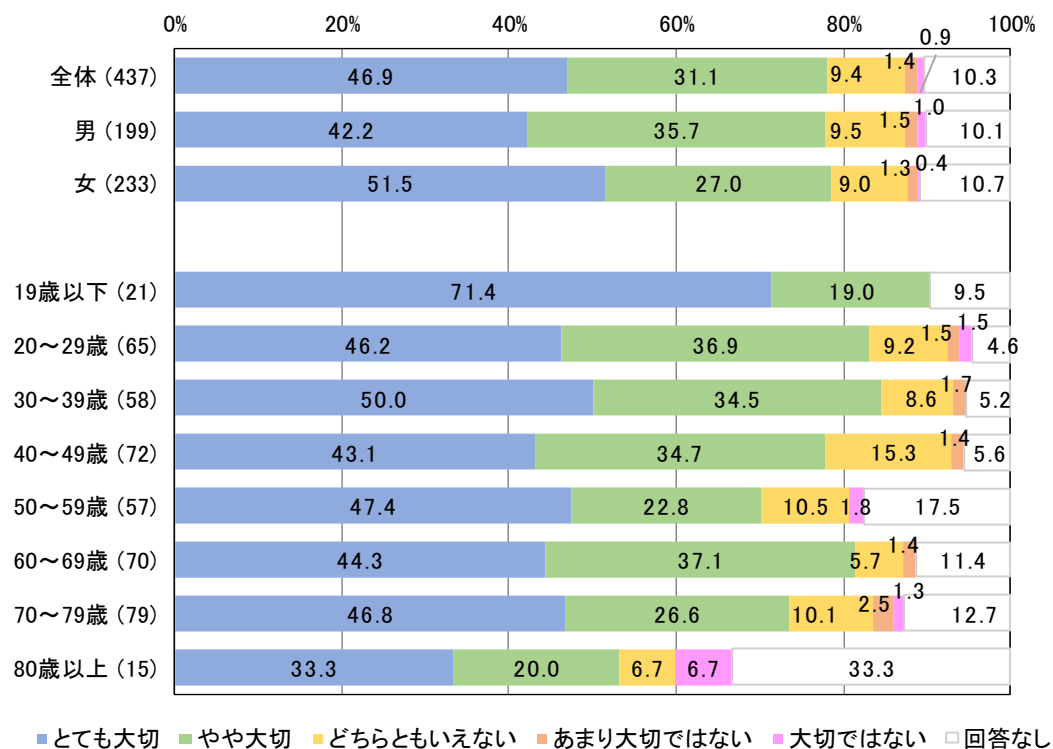
(10) ごみの減量への取組

・「とても大切」(52.6%)、「やや大切」(28.6%) を合わせると 81.2%となる。



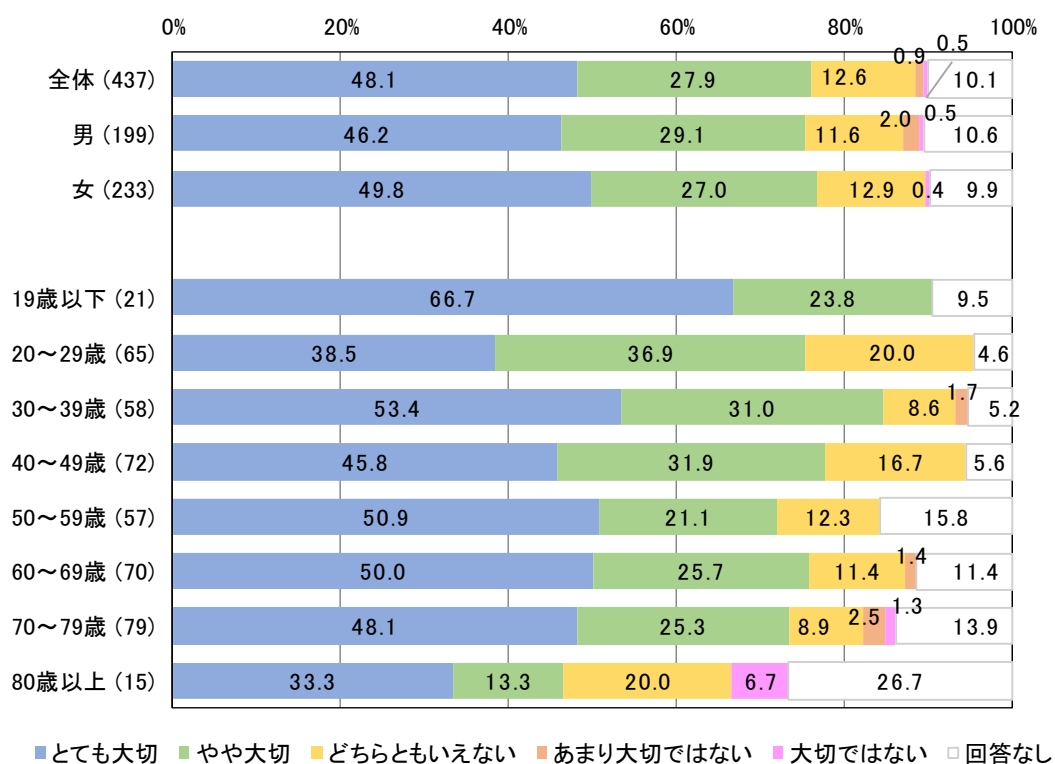
(11) リサイクルやリユースの取組

・「とても大切」(46.9%)、「やや大切」(31.1%) を合わせると 78.0%となる。



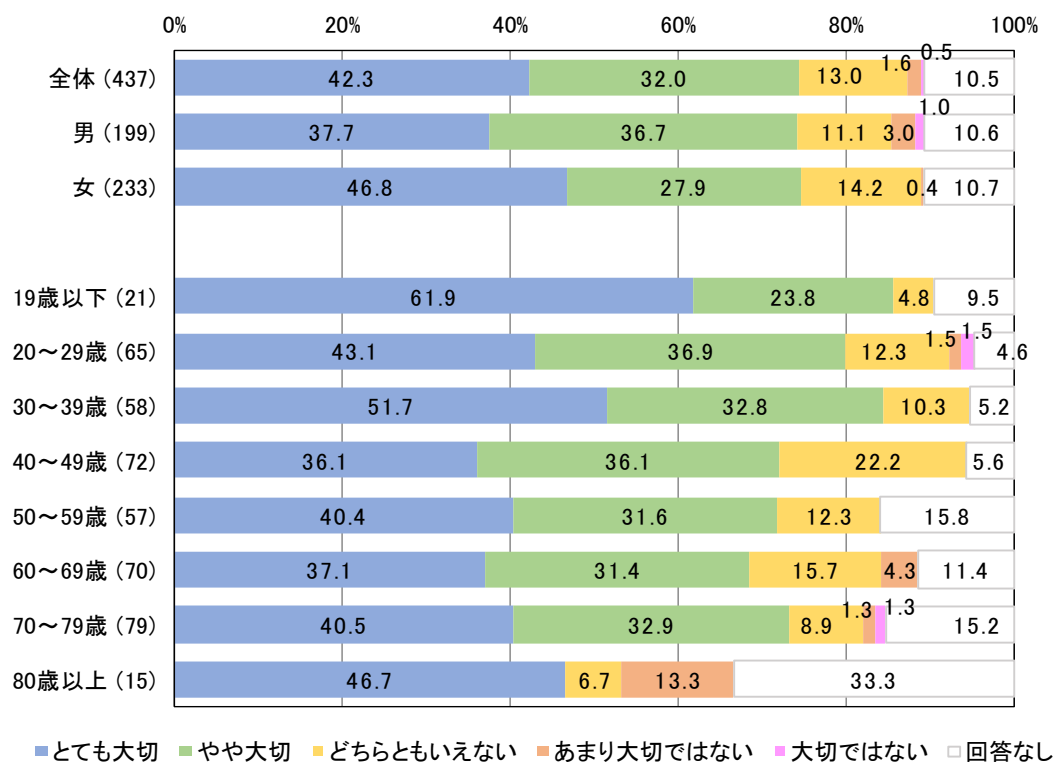
(12) 事業所からのごみの適正な処理

・「とても大切」(48.1%)、「やや大切」(27.9%) を合わせると 76.0%となる。



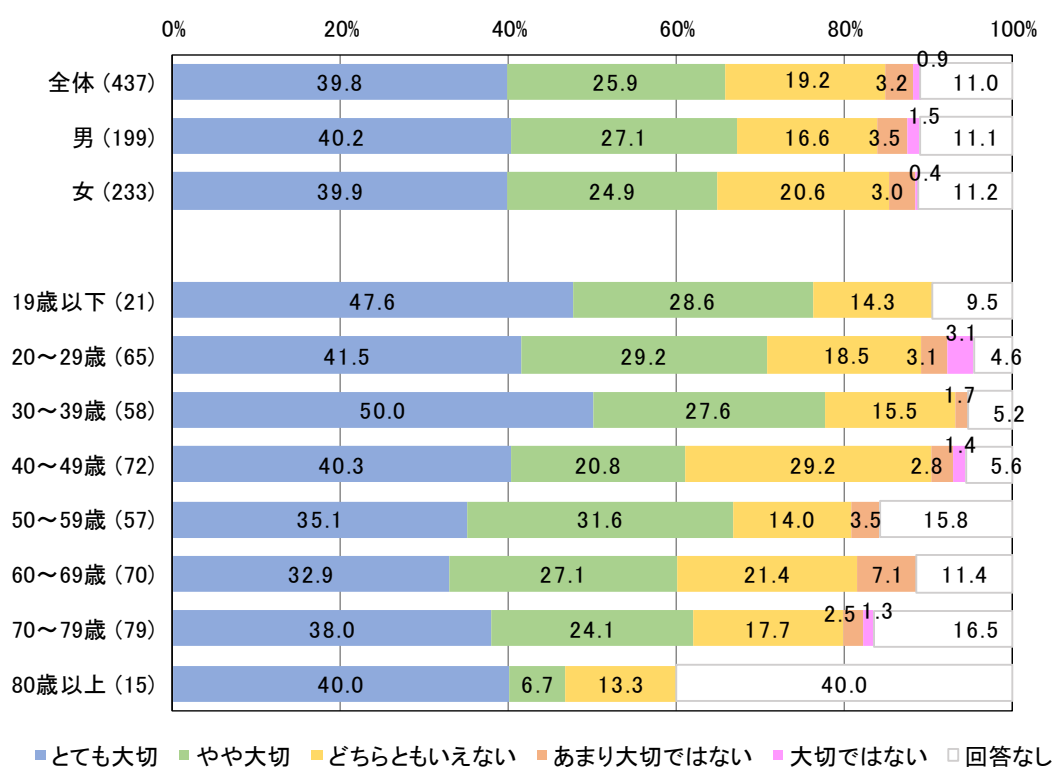
(13) 省エネルギーの促進

・「とても大切」(42.3%)、「やや大切」(32.0%) を合わせると 74.3%となる。



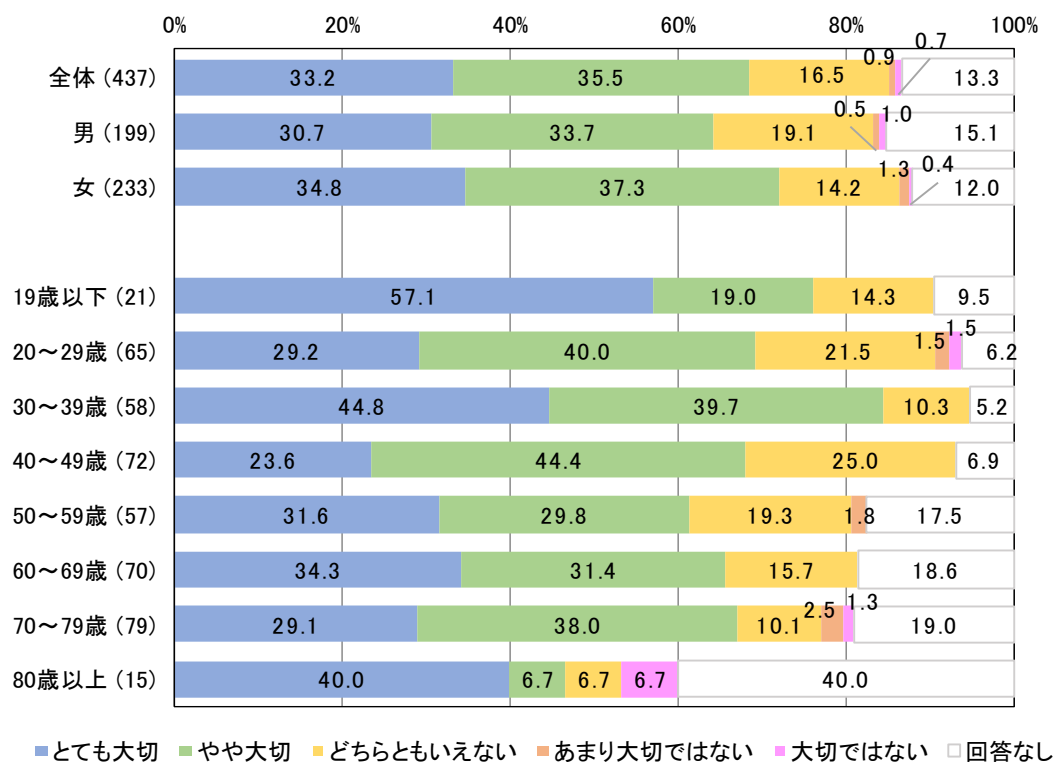
(14) 太陽光や風力など自然エネルギーの活用

・「とても大切」(39.8%)、「やや大切」(25.9%) を合わせると 65.7%となる。



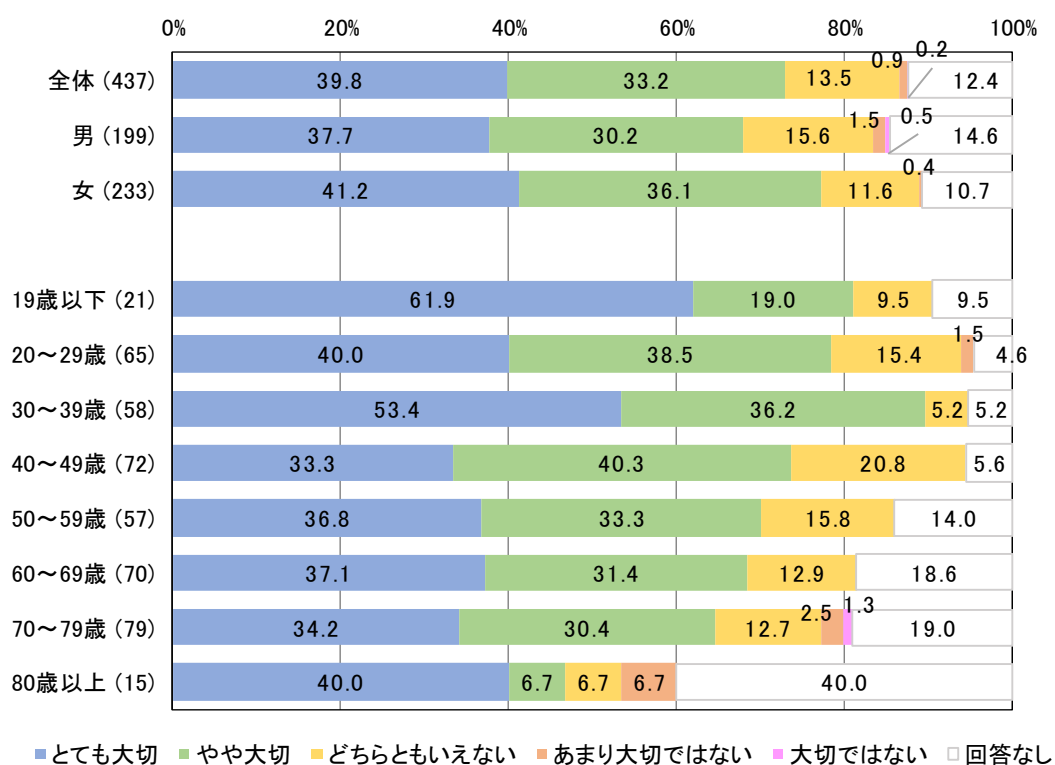
(15) 環境に関する学習活動

・「とても大切」(33.2%)、「やや大切」(35.5%) を合わせると 68.7%となる。



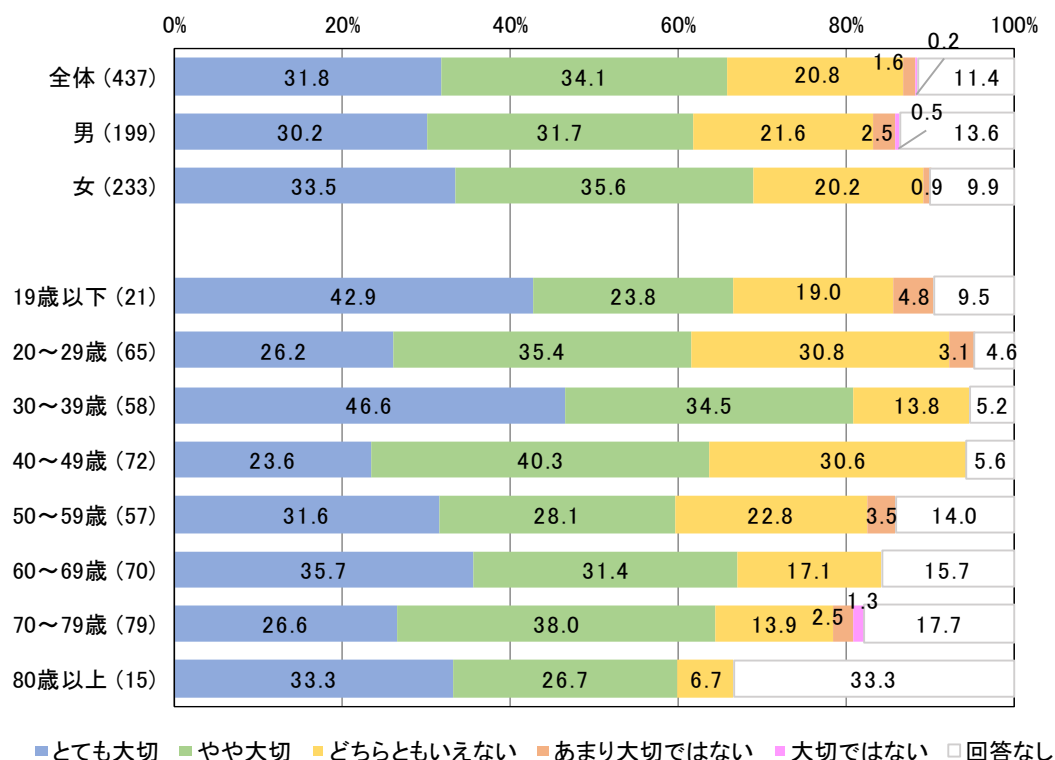
(16) 学校における環境教育

・「とても大切」(39.8%)、「やや大切」(33.2%) を合わせると 73.0%となる。



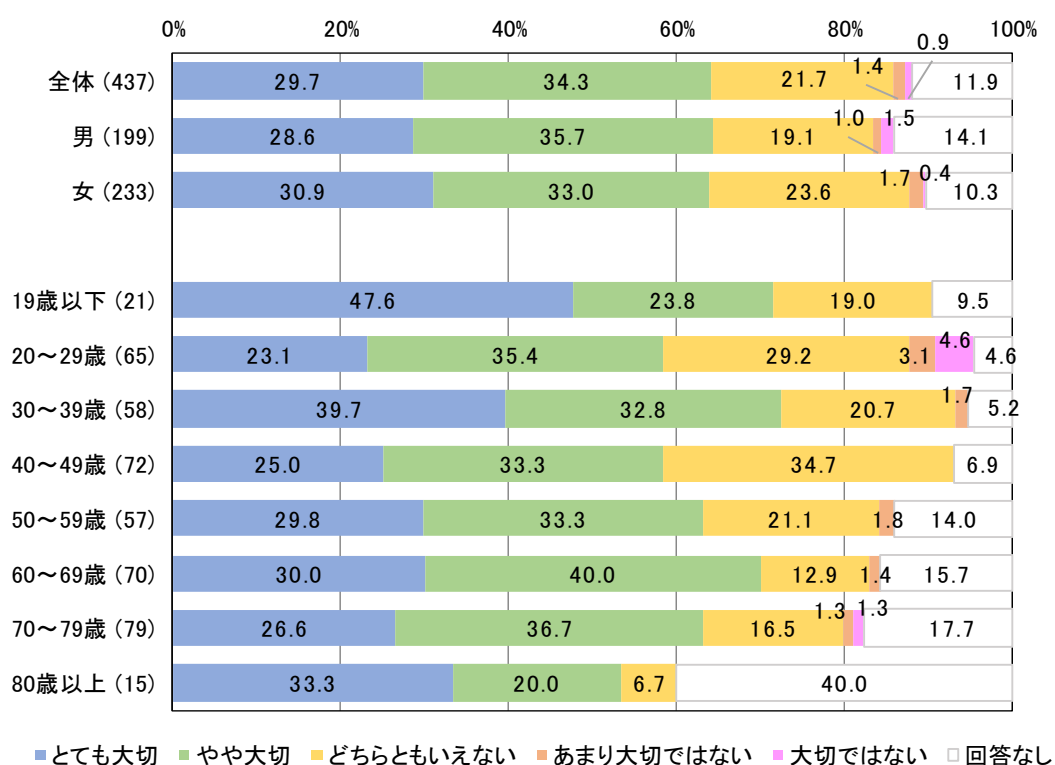
(17) 環境に関する情報発信

・「とても大切」(31.8%)、「やや大切」(34.1%) を合わせると 65.9%となる。



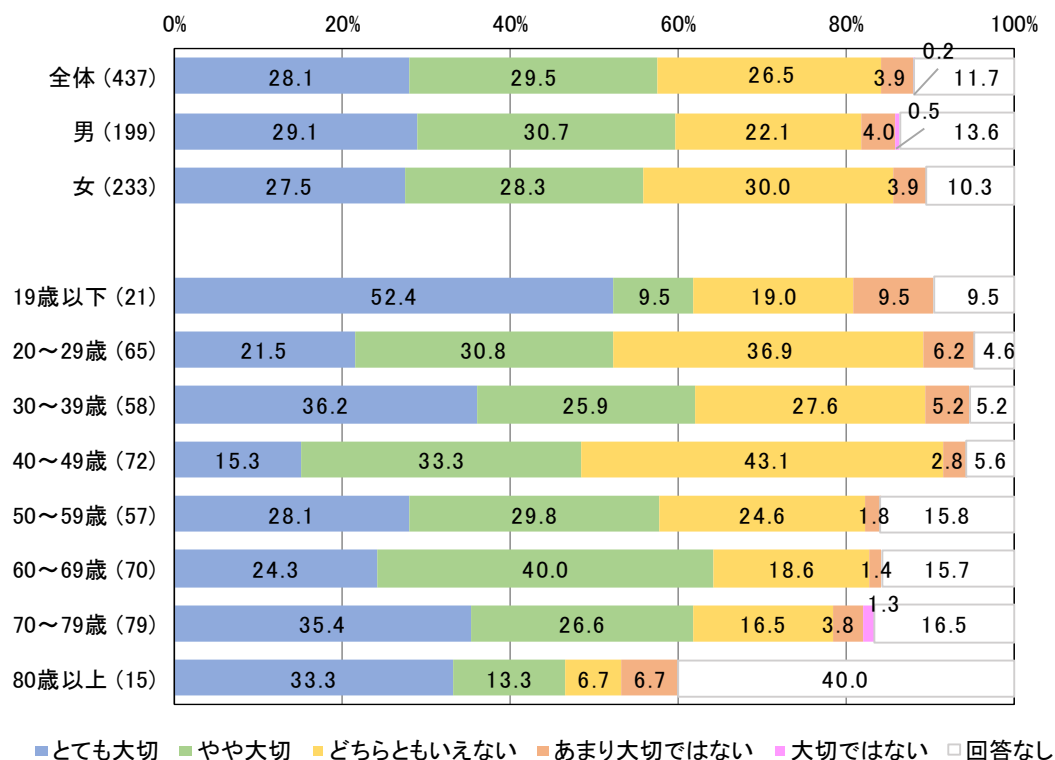
(18) 住民や事業者中心の環境の取組

・「とても大切」(29.7%)、「やや大切」(34.3%) を合わせると 64.0%となる。



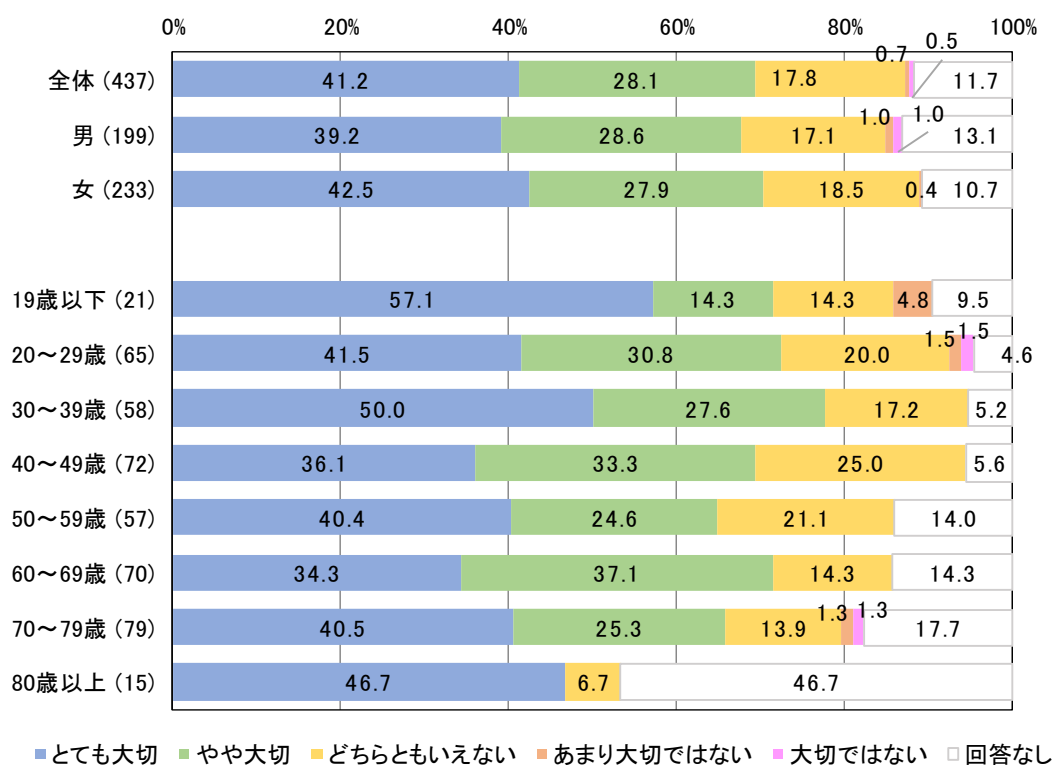
(19) 地域の環境リーダーの育成

・「とても大切」(28.1%)、「やや大切」(29.5%) を合わせると 57.6%となる。



(20) 東浦町役場の率優先的な環境行動

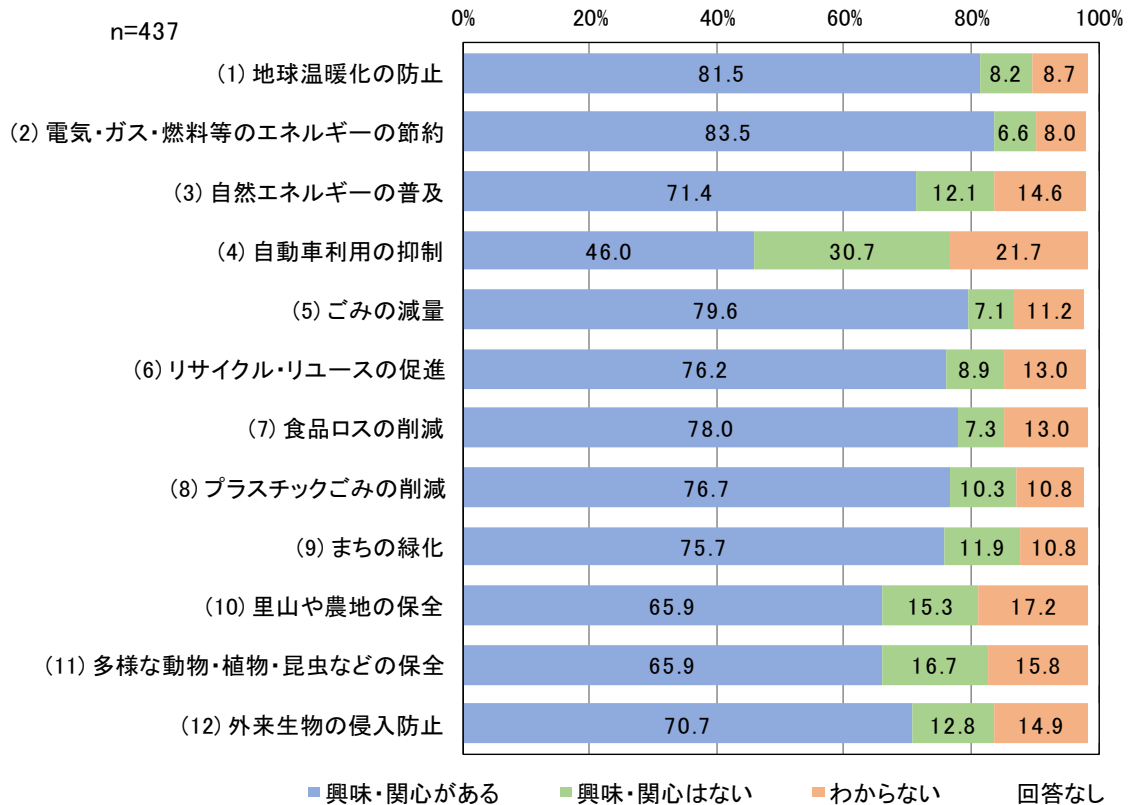
・「とても大切」(41.2%)、「やや大切」(28.1%) を合わせると 69.3%となる。



環境に対する興味・関心・認知

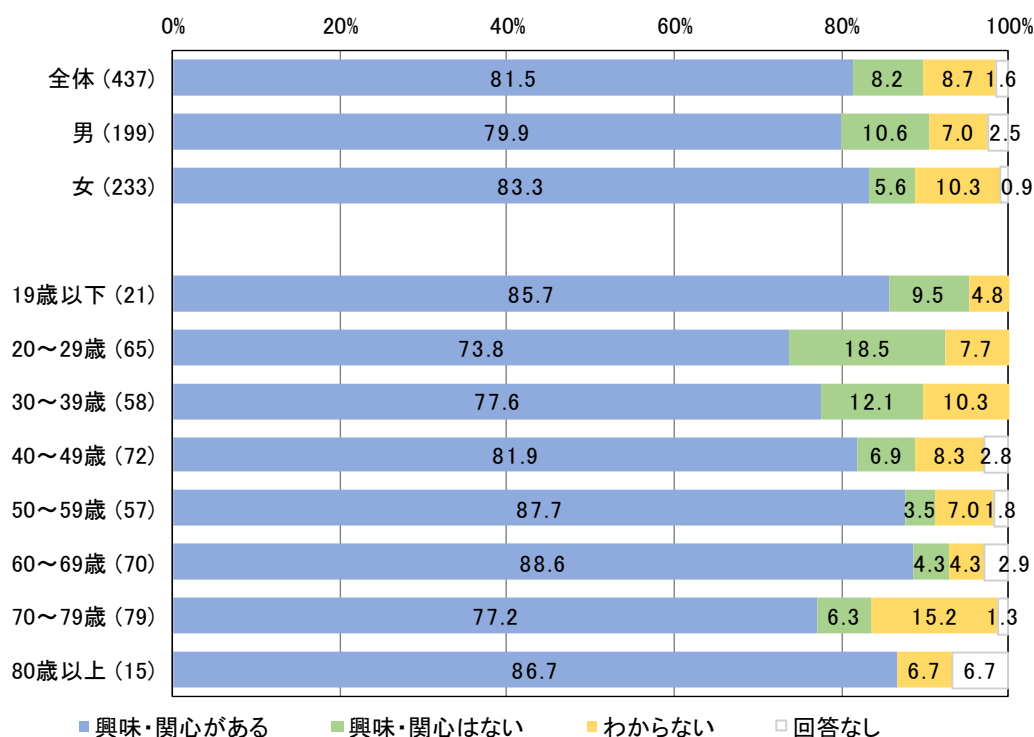
<環境に対して興味や関心のあること>

- ・環境に対する興味や関心については、軒並み高くなっているが、特に「興味・関心がある」という回答が多かったのは、(2) 電気・ガス・燃料等のエネルギーの節約 (83.5%)、(1) 地球温暖化の防止 (81.5%)、(5) ごみの減量 (79.6%) の3つであった。

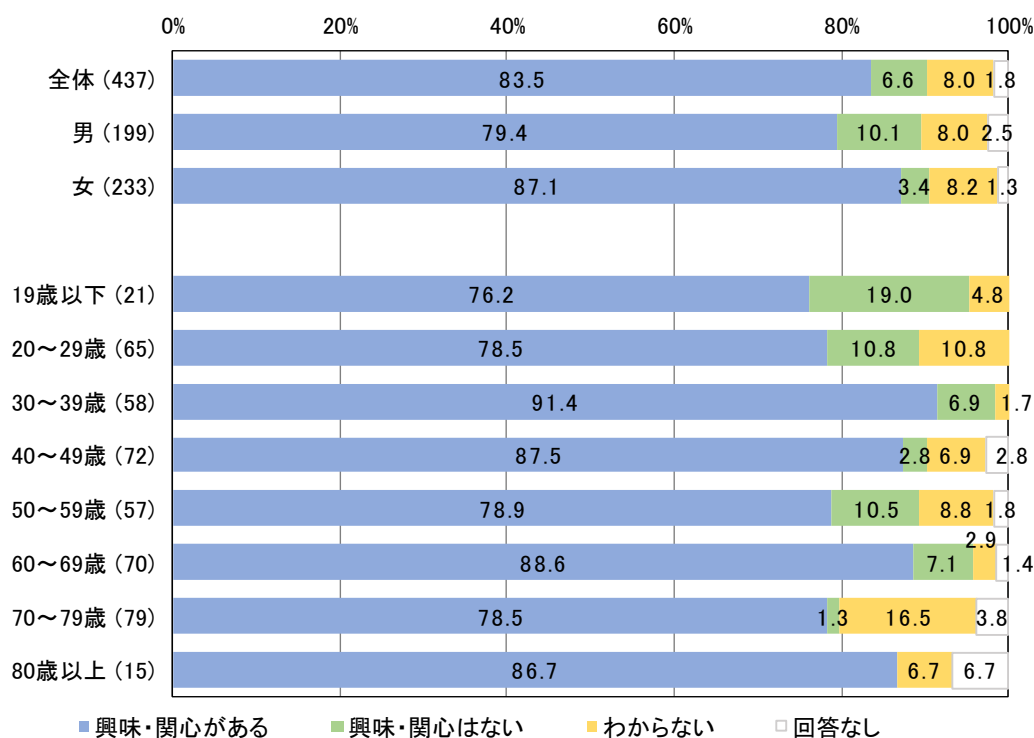


・各項目別のクロス集計結果は以下のとおりである。

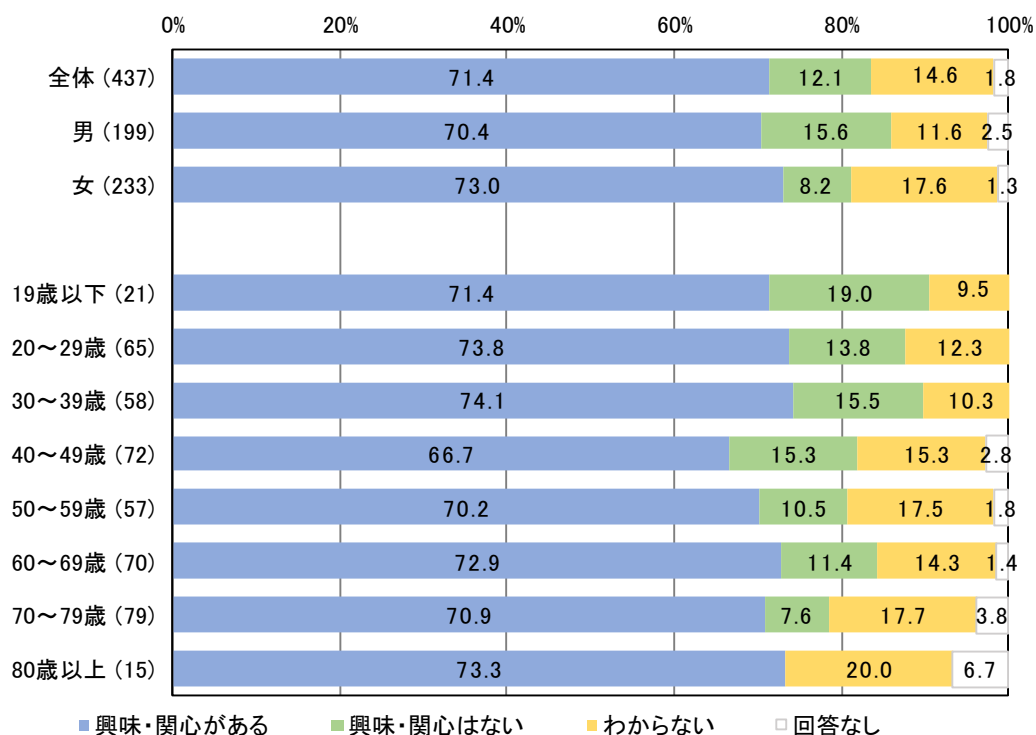
(1) 地球温暖化の防止



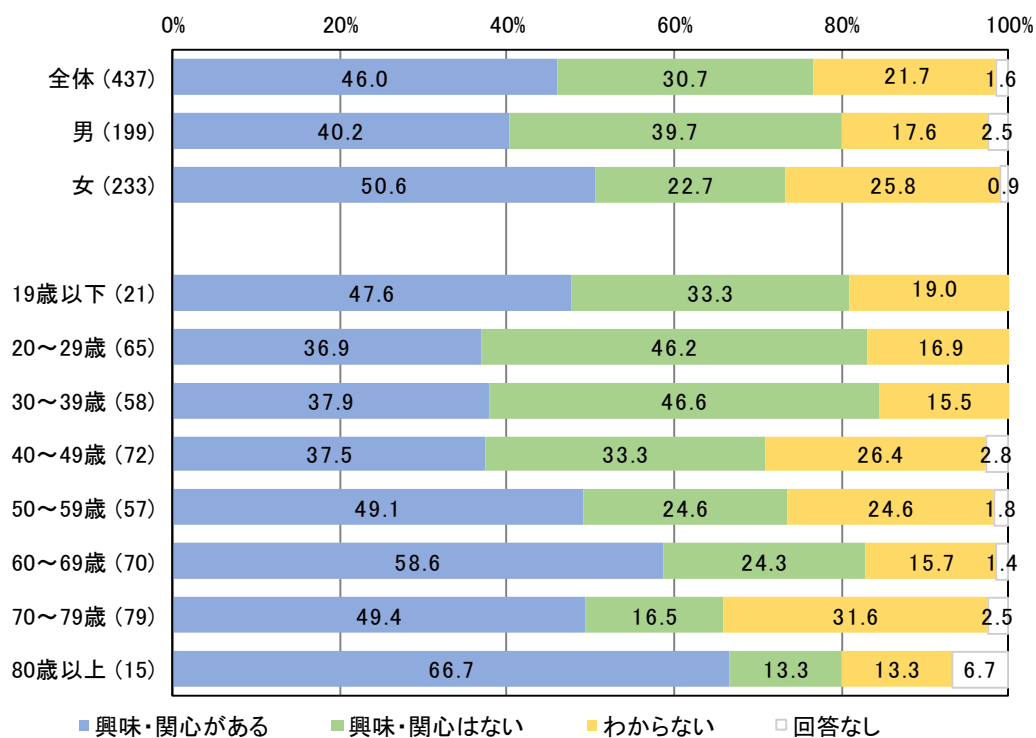
(2) 電気・ガス・燃料等のエネルギーの節約



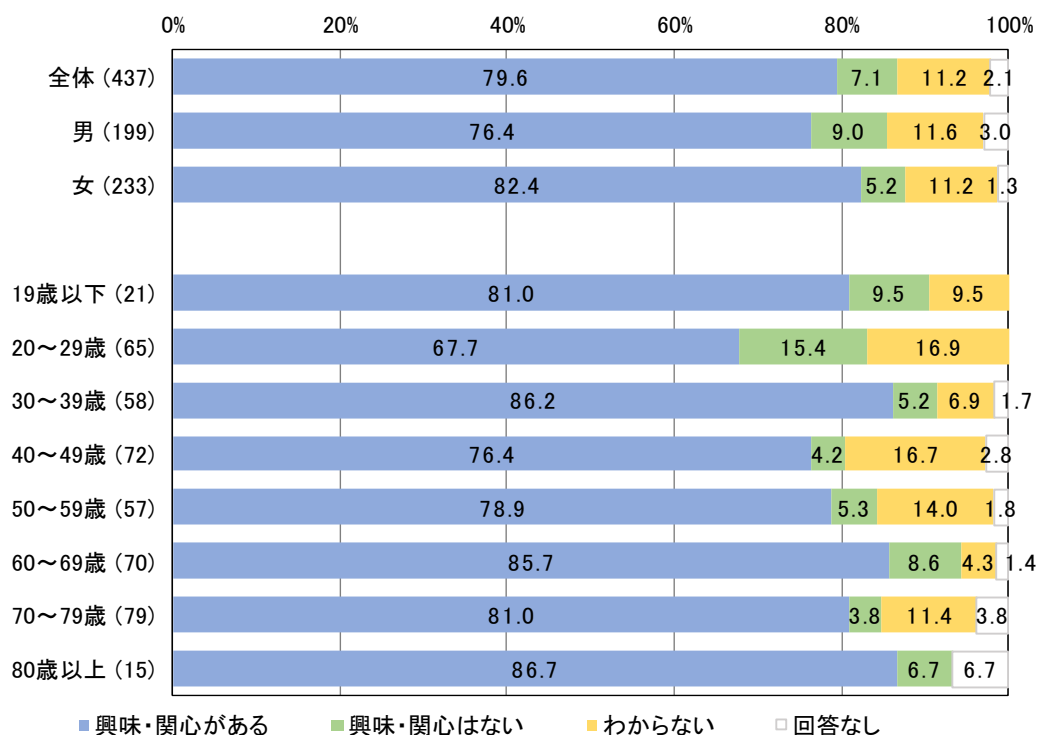
(3) 自然エネルギーの普及



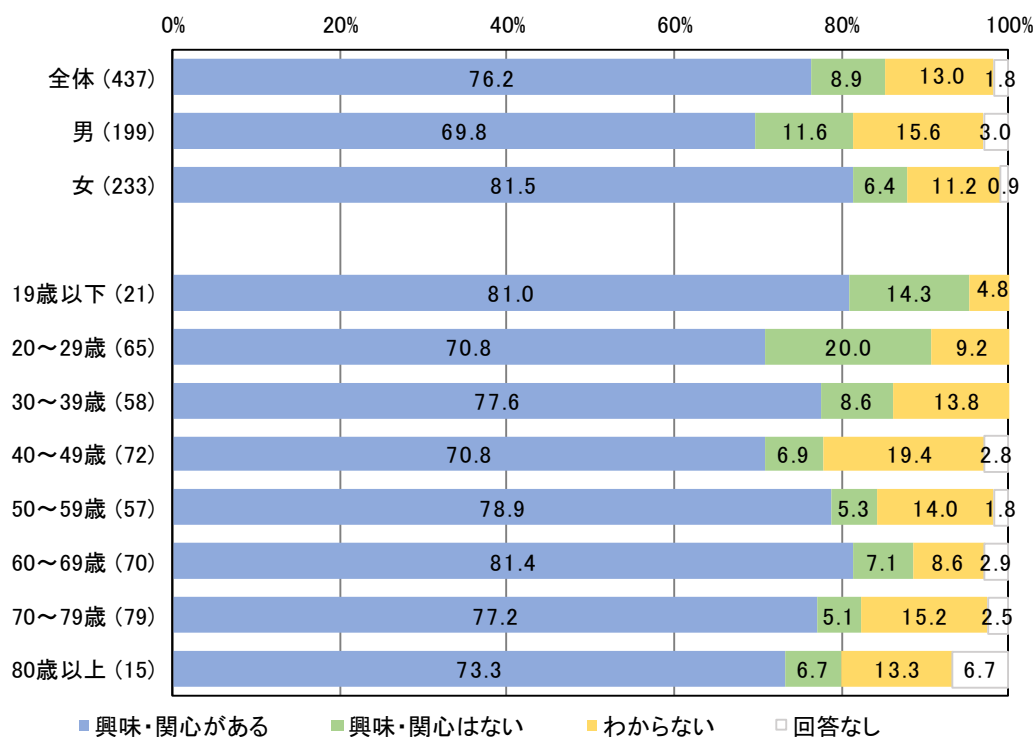
(4) 自動車利用の抑制



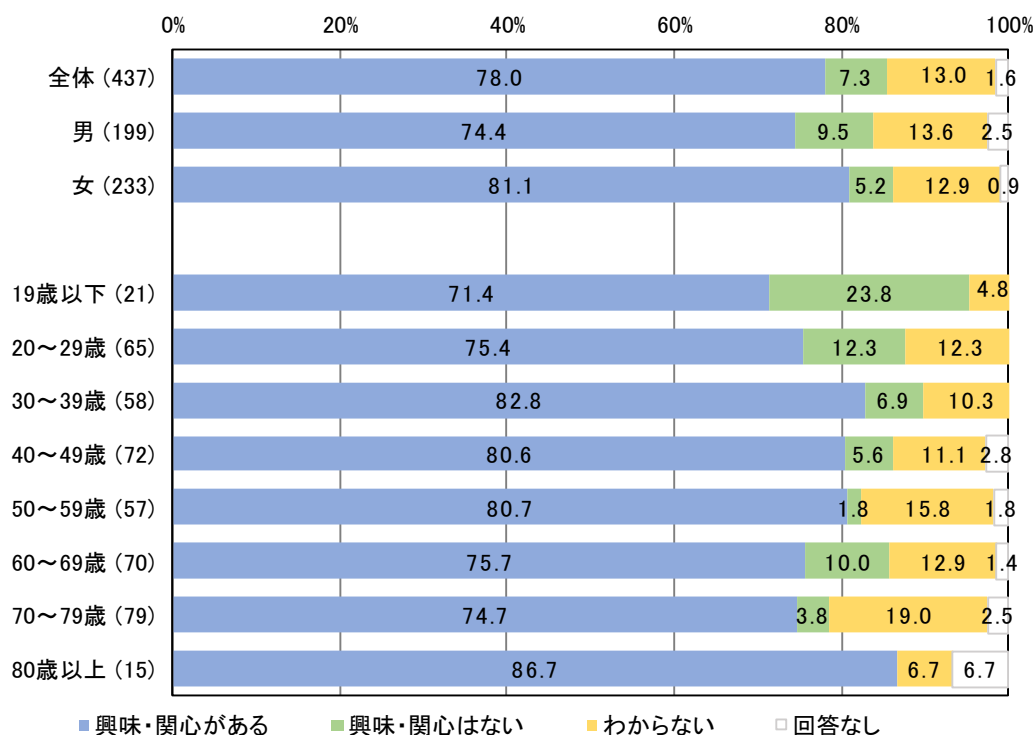
(5) ごみの減量



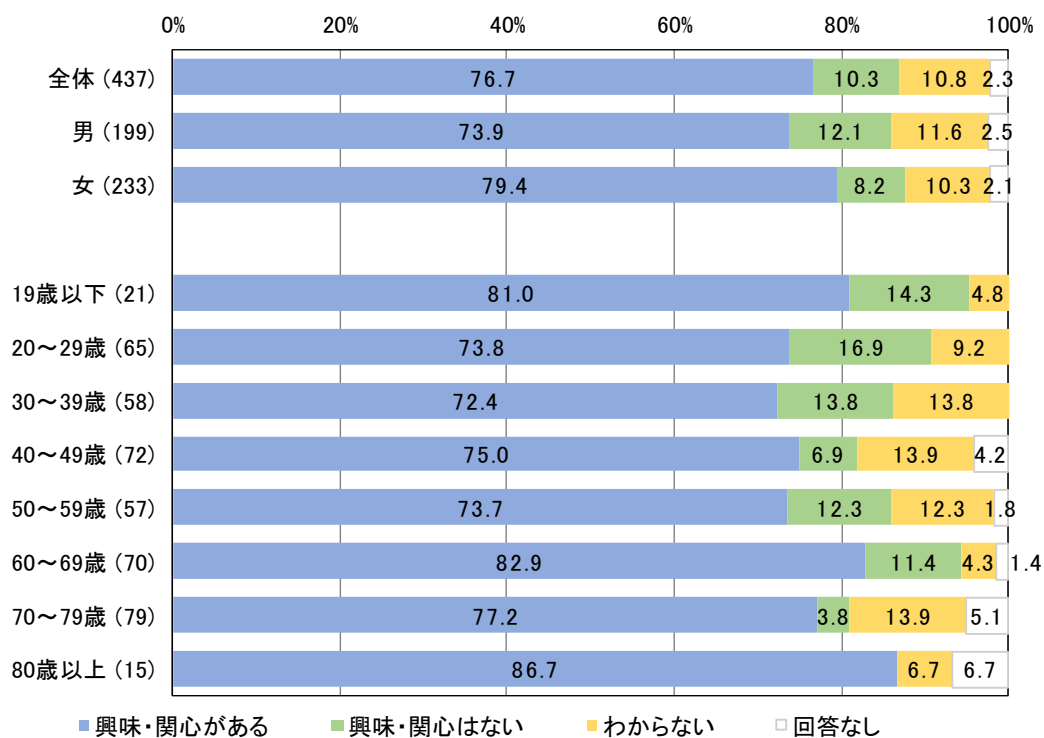
(6) リサイクル・リユースの促進



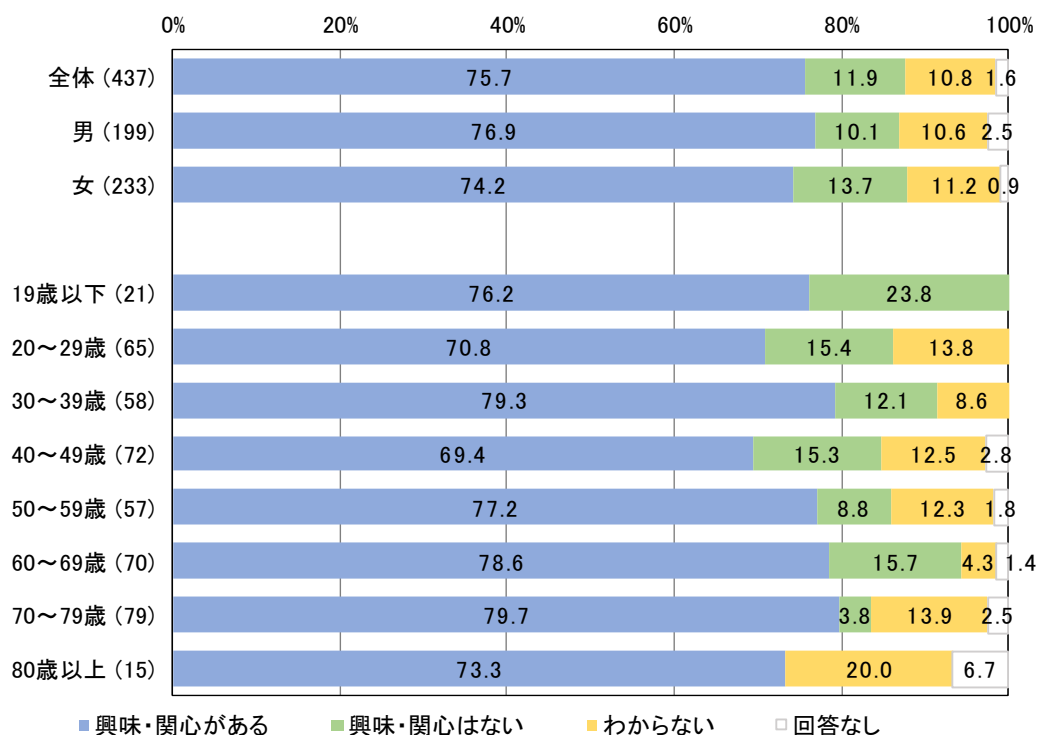
(7) 食品ロスの削減



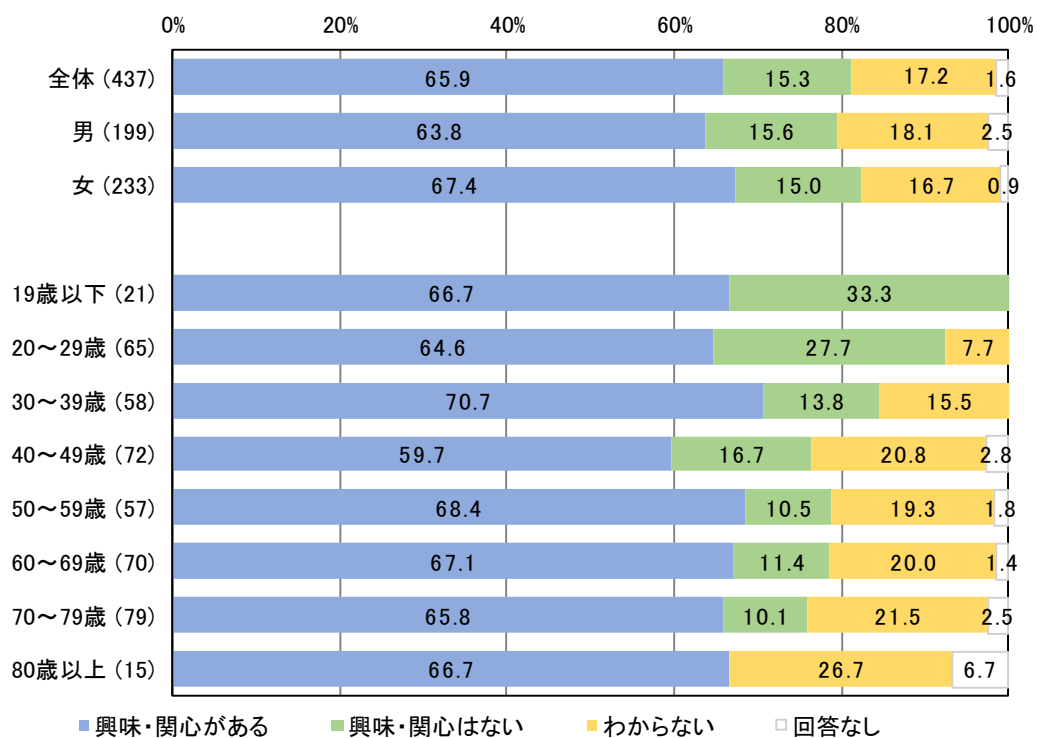
(8) プラスチックごみの削減



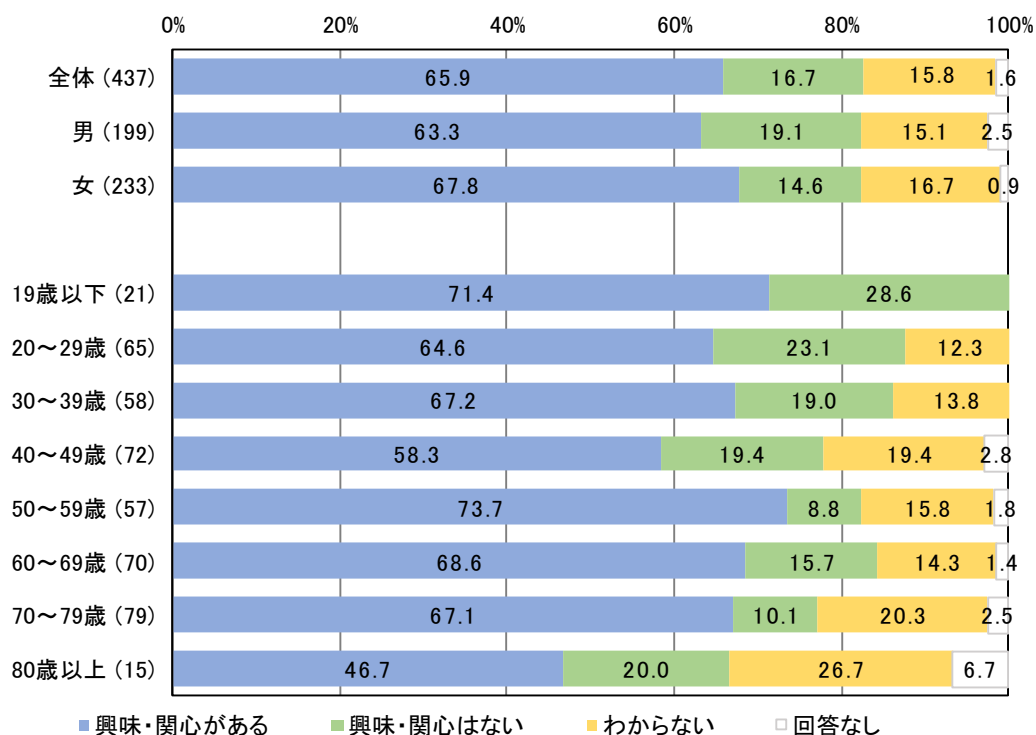
(9) まちの緑化



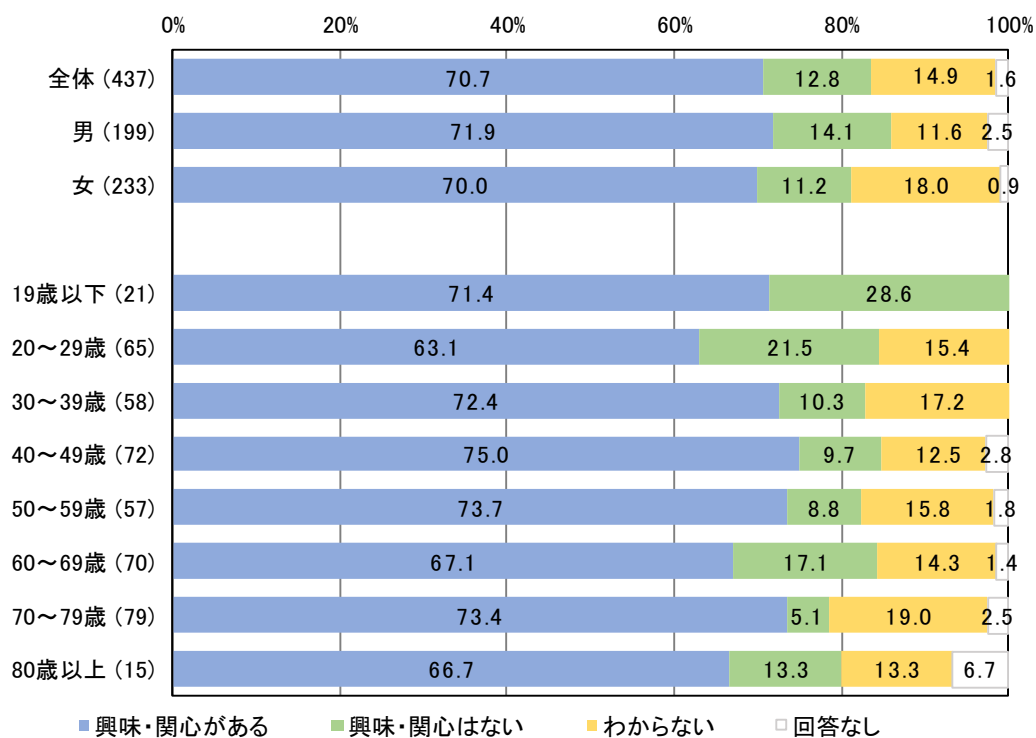
(10) 里山や農地の保全



(11) 多様な動物・植物・昆虫などの保全

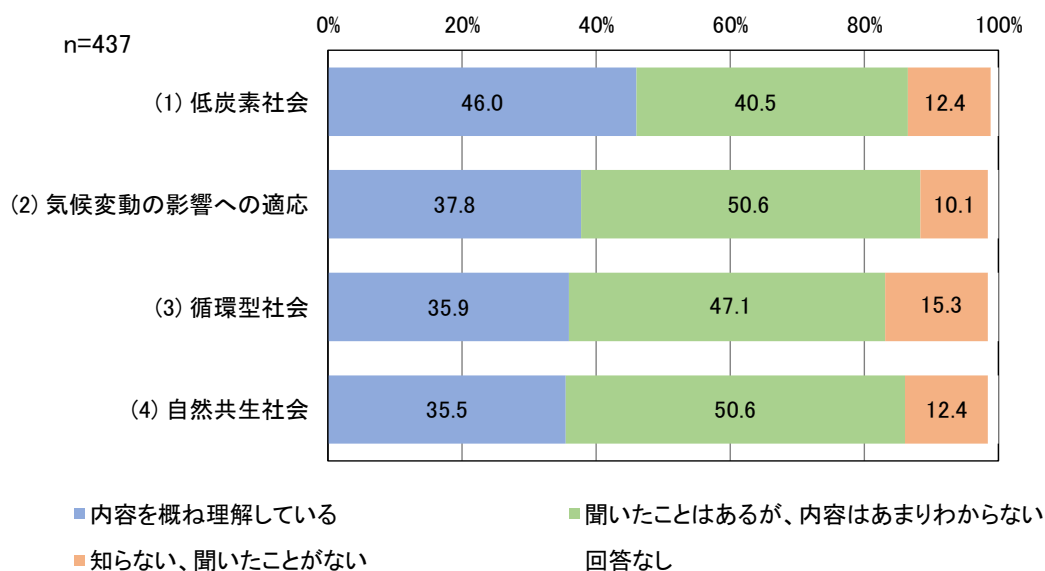


(12) 外来生物の侵入防止



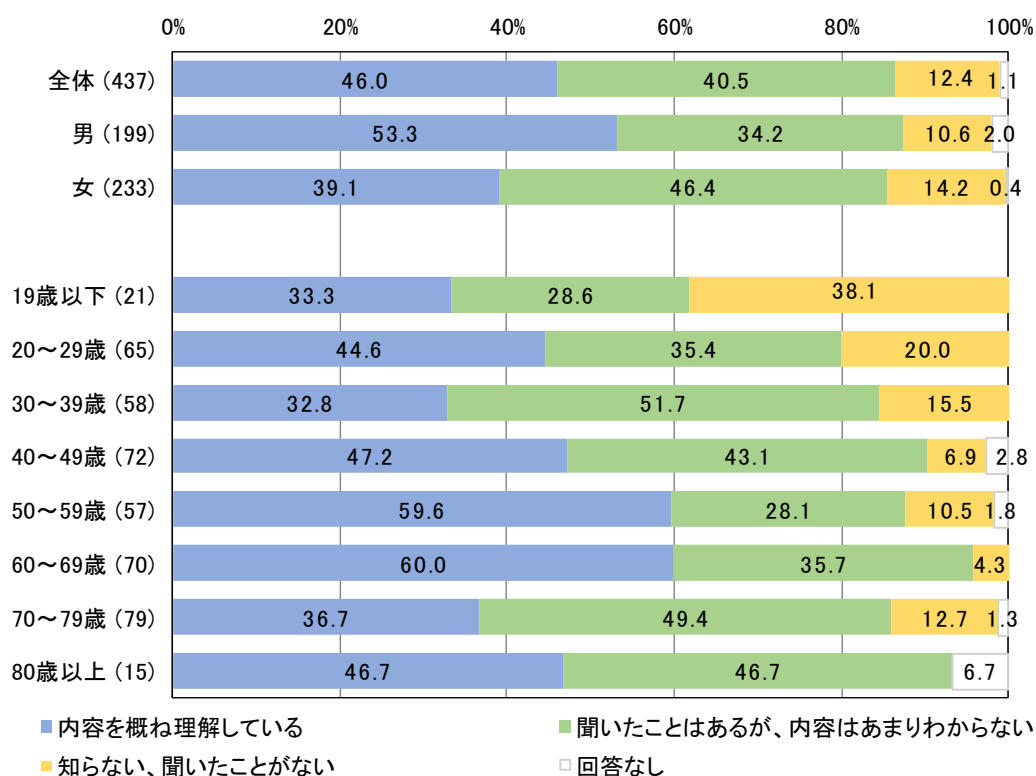
<環境問題に関する認知度>

- ・それぞれの環境問題について、どれくらい知っているかをたずねたところ、「内容を概ね知っている」の回答が最も多かったのは（１）低炭素社会（46.0%）であった。
- ・「内容を概ね知っている」と「聞いたことはあるが、内容はあまりわからない」の合計で見ると（２）気候変動の影響への適応（計 88.4%）が最も多くなっている。

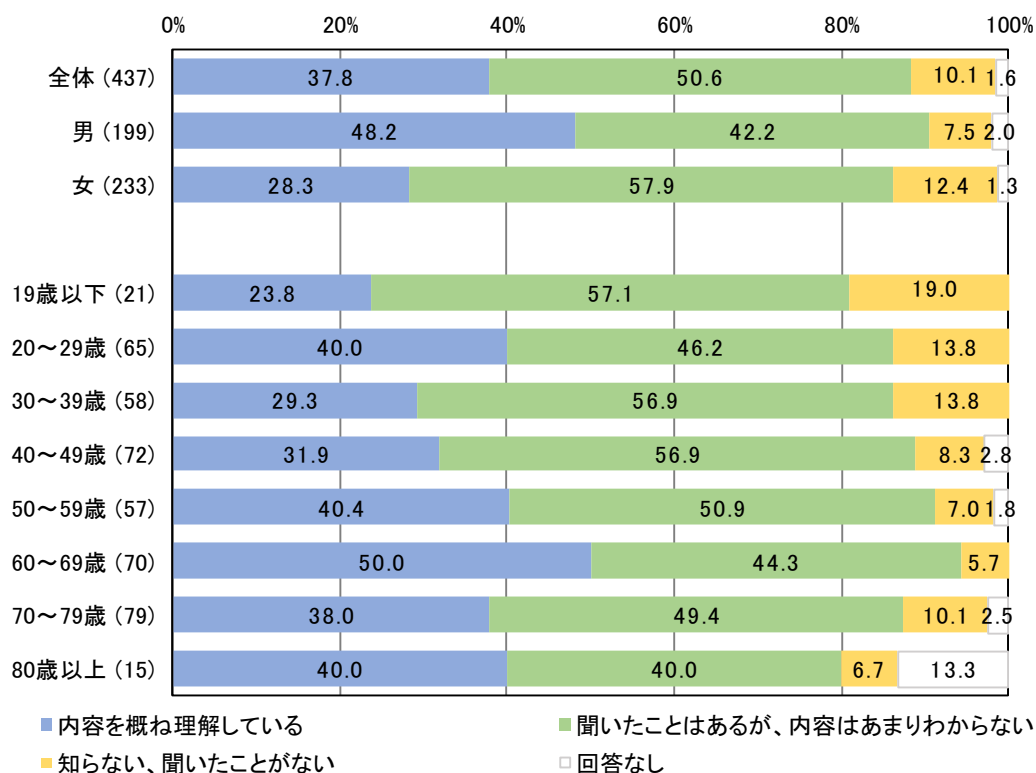


- ・各項目別のクロス集計結果は以下のとおりである。

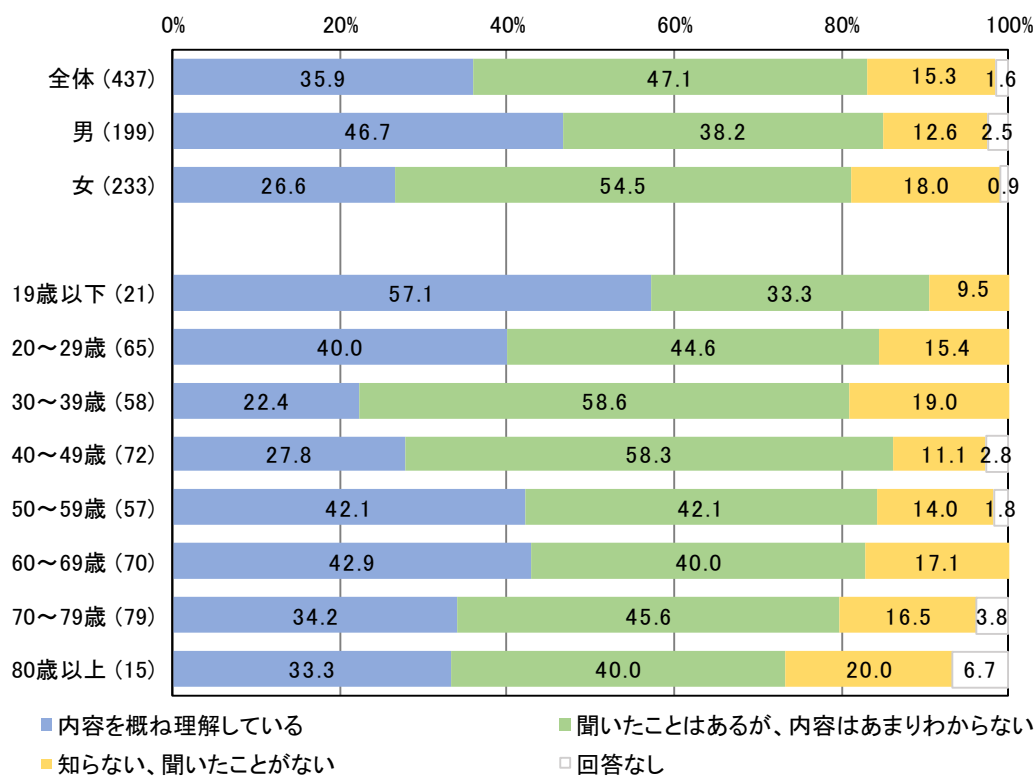
（１）低炭素社会（地球温暖化対策）



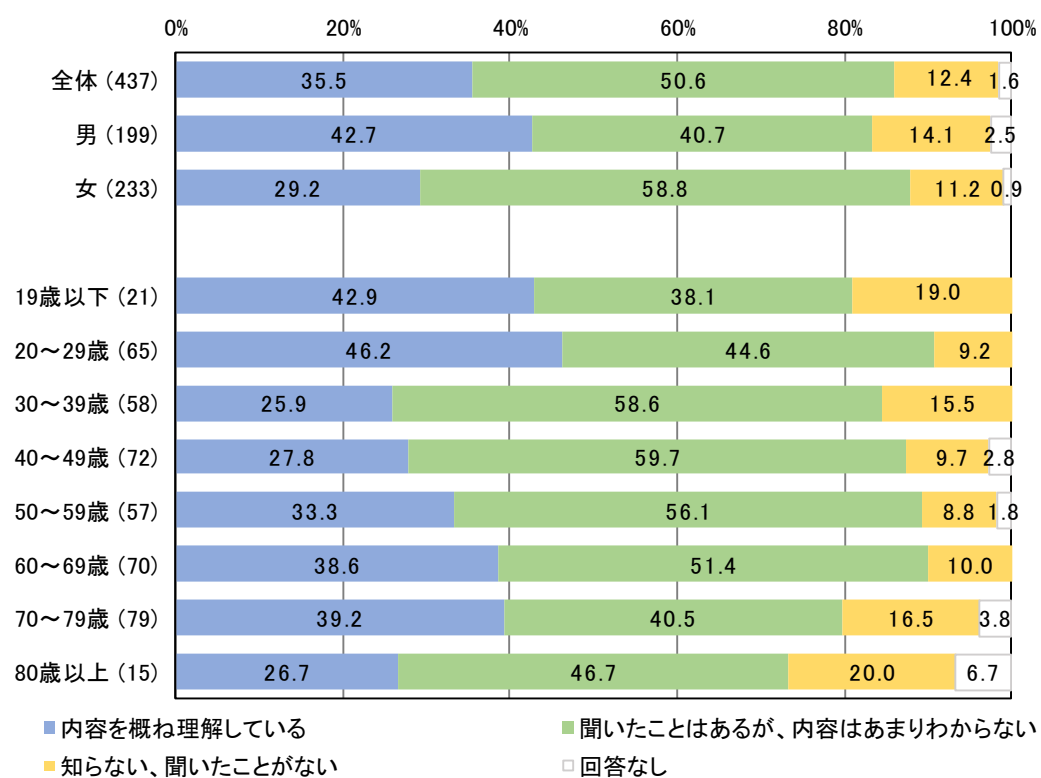
(2) 気候変動の影響への適応



(3) 循環型社会



(4) 自然共生社会(生物多様性)

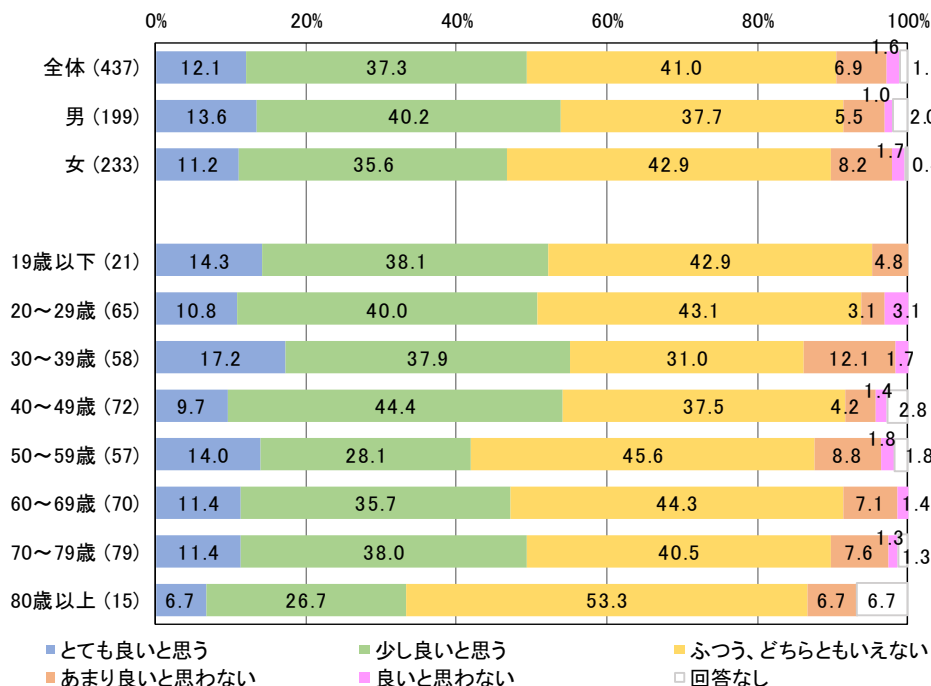


東浦町の環境に対する認知・考え

<東浦町の環境に対する考えなど>

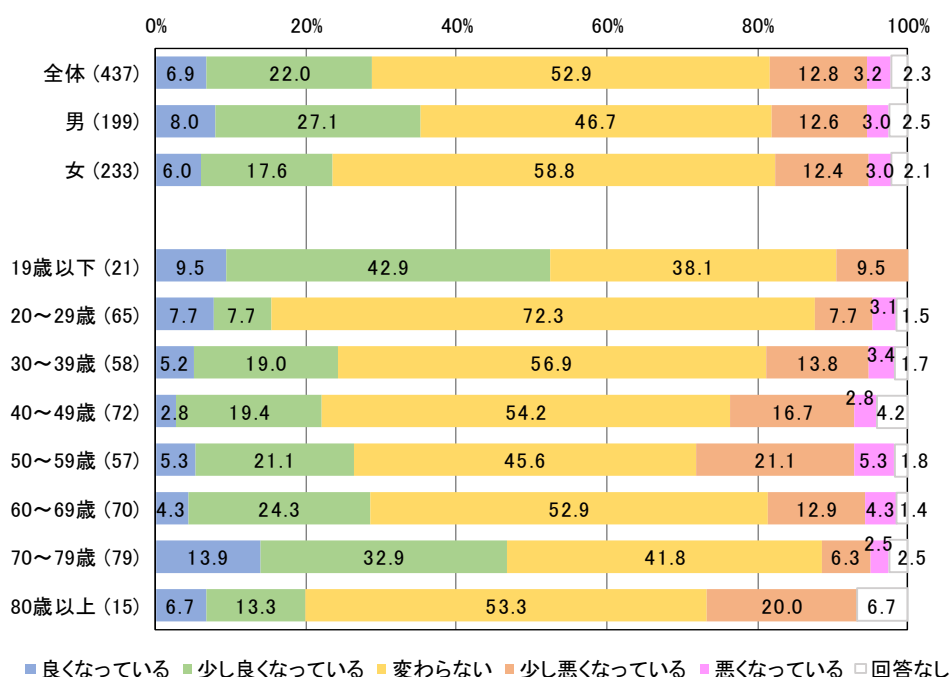
(1) 東浦町の現在の環境

- ・東浦町の現在の環境について、「とても良いと思う」(12.1%)と「少し良いと思う」(37.3%)を合わせると49.4%となる。
- ・年齢別でみると30～39歳や40～49歳で他の世代より評価が高くなっている。



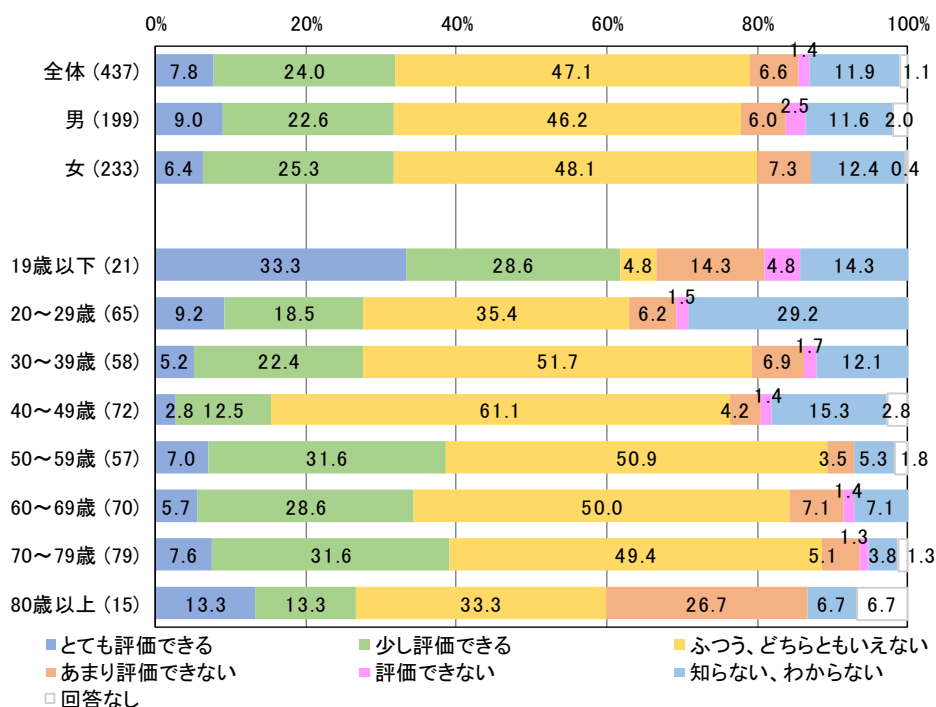
(2) 東浦町の最近の環境の変化

- ・東浦町の最近の環境の変化について、「良くなっている」(6.9%)と「少し良くなっている」(22.0%)を合わせると28.9%となる。



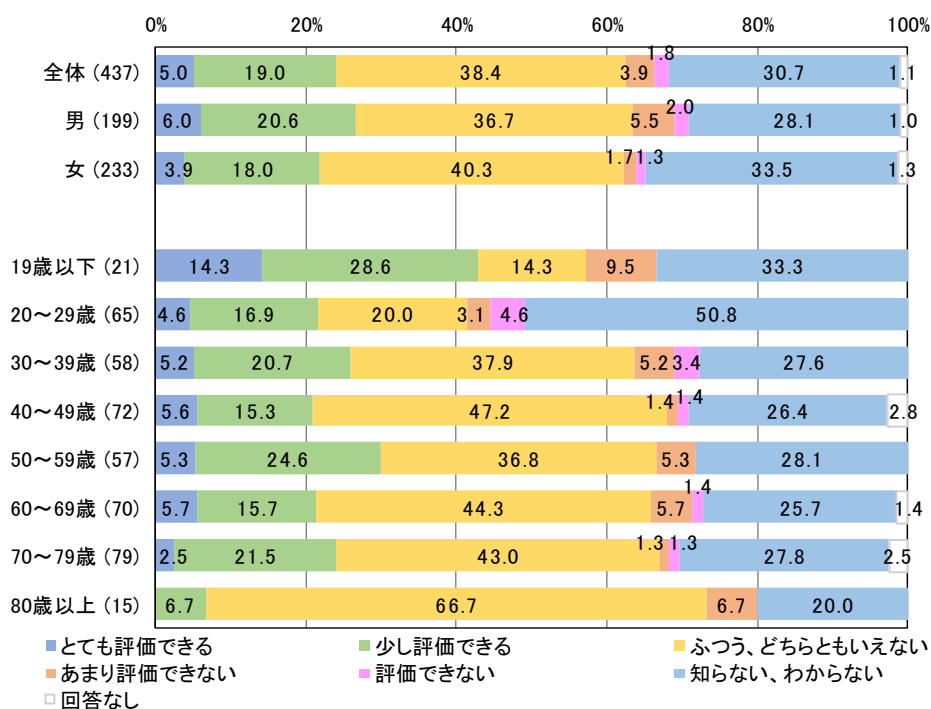
(3) 環境を守ったり良くするための東浦町民や地域の取組

- ・東浦町において、環境を守ったり良くするための東浦町民や地域の取組に対して、「とても評価できる」(7.8%)と「少し評価できる」(24.0%)を合わせると31.8%となる。
- ・一方で、「知らない、わからない」は11.9%となっている。



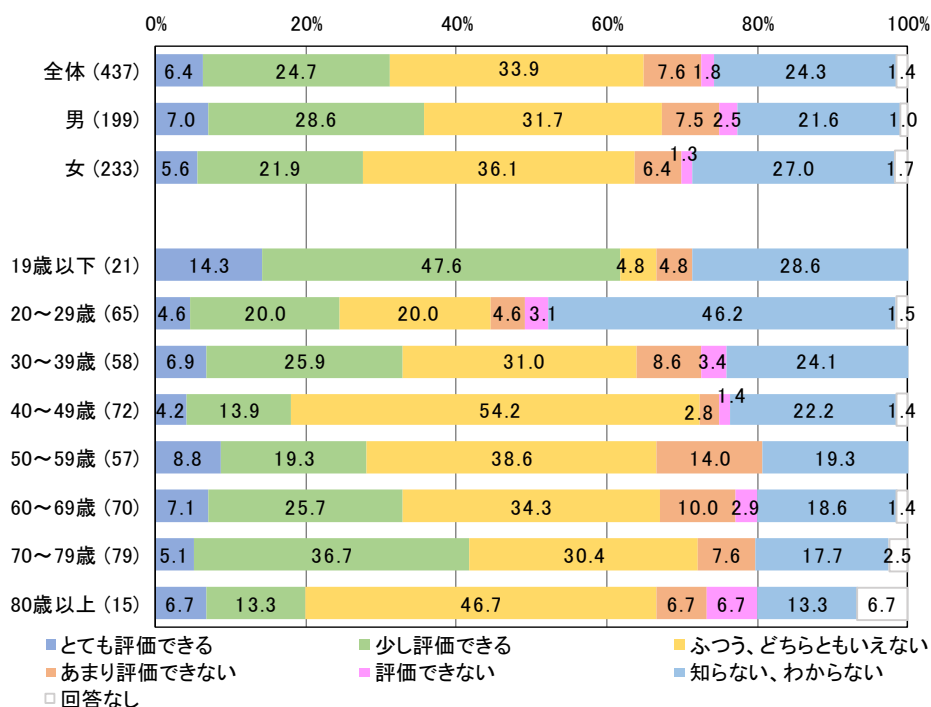
(4) 環境を守ったり良くするための東浦町の企業や事業者の取組

- ・東浦町において、環境を守ったり良くするための東浦町の企業や事業者の取組に対して、「とても評価できる」(5.0%)と「少し評価できる」(19.0%)を合わせると24.0%となる。
- ・しかし一方で、「知らない、わからない」は30.7%となっている。



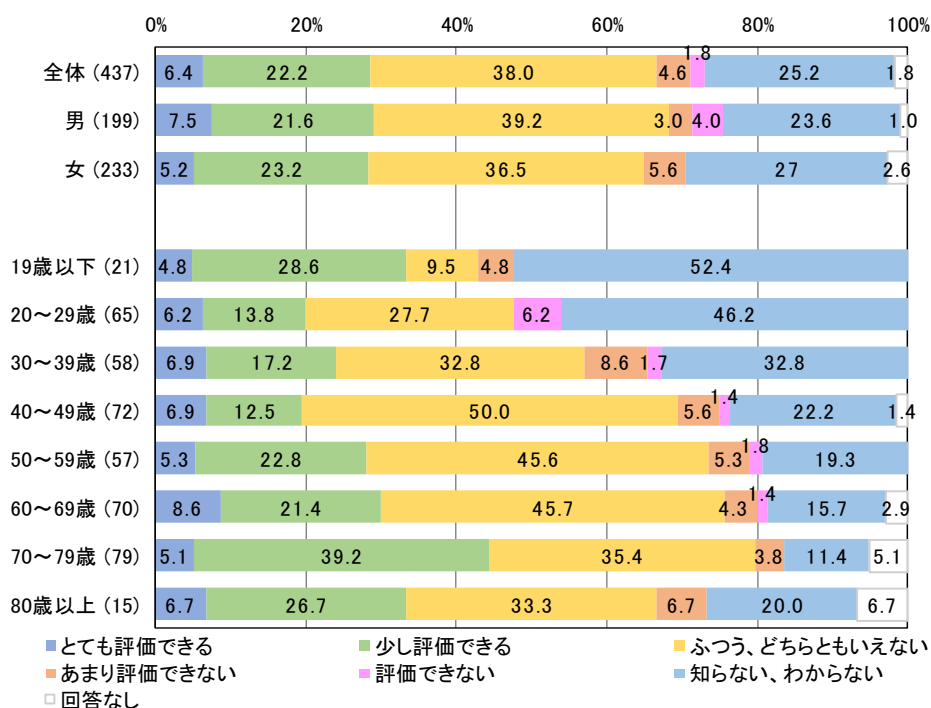
(5) 環境を守ったり良くするための東浦町の行政としての取組

- ・東浦町において、環境を守ったり良くするための東浦町の行政としての取組に対して、「とても評価できる」(6.4%)と「少し評価できる」(24.7%)を合わせると31.1%となる。
- ・しかし一方で、「知らない、わからない」は24.3%となっている。



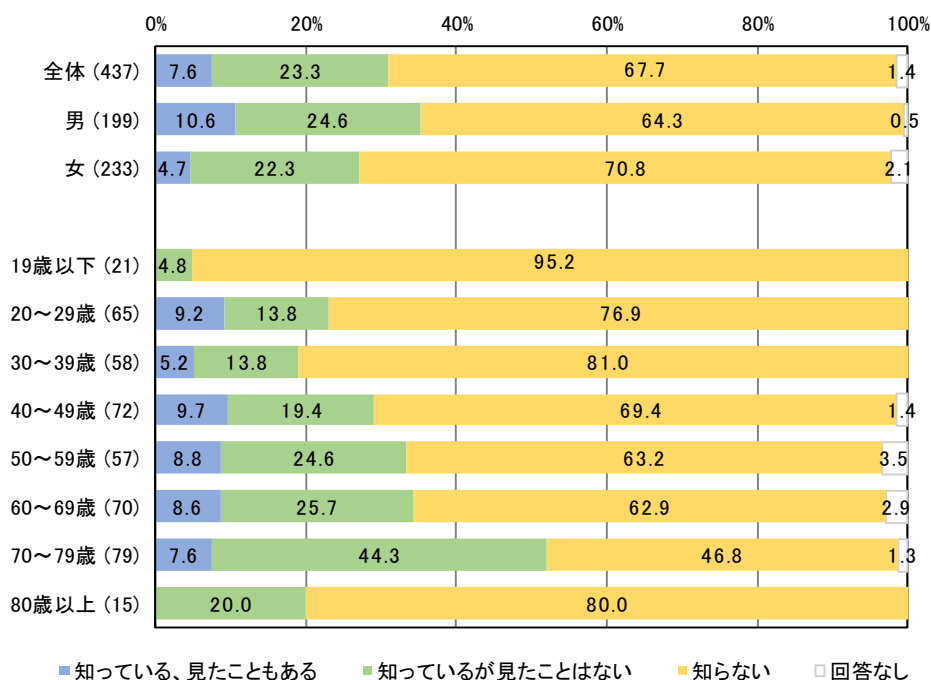
(6) 東浦町からの環境に関する情報発信

- ・東浦町からの環境に関する情報発信について、「とても評価できる」(6.4%)と「少し評価できる」(22.2%)を合わせると28.6%となる。
- ・一方で、「知らない、わからない」は25.2%となっている。



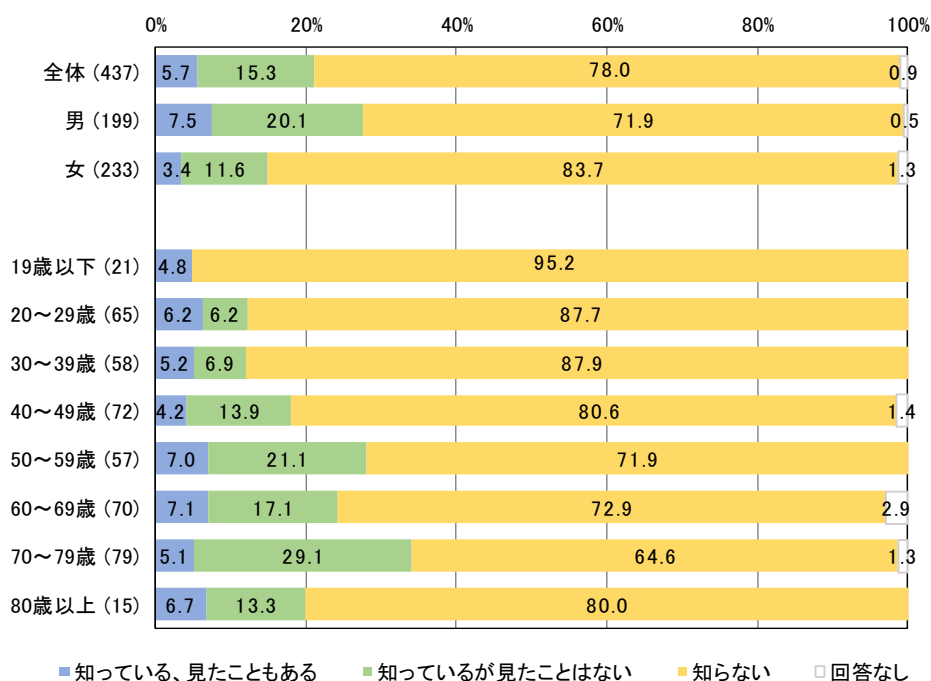
(7) 東浦町の環境を守る基本計画の認知度

- ・東浦町の環境を守る基本計画の存在について、「知っている、見たこともある」(7.6%)と「知っているが見たことはない」(23.3%)を合わせて 30.9%となる半面、「知らない」が 67.7%となっている。



(8) 東浦町環境配慮指針（住民編）の認知度

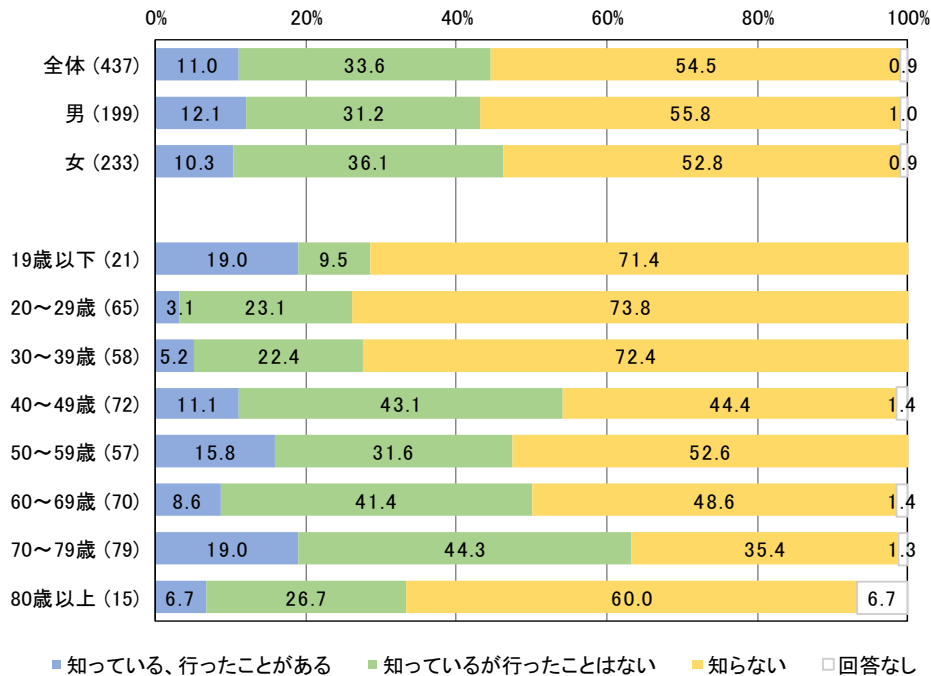
- ・東浦町環境配慮指針（住民編）の存在について、「知っている、見たこともある」(5.7%)と「知っているが見たことはない」(15.3%)を合わせても 21.0%となる半面、「知らない」が 78.0%となっている。



<東浦自然環境学習の森について>

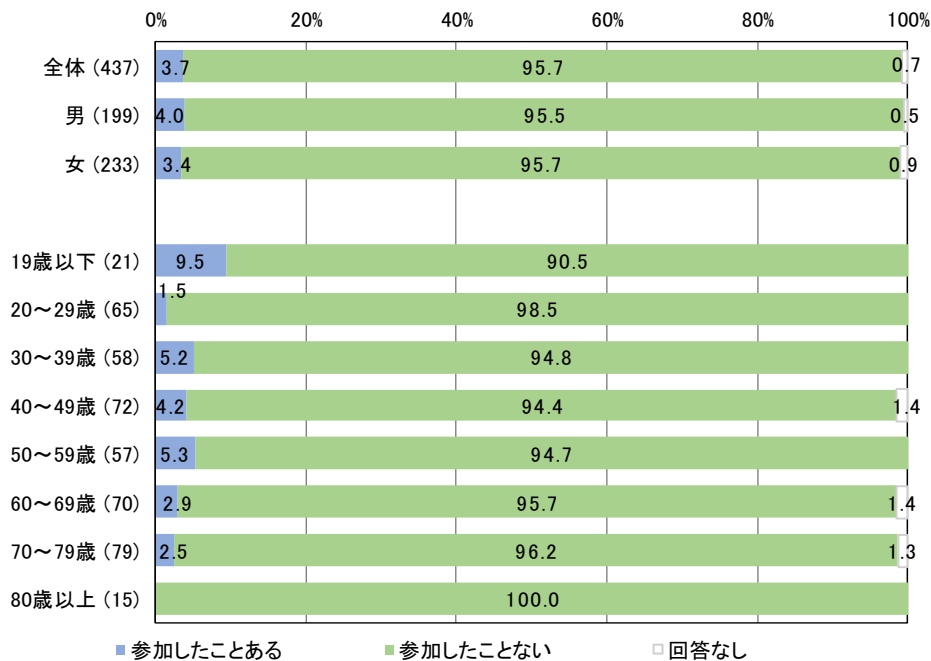
(1) 東浦自然環境学習の森の認知度

- ・東浦自然環境学習の森の存在について、「知っている、行ったことがある」(11.0%)と「知っているが行ったことはない」(33.6%)を合わせると44.6%となっているが、「知らない」(54.5%)の方が多くなっている。

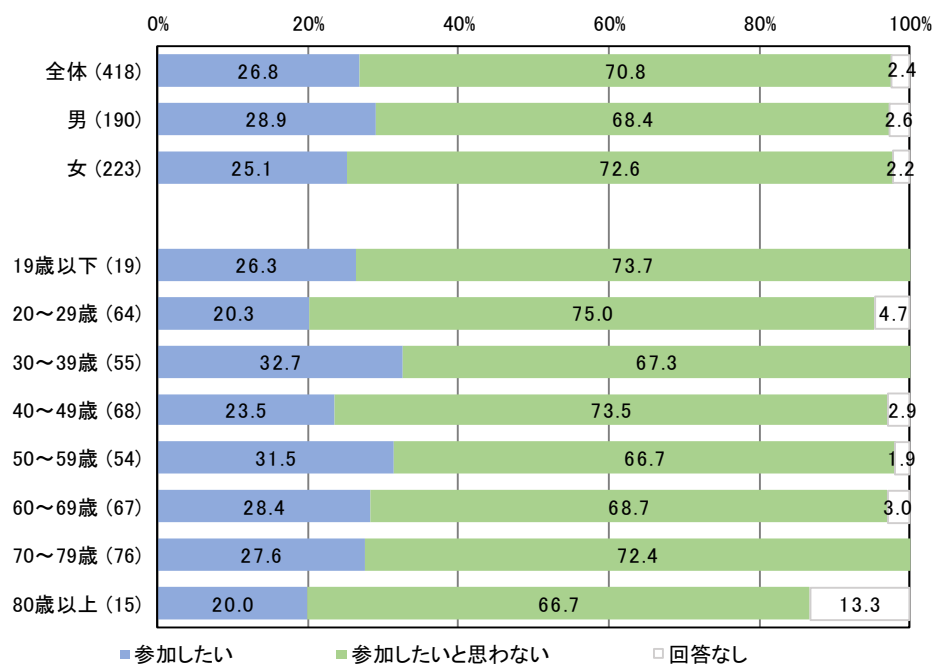


(2) 東浦自然環境学習の森での活動やイベントへの参加経験

- ・東浦自然環境学習の森での活動やイベントについて、「参加したことがある」は3.7%とごくわずかにとどまっている。

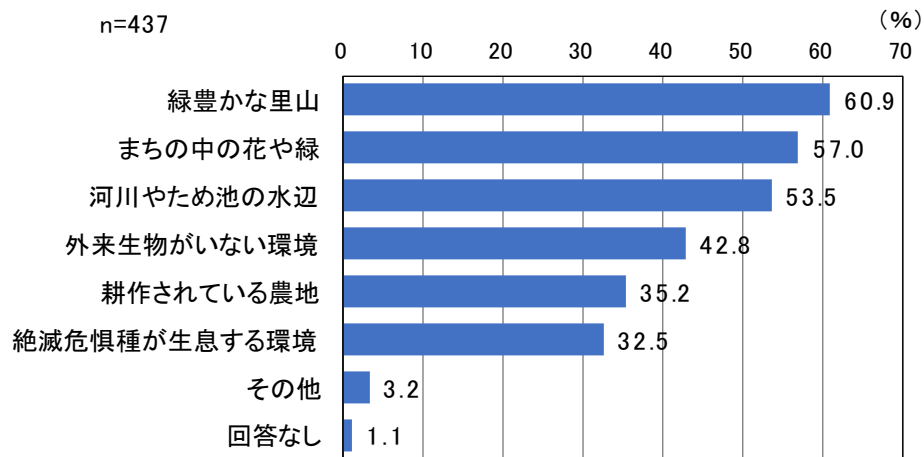


- ・「参加したことがない」とした回答者に対して、今後の参加意向をたずねたところ、「参加したい」と回答したのは26.8%であった。

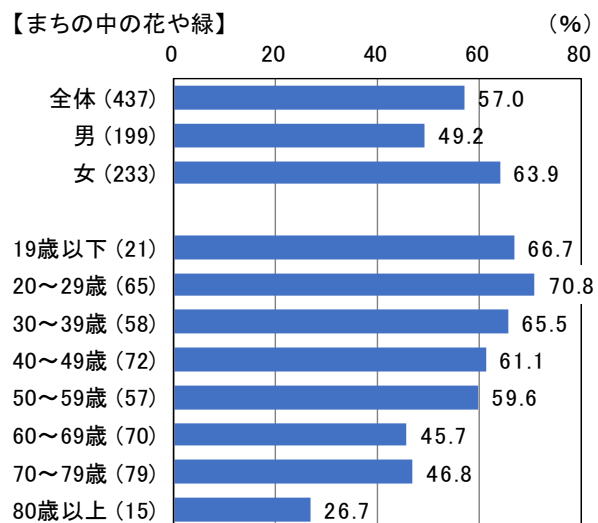
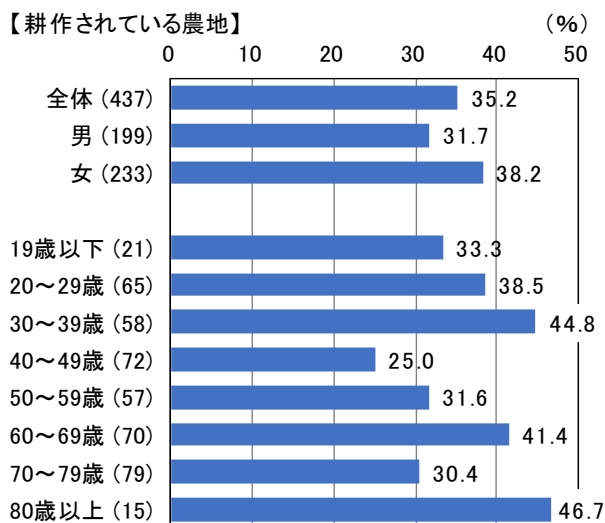
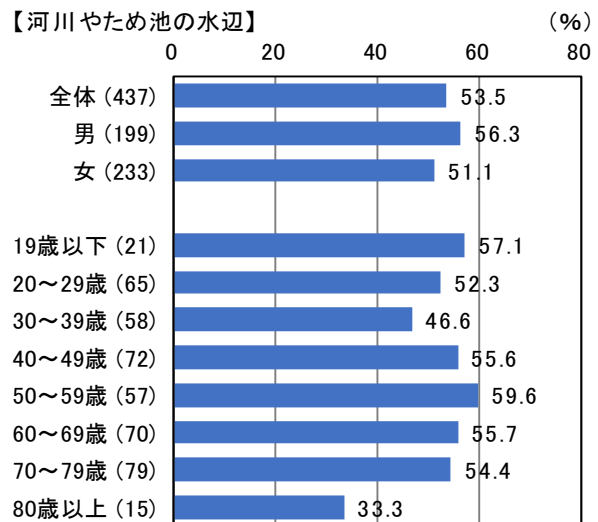
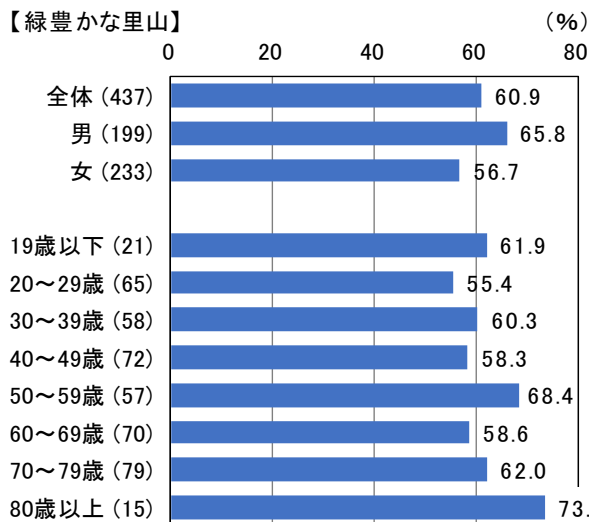


<東浦町の自然環境において大切なもの>

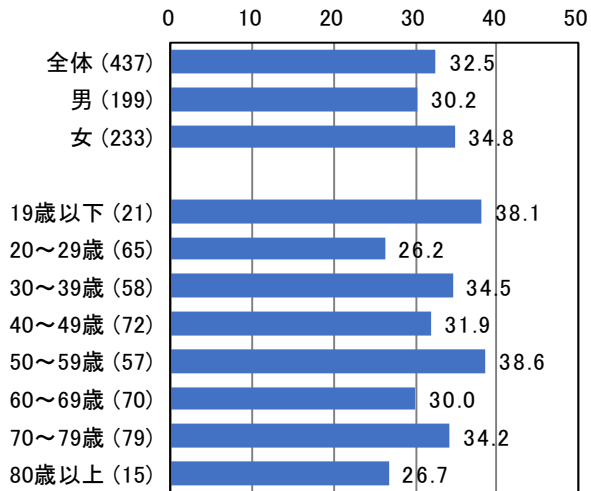
- ・東浦町の自然環境において大切だと思うものをたずねたところ、「緑豊かな里山」(60.9%)が最も多く、「まちの中の花や緑」(57.0%)、「河川やため池の水辺」(53.5%)と続いた。



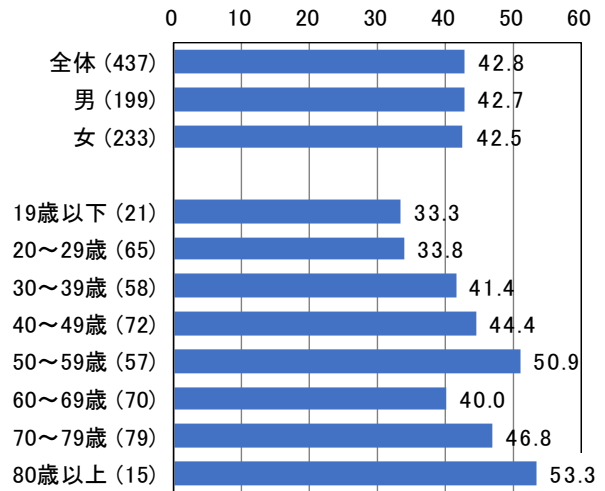
- ・項目別のクロス集計は以下のとおり。



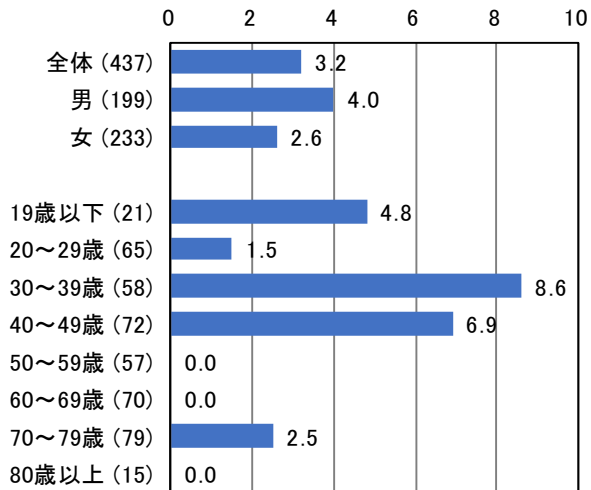
【絶滅危惧種が生息する環境】 (%)



【外来生物がいない環境】 (%)



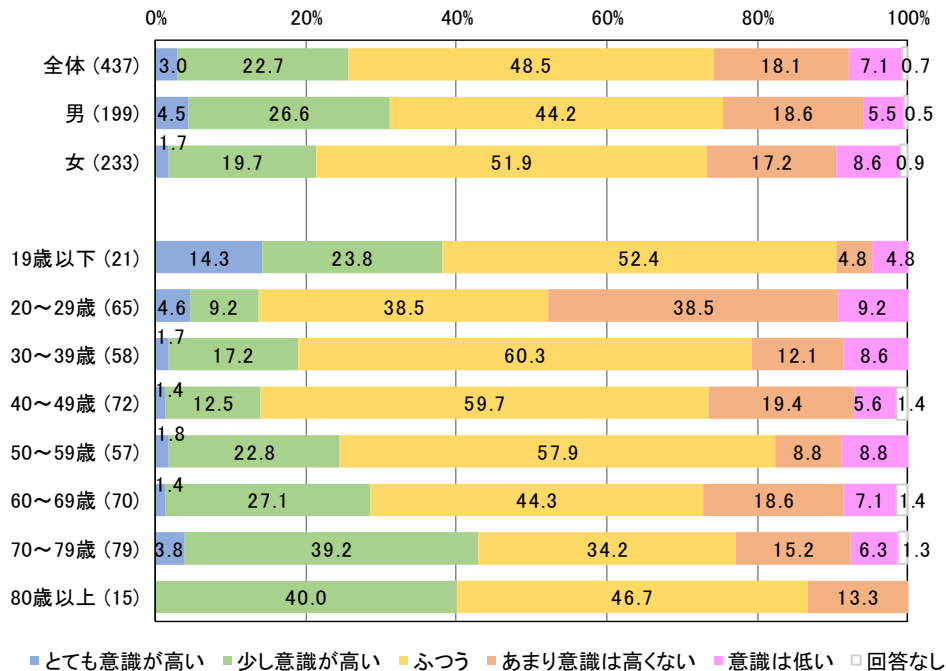
【その他】 (%)



<環境に対する意識・行動>

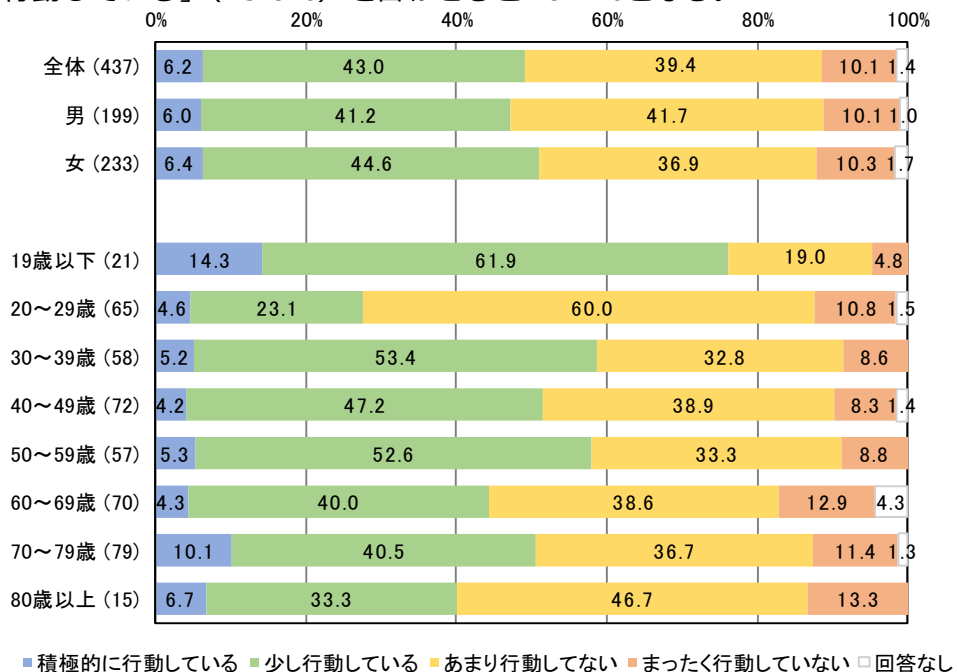
(1) 環境に対する意識

- ・環境に対する意識をたずねたところ、「とても意識が高い」(3.0%)と「少し意識が高い」(22.7%)を合わせると25.7%となり、「あまり意識が高くない」(18.1%)と「意識は低い」(7.1%)を合わせた回答とほぼ同じ割合となった。



(2) 環境を守ったり良くするための行動

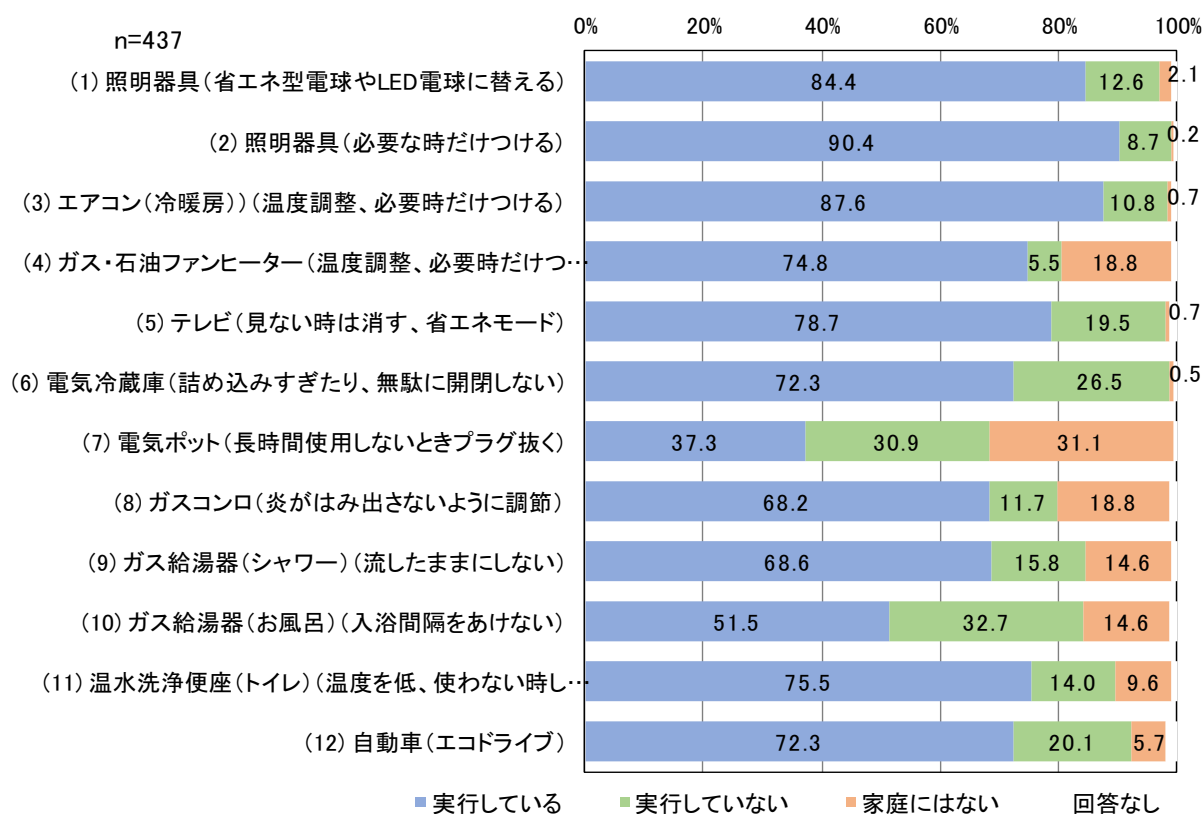
- ・環境を守ったり良くするための行動の状況たずねたところ、「積極的に行動している」(6.2%)と「少し行動している」(43.0%)を合わせると49.2%となる。



環境に貢献する行動・考え

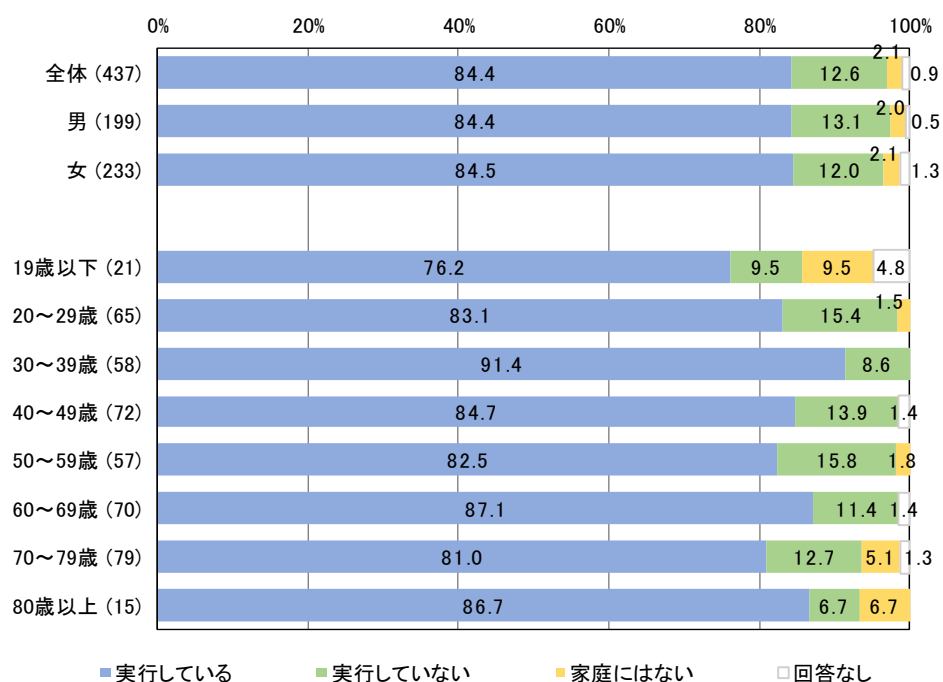
<日頃行っている省エネルギーの取組>

・日頃行っている省エネルギーの取組をたずねたところ、「実行している」という回答が最も多かったのは、(2) 照明器具（必要な時だけ照明をつける）(90.4%)、(3) エアコン（冷暖房）（温度調整に配慮したり、必要な時だけつける）(87.6%)、(1) 照明器具（省エネ型の電球や LED 電球に替える）(84.4%) の順になっている。

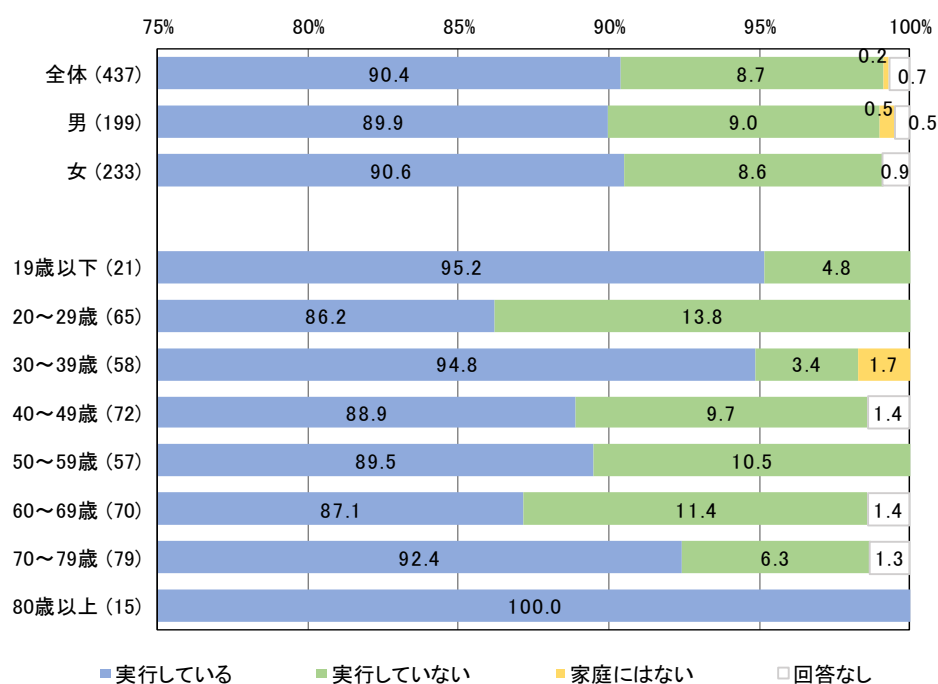


・項目別のクロス集計は以下のとおり。

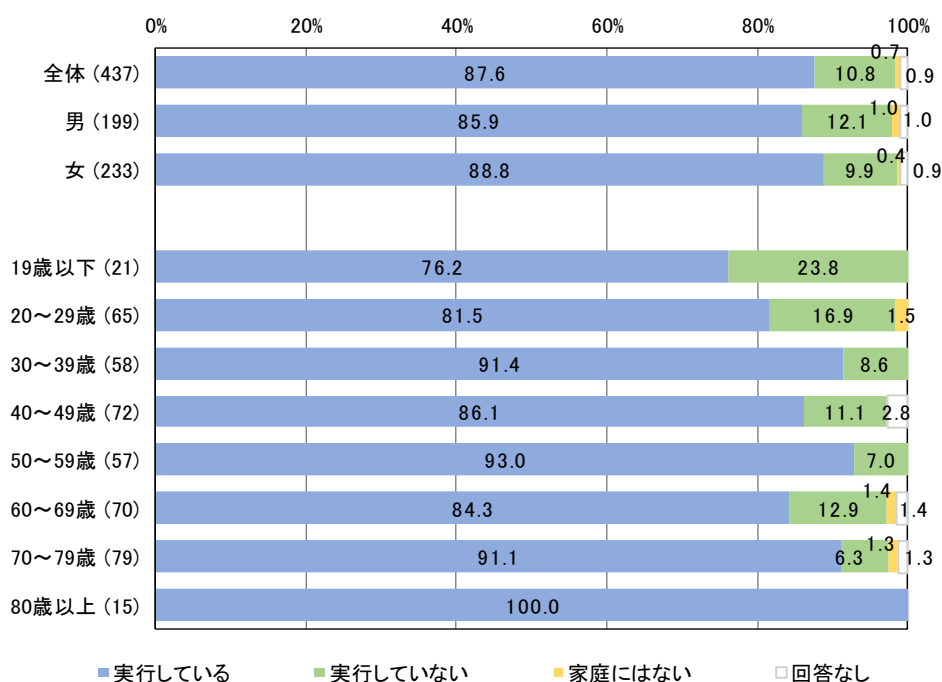
(1) 照明器具（省エネ型の電球やLED電球に替える）



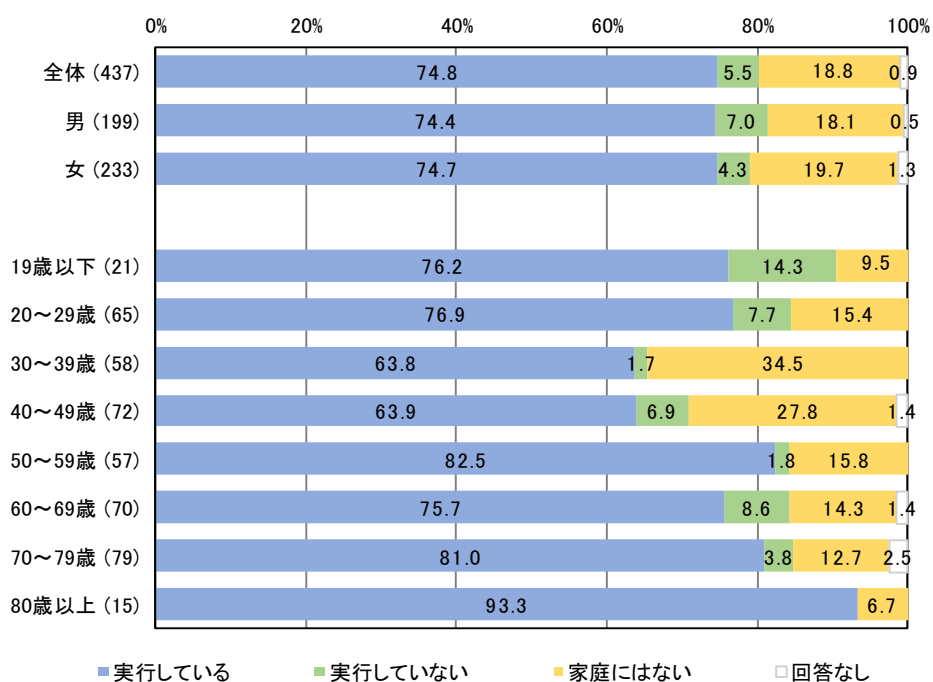
(2) 照明器具（必要な時だけ照明をつける）



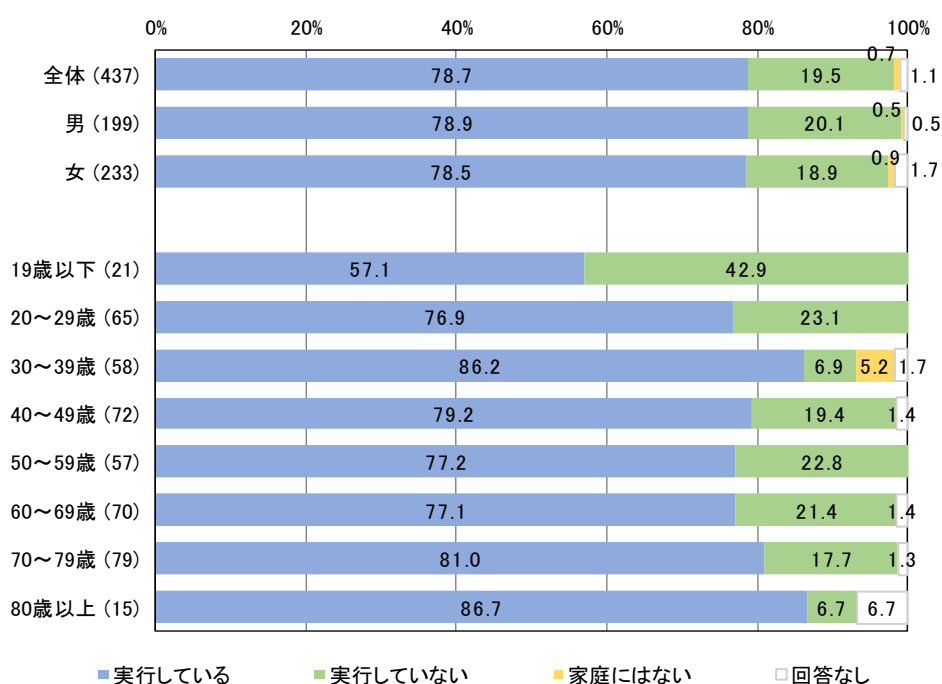
(3) エアコン（冷暖房）（温度調整に配慮したり、必要な時だけつける）



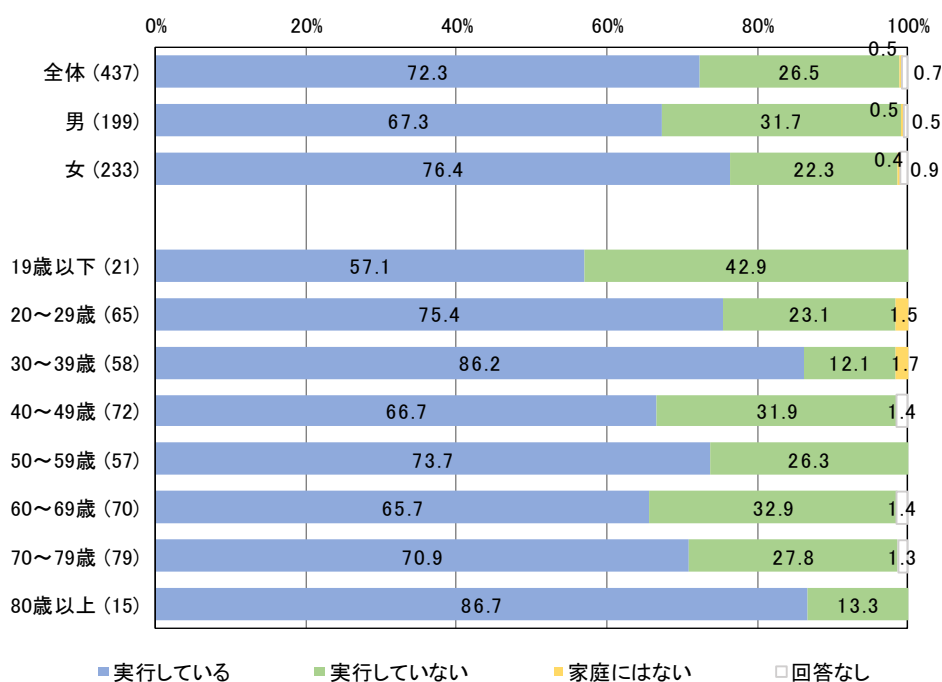
(4) ガス・石油ファンヒーター（温度調整に配慮したり、必要な時だけつける）



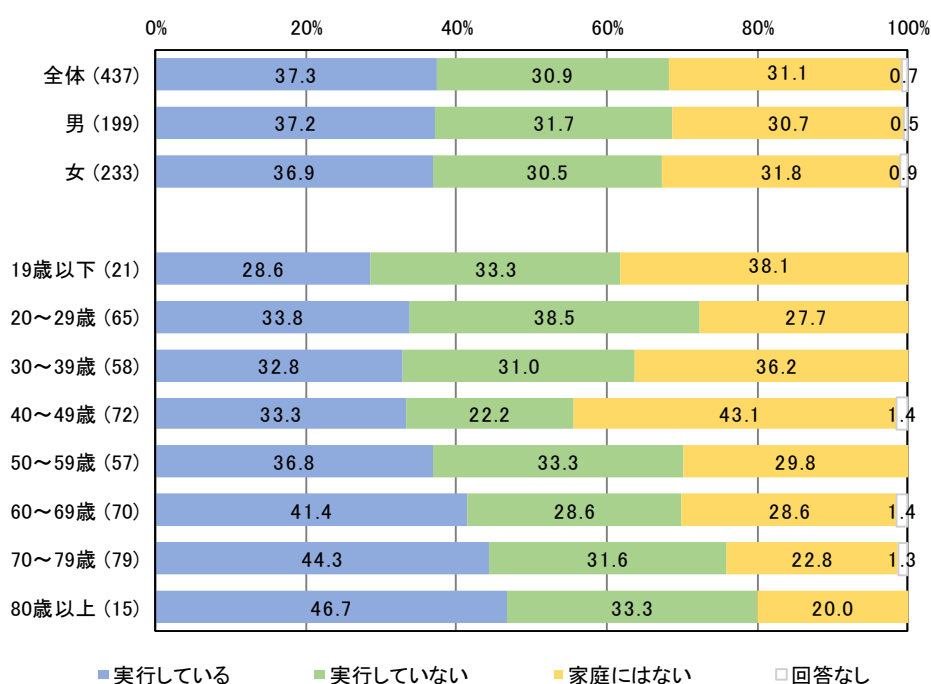
(5) テレビ（見ない時は消したり、省エネモードにする）



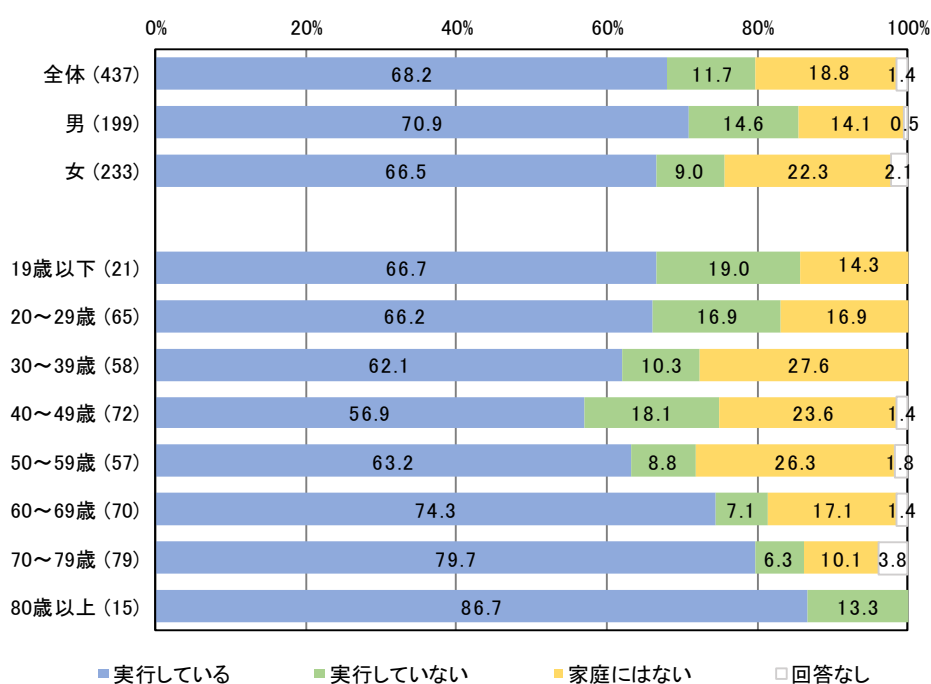
(6) 電気冷蔵庫（詰め込みすぎたり、無駄に開閉しない）



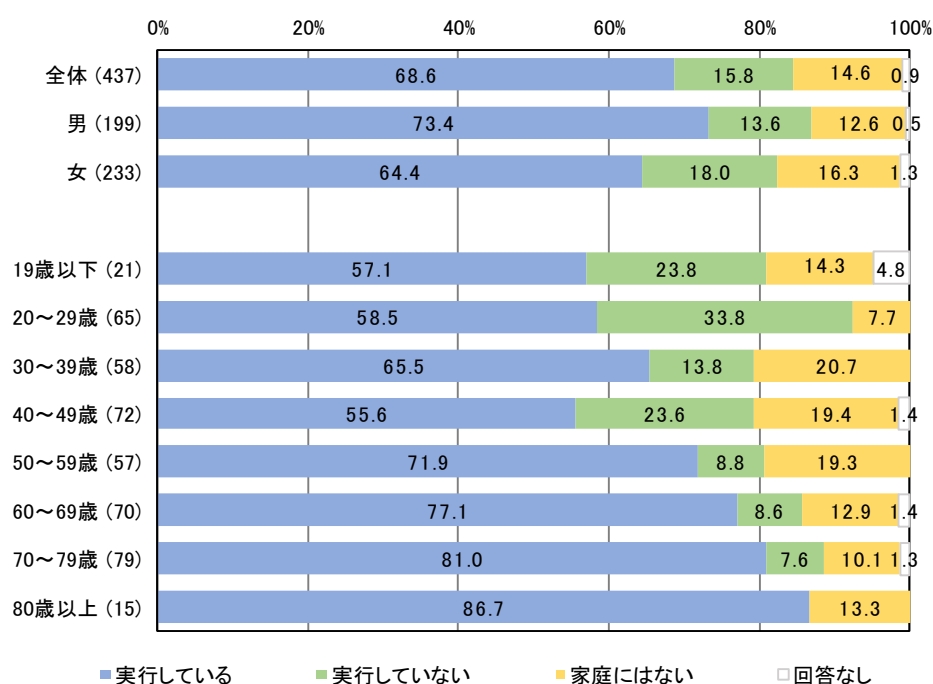
(7) 電気ポット（長時間使用しないときはプラグを抜く）



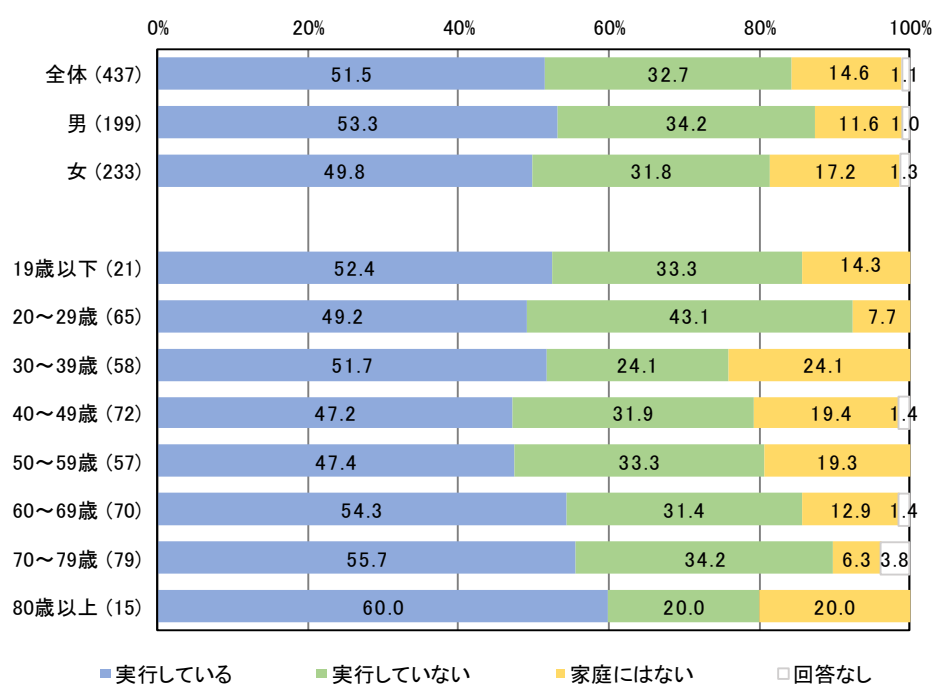
(8) ガスコンロ（炎が鍋底からはみ出さないように調節する）



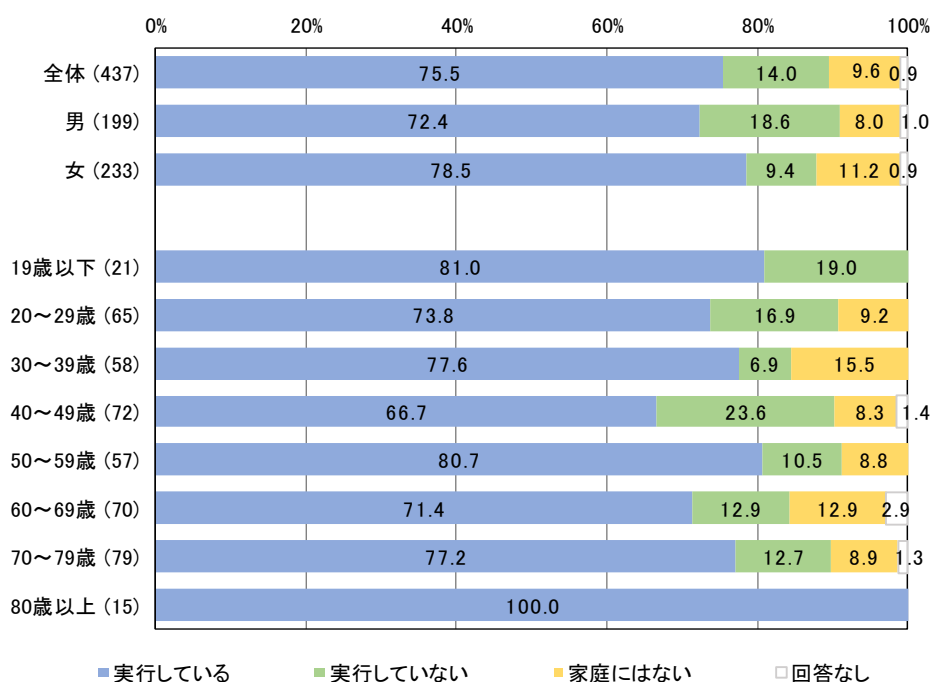
(9) ガス給湯器（シャワー）（流したままにしない）



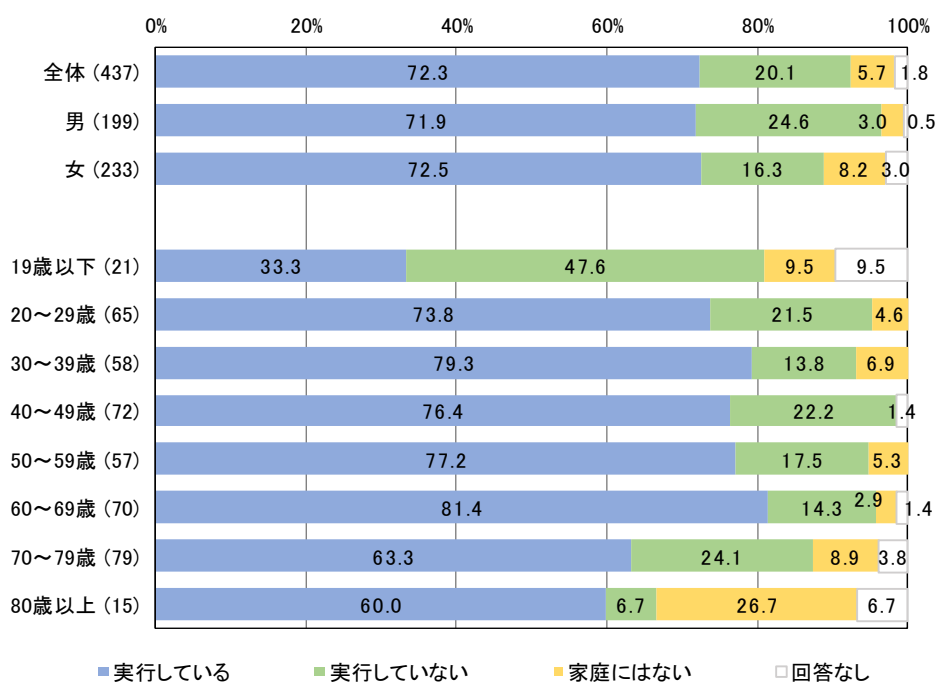
(10) ガス給湯器（お風呂）（入浴間隔をあけない）



(11) 温水洗浄便座（トイレ）（温度を低くしたり、使わない時はフタをしめる）

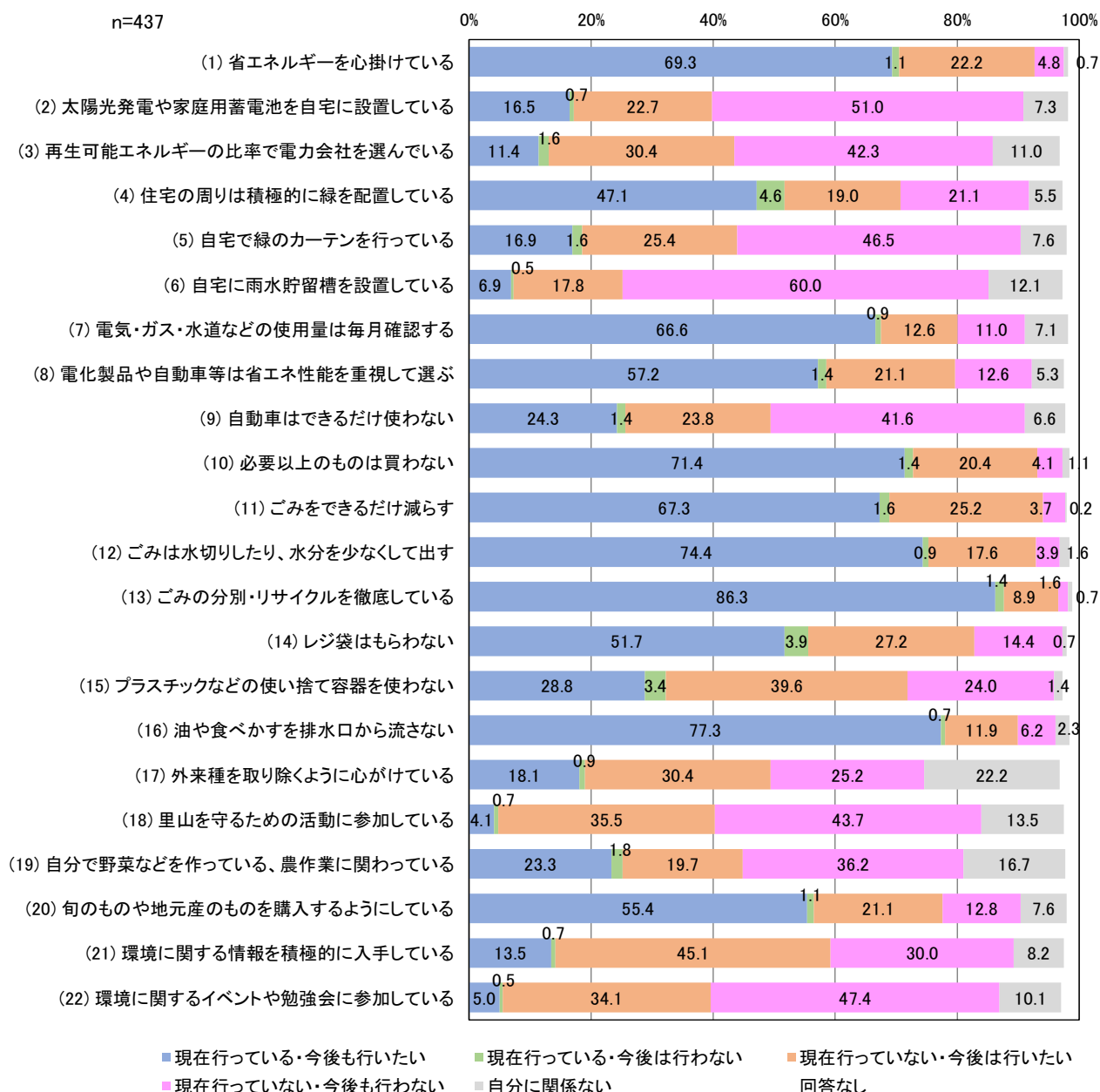


(12) 自動車（エコドライブを心掛ける）



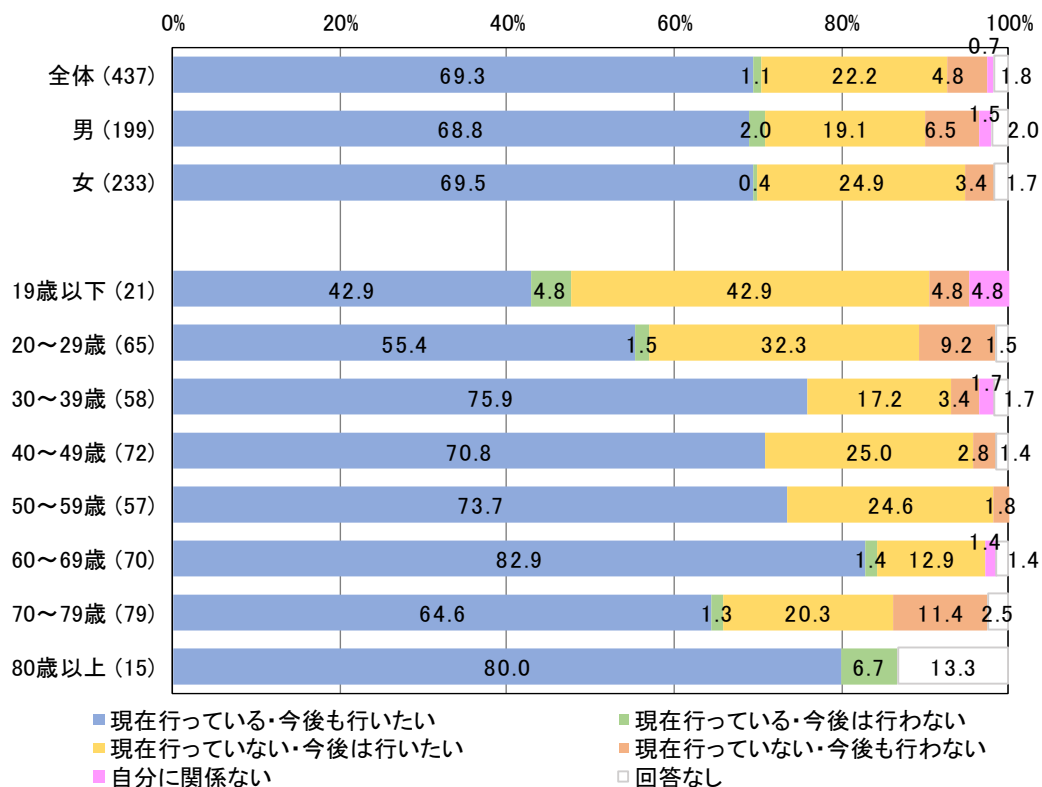
<環境に貢献する取組>

- ・環境に貢献する取組について取組の状況をたずねたところ、「現在も行っている・今後も行いたい」が最も多いのは、(13) ごみの分別・リサイクルを徹底している(86.3%)が最も多く、次いで(16) 油や食べかすを排水口から流さない(77.3%)、(12) ごみは水切りしたり、水分を少なくして出す(74.4%)となっている。
- ・一方、「現在も行っている・今後も行いたい」が少ないのは、(18) 里山を守るための活動に参加している(4.1%)、(22) 環境に関するイベントや勉強会に参加している(5.0%)、(6) 自宅に雨水貯留槽を設置している(6.9%)の順になっている。

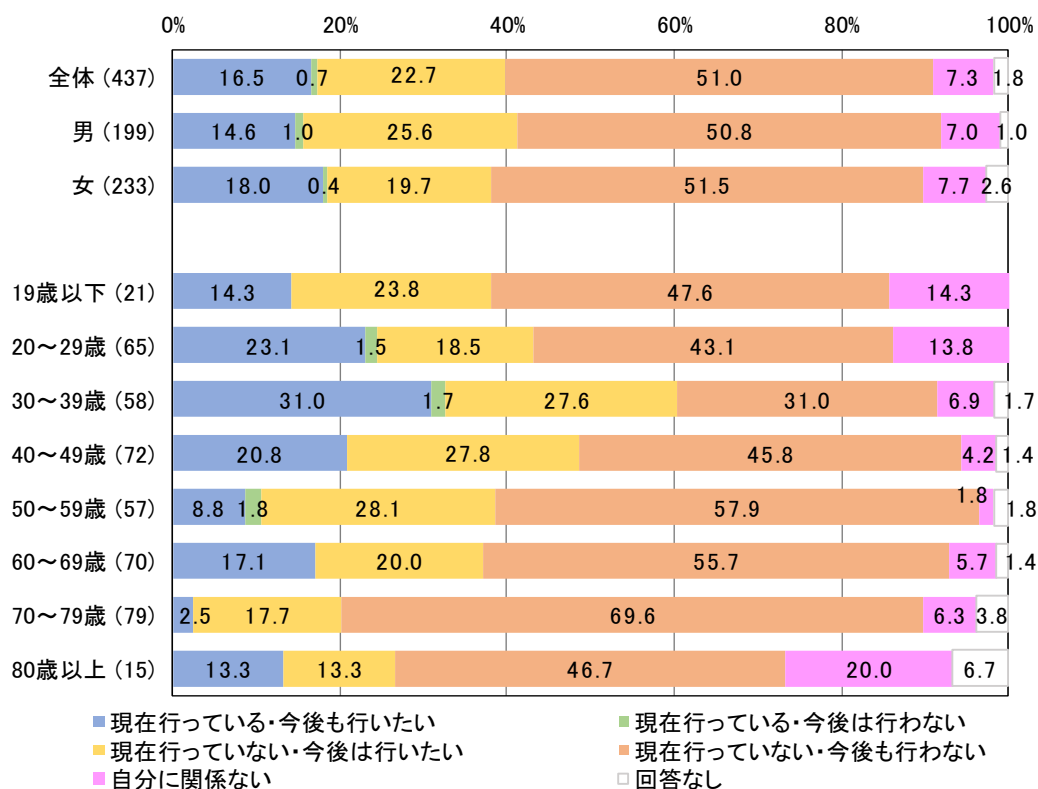


・項目別のクロス集計は以下のとおり。

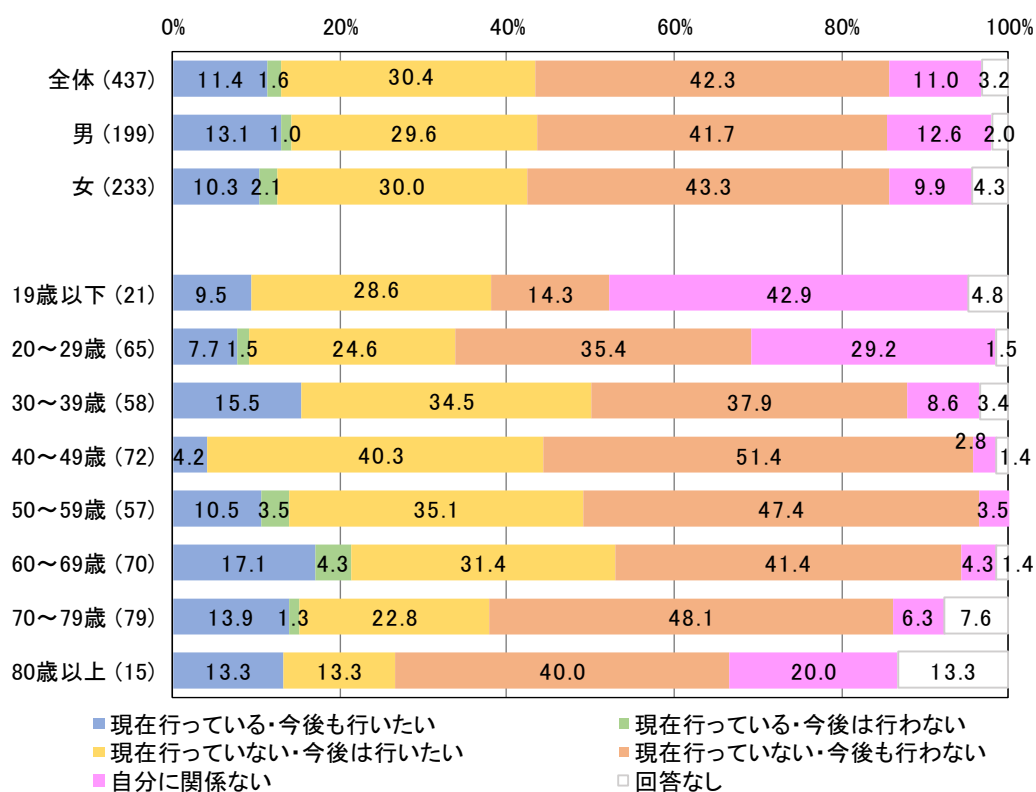
(1) 省エネルギーを心掛けている



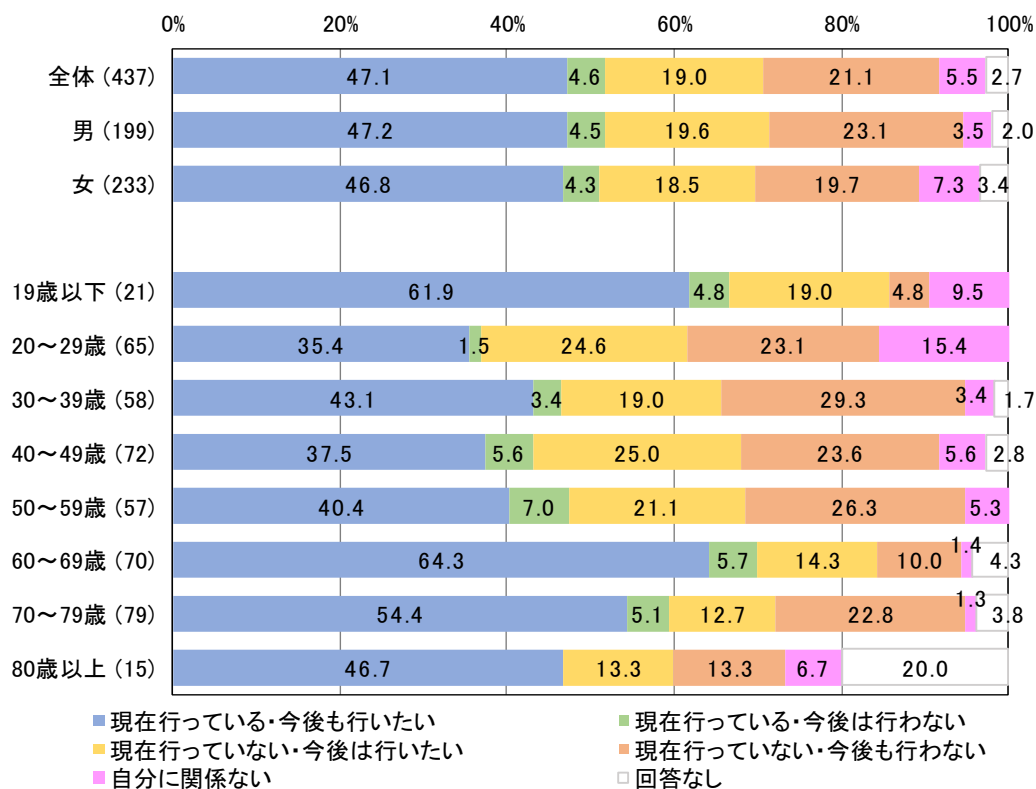
(2) 太陽光発電や家庭用蓄電池を自宅に設置している



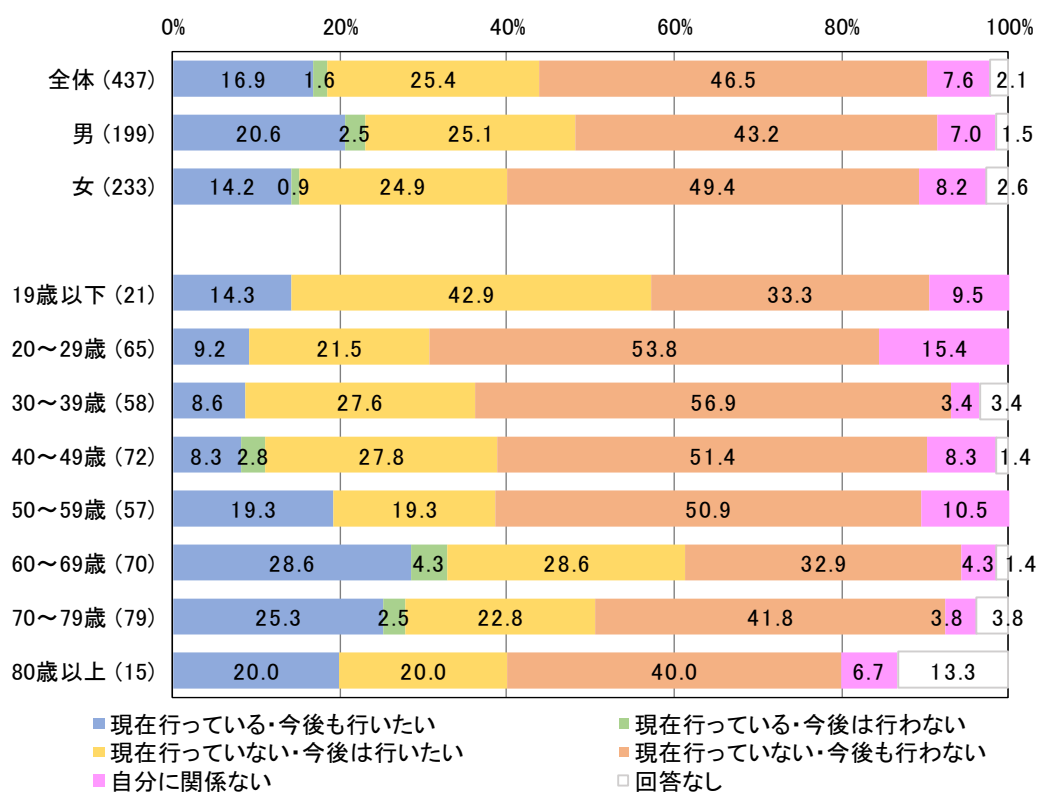
(3) 再生可能エネルギーの比率で電力会社を選んでいる



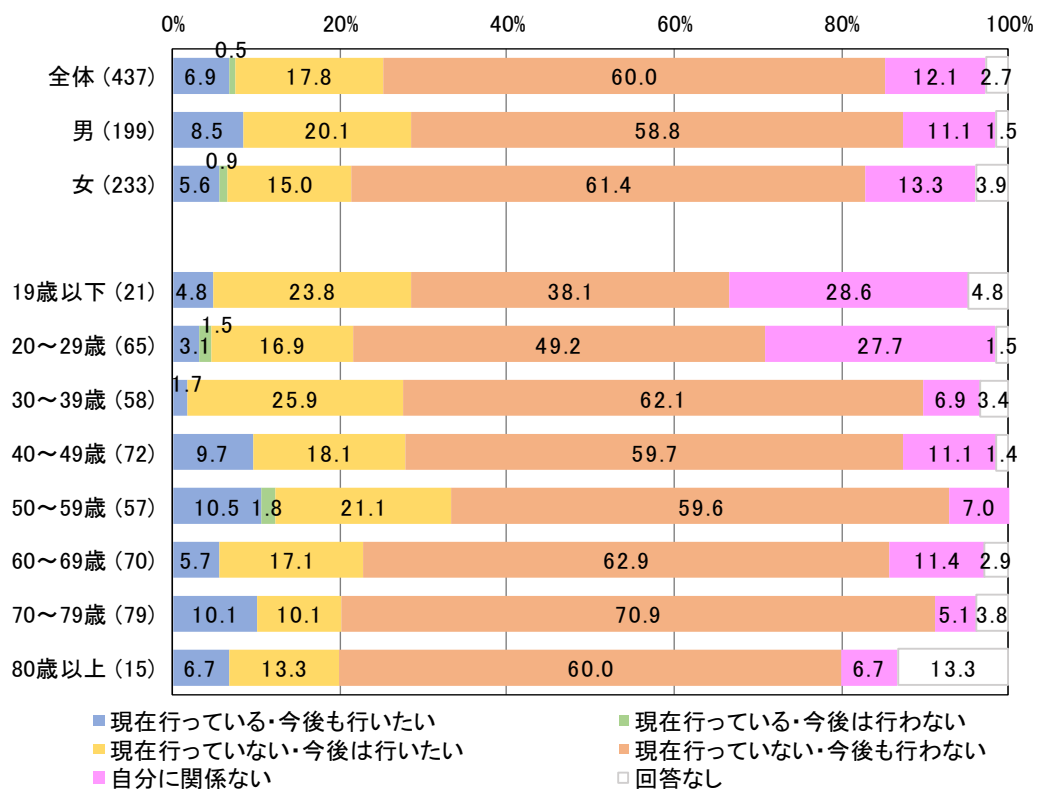
(4) 住宅の周りは積極的に緑を配置している



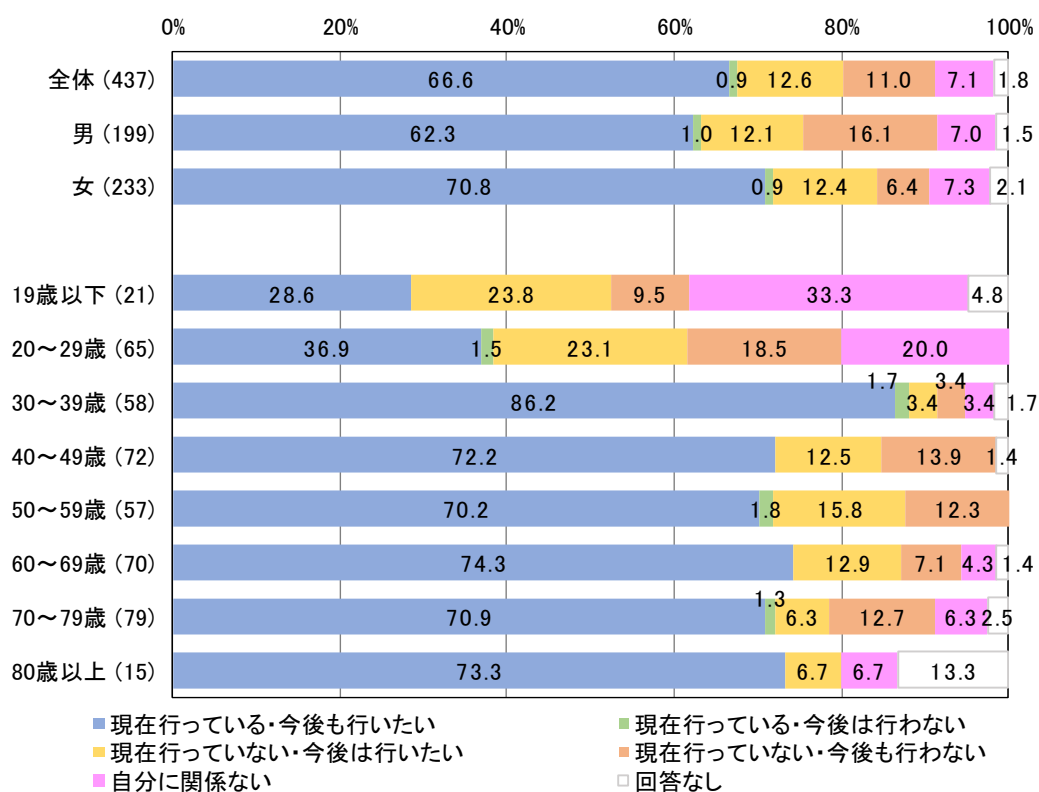
(5) 自宅で緑のカーテンを行っている



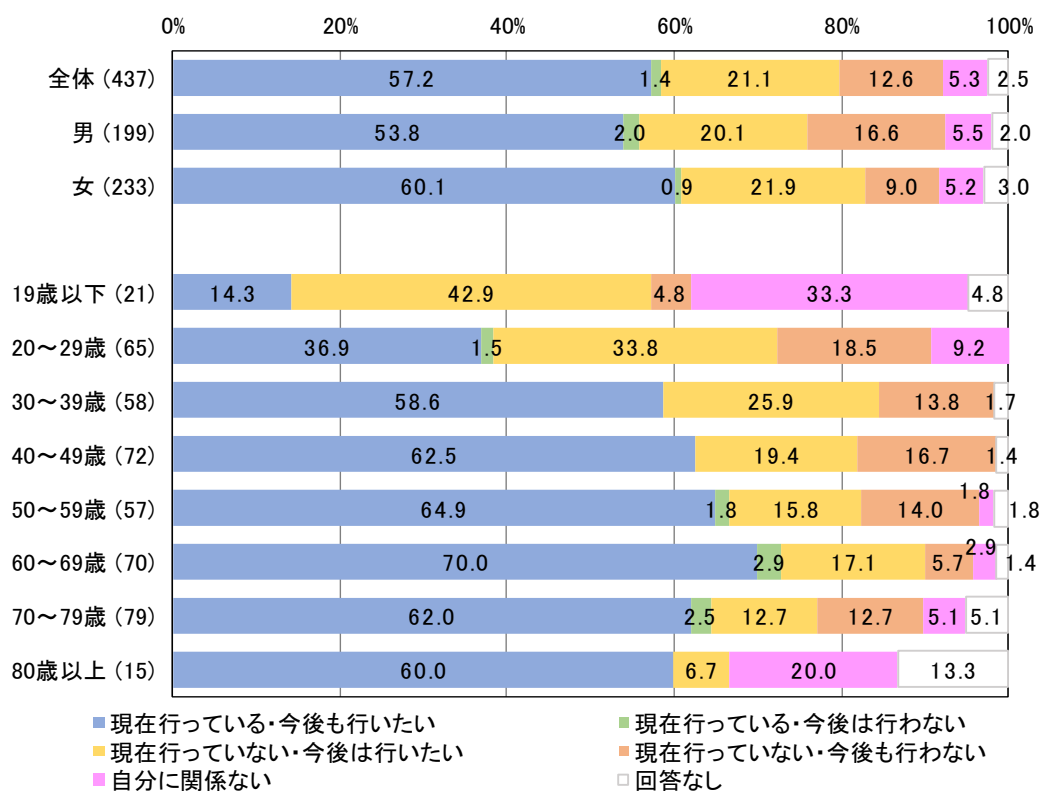
(6) 自宅に雨水貯留槽を設置している



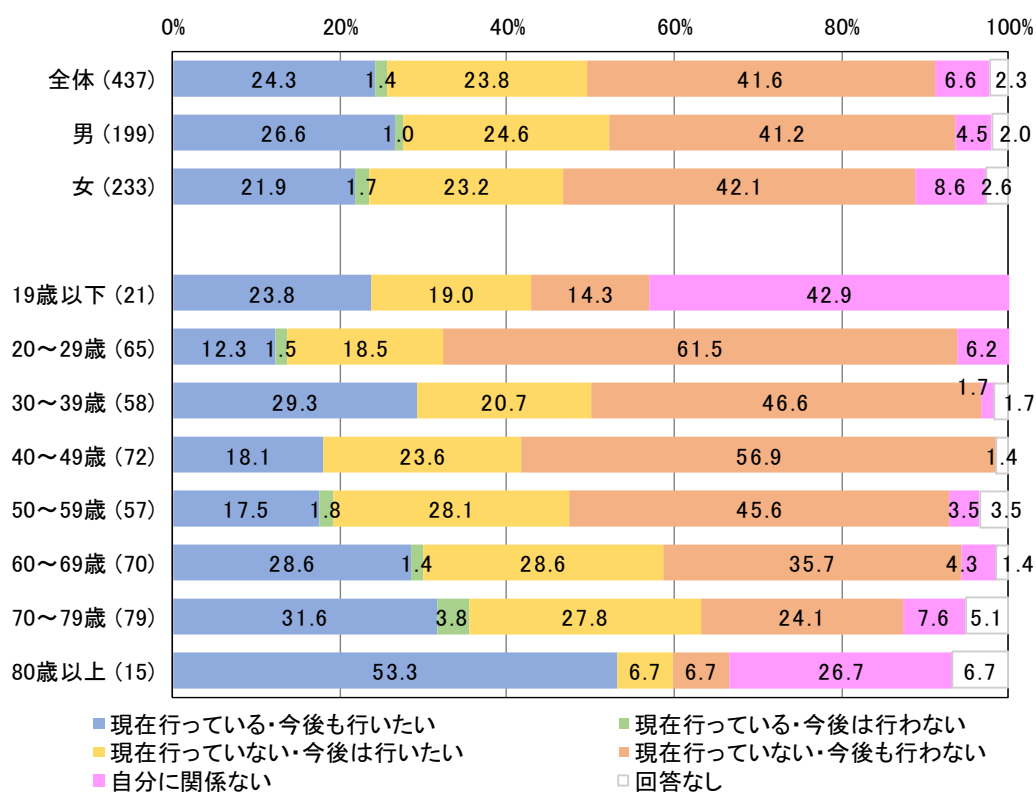
(7) 電気・ガス・水道などの使用量は毎月確認する



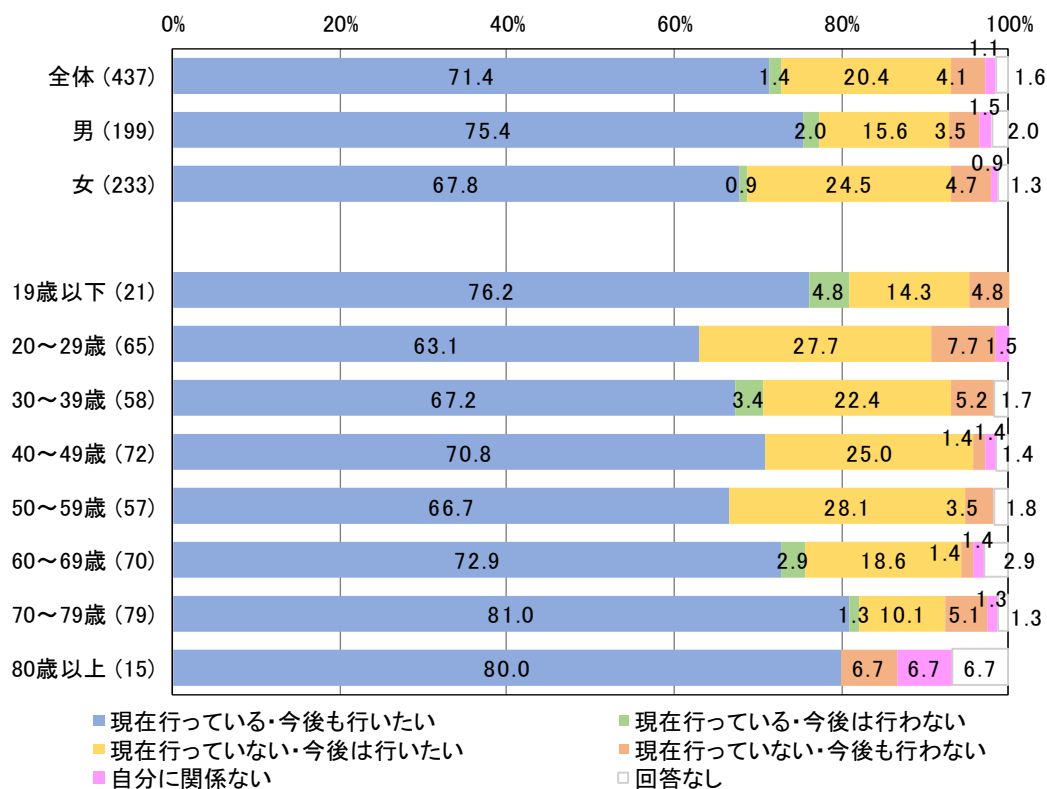
(8) 電化製品や自動車等は省エネ性能を重視して選ぶ



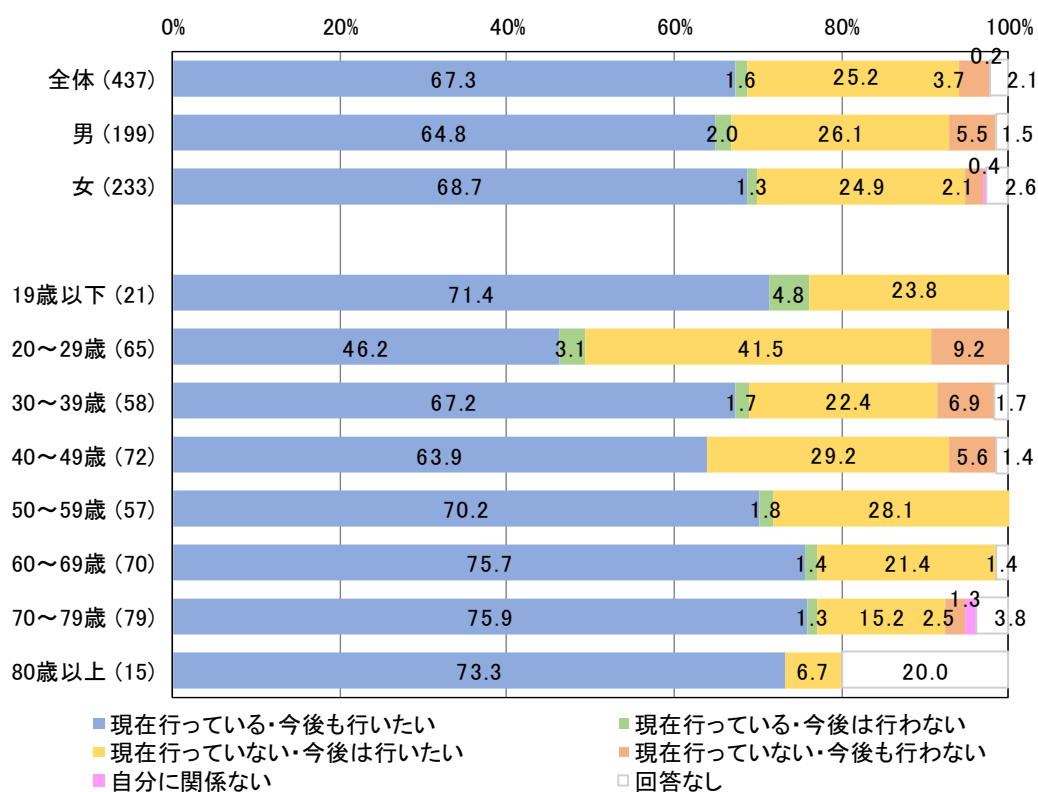
(9) 自動車はできるだけ使わない



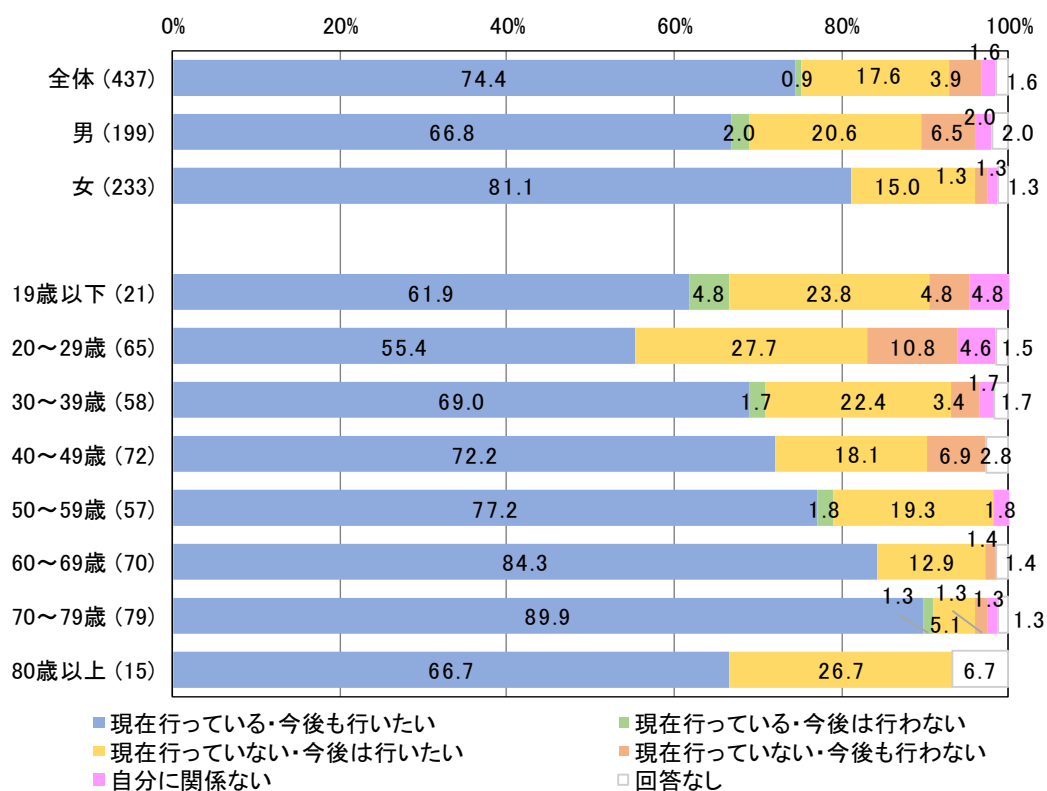
(10) 必要以上のものは買わない



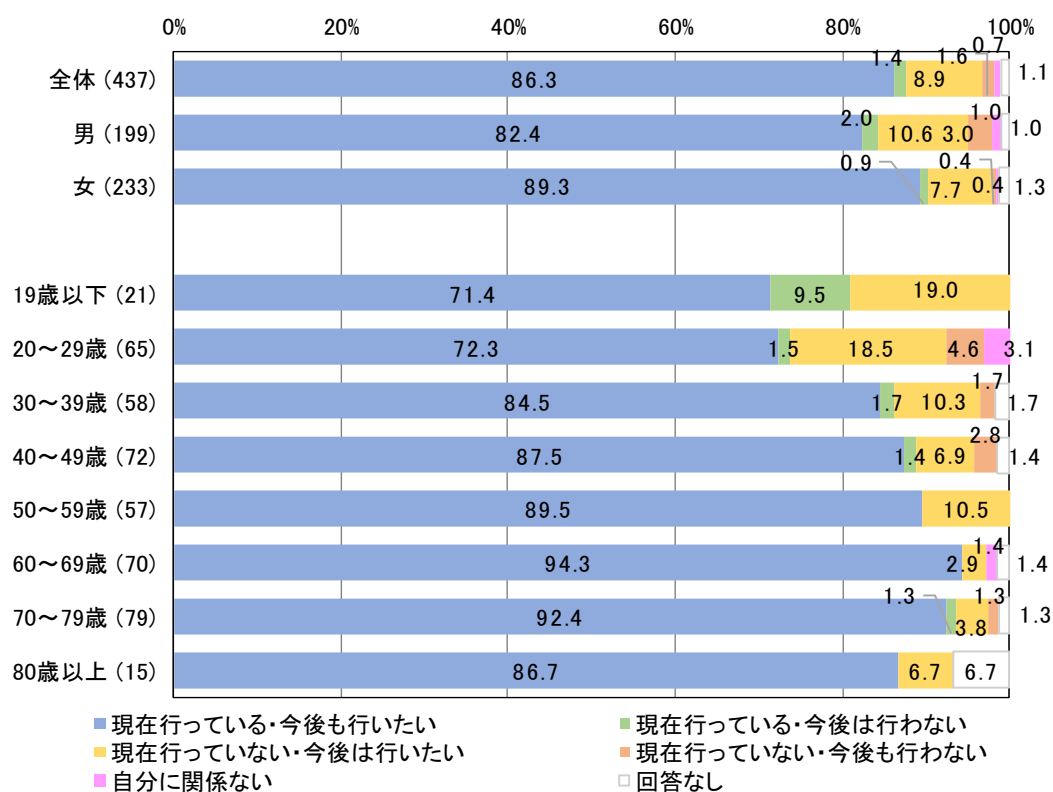
(11) ごみをできるだけ減らす



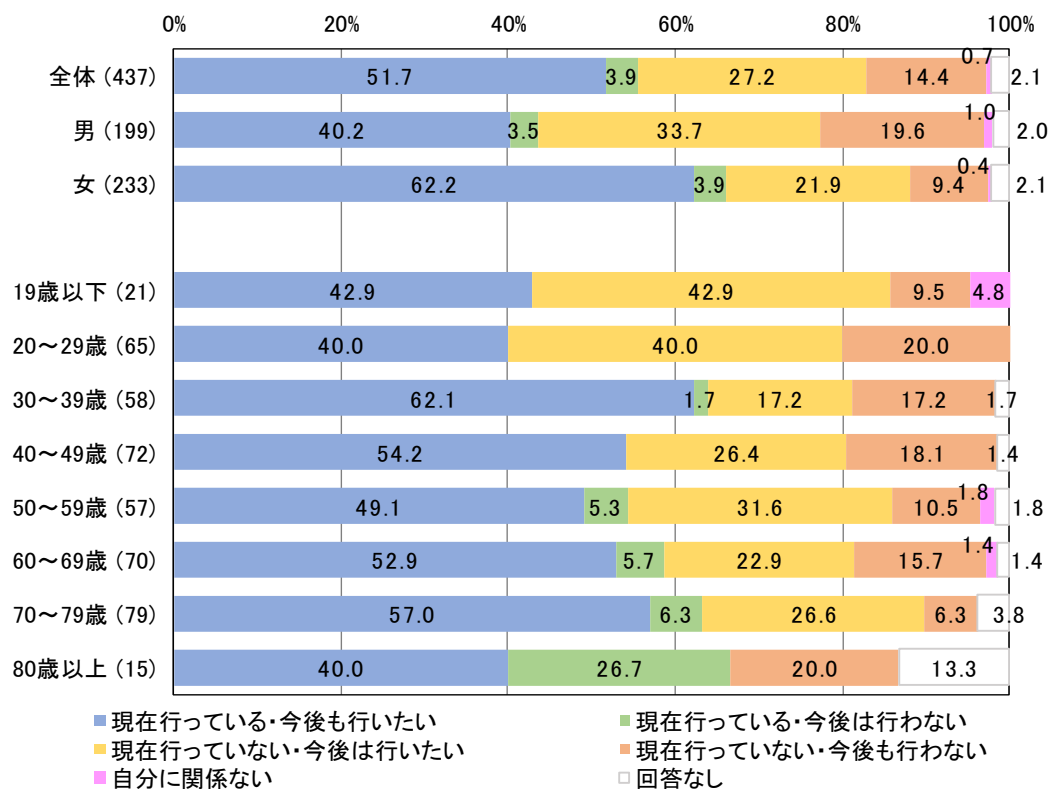
(12) ごみは水切りしたり、水分を少なくして出す



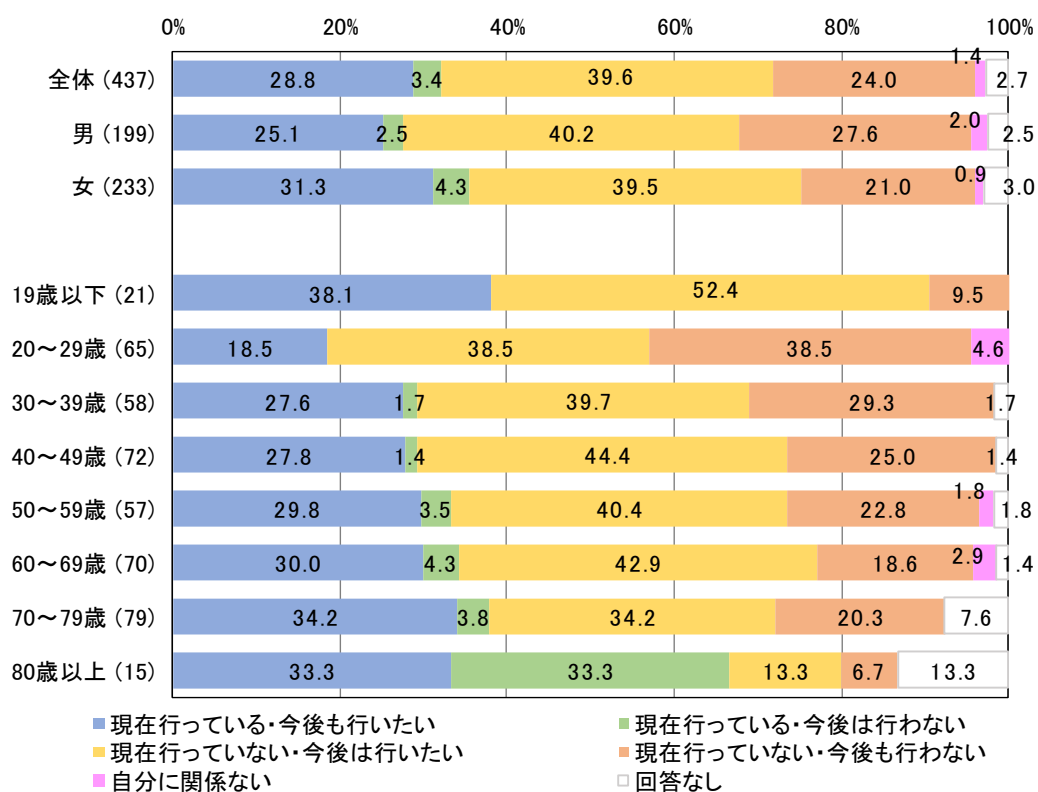
(13) ごみの分別・リサイクルを徹底している



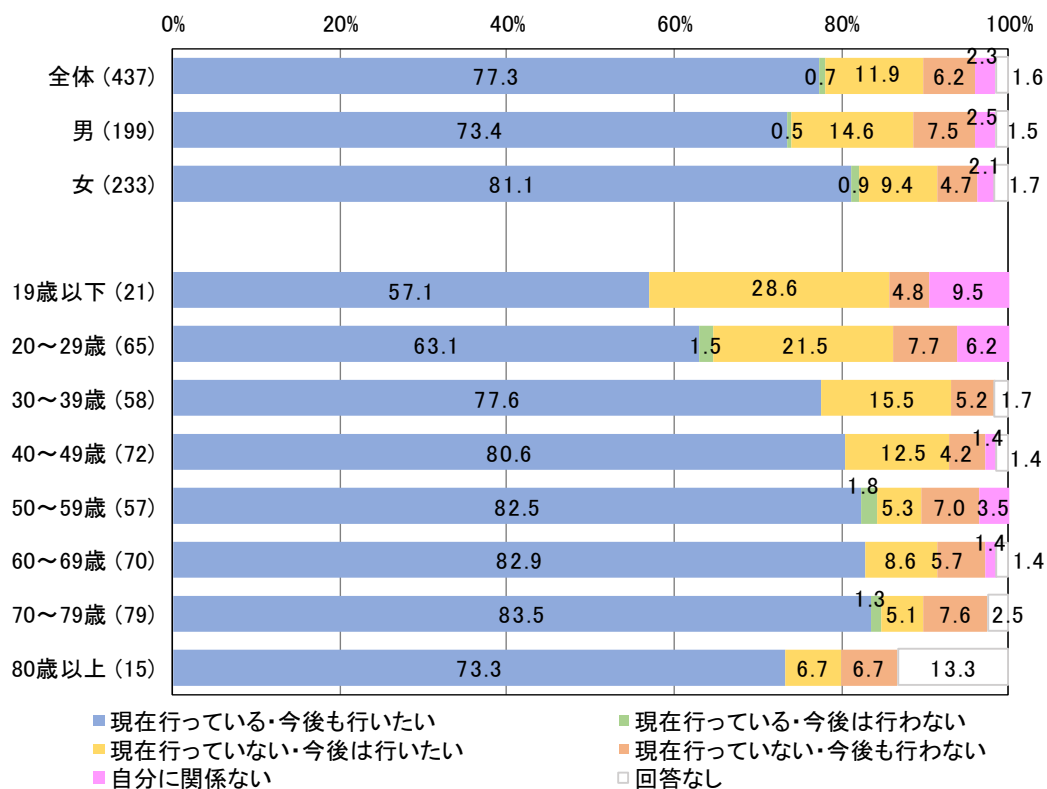
(14) レジ袋はもらわない



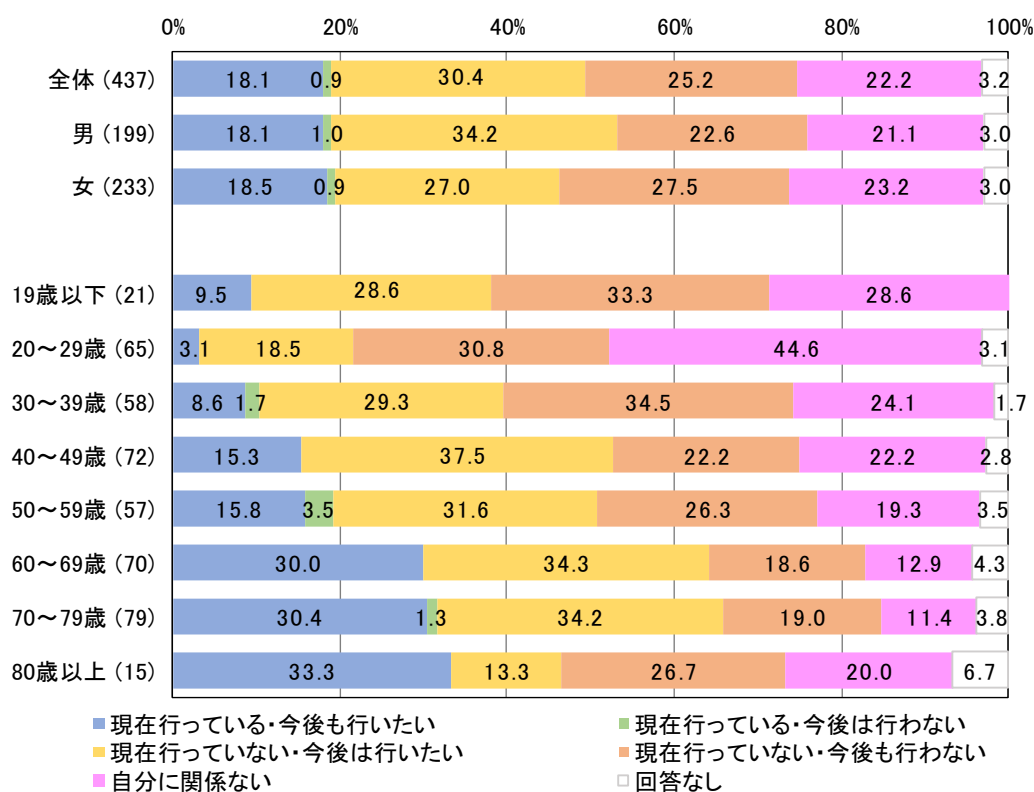
(15) プラスチックなどの使い捨て容器を使わない



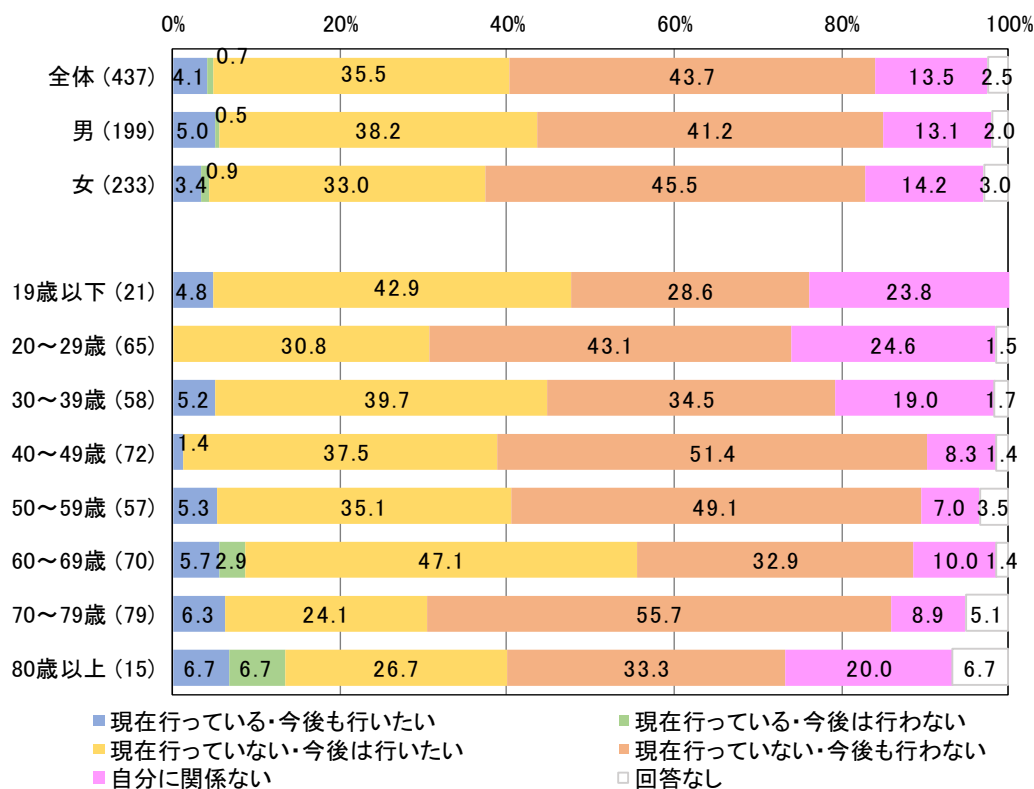
(16) 油や食べかすを排水口から流さない



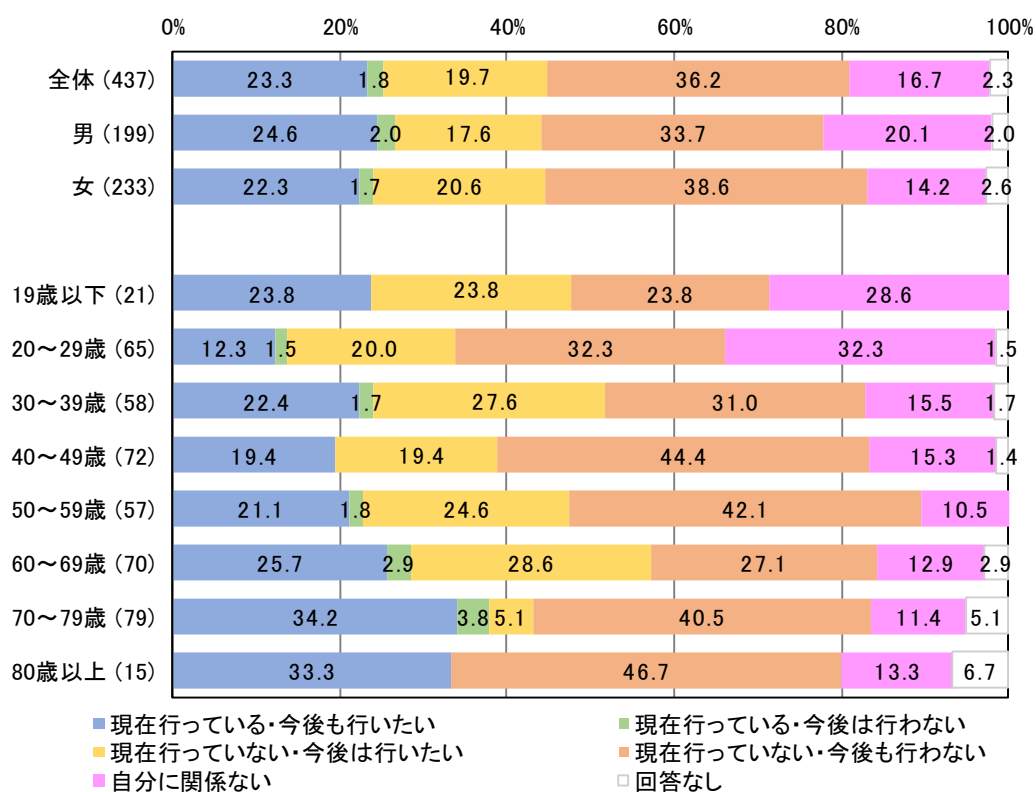
(17) 外来種を取り除くように心がけている



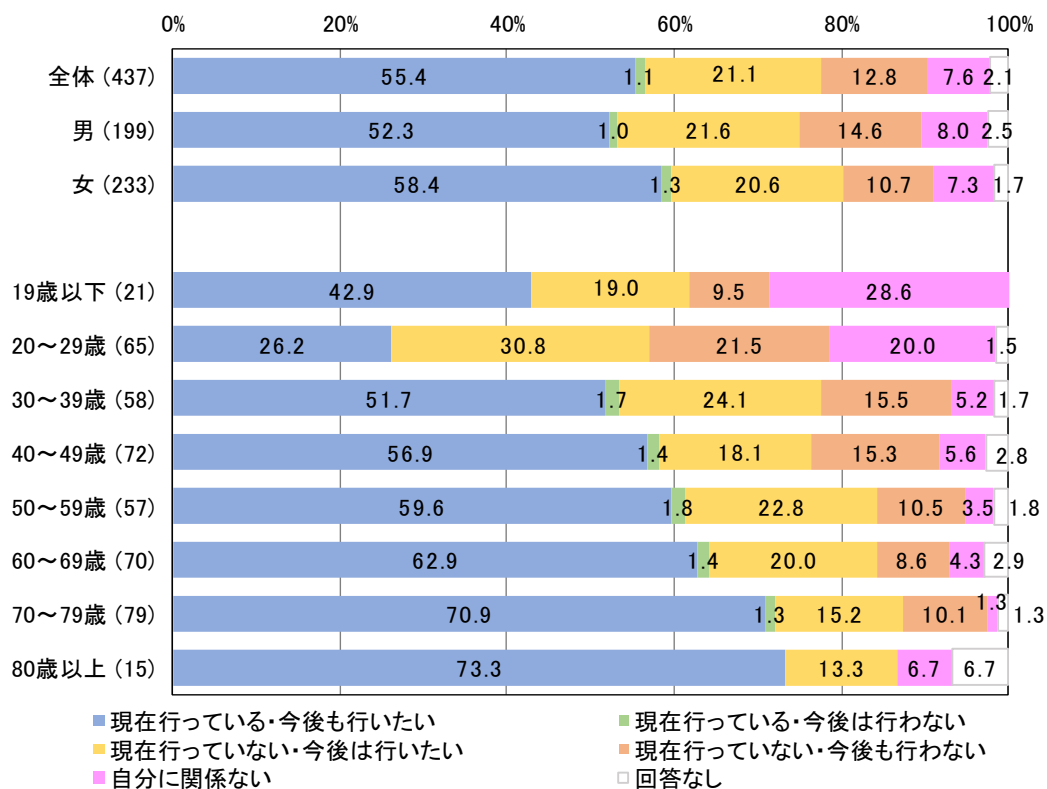
(18) 里山を守るための活動に参加している



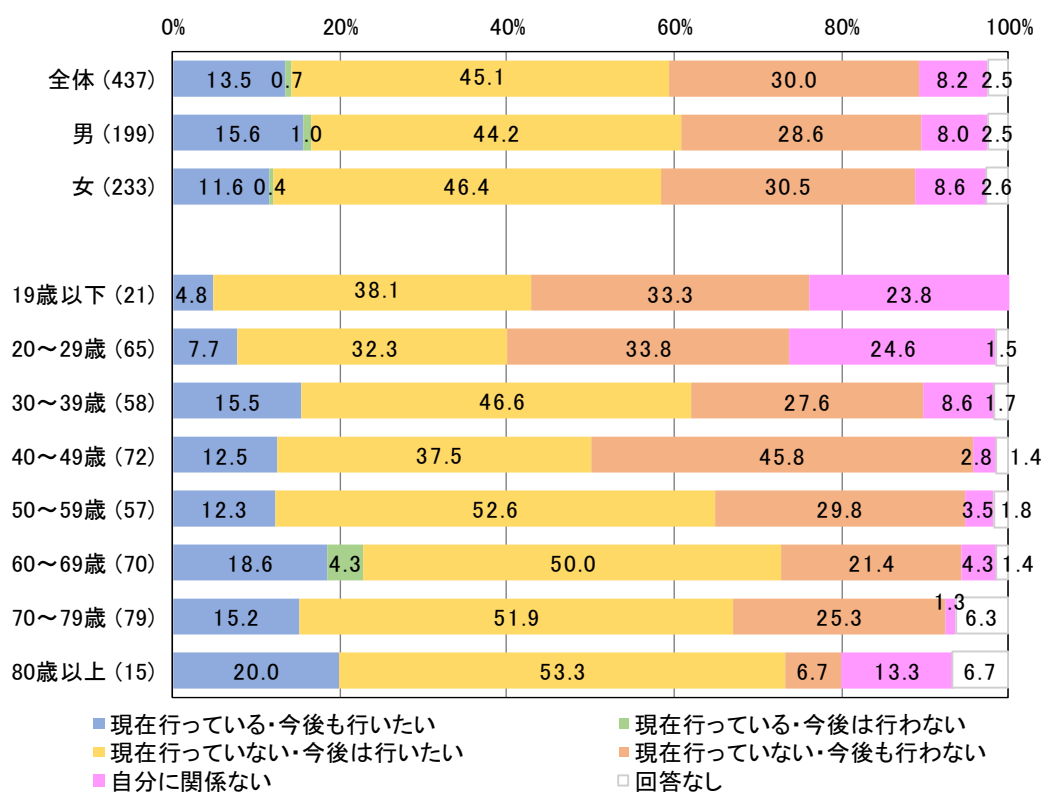
(19) 自分で野菜などを作っている、農作業に関わっている



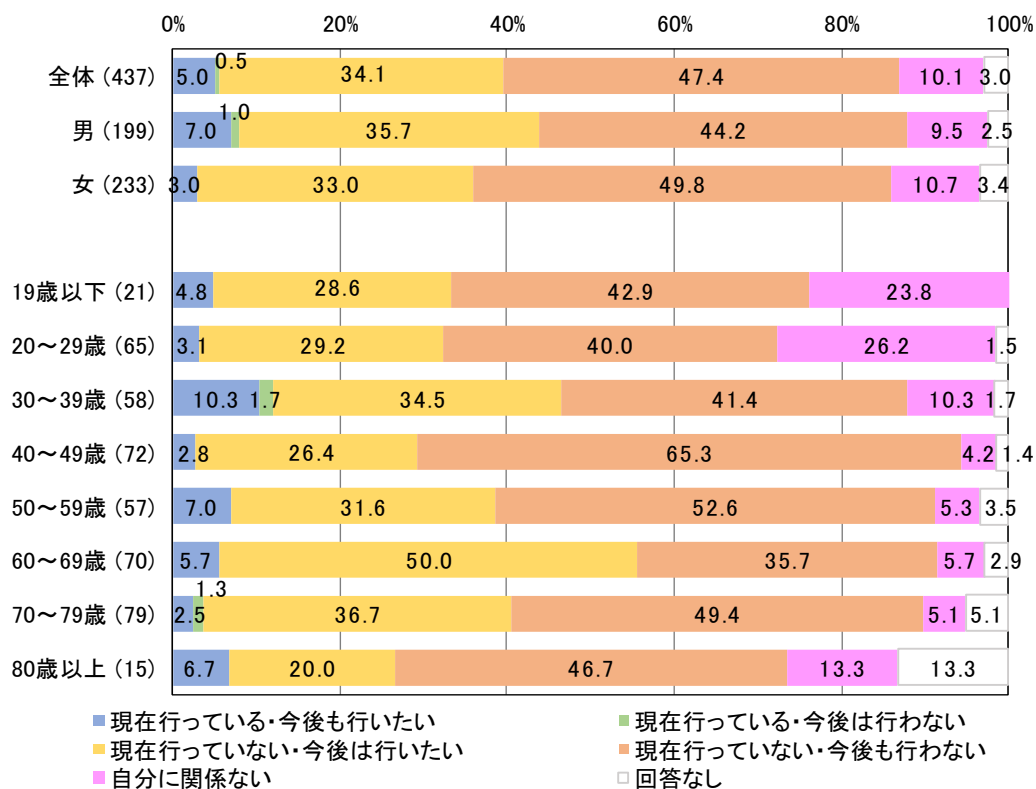
(20) 旬のものや地元産のものを購入するようにしている



(21) 環境に関する情報を積極的に入手している



(22) 環境に関するイベントや勉強会に参加している



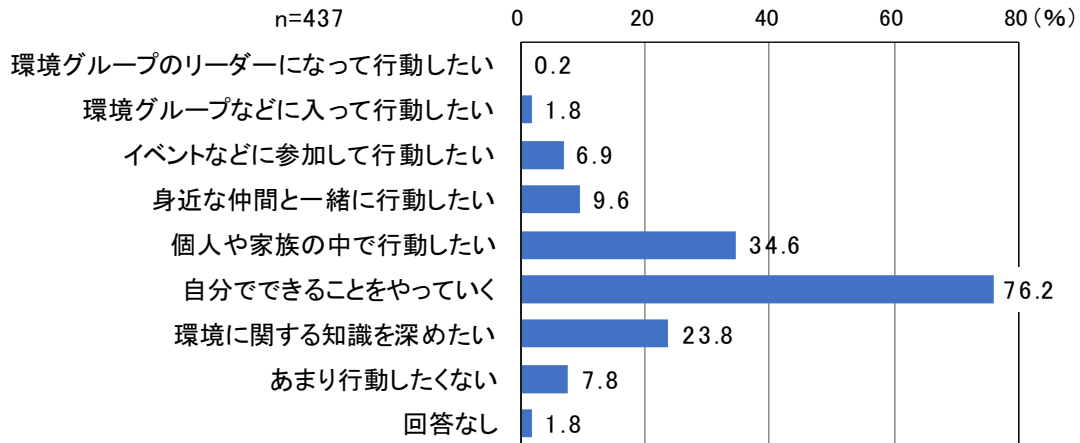
・その他の取組について、自由記述を求めたところ、以下のような回答があった。

- ◇ 自転車で行動する。レジ袋はもらわない。マイバッグ使用【女，30～39歳】
- ◇ 短い距離の場所へは自転車を心がけている【女，19歳以下】
- ◇ 3 Km以内での行動は自動車を使わず、徒歩で済ませる【男，70～79歳】
- ◇ 少しの距離は車を使わない【女，20～29歳】
- ◇ 生ごみは毎日、菜園に持って行く。冷房は28℃【男，70～79歳】
- ◇ あと少しで後期高齢者になる私。目立った行動は体力的に無理ですが、自分のまわりでできることにここがけ問10の循環型社会(10)～(16)に取り組んでいます【女，70～79歳】
- ◇ 家庭内のごみの分別を毎日やること【女，50～59歳】
- ◇ 決められたとおりにごみを出すこと【男，50～59歳】
- ◇ ごみの分別【女，60～69歳】
- ◇ ごみの分別、リサイクル。電気の節約【男，40～49歳】
- ◇ たまった雨水でお花に水を上げています。子どもを定期的に学習の森に連れていき自然の大切さを体感させています。【女，30～39歳】
- ◇ 庭に緑を植えている。ごみの分別をしっかりとやっている。今まで以上に紙類をごみとせず、資源に全て出せるように努力したい【女，60～69歳】
- ◇ 必要なものが出てきたら、新品ではなく中古で探す。代替できるものを家の中で探す。「買う」ではなくレンタルする。ごみの量は1週間、袋1枚以内というルールを家族で設け、実施する【女，20～29歳】
- ◇ リサイクル、ごみを少なくする【女，60～69歳】
- ◇ リサイクルを心がけている【女，60～69歳】
- ◇ 家が国道沿いなので毎日、たばこ、弁当や菓子の袋、ペットボトル、おむつ等のポイ捨て、小さいものから大きいものまで様々なトラックからの落下物、レシートや釘など様々な飛来物があり、ごみ拾いをしていましたが、ごみ袋が高額になりやめてしまいました。ガードレールや電柱の脇に生えてくる雑草が成長するとアスファルトを割ってしまうので、マメに除草していたが、ごみ袋が高額になりやめてしまいました。【女，40～49歳】
- ◇ 落ちているごみ、ペットボトルを回収し、指定された場所に持って行く【男，20～29歳】
- ◇ 気づいたら道に落ちているごみを拾う【女，19歳以下】
- ◇ ごみができるだけ減らす。分別をきちんとする【女，40～49歳】
- ◇ ごみを見つけたら拾う。大きなごみを細分割している【女，19歳以下】
- ◇ 東浦町のごみ袋有料化に伴い、ポイ捨てが多いです。たばこの吸い殻も以前より多くなりました。拾います。近所の公園は早朝から近所の奥さんが草取りをして花のごぼれ種をきれいに植え、とても気持ちが良いです。縁の下の方持ちです。机の上の言葉より勉強になり、一緒にやろうと思います。【女，70～79歳】
- ◇ 道のごみは拾っている【男，40～49歳】
- ◇ なるべく詰め替える等、ごみをコンパクトに出せるものを購入する。マイバッグを持参するようにしている【女，50～59歳】
- ◇ ごみの削減を行っていきたいです【男，40～49歳】
- ◇ ペットボトルのお茶を買わずに空いたペットボトルにお茶を入れて再利用している【女，20～29歳】
- ◇ 食品の無駄をなくすこと。無駄な電力を使わない【女，60～69歳】
- ◇ 家の庭と周りの清掃に毎朝努めている。排水溝の清掃【男，80歳以上】
- ◇ 洗剤やシャンプー等界面活性剤の入っていないものを選ぶようにしている。入っているものを使用する場合は生分解性の良いものを使うようにしている【女，30～39歳】
- ◇ 10年ほどガス、電気、水の使用量を月単位に記録。各年の月別比較により、対処の仕方を考えて実施しています。直近ではガスファンヒーターを中断して電気ストーブに変更してみたりしています。結果、機材を変えてみるほどの成果は微妙で機材代金のコスト回収に数年を要します。こまめなスイッチ管理が最大の省エネに思えてきました。でも、やってみて良かった！そして、楽しい日々が続くはず【女，60～69歳】
- ◇ エアコンは室温が35℃になると30℃に設定して数時間使用する。食器の油分はウエスで拭きとってから洗う。洗剤は最小限【女，80歳以上】
- ◇ 節電【男，30～39歳】
- ◇ 洗剤は適量使用して水の消費を抑える【女，20～29歳】
- ◇ 台所のごみは水をよく切って広告紙にくるんで出す。洗濯の洗剤多く使用しないようにしている。風呂水を使用【女，70～79歳】
- ◇ 小さい庭の樹木の手入れ、剪定など自分で年二回行う。電気、ガス、水などの節約について妻に時々言う【男，80歳以上】

- ◇ 太陽光発電している。ＬＥＤに変えた。緑を増やす【女，60～69 歳】
- ◇ 窓ガラスに断熱フィルムを貼ったり、庭の緑化、また、営業車はハイブリット車、屋上緑化の計画中【男，50～59 歳】
- ◇ マルシェ等での買い物（地元）【男，60～69 歳】
- ◇ 畑でものを燃やさない。特にビニール系。農薬を減らし、虫よけネット使用。リサイクル、ごみ減量。電気、水、ガスの節約【男，70～79 歳】
- ◇ 生ごみは畑に埋める。野焼きはやらない【女，80 歳以上】
- ◇ エコバッグの使用【女，30～39 歳】
- ◇ プラスチックストローはもらわない。裏紙の利用、自動車ではなく自転車の利用【女，20～29 歳】
- ◇ ペットボトルの使用をなくす。マイポット使用【男，50～59 歳】
- ◇ レジ袋はもらっても再利用する【女，20～29 歳】
- ◇ ごみのポイ捨ては絶対にしない。家に持ち帰って処分する。誰もいない部屋の電気はすかさず消すようにしている【女，19 歳以下】
- ◇ 道路にごみを捨てない【男，70～79 歳】
- ◇ 賃貸アパートだが、玄関そばにて花のガーデニング、共同の花壇にて花、野菜を育てている（緑化）。地主さんから畑を無料で借りていて、無農薬で野菜をつくっている。住宅、畑、森の一体化でないが、緑が多く空気の良い地域に近所の人が和むところにしていきたいと思い、できている【女，40～49 歳】
- ◇ ＣＯ２低減器具の開発、N e d oへの参画等【男，60～69 歳】
- ◇ 足が悪いため行っていない【女，70～79 歳】
- ◇ 風の声に耳を傾けている【男，19 歳以下】
- ◇ 仕事で企業様に省エネを提案することもあります【-，50～59 歳】
- ◇ 農家なので農業用ごみを袋に入れていたら大変。何か対策をお願いしたい【女，60～69 歳】

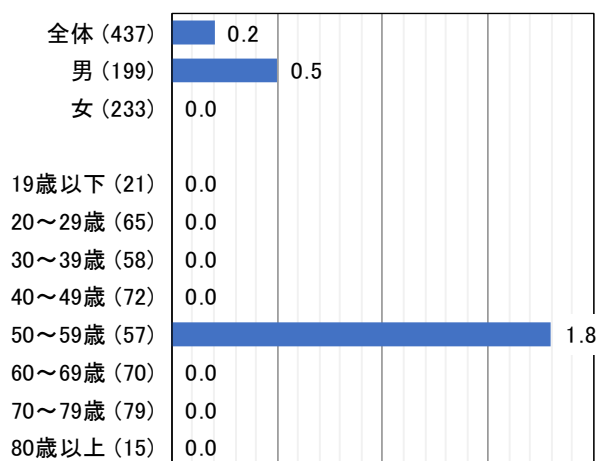
<今後の環境に関する行動>

- ・環境に関する行動にどのように関わっていきたいかをたずねたところ、「自分でできることをやっていく」(76.2%) が最も多く、「個人や家族の中で行動したい」(34.6%)、「環境に関する知識を深めたい」(23.8%)が続いている。

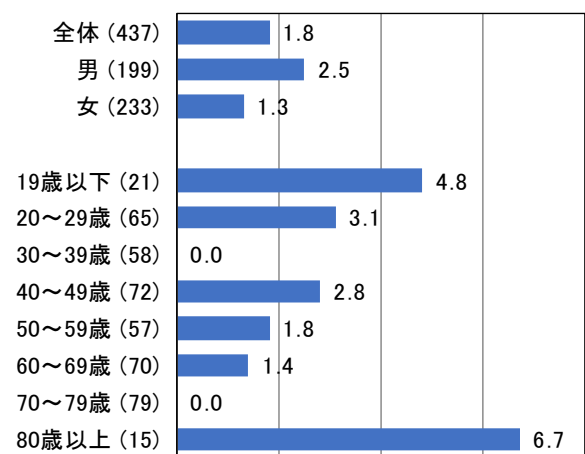


- ・項目別のクロス集計は以下のとおり。

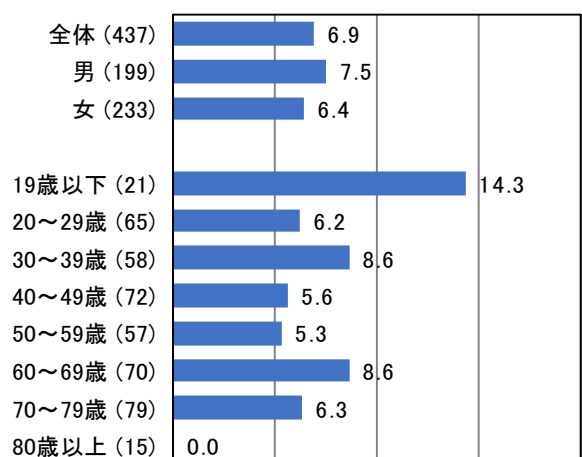
【環境グループのリーダーになって行動したい】 (%)



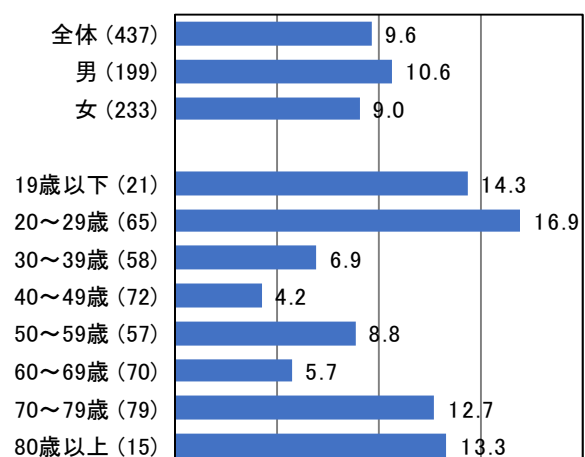
【環境グループなどに入って行動したい】 (%)



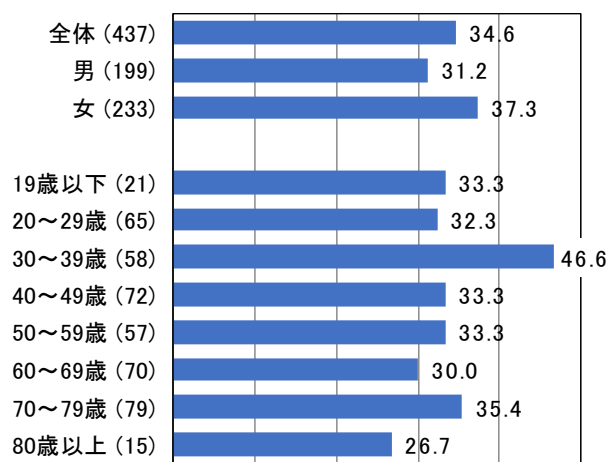
【イベントなどに参加して行動したい】 (%)



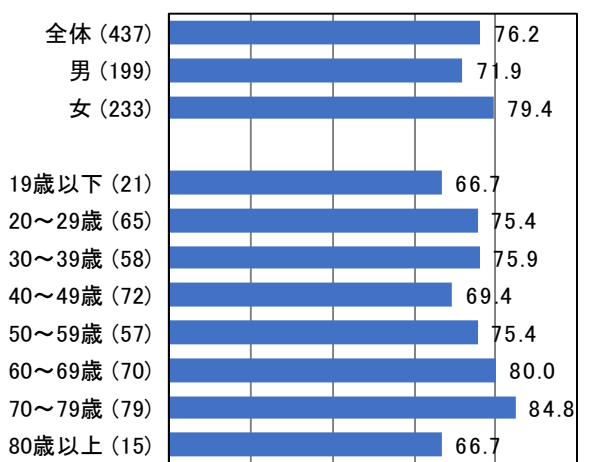
【身近な仲間と一緒に行動したい】 (%)



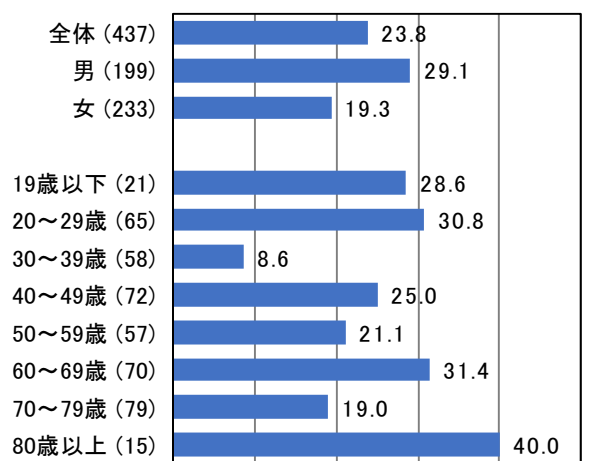
【個人や家族の中で行動したい】 (%)



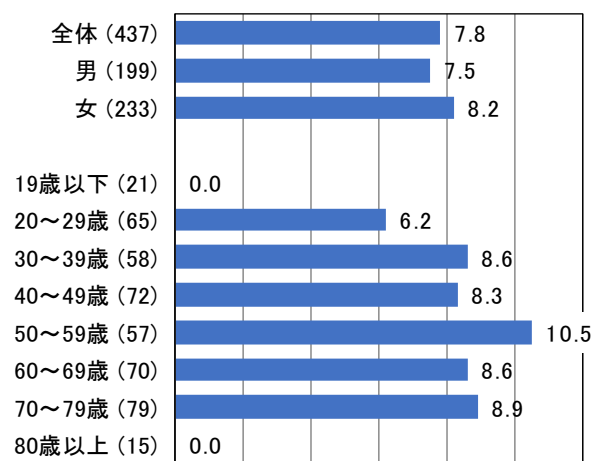
【自分でできることをやっていく】 (%)



【環境に関する知識を深めたい】 (%)

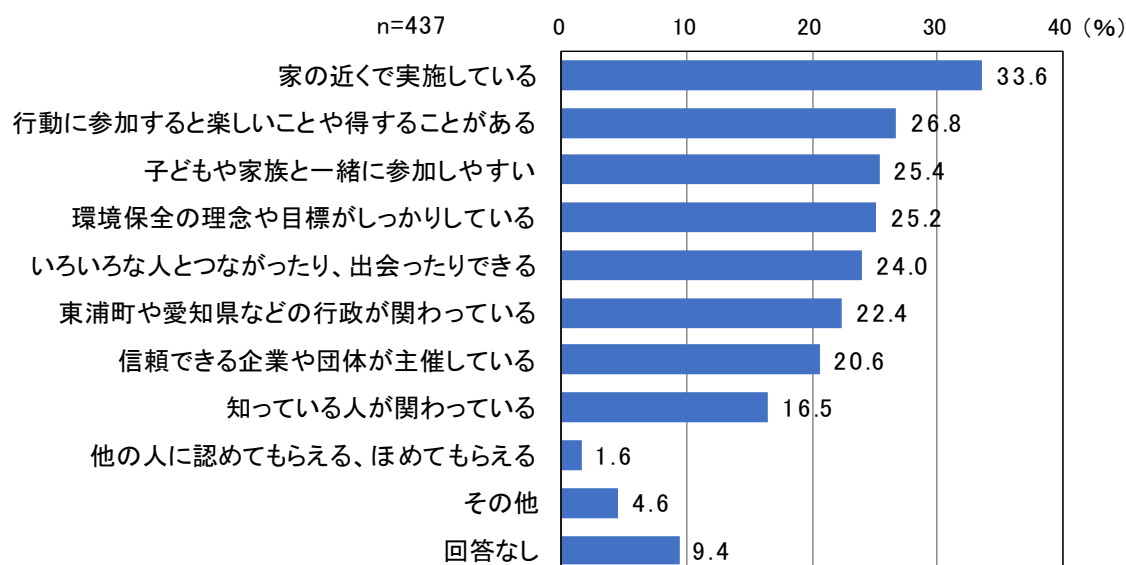


【あまり行動したくない】 (%)

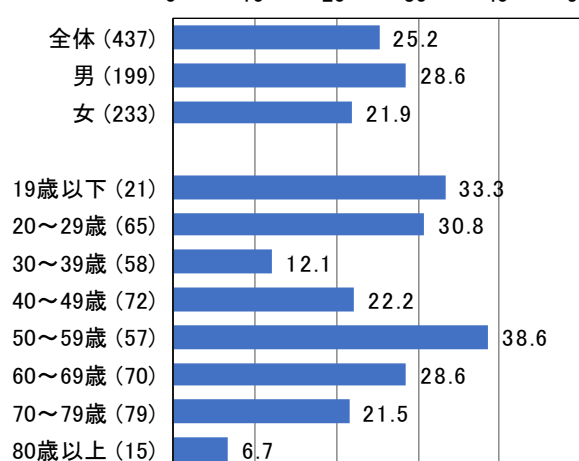


<環境に関する活動等の参加に必要な条件>

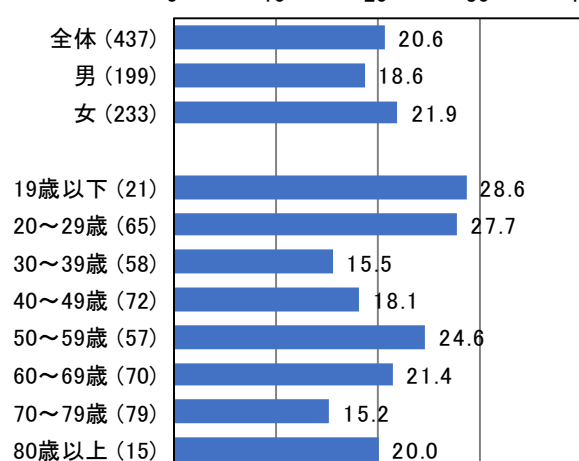
- ・環境に関する活動等の参加に必要な条件をたずねたところ、「家の近くで実施している」(33.6%)が最も多く、次いで「行動に参加すると楽しいことや得することがある」(26.8%)となっている。



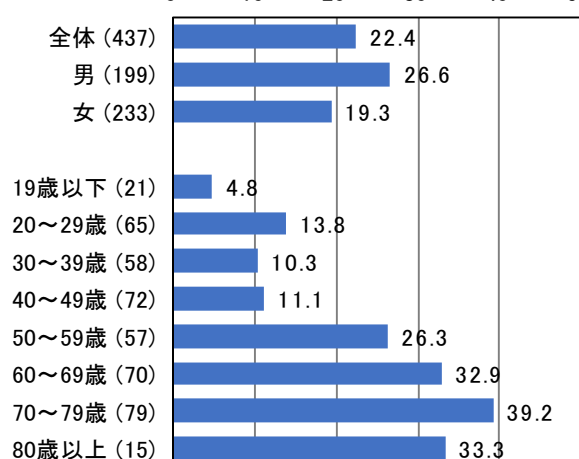
【環境保全の理念や目標がしっかりしている】 (%)



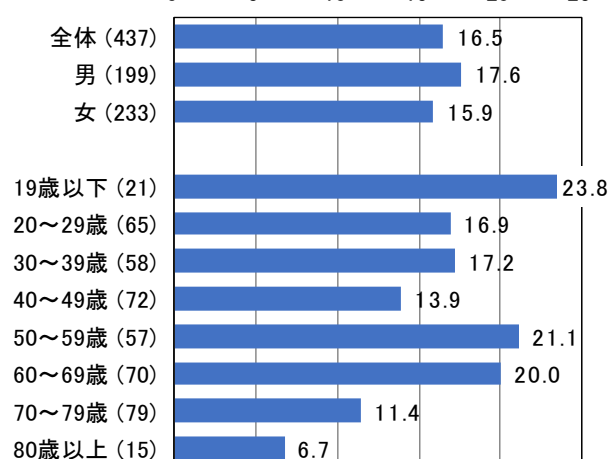
【信頼できる企業や団体が主催している】 (%)



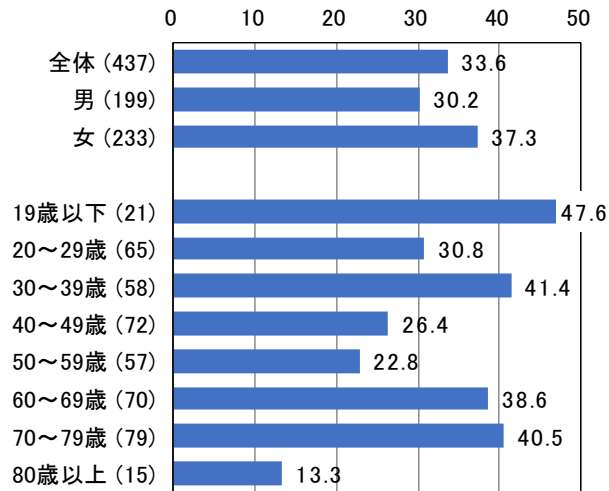
【東浦町や愛知県などの行政が関わっている】 (%)



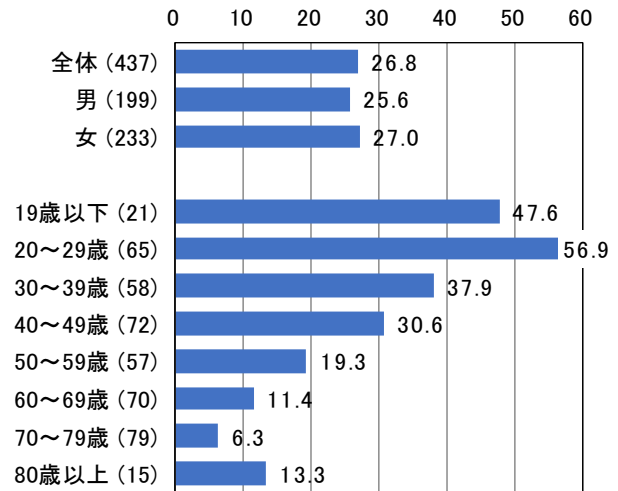
【知っている人が関わっている】 (%)



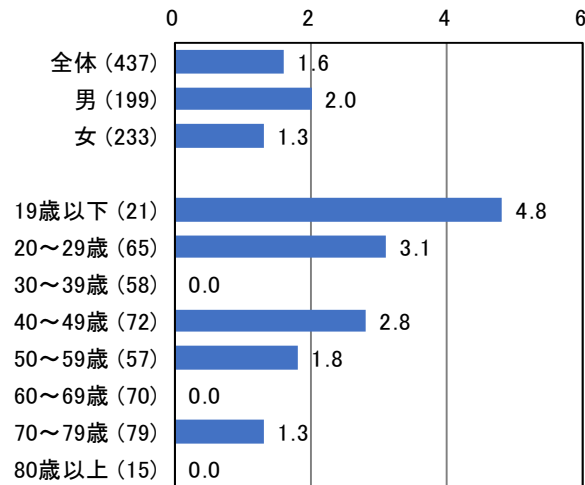
【家の近くで実施している】 (%)



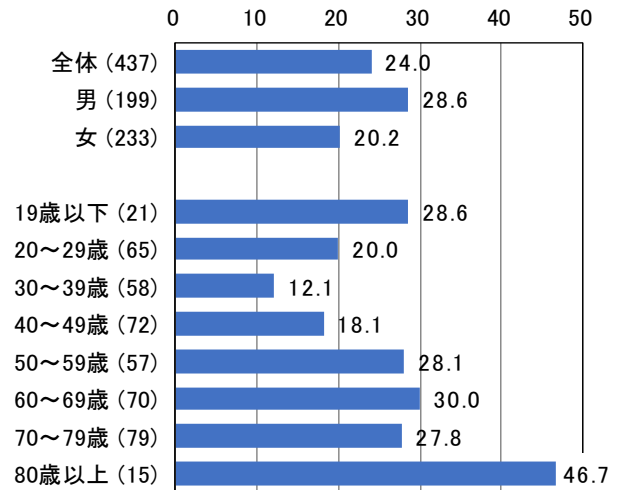
【行動に参加すると楽しいことや得することがある】 (%)



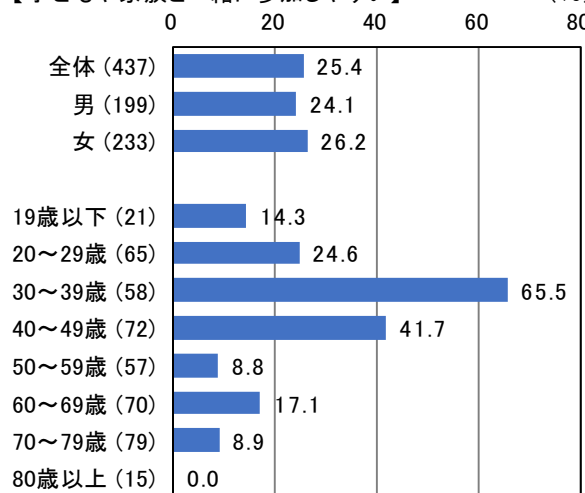
【他の人に認めてもらえる、ほめてもらえる】 (%)



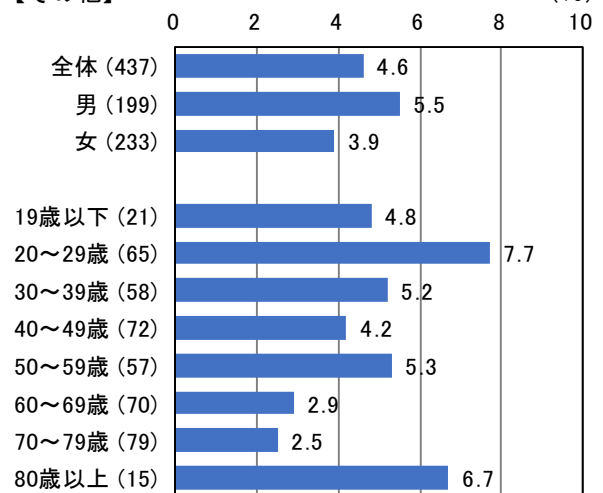
【いろいろな人とつながったり、出会ったりできる】 (%)



【子どもや家族と一緒に参加しやすい】 (%)



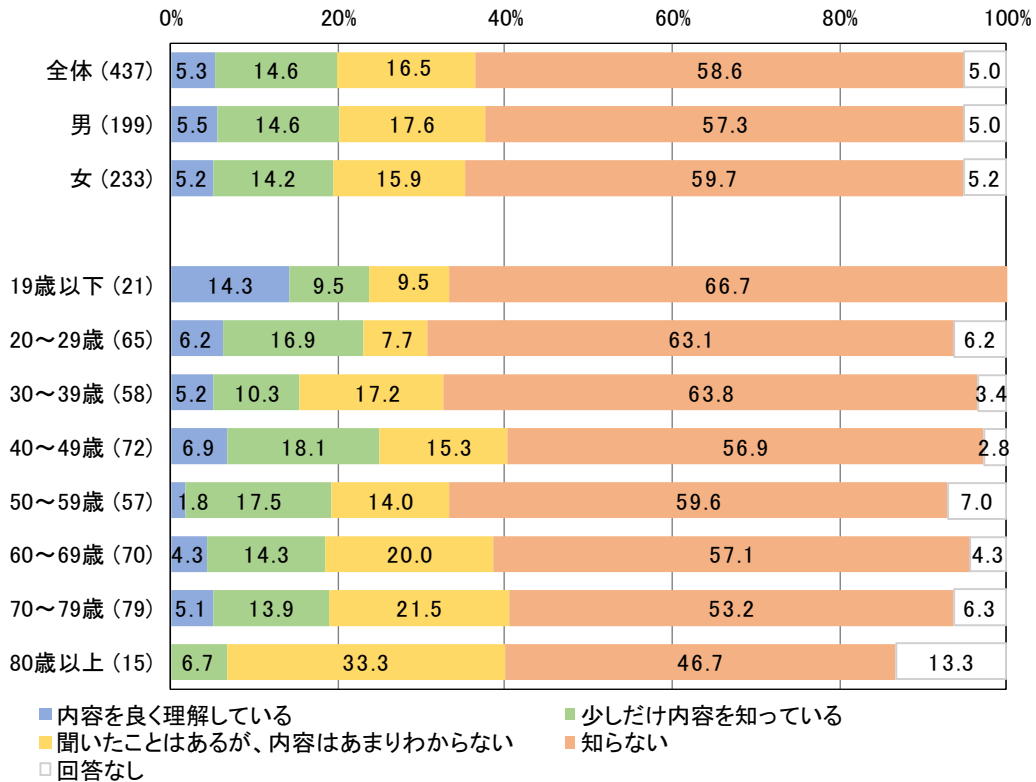
【その他】 (%)



SDGsに関する意識

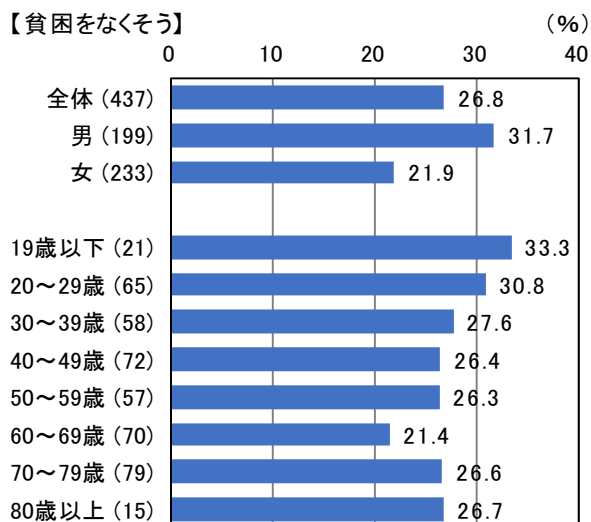
<SDGs（エスディーズ）の認知>

・「SDGs」について知っているかをたずねたところ、「内容を良く理解している」は5.3%にとどまっており、「少しだけ内容を知っている」（14.6%）、「聞いたことはあるが、内容はあまりわからない」（16.5%）までを合わせても36.4%にとどまっている。

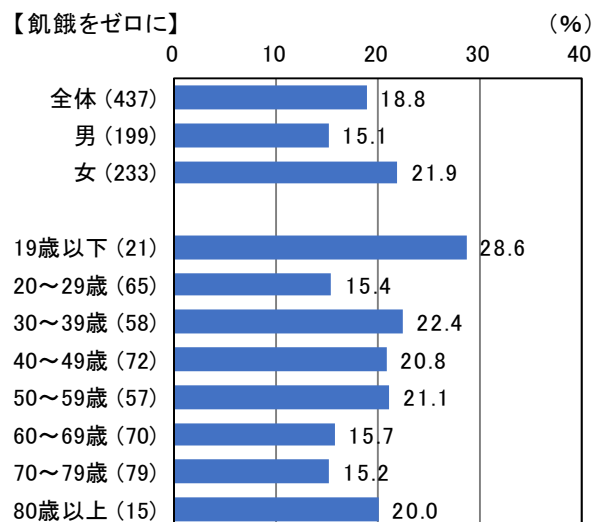


・「SDGs」の17の目標のうち、大切だと思うものをたずねたところ、以下の通りとなった。

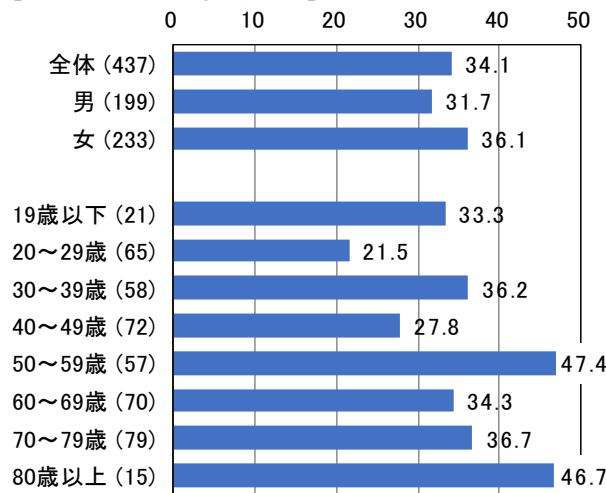
【貧困をなくそう】



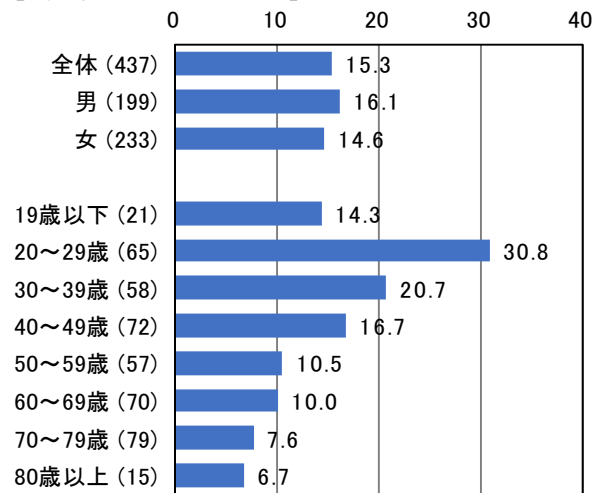
【飢餓をゼロに】



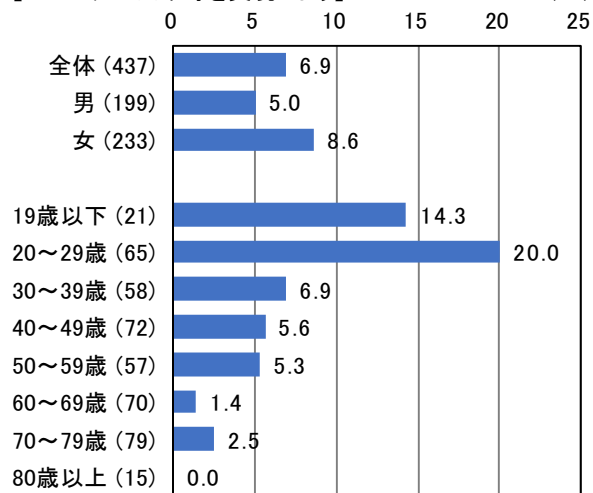
【すべての人に健康と福祉を】 (%)



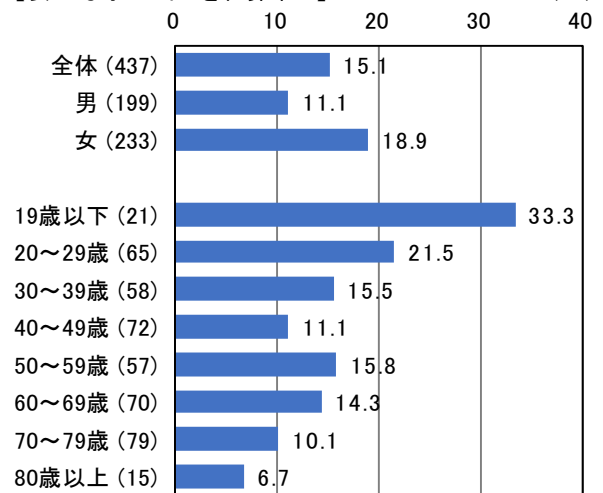
【質の高い教育をみんなに】 (%)



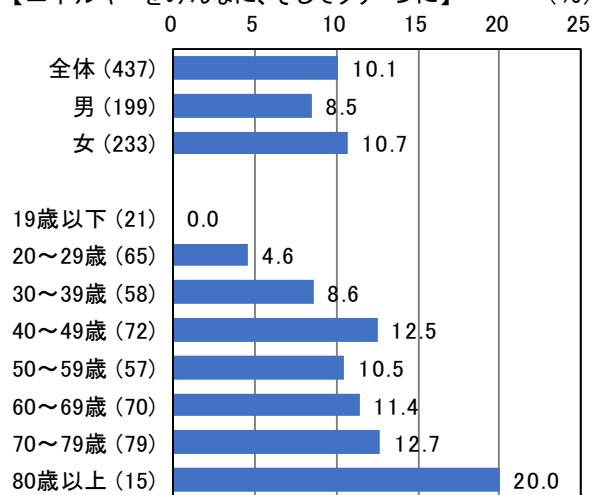
【ジェンダー※平等を実現しよう】 (%)



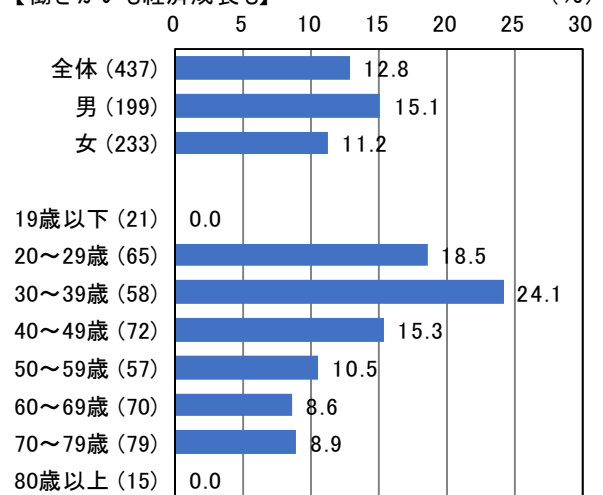
【安全な水とトイレを世界中に】 (%)



【エネルギーをみんなに、そしてクリーンに】 (%)

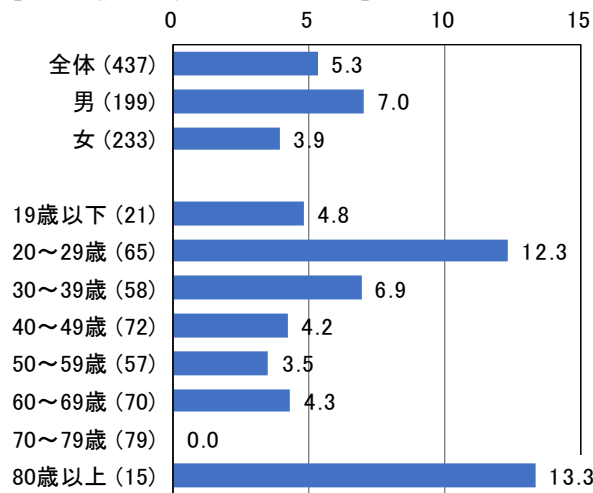


【働きがいも経済成長も】 (%)



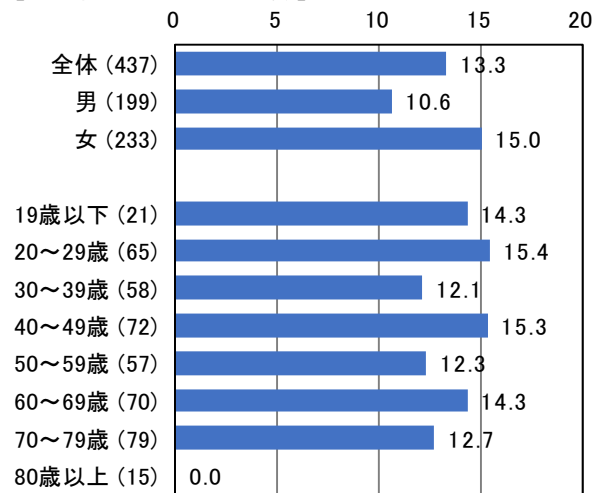
【産業と技術革新の基盤をつくろう】

(%)



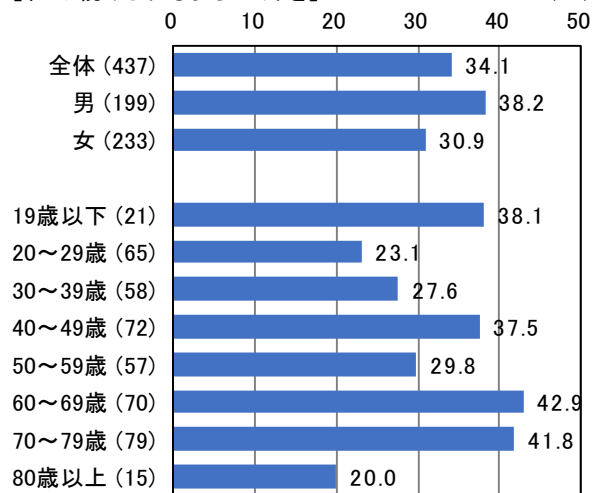
【人や国の不平等をなくそう】

(%)



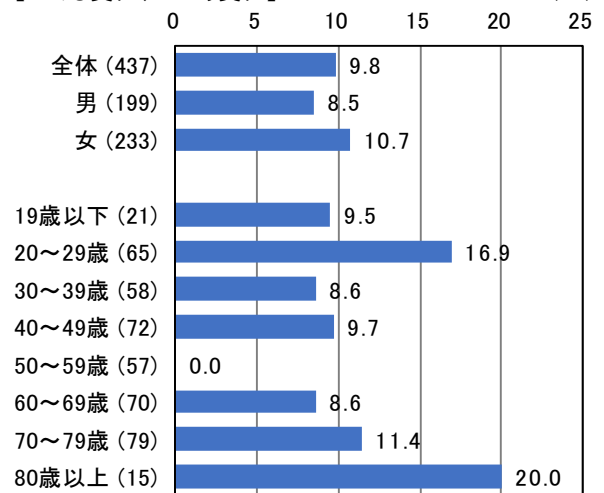
【住み続けられるまちづくりを】

(%)



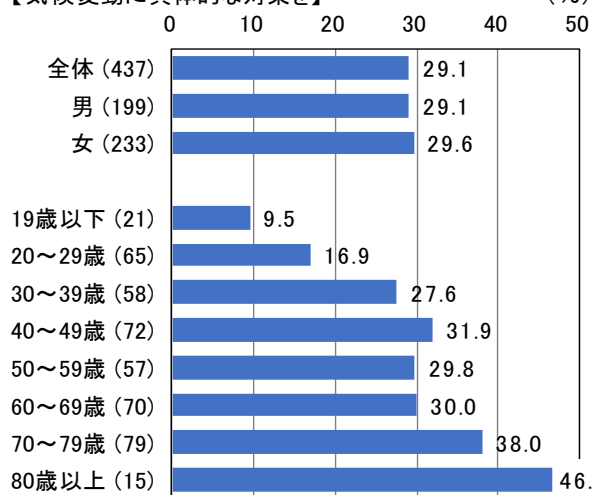
【つくる責任、つかう責任】

(%)



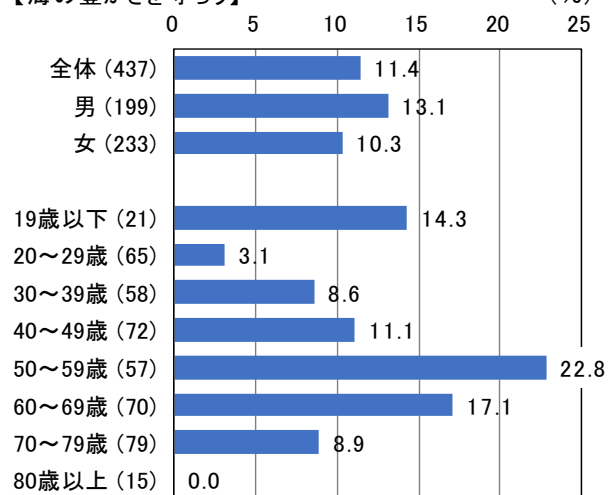
【気候変動に具体的な対策を】

(%)

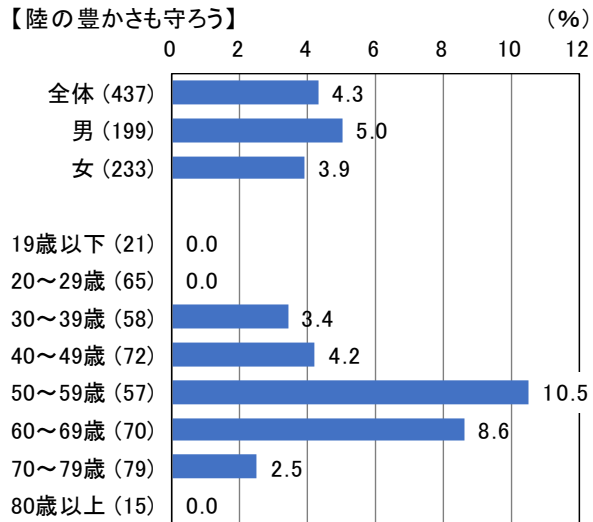


【海の豊かさを守ろう】

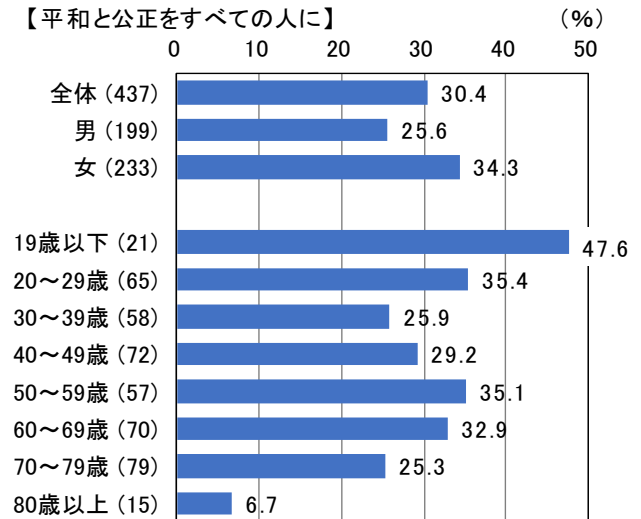
(%)



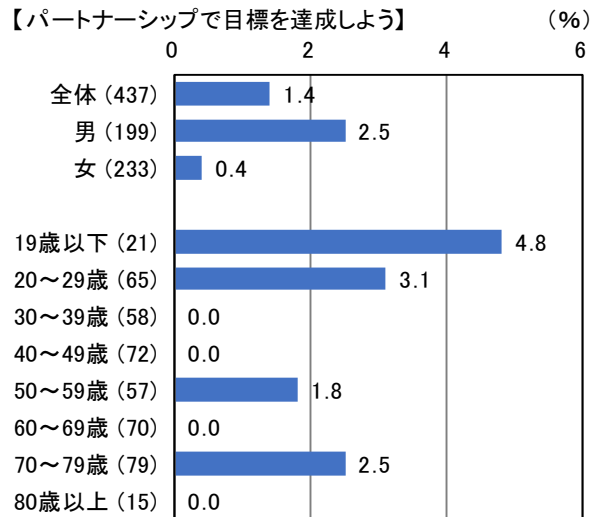
【陸の豊かさも守ろう】



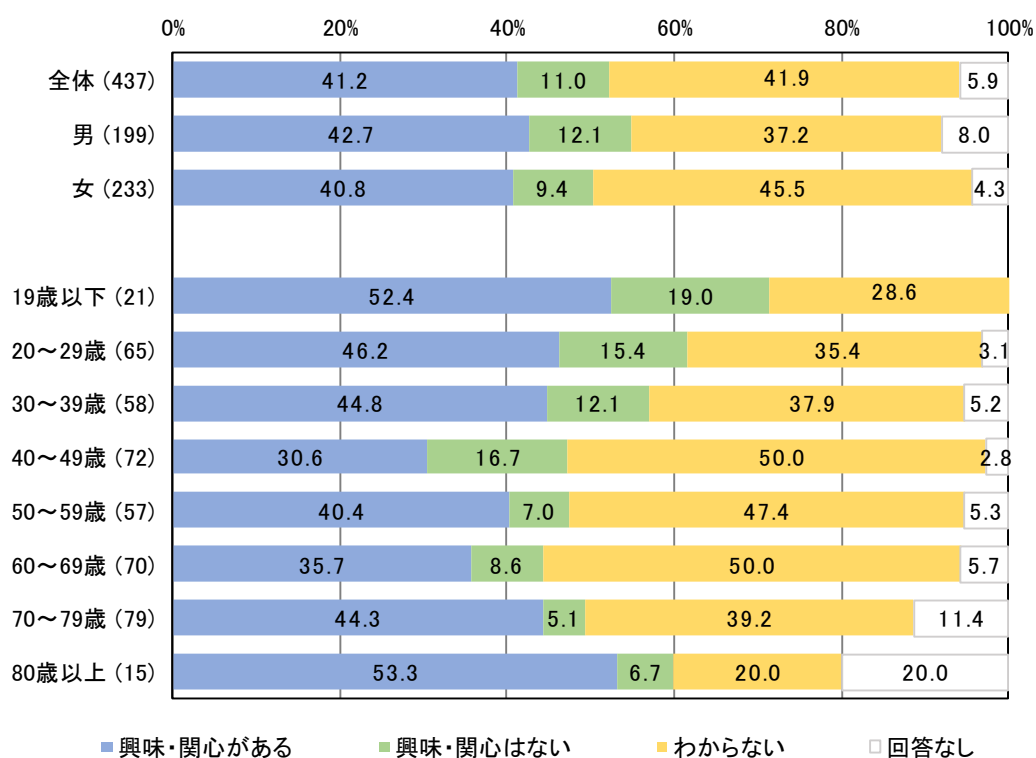
【平和と公正をすべての人に】



【パートナーシップで目標を達成しよう】



・「SDG s」に興味・関心があるかをたずねたところ、「興味・関心がある」が41.2%となっているほか、「わからない」は41.9%と多くなっている。



調査結果のまとめ

＜東浦町の環境に対する評価、大切さ＞

- ・東浦町の環境に関する取組などの評価について、自然・うるおいや公害への対応に関しては全体の4割前後が肯定的な評価をしている。また、ごみの減量については肯定的な評価が5割以上となっている半面、省エネルギーや自然エネルギーの活用は2割以下にとどまっている。さらに、住民や事業所との協働によるまちづくりについても評価が概ね低くなっている。このことから、エネルギーに関する取組や協働による環境に関する取組について‘見える化’を進めることが課題といえる。
- ・東浦町の環境に関する取組などの大切さについては、大半の項目で「とても大切」「やや大切」という回答が7割前後になっているなか、公害への対応やごみの減量などでは8割を超えていた。

＜環境に対する興味・関心・認知＞

- ・環境の各分野のうち、電気・ガス・燃料等のエネルギーの節約や地球温暖化の防止について、興味や関心が高いことが分かった。これらの傾向は、平成26年度に実施した前回調査と同様の傾向にある（ただし、前回調査では危機感を持っている項目）。
- ・環境問題に対する認知度では、「内容をおおむね理解している」が低炭素社会で最も高くなっている。低炭素社会の実現に向けた具体的な取組の促進などに注力することが望まれる。

＜東浦町の環境に対する認知・考え＞

- ・東浦町における現在の環境の評価は概ね半数が肯定的で、約4割が「ふつう、どちらともいえない」となっている一方、最近の環境の変化については肯定的な評価は3割未満にとどまっている。
- ・環境を守ったり良くするための取組について、住民や地域、企業・事業者、行政それぞれ主体別でたずねたところ、肯定的な評価はいずれも3割前後となっており、十分であるとはいえない。
- ・東浦町の環境を守る基本計画の認知度は、約3割となっており、平成26年度に実施した前回調査とほとんど変化はみられない。
- ・東浦自然環境学習の森の認知度は、4割を上回っているが、活動やイベントへの参加経験は5%を下回っている。一方で、約1/4が参加意向を示していることから、様々な活動・体験機会を提供し、ともすれば希薄化してしまっている自然環境の重要性を実感できる機会を提供することが求められる。
- ・環境に対する意識をたずねたところ、「とても意識が高い」「少し意識が高い」を合計すると約1/4となっている半面、「ふつう」が約半数を占め、意識が高くない層も約1/4となっている。今後、これらの層に対して、積極的な意識啓発を図り、すそ野を広げることが求められる。

- ・環境を守ったり良くするための行動については、約半数が何らかの行動しているのに対し、残りの半数は行動していないことから、住民全体の意識を高めつつ、具体的な行動に移すきっかけを提供することが課題となっている。

＜環境に貢献する行動・考え＞

- ・日頃行っている省エネルギーの取組としては、照明器具を必要な時にだけつけることなど、複数の項目で積極的に実行されている半面、電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く、お風呂の入浴間隔をあけないなどの取組は普及していない。
- ・環境に貢献する取組については、ごみの分別・リサイクルの徹底や油等を排水口から流さない、ごみの水分を少なくするなど多くの住民が取り組んでいる一方で、里山を守る活動や環境に関するイベント・勉強会への参加は極端に少ない。このことから、すでに多くに住民が実行している取組をさらに浸透させるとともに、環境に対する新たな取組についての周知を進め、実行につなげることが望まれる。
- ・今後の環境に関する行動への関わり方として、約 3/4 の住民が自分でできることをやっていくと回答するなど、個人や家族の中での行動範囲にとどまっており、環境グループなどに自ら関わる意向はほとんどみられない。
- ・環境に関する活動等の参加に必要な条件としては、家に近くで実施していること、楽しいことや得することがあるなど、気軽さと楽しさを求める声が多い。以上のことから、身近で手軽で楽しい環境活動を入り口にして、関心や経験の高まりに応じて、より積極的な取組につなげることが課題である。

＜SDGsに関する意識＞

- ・住民のSDGsの認知度は約 2 割にとどまっており、朝日新聞が実施している認知度調査(第 5 回：2019 年 8 月実施)の 27.3%と比較してもやや少ない。
- ・17 の目標(ゴール)のうち大切だと思う項目は、「3.すべての人に健康と福祉を」「12.住み続けられるまちづくりを」「16.平和と公正をすべての人に」などが多くなっている。
- ・約 4 割がSDGsへの興味・関心を示していることから、継続して情報提供を行い、理解を深め、具体的なアクションにつなげることが求められる。

自由意見

<東浦町や地球全体の環境を守ることに對するご意見・ご提案>

- 家の隣に壊れかけの家屋があり、台風が来るたび、瓦などが飛んで、家や車に落ちて被害が出ないか心配になる。空き家ではないようだが、どんな人が住んでいるのか、不安なので関わりたくない。行政からそういった半壊の家に指導を入れてほしい。【女，20～29 歳】
- 耕作放棄地を町が借り上げ、管理して家庭菜園として安価で貸し出す。家の前の道の管理を各家にて、とコンクールする。【男，70～79 歳】
- 西部グランド周辺企業に対して、重機使用の制限を設けてほしい。中学校の通学も危険を感じる。【男，30～39 歳】
- 東浦インターから西部中学校への道に産業廃棄物会社が数軒ありますが、最近はおみ、土砂が山積みです。前の道路にはダンプが駐車し危ない。中学生の通学時はどんな風なのか心配です。ごみが散乱した環境は最悪です。【女，70～79 歳】
- 環境を守るために家庭でできることってたくさんある。ごみ袋の値段を上げるよりも、子どもたちと一緒にエコ生活できるような取組にお金、人力をかけるべき。ごみ処理機、自転車購入補助等、再度検討してほしい。在来種の紹介を広報等で取り上げてほしい。保育園に環境を整えるためのお金を使い、未来を生きる子どもたちを行動できる子に育てていくべき。【女，30～39 歳】
- 長年住んでいるが、環境に限らずやることが中途半端。何をやってんのか、何をやりたいのか、見えてこない。このアンケートも何が目的なのか？ 国からのお達しでやっているのか？ 時間取って回答する意味があるのか？ と思ってしまった。そもそも環境に対する町民への発信もうわべだけ。これでは返上した ISO と一緒！ やらん方がよほど予算が浮く！ 一応回答はしたけど、これを見るまで初めて見た資料ばかりだ！ 【男，40～49 歳】
- 何事も興味深く進めていきたい、活動したいと思っている。しかし、先進国であるがゆえに税金の徴収形態が変化しながらも結局、増税。家庭の運用と同じく、枠の中で運用する知恵を発揮してほしい。つまらない、ごみ袋の数十倍の値上げをはじめ、住みにくい東浦町にだけはなあってほしくない。無理が過ぎると堤防は決壊する。【女，60～69 歳】
- 東浦町も自然環境に一生懸命に取り組んでいるようで感心した。【女，70～79 歳】
- 各地域の住宅地内の公園の雑草、ごみが目立つことが多い気がする。また、池まわりの雑草など、町が管理しているところにもう少し手をまわしてほしい。風景を気にするなら、大切なことだと思う。地域住民でのごみ拾いも年 1 回ではなく、もう少し増やしても良いかと思う。広域ではなくても、少しずつ取り組んで心がけが根づけばと思う。【女，40～49 歳】
- 道路の脇の植樹は二酸化炭素の吸収のためだろうが、草はボウボウ、植樹はほったらかしで、枯れかけたり、見た目も哀れ。剪定もお金と時間が必要。ただ、於大の道の桜並木はきれいになった。我が家の周りは子どもたちの明るい笑い声とあいさつ、鳥のさえずり、秋の虫の声、のどかでとても良いまちだが、ごみ収集所の猫のごみ漁りには苦虫。【女，70～79 歳】
- ごみ袋が高価になってから、決められたとおりに布団を十字に縛り、ごみ袋（大）をつけてごみステーションに置いた。1 時間後何気なく見てみると、布団は残ったまま、ごみ袋（大）のみが引き抜かれていた。まるで私が最初からつけなかったみたい…。町が推奨している公共下水に接続したいと 20 年間思っている。両隣は下水がきているが、我が家だけなぜか取り残されている。【女，40～49 歳】
- 空き地での産廃物の処理作業をやめること。屋内で作業する扱いにする。まちの県道の整備をすすめてほしい。【男，80 歳以上】
- ごみのポイ捨て対策。ひとつ落ちていると、さらにごみを呼ぶので、きれいなまちにしていきたい。【男，30～39 歳】
- 昨年、東浦町に引っ越してきた。石浜に住んでいるが、線路沿いのごみ捨て場辺りから川沿いにかけて、常にごみが落ちている。数えきれないほど…。近くに田畑もあるし、せっかくの水辺や自然がある環境がすごく残念だし、大雨や台風の日ばかりの原因になったり、飛んで行ったりしないか不安。小さな子どももいる地域なので、お散歩したりするのに嫌だなと思うところ。【女，20～29 歳】

- 町内にゴミがポイ捨てされ過ぎていてキタナイ！メイン道路、中心部はまだ良いが少し外れてくるとすごい量が捨てられている。名古屋で働いているけど、東浦の方がすごいキタナイ。明徳寺川はキレイになっているが、他の川はゴミがあふれている。保育無償化の恩恵を受けない（保育園を利用しない）家庭に補助金を出すという政策を提案する前に、もっと町内を見てほしい。町長、本当にしっかりして！【女、30～39歳】
- ポイ捨て禁止と立て看板があっても名ばかり。まち中のごみを一掃するだけでも、環境美化にとどまらず、海へ流れ込むプラスチックゴミの問題も少しずつ改善されるのではないかな。JR東浦駅が無人化になってから周辺のごみが特に目立つ。他から来た人に恥ずかしい。東浦町が路上のごみのない、きれいなまちになってほしい。町を上げて取り組めたら良いのだが…。【女、70～79歳】
- 河川のごみを減らす活動が重要。東浦町単位では難しいので周辺の自治体と協力関係をつくると良いと思う。【男、60～69歳】
- メーカー側からゴミを出さない工夫をしてほしい。物を買えばゴミがついてくるようなパッケージをもう少し考えてほしい。ゴミを出す量が減っていく。【男、50～59歳】
- 資源ゴミの回収が2週間に1回だけでは少ない。特にプラスチックゴミの回収は週に1回は最低でも実施してほしい。資源ゴミの回収日が少ないことで、リサイクルが行われずにゴミになってしまっている現状があるのでは？行政として、まずゴミの減量、リサイクル推進のために資源ゴミの回収日を増やすように早急に取り組んでほしい。【男、40～49歳】
- プラゴミの日が少ない。【女、20～29歳】
- 近所のごみ捨て場に分別ルールを守れない人がゴミを捨てていて、少し気になる。袋が半透明なので見える。燃えるゴミの中に缶が入っていたりする。【女、20～29歳】
- ゴミの有料化でゴミを少なくしようと思っているが、毎日燃やしている人もいて、洗濯物が安心して外に干せない。ゴミ袋の値段が高すぎるのでは。環境を守るのに大切かもだが、もう少し考えてほしい。【女、40～49歳】
- ゴミは1袋目から高額にするのではなく、使用量が増えて追加購入の際に高い金額に設定してほしい。【男、20～29歳】
- ゴミ袋が高くなり、負担が大きい。使いやすく取っ手を大きくする等、高くしたなりのメリットがない。分別への意識の向上など、よく考えた対応をしてほしい。【女、40～49歳】
- ゴミ袋が高すぎる。一般家庭から徴収する金額ではないと思う。他の市町が上がっていないのに東浦町だけが上がるのが今も納得できない。【女、40～49歳】
- ゴミ袋を高くするのをやめてほしい。高すぎる。ゴミを減らすのはなかなか難しいし、もう少し違う方法にした方が、みんな心がけて減らせるから良いと思う。いまは自分でゴミ袋を買うことではないけど、いつか家を出るとき、東浦はゴミ袋が高いからいやだなんて思う。【女、20～29歳】
- ゴミ袋の値段がとても高いが、そのお金で東浦町はどのように変わるのか具体的に知りたい。学習の森はとても素晴らしい里山だが、道が分かりづらく、看板も小さく認知度があまりないように思う。もっとたくさんイベントを開催してほしい。【女、30～39歳】
- 白色の指定有料ゴミ袋のサイズに関して、極小サイズをつくっても良いと思う。広報ひがしうらにも同様の意見があり、それに対する返答は「他の市町ではつくられていない。極小サイズの購入者がいないから、東浦もつくらない」という内容だったかと思う。他の市町の状況を参考にするのは大切ではあるが、東浦町民の意見を重視してほしいと思う。町民が必要としているうえ、極小でゴミの排出量が抑えることは、環境保全に努めたいとしている態度の表れではないか。ぜひ、再度、ご検討してほしい。【女、20～29歳】
- 他地域での少量ゴミ袋の需要が少ないとの理由で、東浦町が導入しないのはおかしい。ゴミ減量化と言いつつ、体裁だけ整え、真剣に向き合っていない証拠では。核家族、高齢単身、ゴミ減量を実践していたら、現行の小サイズをいっぱいにするのに1ヶ月以上かかる。1ヶ月ゴミを捨てないのは不衛生。ゴミ減量しているものが、片手ほどの生ゴミを捨てるのに現行のサイズの袋を使うのは本末転倒。生ゴミ用の極小サイズを希望。【女、40～49歳】
- 東浦町が現在取り組んでいるゴミ袋の値段引き上げに関しては、ゴミ減少のための具体的政策として効果的な内容であると考えている。しかし、生活をしていくうえで、ゴミが発生してしまうこと

は必然的なことであり、量を減らすにしても人数の問題や家庭の事情等でやむを得ず多量にごみが発生してしまう家庭にとっては深刻な問題になると考える。ごみ袋を買うお金がもったいないといった考えからポイ捨てが目立つ場所、駅周辺の道、田んぼ道が増えたように感じる。そこで、家庭ごとにごみ袋を一定数、毎月支給することを提案する。それ以上の場合は各自の負担でといった形をとることで、より町民のごみに対する意識を持たせることができ、改善へとつながるのではないだろうか。【男、20～29 歳】

- いつでも出せるリサイクル収集所を何ヶ所かつくってほしい。【女、50～59 歳】
- 自動車を使わず東浦町を移動できるようにしてほしい、「うらら」の本数が少なく、とても目的地まで時間がかかりすぎる。県道の両側の木、草を定期的に整備して環境をよくしてほしい。【女、60～69 歳】
- 気候変動は私たち人間が長年生活して時代があまりにも進化したために、いろいろな形で地球をいじめすぎた結果ではと思う。一人ひとり、もう一度生活スタイルを少しでも見直す気持ちが大切かなと考える。あまりにも贅沢すぎるので、今の子どもたちのためにも地球を大事にしてほしい。【女、70～79 歳】
- 基本、低炭、循環でもなく自然との折り合いだと思う。当然人間が考える社会だから、人間本位で考えるべき。【男、60～69 歳】
- これ以上、緑を少なくしてはならない。便利な社会をつくるのではなく、人と人が係わりあって、体を使って行動することで、地球を守る社会。人間が壊してきた現在の地球はやっぱり人の手で作りかえるしかない。【女、60～69 歳】
- 全ての生物は好環境を求めている。環境はすべての生物（自身）に関わる。【男、70～79 歳】
- 人々はもっと木々や草花の声を聞くべき。【男、19 歳以下】
- ゴルフクラブ J J の土地で雑草が茂り、蚊など害虫が多く発生している。又、蛇なども発生する可能性もあるため、外で子どもを遊ばせにくい。適度の除草をしてほしい。【男、30～39 歳】
- 高根の森、多くの鴨が飛来する藤仙坊池周辺を整備してほしい。団地に引っ越してきた当時、草刈りも行き届き、周辺を散歩できたが、今は草がボウボウ。人工の美しさに税金は不要。自然の美しさを大切に行政を早く実現してもらいたい。【男、70～79 歳】
- 夫が仕事だと他に行くところがないので、子育て支援センターうららん、日・祝日もやってほしい。子どもを育てるようになって、公園で遊ぶとき、すべり台の階段のすき間が大きく子どもが落ちそうだと気づいた。見るだけでなく実際に体験してほしい。「遊ぶ場がある＝安全で遊べる」ではないと思った。保育園も産前、産後使えると書いてあるが、実際申し込むと入れないとのことだった。書いてあるだけだと思った。公園も草だらけで遊べない。昔からある公園の遊具もサビだらけで、新しくできないにしても、ペンキを塗ってほしい。側溝に土がいっぱい入っている。今回のように大雨が降ったら大変だと思う。あれば良いではなく、機能するか、安全かを見てほしい。三丁公園、水遊びできる場にしてほしい。【女、40～49 歳】
- 近所のあさひ公園の雑草が茂っている。また、犬のフンが多く、子どもを気軽に遊ばせることができない。【男、30～39 歳】
- 地球全体の環境を語ることはできないが、朝、車の渋滞がひどい。運転マナーも。環境負荷が高いのではないかと対策、改善求める。【女、50～59 歳】
- 東浦町役場前の渋滞をなくす努力をしてほしい。イオン方面の信号とのタイミングが良くないと思う。役場のリサイクル場にビンも設けてほしい。【男、40～49 歳】
- 身近なところからの提案として回覧版の廃止。ネット社会にもなっているので、回覧版ネットに登録している人には直接情報発信をし、ネット登録できない人のみ回覧板を回すのでどうか。紙の削減になるし、班長さんの負荷低減、迅速な情報発信が可能。【男、60～69 歳】
- 広報活動が脆弱で伝わっていない。【男、60～69 歳】
- 広報は宣伝効果が少ないので、もっと車から見えるところとか商店にもポスターで住民に知らせてもらえると良いと思う。やっていることが視覚に入っていないと頭や心に残りにくいと思う。もっと盛り上げてほしい。【女、60～69 歳】
- サラリーマンが多いと思うので、参加することで節税や節約等のお金に関した得することがあれば、環境を守ることに興味がない人でも参加してくれるようになると思う。その情報をどのよう

に町民に伝えるかも重要。良い情報はみんなで共有しみんなで良いまちにできたらうれしく思う。【男，20～29 歳】

- 一人ひとりが少し行動、意識を変えるだけで、どれぐらい環境を良くできるか、具体的な事例や数値など目でみて確認できるような案内や資料があると良い。また、そういうものがあることを多く発信、周知してほしい。【女，50～59 歳】

- 緑豊かな自然が、東浦にはまだ多くある。これを上手に生かして、気持ちよく生活できるよう、行政も個人もお互い努力と協力が必要かと思う。あなた任せの行動ではなく、自分から進んで行うことができることが大切だと思う。そのためには色々な場を通して情報発信が必要だと思う。

【女，70～79 歳】

- コンビニの廃棄や飲食店の廃棄は何とかしたほうが良いと思う。まだ、食べられるのをたくさん、捨てているので、対策が必要だと思う。【男，20～29 歳】

- 環境保全も人が少ないとできない。人口も増やしつつ、良いまちづくりが必要。市にもなる人口を増やすためのまちづくりを進めてほしい。【男，40～49 歳】

- 世界が本当に温暖化しているのか？もし、そうなら温暖化の原因は何なのかを各自が考えるべきである。1000 年単位で世界の気温変化はどうなっているのか？太陽光には反対である。パネル製造にかかわった人間としてパネルを製造するのに、どのくらいのエネルギーを使用するのかをまず、知るべきである。パネル設置は環境破壊にもつながる。枝葉ばかり見て森を見ずである。

【男，60～69 歳】

- 太陽光発電を設置するために、土地を開拓されているところが増えているのが気になる。藤江児童館のように保育園、小学校、中学校の屋上に太陽光発電を設置してほしい。身近にも省エネを実感し学習に役立てれると思うし、子どもたちも快適に過ごせてよいのではないと思う。【女，40～49 歳】

- 東ヶ丘にメガソーラーを建設したことは土砂災害や気温上昇に影響があることを行政は、町民に知らせていない。温暖化対策よりも地元の土砂災害等の対策が重要では。【男，40～49 歳】

- メガソーラー、風力発電は必要なし。【男，40～49 歳】

- メガソーラー問題について近隣住民やその活動報告等は情報が入ってくるが、それに対する東浦町の考えや取り組みがどうなのかも東浦町からの発信で知りたい。当方、ソーラー発電も環境への取り組みと考えるためメガソーラーは必ずしも反対とは考えていない。【女，30～39 歳】

- 高齢化が進む団地の空き屋対策は急務。子育て世帯への賃貸斡旋等、自治体が積極的に関わらなければ、10～30 年以内にゴーストタウン化する。環境保全のみ行くと、自然豊かで人がいないまちになりかねない。優先順の検討を望む。【男，40～49 歳】

- 歩道、自転車道の整備。近くに店がなく、学校のものもイオンまで行かなければ用が足せない。小型店やいろんなお店が少ないし、片寄っている。車がなければ生活できない。環境を守りたくても生活しづらい。公園も少なすぎる。【女，50～59 歳】

- 車道と歩道の間の緑化してある草等が成長しすぎて通行の妨げになっており、危険。管理してほしい。【女，30～39 歳】

- 車道に自転車レーンがあると運転手側は安心。街灯が少ない気がする。雑草が伸びているところがある。【女，30～39 歳】

- 町道の側溝に泥、ごみ、缶、ビンが捨てられて、雨であふれ道路等が傷み、走りにくい。会社側からの木、枝などが道路に飛び出し、自転車などが車線をはみ出しとても危険。それでも私の責任なのか！？【男，70～79 歳】

- もっと道幅の整備。東浦の人々はもっと店などを活性化させないと。必要ない所を整備している。川さらいじゃなく、川埋めしている業者はいらない。環境課はもっと目を開いてほしい。【女，60～69 歳】

- 土地を持っている人々がもっと自由に使用できるよう配慮してほしい。現状では、ただ草が生えて刈っているだけである。高齢なので苦しい。家が建てられない、駐車もできない。行政は何をしているのかわからない。環境の前に整地問題をしてほしい。自分の土地なのに何もできないなんて、わけがわからない。【女，60～69 歳】

- ごみを燃やす！がすべて CO₂ 増加なのか？草木を安全に近所迷惑なく、燃やすことはごみ減少

になると思うが、通報されたりする。C O 2 発生のごみは燃やしていない。枯れ葉、木を燃やせないと大量のごみとごみ袋が出る。資源の無駄だと思う。【女 , 60~69 歳】

- 田んぼの野焼きは必要な事かもしれないけれど、各家庭で草木を燃やすことは本当に本当にやめてほしい。晴れた日にきれいに洗濯をして干しておく、燃やした臭いがついている。なんのために洗濯したのか…。悲しくなる。日常に不要な臭いはいらない。田舎で広い土地を持っている人が、そこで燃やすのはやめてほしい。絶対にやめてほしい。町役場から、もっと強く呼びかけてほしい。【女 , 40~49 歳】
- 野焼きによる健康不安がいつもある。同様の人が多いのでは？一度、町で調査してほしい。または、何らかの対応を検討してほしい。【男 , 40~49 歳】
- 東浦町では早朝から野焼き及び田畑にて雑草を燃やしている場所があり、地球環境のために行わないようにしてはどうか。濁池西交差点が丘公園うららバス停、通学路周辺が毎年雑草で歩くのに困難。【男 , 70~79 歳】
- いわゆる環境問題に関しては政治的ではなく、科学的に議論してほしい。【男 , 20~29 歳】
- 緒川小学校ではS D G sをみんな学んでいる。理解している。緒川小学校を主体として東浦町の活動をしたらどうか？【女 , 40~49 歳】
- 環境を守ることは広範囲で非常に難しい。男女、年齢、地域等分けてそれぞれにやること、分担等を決める必要があると思うが。【男 , 80 歳以上】
- 東浦町が目指している方向性が見えない。町会議員のレベルの低さにはうんざり。議会便り等、バカバカしくて読む気がしない。東浦町周辺の自然破壊、計画性のない宅地造成。どんな利害関係があるか知らされていないが、緑をわけもなく処分していく現状。居場所にしていた魚や鳥は？ホタルやワラビは？緒川地区のまちなみの汚さ。大型モールができるのは良いが、高齢化している最近。難民の解消はバスの不便さ。小売店が点在して成立していくようなまちに。どうして公民館がコミュニティセンターになるのか？何でも横文字にする風潮はいいだけない。【女 , 70~79 歳】
- 東浦町が環境やS D G sに関して行動していることを初めて知った。このような取り組みは良いことだと思うので、積極的に情報発信してほしい。【男 , 20~29 歳】
- 海が近いので、台風時の堤防氾濫に備えて、補強等してほしい。【男 , 70~79 歳】
- 環境についてではないが意見を。環境についてのアンケートは良くあるが、防災についてもう少し取り組むことはできないか？防災ラジオが使い物にならないので対策をしてほしい。【女 , 20~29 歳】
- 東浦町及び地球全体を6 Sというキーワードで良くする。【男 , 50~59 歳】
- もっと、緑化計画を進めてもらいたい。例えば、土建業者ではなく、草刈り、公園整備等々にシルバー人材の活用。街路樹をもっと植え、春から夏にかけて新緑と秋は紅葉、冬は落葉と季節が楽しめる美しいまちなみにしてほしい。【男 , 50~59 歳】
- 緑化（竹林整備、竹の利用促進）。温暖化現象対策（C O 2 減）→補助金。【男 , 70~79 歳】
- 今、住んでいる場所から見える風景に四季の移り変わりが感じられたり、居ながらにして自然の景色を楽しんでいる。【女 , 70~79 歳】
- 今の日本は技術レベルが低下。ノーベル賞はもう出ない。能力のないものは高校まで。大学へは優秀な人材だけよけて、無料で研究させる。エネルギーをつくり出す太陽光は余っている。他を探す。【男 , 60~69 歳】
- 町のみなさまが日ごろ支えてくださり、ありがとうございます。お世話様になっています。これからもお願いします。【女 , 80 歳以上】
- ポールシフトは始まっている。来るべき対話の時までに、自分の価値を上げるために地球のために何ができるか、少しでも知識を広めたい。信じるか信じないかは自分次第。【女 , 30~39 歳】
- 町から早く市になってほしい。【男 , 60~69 歳】
- 紙面手続き等をミニマム化して、ペーパーレス社会を実現したい。アンケートもWe b 中心で。【男 , 20~29 歳】

東浦町の環境を守る基本計画改定のための

環境に関する住民アンケート調査

＜アンケート調査へのご協力をお願い＞

日頃より、東浦町の環境行政にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

本町では、「東浦町の環境を守る基本条例」※に基づく「東浦町の環境を守る基本計画」を策定し、住民・事業者の皆さんとの協働により、環境にやさしいまちづくりを進めています。

この度、本町を取り巻く様々な変化や今後の潮流などを見据えて計画を改定し、将来に向けた環境施策を推進したいと考えております。

つきましては、町民の皆さまの環境問題への意識や取組状況、今後の意向などをお伺いし、計画改定の参考にしたいと考えております。

このアンケート調査は、住民基本台帳から16歳以上（高校生年代以上を想定）1,450名の方を年齢別地区別に無作為に抽出し、送付させていただいております。

調査票の回答は無記名で行っていただき、個別の回答の内容がわかる形での公表はいたしませんので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

皆様におかれましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和元年 10 月

東浦町長 神谷 明彦

※ウェブ検索 「東浦町の環境を守る基本条例」

東浦町 環境 条例

検 索

もしくは



東浦町のホームページからも確認できます。

ご記入にあたってのお願い

- ご記入にあたっては、宛名のご本人がご回答ください。
- また、回答の内容については、家族の意見ではなく、ご本人のお考えでご回答ください。
- 本紙の「参考資料」を参考にしながらご回答ください。
- 回答は、別添の調査票に直接ご記入ください。回答方法については各設問をご覧ください。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に別添の調査票を入れ、

10月29日（火）までに 投函してください。（切手は不要）

- 調査の内容等についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】東浦町 生活経済部 環境課 環境保全係

電話：（0562）83-3111（内線282）

参考資料

1 「東浦町の環境を守る基本計画」とは？

「東浦町の環境を守る基本計画」とは、環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進するために、国や地方自治体などにおいて総合的かつ計画的に施策を推進することを目的として策定される計画です。

本計画は、「東浦町の環境を守る基本条例」に規定され、まちづくりを環境分野から推進する計画として位置付けられています。

本計画により、東浦町がめざす環境像「みんなでつくろう！環境を大切にすまち・ひがしうら」の実現に向け、住民・事業者・行政が協働により環境に関する取組を推進しています。

《策定・改定等の経過》

平成 12 年 「東浦町の環境を守る基本計画」策定

平成 23 年 「東浦町の環境を守る基本計画」改定

平成 27 年度「東浦町の環境を守る基本計画」中間見直し



2 環境にやさしい社会とは？

私たちの生活に関わり、私たちの周りにあるもの、すべてが『環境』です。空気、水、生き物、天気や気候などは、私たちが安心して毎日を暮らすためにとても大切なものです。

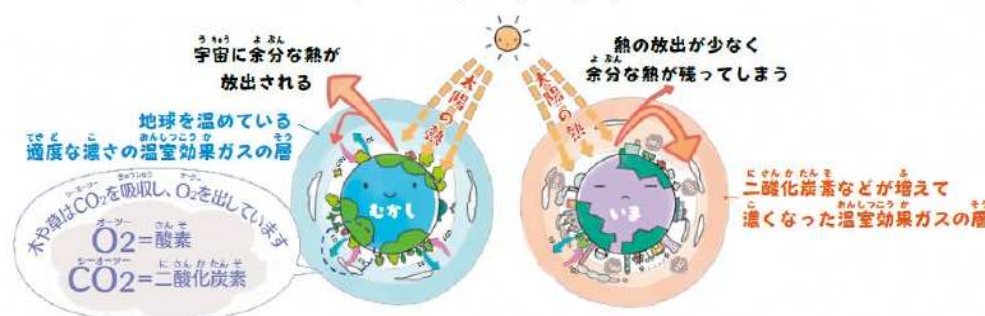
環境に関するアプローチはいくつかありますが、ここでは社会的に大きなテーマである、①低炭素社会、②循環型社会、③自然共生社会の3つについて紹介します。



① 低炭素社会(地球温暖化対策)

地球全体の平均気温が上がることを「地球温暖化」といいます。地球温暖化により、世界的な気温上昇、記録的なハリケーンの発生、洪水、干ばつなど、多くの異常気象が起こっています。日本でも、気温上昇、ゲリラ豪雨の発生、大雨による河川氾濫や土砂災害などの気候変動が起きており、自然や人々の暮らしに様々な影響が出ています。

地球温暖化の主な原因は、地球の表面から出る熱を吸収して温度を保つ性質を持つ「温室効果ガス」の増加です。日本で排出される温室効果ガスの90%以上は、ものを燃やすことで発生する二酸化炭素(CO₂)です。技術革新が進んだ産業革命以降、発電や移動のために、化石燃料を燃やすようになった暮らし方が、地球温暖化に結び付いているといえます。



参考資料

地球温暖化対策のための具体的な取組として、産業部門では、優れた技術や機器・素材の普及等、家庭部門では、一人ひとりが無理なく省エネルギーに取組むなど、地球にやさしいライフスタイルに変えていくことです。

また、太陽光・風力・地熱・バイオマスなどを源とする再生可能エネルギーの創出は、温室効果ガスを排出しないこともあり、地球温暖化対策につながる重要な取組であるといえます。

② 循環型社会

循環型社会とは、廃棄物の削減やリサイクルの推進などを中心として、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を減らすことです。具体的には、私たちの生活を「資源を消費するだけ」から「資源を繰り返し使う」にシフトすることが重要で、ごみの3R【リユース（再度使う）・リデュース（ごみを出さない）・リサイクル（資源として再生利用する）】に加えて、レジ袋などごみになるものは買わない・断るといった「リフューズ」を加えた4Rを推進することが有効です。

また、廃棄物問題のうち、近年話題になっているのが食品ロスの削減に向けた取組です。国では「食品ロス削減国民運動（NO-FOODLOSS PROJECT）」を展開しています。この一環として、食品の生産から販売までの各段階における食品ロス削減の取組を推進しており、例えば、包装内を窒素で満たすことによる品質保持、食べきりの呼びかけなどに取り組んでいます。



③ 自然共生社会(生物多様性)

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。3,000万種ともいわれる生きものが生息する地球上において、森や河川などの生態系や様々な種類の生き物・遺伝子など、それぞれの多様性を守る必要があります。

例えば、人が持ちこんだ外来種が、地域に元からいた生物を食べたり、すみ場所や食べ物をうばったりすることで、地域固有の生態系がおびやかされています。こういったことにより、たくさんの生き物が、近いうちに地球からいなくなると言われています。

また、近年、海岸への漂着や海上に漂う海洋ごみが海洋の環境や観光・漁業などに影響を与えています。

生物多様性を保全するための取組として、生物多様性にも配慮した商品等の流通、観光・レクリエーションを通じた自然とのふれあいの推進、生態系ネットワーク（エコロジカル・ネットワーク）や私たちの暮らしを支える森・里・川・海のつながりの確保などが非常に重要です。加えて、希少野生動植物種の保存のため、外来種の駆除や固有種の保護と適正な管理を進めることが求められます【次ページ図参照】。



写真：東浦自然環境学習の森

参考資料

マイこうどうせんげん MY行動宣言

たくさんの生き物が、近いうちに地球からいなくなると言われています。あらゆる生き物とのつながりの上に成り立つ、わたしたちの暮らし。まずは自分にできることを知り、楽しみながら行動してみること。それが、わたしたちの豊かな暮らしと森里川海を支えます。

「MY行動宣言」では、今日からだれでも楽しめるアクションを紹介しています。次の5つのアクションの中からやってみたいものを選んでMY行動宣言し、今日から一緒に行動していきましょう！

生物多様性のためにできる5つのアクション



3 エスディーズ 最近耳にする「SDGs」って東浦町にも関係あるの？

人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しており、このままでは人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうと言われています。そんな危機感から、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）」です。これは、東浦町のまちづくりを進める上でも重要な目標となりますので、この目標を踏まえたまちづくりの取組を進めていきます。

- ◆ 2015年に国連で採択された「2030年までの達成をめざす17の目標」
- ◆ 国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めた全ての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています
- ◆ キーワードは「誰ひとり取り残さない」



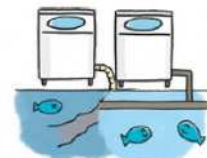
今日からできる持続可能な社会のためのアクション



短い距離は歩くか、自転車に乗ろう



レジぶくろは断ろう



洗濯物の量などに合った正しい量の洗剤を使おう

資料：令和元年版 環境・循環型社会・生物多様性白書、こども環境白書 2019

参考資料に簡単な説明があります。必要に応じて読みながらお答えください。

こちらの用紙に回答してください。

【問 1】あなた自身について教えてください。（○はそれぞれ1つだけ）

(1) 性別

1. 男	2. 女	3. その他
------	------	--------

(2) 年齢

1. 19歳以下	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

(3) 仕事などの状況（いくつか該当する方は、最も中心となるものに○をつけてください）

1. 勤めている	2. 自分で仕事をしている	3. 高校生	4. 大学生
5. 家事	6. 無職	7. その他（_____）	

(4) お住いの地区

1. 森岡地区	2. 緒川地区	3. 緒川新田地区
4. 石浜地区	5. 生路地区	6. 藤江地区

(5) 現在住んでいる住宅の種類

1. 持ち家の戸建	2. 持ち家のマンション	3. 賃貸住宅
4. 寮・社宅・施設	5. その他（_____）	

(6) 東浦町に住んでいる年数（一度転出した人は、合計の年数）

1. 1年未満	2. 1～5年	3. 6～10年
4. 11～20年	5. 21～30年	6. 30年以上

(7) 同居している家族などの状況（アからオについて、1または2のどちらかに○）

ア) 小学校入学前の子どもが同居家族にいるか	1. いる	2. いない
イ) 小学生が同居家族にいるか	1. いる	2. いない
ウ) 中学生が同居家族にいる	1. いる	2. いない
エ) 65歳以上が同居家族にいるか（自分は除く）	1. いる	2. いない
オ) ひとり暮らしかどうか	1. ひとり暮らしである	2. ひとり暮らしではない

【問2】あなたは環境に関する下の項目について、東浦町におけるこれまでの取組などの状況について、どのように評価していますか。また、今後の東浦町の環境にとって大切と考えますか。
 ((1)～(20)について、「評価」「大切さ」のそれぞれに1つずつ○)

	これまでの状況の「評価」 (各項目に○は1つだけ)					今後の「大切さ」 (各項目に○は1つだけ○)				
	とても良い状況	やや良い状況	どちらともいえない	あまり良い状況ではない	良い状況ではない	とても大切	やや大切	どちらともいえない	あまり大切ではない	大切ではない
自然とうるおいを大切に共生のまちづくり (自然共生のまち)										
(1) 地域にある自然や生き物の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 田んぼや畑など農地保全や農業振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 公園や施設の緑化・植栽	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 町民が自然とふれあう場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 河川やため池など水辺の保全・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 美しい町並みや快適な住環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 郷土の歴史・文化資源の保存・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) ごみのポイ捨てや不法投棄の少なさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
いのちと健康を大切に安全のまちづくり (公害のないまち)										
(9) 大気汚染、騒音・振動など公害への対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ものとエネルギーを大切に循環のまちづくり (ごみの少ないまち、省エネルギーのまち)										
(10) ごみの減量への取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) リサイクルやリユースの取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 事業所からのごみの適正な処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 省エネルギーの促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 太陽光や風力など自然エネルギーの活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住民と行政がともに汗を流す協働のまちづくり (協働のまち)										
(15) 環境に関する学習活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 学校における環境教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 環境に関する情報発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 住民や事業者中心の環境の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 地域の環境リーダーの育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 東浦町役場の率先的な環境行動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【問3】環境に関する下のことに対して、興味や関心がありますか。

(○はそれぞれに1つだけ)

	興味・関心 がある	興味・関心 はない	わからない
低炭素社会（地球温暖化対策）			
(1) 地球温暖化の防止	1	2	3
(2) 電気・ガス・燃料等のエネルギーの節約	1	2	3
(3) 自然エネルギーの普及	1	2	3
(4) 自動車利用の抑制	1	2	3
循環型社会			
(5) ごみの減量	1	2	3
(6) リサイクル・リユースの促進	1	2	3
(7) 食品ロスの削減	1	2	3
(8) プラスチックごみの削減	1	2	3
自然共生社会（生物多様性）			
(9) まちの緑化	1	2	3
(10) 里山や農地の保全	1	2	3
(11) 多様な動物・植物・昆虫などの保全	1	2	3
(12) 外来生物の侵入防止	1	2	3

【問4】下のことについて、あなたはこれまで知っていましたか。

(○はそれぞれに1つだけ)

	内容を概ね理解 している	聞いたことはある が、内容はあまりわ からない	知らない、聞いたこ とがない
(1) 低炭素社会（地球温暖化対策）	1	2	3
(2) 気候変動の影響への適応	1	2	3
(3) 循環型社会	1	2	3
(4) 自然共生社会（生物多様性）	1	2	3

【問5】あなたは、全体としての東浦町の環境をどのように感じていますか。(○はそれぞれに1つだけ)

(1) 東浦町の現在の環境

1. とても良いと思う	2. 少し良いと思う	3. ふつう、どちらともいえない
4. あまり良いと思わない	5. 良いと思わない	

(2) 東浦町の最近の環境の変化

1. 良くなっている	2. 少し良くなっている	3. 変わらない
4. 少し悪くなっている	5. 悪くなっている	

(3) 環境を守ったり良くするための東浦町民や地域の取組

1. とても評価できる	2. 少し評価できる	3. ふつう、どちらともいえない
4. あまり評価できない	5. 評価できない	6. 知らない、わからない

(4) 環境を守ったり良くするための東浦町の企業や事業者の取組

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. とても評価できる | 2. 少し評価できる | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり評価できない | 5. 評価できない | 6. 知らない、わからない |

(5) 環境を守ったり良くするための東浦町の行政としての取組

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. とても評価できる | 2. 少し評価できる | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり評価できない | 5. 評価できない | 6. 知らない、わからない |

(6) 東浦町からの環境に関する情報発信（広報やホームページにより情報発信しています）

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. とても評価できる | 2. 少し評価できる | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり評価できない | 5. 評価できない | 6. 知らない、わからない |

(7) 東浦町がつくっている「東浦町の環境を守る基本計画」知っていますか。

- | | | |
|------------------|------------------|---------|
| 1. 知っている、見たこともある | 2. 知っているが見たことはない | 3. 知らない |
|------------------|------------------|---------|

(8) 東浦町がつくっている、住民のみなさんが環境を守るために行う具体的な手法・事例等を掲載している「東浦町環境配慮指針（住民編）」を知っていますか。

- | | | |
|------------------|------------------|---------|
| 1. 知っている、見たこともある | 2. 知っているが見たことはない | 3. 知らない |
|------------------|------------------|---------|

【問6】「東浦自然環境学習の森※」についてお聞きします。（○はそれぞれに1つだけ）

(1) 「東浦自然環境学習の森」を知っていますか、行ったことがありますか。

- | | | |
|-------------------|-------------------|---------|
| 1. 知っている、行ったことがある | 2. 知っているが行ったことはない | 3. 知らない |
|-------------------|-------------------|---------|

(2) 「東浦自然環境学習の森」では保全活動やイベントを行っています。参加したことはありますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことはない |
|--------------|--------------|

参加したことがある方は、その保全活動やイベントの名称を教えてください。

(2) で、「2. 参加したことはない」と回答した方がのみお答えください。

(2) -2 今後、「東浦自然環境学習の森」での保全活動やイベントに参加したいと思いますか。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 参加したい | 2. 参加したくない |
|----------|------------|

※東浦自然環境学習の森：町役場から西へ約 1.3km、東浦町のほぼ中央にある、約 17ha の里山です。
南北に細長く、北西と南西に丘、中央が谷になっており、水田や草地、落葉樹林が広がっており、様々な昆虫、鳥、動物が生息しています。住民と事業者、行政が協働して、里山の保全や管理の活動を行っています。

【問7】東浦町の自然環境において、あなたが大切だと思うものは何ですか（〇はあてはまるものすべて）

- | | | |
|-------------|-----------------|---------------|
| 1. 緑豊かな里山 | 2. 河川やため池の水辺 | 3. 耕作されている農地 |
| 4. まちの中の花や緑 | 5. 絶滅危惧種が生息する環境 | 6. 外来生物がいない環境 |
| 7. その他（ ） | | |

【問8】あなた自身の環境に対するこれまでの意識・行動はどの程度だと思いますか。（〇はそれぞれに1つだけ）

（1）あなたの環境に対する意識

- | | | |
|---------------|------------|--------|
| 1. とても意識が高い | 2. 少し意識が高い | 3. ふつう |
| 4. あまり意識は高くない | 5. 意識は低い | |

（2）あなたの環境を守ったり良くするための行動

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に行動している | 2. 少し行動している |
| 3. あまり行動していない | 4. まったく行動していない |

【問9】あなたは家庭において、下に掲げる省エネルギーの取組を日ごろしていますか。（（1）～（12）について、〇はそれぞれに1つずつ）

	実行している	実行していない	家庭にはない
（1）照明器具（省エネ型の電球やLED電球に替える）	1	2	3
（2）照明器具（必要な時だけ照明をつける）	1	2	3
（3）エアコン（冷暖房）（温度調整に配慮したり、必要な時だけつける）	1	2	3
（4）ガス・石油ファンヒーター（温度調整に配慮したり、必要な時だけつける）	1	2	3
（5）テレビ（見ない時は消したり、省エネモードにする）	1	2	3
（6）電気冷蔵庫（詰め込みすぎたり、無駄に開閉しない）	1	2	3
（7）電気ポット（長時間使用しないときはプラグを抜く）	1	2	3
（8）ガスコンロ（炎が鍋底からはみ出さないように調節する）	1	2	3
（9）ガス給湯器（シャワー）（流したままにしない）	1	2	3
（10）ガス給湯器（お風呂）（入浴間隔をあけない）	1	2	3
（11）温水洗浄便座（トイレ）（温度を低くしたり、使わない時はフタをしめる）	1	2	3
（12）自動車（エコドライブを心掛ける）	1	2	3

【問 10】あなたは、環境に貢献する下のことについて行っていますか、また、今後行いたいと思いますか。

((1)～(22)について、○はそれぞれに1つつ)

	今 後 も 行 い た い	現 在 行 っ て い る	今 後 は 行 わ な い	現 在 行 っ て い る	今 後 は 行 い た い	現 在 行 っ て い ない	今 後 も 行 わ な い	現 在 行 っ て い ない	自 分 に 関 係 な い
低炭素社会（地球温暖化対策）									
(1) 省エネルギーを心掛けている	1	2	3	4	5				
(2) 太陽光発電や家庭用蓄電池を自宅に設置している	1	2	3	4	5				
(3) 再生可能エネルギーの比率で電力会社を選んでいる	1	2	3	4	5				
(4) 住宅の周りは積極的に緑を配置している	1	2	3	4	5				
(5) 自宅で緑のカーテンを行っている	1	2	3	4	5				
(6) 自宅に雨水貯留槽を設置している	1	2	3	4	5				
(7) 電気・ガス・水道などの使用量は毎月確認する	1	2	3	4	5				
(8) 電化製品や自動車等は省エネ性能を重視して選ぶ	1	2	3	4	5				
(9) 自動車はできるだけ使わない	1	2	3	4	5				
循環型社会									
(10) 必要以上のものは買わない	1	2	3	4	5				
(11) ごみをできるだけ減らす	1	2	3	4	5				
(12) ごみは水切りしたり、水分を少なくして出す	1	2	3	4	5				
(13) ごみの分別・リサイクルを徹底している	1	2	3	4	5				
(14) レジ袋はもらわない	1	2	3	4	5				
(15) プラスチックなどの使い捨て容器を使わない	1	2	3	4	5				
(16) 油や食べかすを排水口から流さない	1	2	3	4	5				
自然共生社会（生物多様性）									
(17) 外来種を取り除くように心がけている	1	2	3	4	5				
(18) 里山を守るための活動に参加している	1	2	3	4	5				
(19) 自分で野菜などを作っている、農作業に関わっている	1	2	3	4	5				
(20) 旬のものや地元産のものを購入するようにしている	1	2	3	4	5				
その他・全体									
(21) 環境に関する情報を積極的に入手している	1	2	3	4	5				
(22) 環境に関するイベントや勉強会に参加している	1	2	3	4	5				

その他、あなたが日ごろ取り組んでいる環境のための行動がありましたら、お書きください。

【問 11】あなたは、今後、環境に関する行動にどのように関わっていきたいと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 環境グループのリーダーになって行動したい | 2. 環境グループなどに入って行動したい |
| 3. イベントなどに参加して行動したい | 4. 身近な仲間と一緒に行動したい |
| 5. 個人や家族の中で行動したい | 6. 自分でできることをやっていく |
| 7. 環境に関する知識を深めたい | 8. あまり行動したくない |
| 9. その他 (_____) | |

【問 12】あなたが環境に関する活動やイベントなどに参加しようと思うための条件は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 環境を保全するための理念や目標がしっかりしている |
| 2. 信頼できる企業や団体が主催している |
| 3. 東浦町や愛知県などの行政が関わっている |
| 4. 知っている人が関わっている |
| 5. 家の近くで実施している |
| 6. 行動に参加すると楽しいことや得することがある |
| 7. 他の人に認めてもらえる、ほめてもらえる |
| 8. いろいろな人とつながったり、出会ったりできる |
| 9. 子どもや家族と一緒に参加しやすい |
| 10. その他 (_____) |



自然環境学習の森における里山保全活動



明德寺川の自然観察会



小学生のオニバス学習

【問 13】「SDG s（エスディージーズ）」についてお聞きます。 ※SDGs については参考資料をご覧ください。

(1) あなたは「SDG s」について知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 内容を良く理解している | 2. 少しだけ内容を知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、内容はあまりわからない | 4. 知らない |

(2) 「SDG s」には世界共通の17の目標が定められています。17の目標のうち、あなたが大切だと思うものは何ですか。(3つまでを選んで、下に数字を書いてください)

--	--	--

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー※平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任、つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリシップで目標を達成しよう | |

※ジェンダー：社会的、文化的に形成された男女の違いのこと

(3) あなたは「SDG s」について興味・関心がありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 興味・関心がある | 2. 興味・関心はない | 3. わからない |
|-------------|-------------|----------|

その他に、東浦町や地球全体の環境を守ることに對するご意見・ご提案がありましたら、お書きください。

--

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

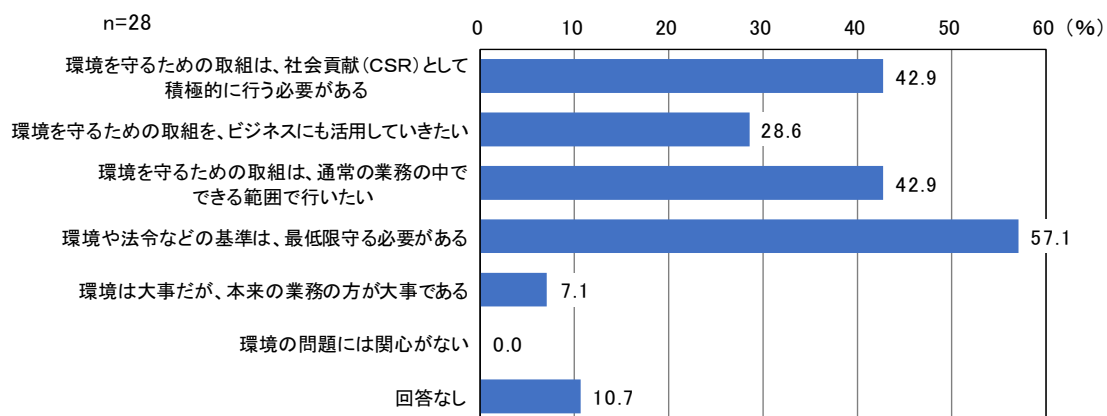
この用紙を返信用封筒に入れて、**10月29日(火)**までに郵便ポストに投函してください。

【町内事業所アンケート調査】

環境問題に対する意識

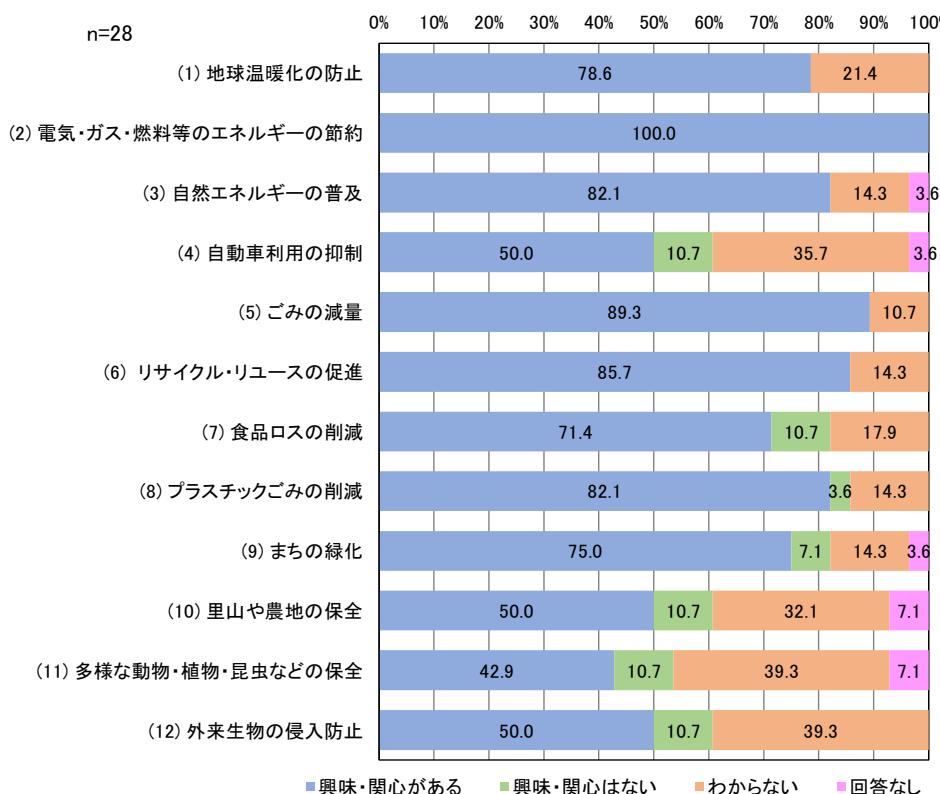
<環境の問題に対する考え>

- ・ 環境問題に対する考え方をたずねたところ、「環境や法令などの基準は、最低限守る必要がある」（57.1%）が最も多く、次いで「環境を守るための取組は、社会貢献（CSR）として積極的に行う必要がある」、「環境を守るための取組は、通常の業務の中でできる範囲で行いたい」（いずれも 42.9%）となっている。



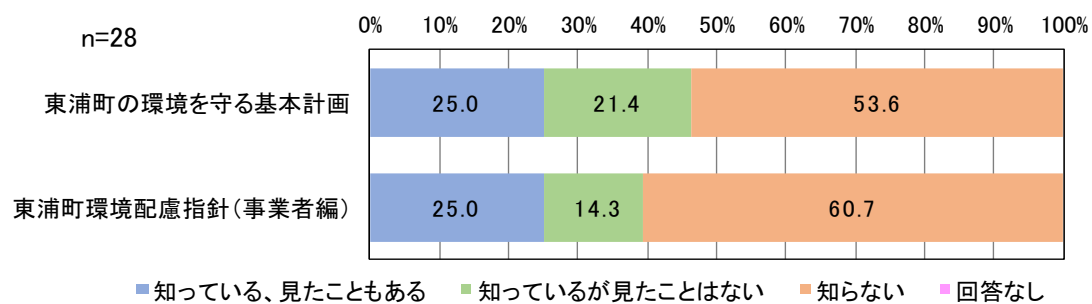
<環境に関することへの興味や関心>

- ・ 環境に関することへの興味や関心をたずねたところ、すべての事業所で（２）電気・ガス・燃料等のエネルギーの節約（100.0%）に「興味・関心がある」があると回答したほか、（５）ごみの減量（89.3%）、（６）リサイクル・リユースの促進（85.7%）の順で多くなっている。



<東浦町がつくっている計画や指針の認知>

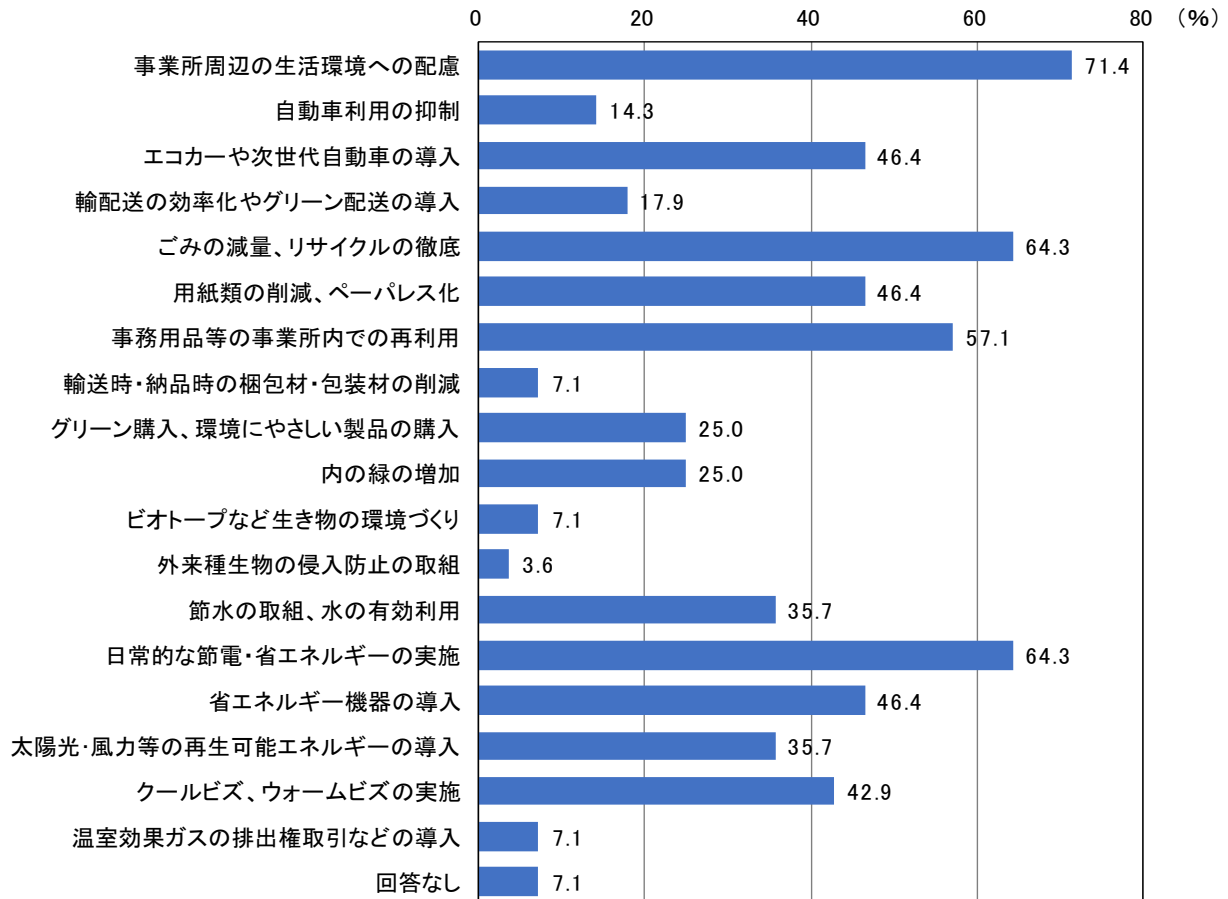
- ・東浦町がつくっている計画や指針についての認知状況をたずねたところ、東浦町の環境を守る基本計画、東浦町環境配慮指針（事業者編）のいずれも「知っている、見たこともある」が25.0%となっている。



環境に配慮した行動

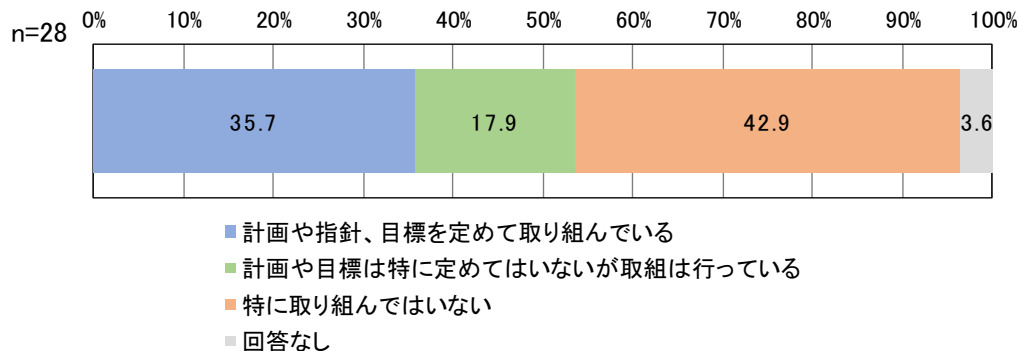
<日常の業務の中で取り組んでいる環境への配慮>

- ・日常の業務の中で取り組んでいる環境への配慮の状況をたずねたところ、「事業所周辺の生活環境への配慮」(71.4%) が最も多く、「ごみの減量、リサイクルの徹底」、「日常的な節電・省エネルギーの実施」(いずれも 64.3%) となっている。



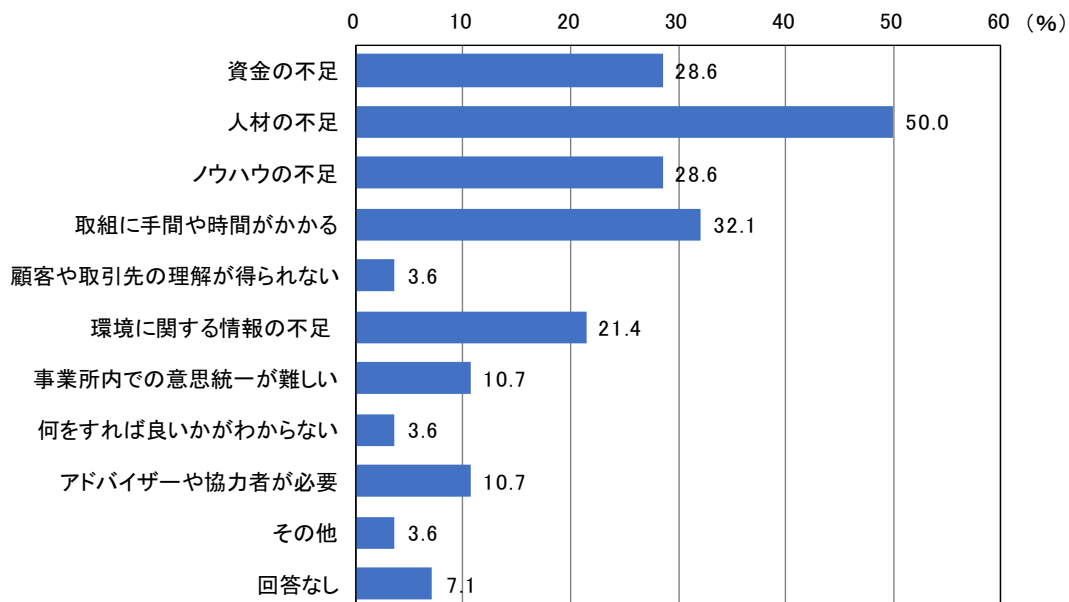
<地球温暖化防止のための指針や目標等の設定の有無>

- ・事業所において、地球温暖化防止のための指針や目標等について、「計画や指針、目標等を定めて取り組んでいる」が 35.7%となっている一方、「特に取り組んではない」が 42.9%となっている。



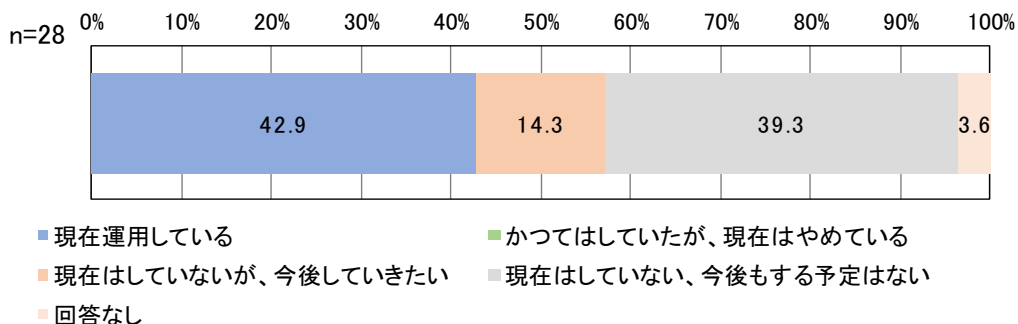
<環境配慮の行う際の課題>

- ・環境配慮の取組を行う場合の課題について、「人材の不足」(50.0%)が最も多く、「取組に手間や時間がかかる」(32.1%)や「資金の不足」、「ノウハウの不足」(いずれも 28.6%)と続いている。



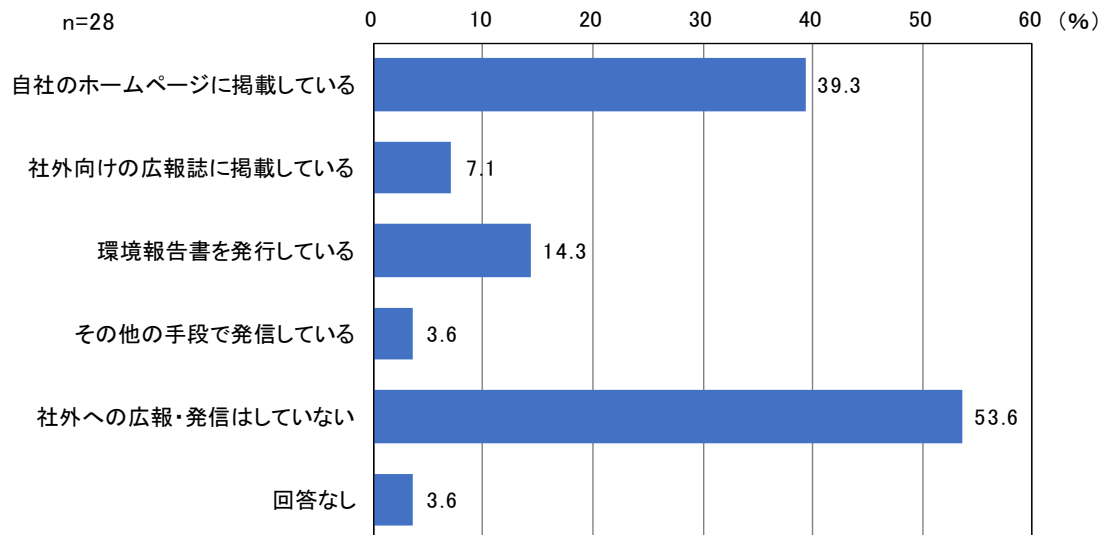
<第三者が認証する環境マネジメントシステムの運用>

- ・第三者の認証による環境マネジメントシステムの運用状況については、「現在運用している」(42.9%)が最も多く、「現在はしていないが、今後していきたい」(14.3%)を加えると 57.2%となる。



<環境に配慮した取組に関する社外への広報・発信>

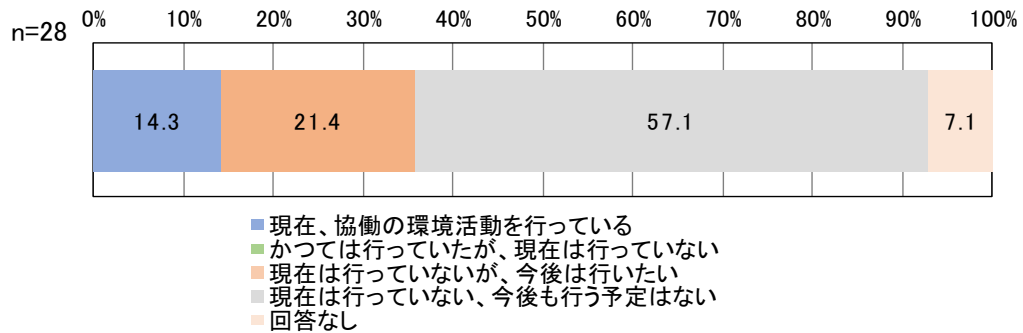
- ・環境配慮の取組の社外への広報・発信については、「社外への広報・発信はしていない」(53.6%) が最も多い。
- ・一方で、「自社のホームページに掲載している」(39.3%) や「環境報告書を発行している」(14.3%) などの取組をしている事業所もある。



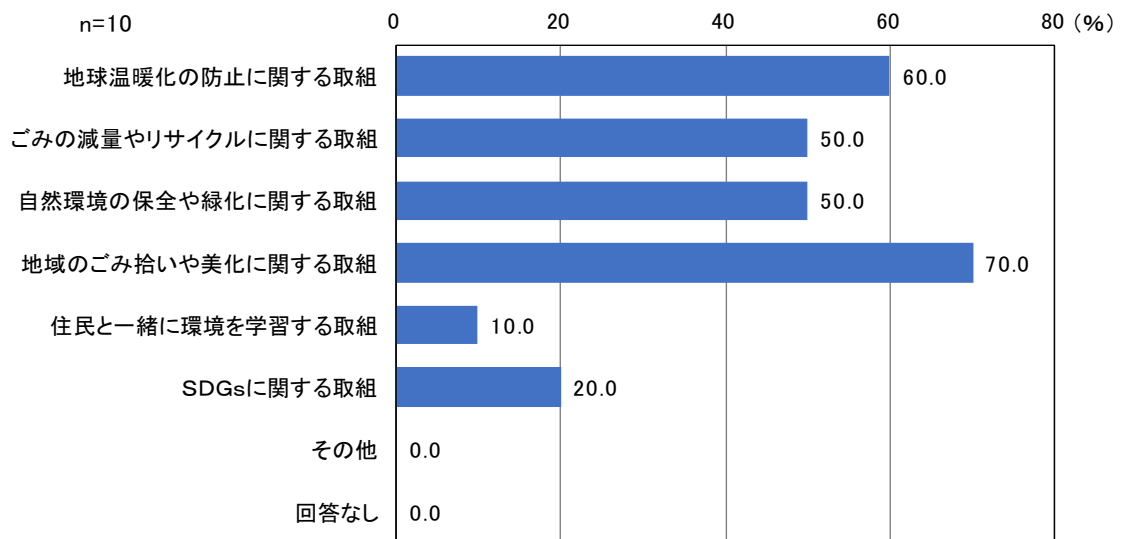
地域等との協働

<地域や住民、NPOなどと協働による環境活動の状況と希望する活動内容>

- ・地域や住民、NPOなどとの協働による環境活動についてたずねたところ、「現在は行っていない、今後行う予定はない」(57.1%) が最も多い反面、「現在、協働の環境活動を行っている」(14.3%) や「現在は行っていないが、今後は行いたい」(21.4%) という積極的な回答が合わせて 35.7% となっている。

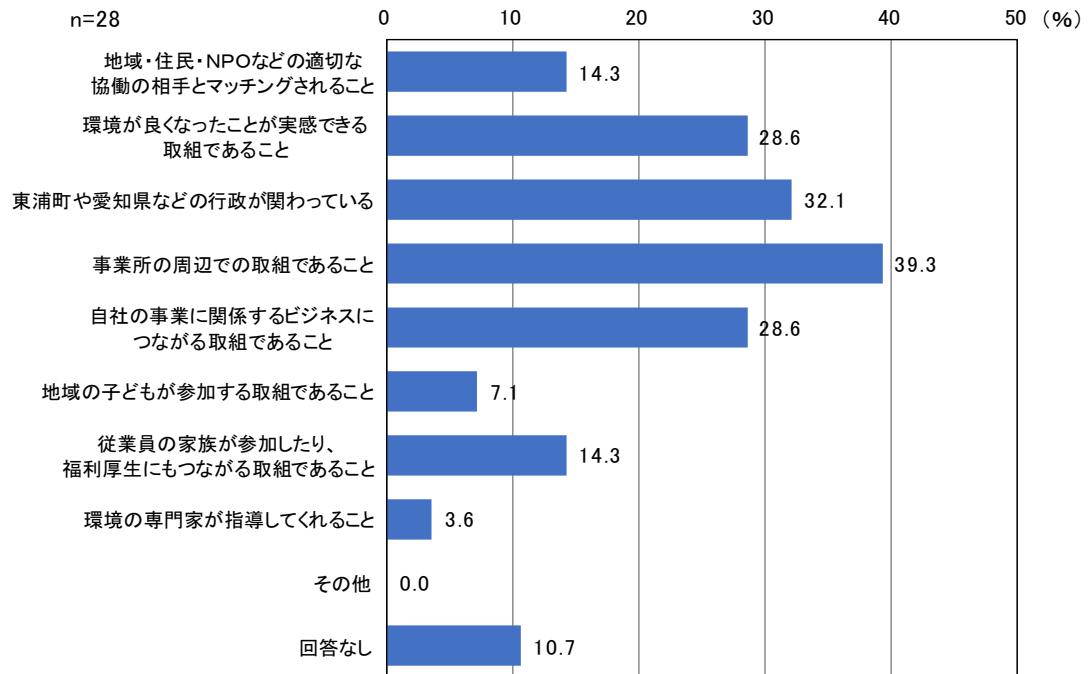


- ・現在実施している、あるいは今後行いたいと考える活動の種類については、「地域のごみ拾いや美化に関する取組」(70.0%)、「地球温暖化の防止に関する取組」(60.0%) が多い。



<協働による環境活動に取り組む際の条件や課題>

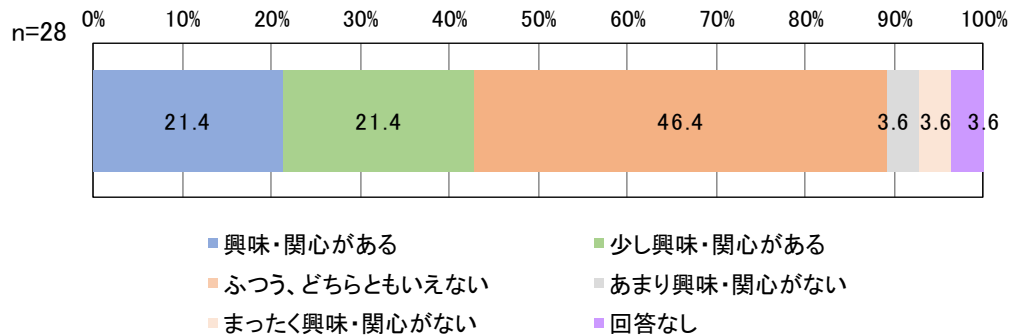
- ・事業所として、協働による環境活動に取り組む際の条件や課題についてたずねたところ、「事業所の周辺での取組であること」(39.3%) が最も多く、次いで「東浦町や愛知県などの行政が関わっている」(32.1%) となっている。



SDGsに関する意識

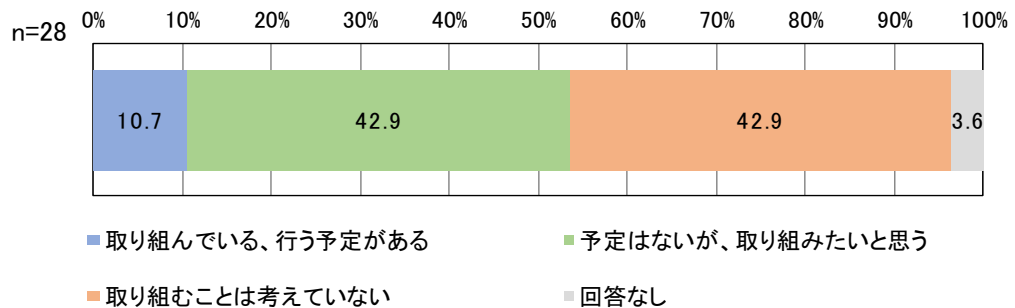
<「SDGs」について興味・関心>

- ・SDGsへの興味・関心については、「興味・関心がある」、「少し興味・関心がある」（いずれも21.4%）を合わせると42.8%となっている一方、それよりも「ふつう、どちらともいえない」（46.4%）が多くなっている。



<「SDGs」を意識した取組の状況>

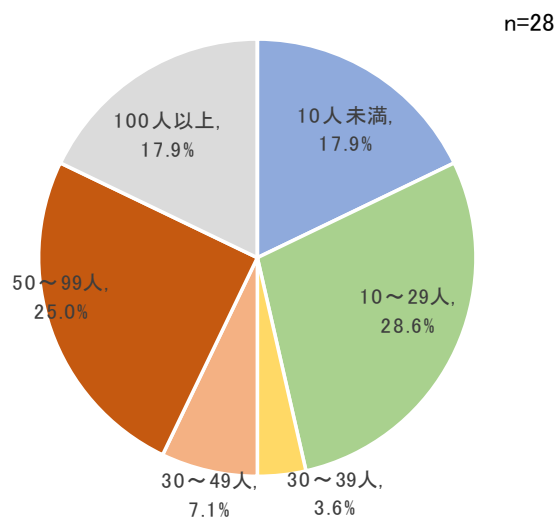
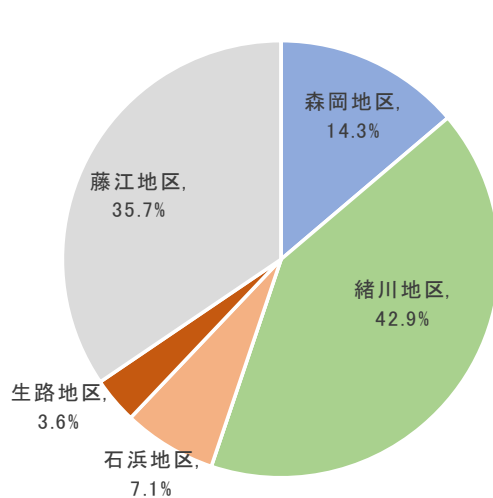
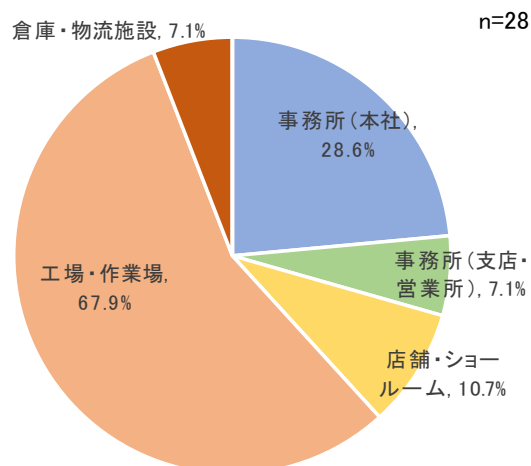
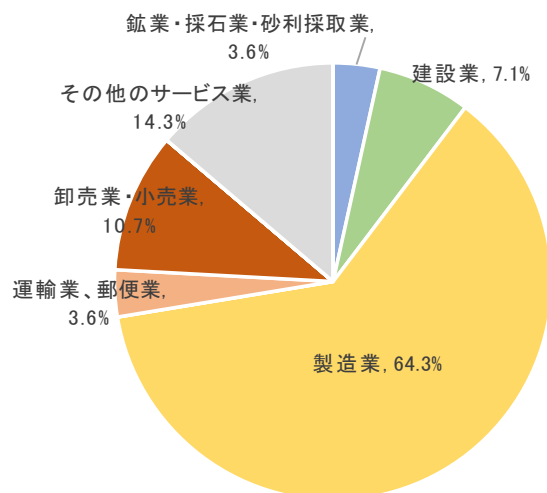
- ・SDGsを意識した取組については、「取り組んでいる、行う予定がある」（10.7%）で、「予定はないが、取り組みたいと思う」（42.9%）を合わせると53.6%となっている。



回答事業所の属性

<回答事業所の属性>

・事業所の属性については以下のとおりとなっている。



調査結果のまとめ

<環境問題に対する意識>

- ・事業所の環境問題に対する考えは、約6割が基準を最低限守る必要がある、約4割は通常の業務の中でできる範囲で取り組みたいとしている一方、社会貢献として積極的に行う意向を示している事業所も4割程度みられた。
- ・環境に関することへの興味や関心は、エネルギーの節約やごみの減量など、経費につながるなど事業所の操業に影響のある項目が高くなっていることから、事業所に対する意識啓発は、経営の側面からアプローチすることが望ましい。
- ・東浦町がつくっている計画や指針の認知度はいずれも低いことから、事業所に対しても周知を継続する必要がある。

<環境に配慮した行動>

- ・日常業務の中で取り組んでいる環境への配慮としては、事業所周辺の生活環境の配慮、ごみの減量・リサイクルの徹底、日常的な節電・省エネルギーの実施などが多くなっている。
- ・約1/3の事業所が地球温暖化防止のための指針や目標を定めて取り組んでいるが、特に取組がない約4割の事業所に対して、実行を促すことが求められる。
- ・事業所が環境配慮を行う際に課題となるのが、人材の不足や取組に手間や時間がかかることであり、資金やノウハウも含めたサポートが望まれている。
- ・環境に配慮した取組を実行していても、社外に広報・発信していない事業所が過半数を占めていることから、町として広報の支援を行うことが望まれる。

<地域等との協働>

- ・現在、地域や住民、NPO等との協働による環境活動を行っている事業所は1割強にとどまっている。
- ・今はしていないものの、行いたいと考えている2割程度の事業所は地域の美化や地球温暖化の防止、ごみの減量・リサイクル、自然環境の保全・緑化など、多岐にわたる分野の取組を求めている。今後、これらのニーズに適合した地域や団体とのマッチングを行うことが課題である。
- ・また、協働を進めるにあたっては、事業所の周辺での取組であることや行政が関わっている事、成果が見えやすいこと、ビジネスにつながることなどが求められていることを留意する必要がある。

<SDGsに関する意識>

- ・事業所のSDGsに対する興味・関心は4割程度あり、過半数が取組の意向を示していることから、事業所の問題意識などに応じて、具体的なアクションにつながる支援を行うことが課題である。

東浦町の環境を守る基本計画改定のための

環境に関する町内事業所アンケート調査

＜アンケート調査へのご協力のお願い＞

日頃より、東浦町の環境行政にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

本町では、「東浦町の環境を守る基本条例」※に基づく「東浦町の環境を守る基本計画」を策定し、住民・事業者の皆さんとの協働により、環境にやさしいまちづくりを進めています。

この度、本町を取り巻く様々な変化や今後の潮流などを見据えて計画を改定し、将来に向けた環境施策を推進したいと考えております。

つきましては、町内の事業者の皆さまに対して、環境問題への取組状況、今後の意向などをおうかがいし、計画改定の参考にしたいと考えております。

このアンケート調査は、町内事業所の中から規模や業種のバランス等を考慮して抽出し送付させていただいております。

なお、回答につきましては、事業所の名称や個別の回答の内容がわかる形での公表はいたしませんので、貴社にご迷惑をおかけすることはありません。

皆様におかれましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和元年 10 月

東浦町長 神谷 明彦

※ウェブ検索 「東浦町の環境を守る基本条例」

東浦町 環境 条例

検 索

もしくは



東浦町のホームページからも確認できます。

ご記入にあたってのお願い

- ご記入にあたっては、宛名の事業所としてご回答ください。
- 本紙の「参考資料」を参考にしながらご回答ください。
- 別添の調査票に直接回答をご記入ください。回答方法については各設問をご覧ください。
- ご記入がおわりましたら、同封の返信用封筒に別添の調査票を入れ、

10月29日（火）までに 投函してください。（切手は不要）

- 調査の内容等についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】東浦町 生活経済部 環境課 環境保全係

電話：（0562）83－3111（内線282）

参考資料

1 「東浦町の環境を守る基本計画」とは？

「東浦町の環境を守る基本計画」とは、環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進するために、国や地方自治体などにおいて総合的かつ計画的に施策を推進することを目的として策定される計画です。

本計画は、「東浦町の環境を守る基本条例」に規定され、まちづくりを環境分野から推進する計画として位置付けられています。

本計画により、東浦町がめざす環境像「みんなでつくろう！環境を大切にすまち・ひがしうら」の実現に向け、住民・事業者・行政が協働により環境に関する取組を推進しています。

《策定・改定等の経過》

平成 12 年 「東浦町の環境を守る基本計画」策定

平成 23 年 「東浦町の環境を守る基本計画」改定

平成 27 年度「東浦町の環境を守る基本計画」中間見直し



2 環境にやさしい社会とは？

私たちの生活に関わり、私たちの周りにあるもの、すべてが『環境』です。空気、水、生き物、天気や気候などは、私たちが安心して毎日を暮らすためにとても大切なものです。

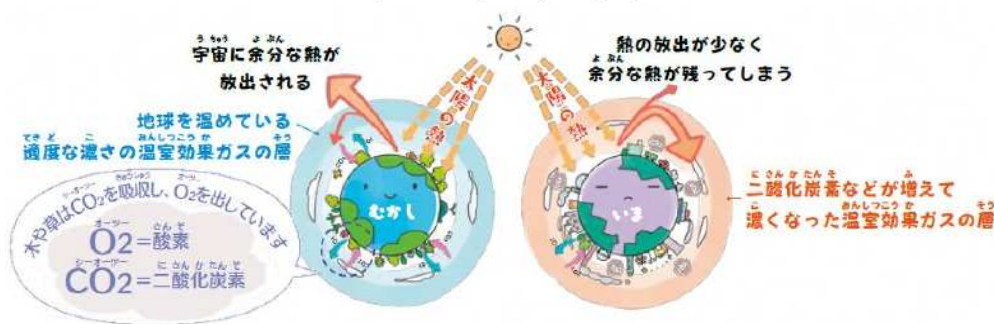
環境に関するアプローチはいくつかありますが、ここでは社会的に大きなテーマである、①低炭素社会、②循環型社会、③自然共生社会の3つについて紹介します。



① 低炭素社会(地球温暖化対策)

地球全体の平均気温が上がることを「地球温暖化」といいます。地球温暖化により、世界的な気温上昇、記録的なハリケーンの発生、洪水、干ばつなど、多くの異常気象が起こっています。日本でも、気温上昇、ゲリラ豪雨の発生、大雨による河川氾濫や土砂災害などの気候変動が起きており、自然や人々の暮らしに様々な影響が出ています。

地球温暖化の主な原因は、地球の表面から出る熱を吸収して温度を保つ性質を持つ「温室効果ガス」の増加です。日本で排出される温室効果ガスの90%以上は、ものを燃やすことで発生する二酸化炭素(CO₂)です。技術革新が進んだ産業革命以降、発電や移動のために、化石燃料を燃やすようになった暮らし方の変化が、地球温暖化に結び付いているといえます。



参考資料

地球温暖化対策のための具体的な取組として、産業部門では、優れた技術や機器・素材の普及等、家庭部門では、一人ひとりが無理なく省エネルギーに取組むなど、地球にやさしいライフスタイルに変えていくことです。

また、太陽光・風力・地熱・バイオマスなどを源とする再生可能エネルギーの創出は、温室効果ガスを排出しないこともあり、地球温暖化対策につながる重要な取組であるといえます。

② 循環型社会

循環型社会とは、廃棄物の削減やリサイクルの推進などを中心として、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を減らすことです。具体的には、私たちの生活を「資源を消費するだけ」から「資源を繰り返し使う」にシフトすることが重要で、ごみの3R【リユース（再度使う）・リデュース（ごみを出さない）・リサイクル（資源として再生利用する）】に加えて、レジ袋などごみになるものは買わない・断るといった「リフューズ」を加えた4Rを推進することが有効です。

また、廃棄物問題のうち、近年話題になっているのが食品ロスの削減に向けた取組です。国では「食品ロス削減国民運動（NO-FOODLOSS PROJECT）」を展開しています。この一環として、食品の生産から販売までの各段階における食品ロス削減の取組を推進しており、例えば、包装内を窒素で満たすことによる品質保持、食べきりの呼びかけなどに取り組んでいます。



食べものに、
もったいないを、
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

資料：農林水産省

③ 自然共生社会(生物多様性)

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。3,000万種ともいわれる生きものが生息する地球上において、森や河川などの生態系や様々な種類の生き物・遺伝子など、それぞれの多様性を守る必要があります。

例えば、人が持ちこんだ外来種が、地域に元からいた生物を食べたり、すむ場所や食べ物をうばったりすることで、地域固有の生態系がおびやかされています。こういったことにより、たくさんの生き物が、近いうちに地球からいなくなると言われています。

また、近年、海岸への漂着や海上に漂う海洋ごみが海洋の環境や観光・漁業などに影響を与えています。

生物多様性を保全するための取組として、生物多様性にも配慮した商品等の流通、観光・レクリエーションを通じた自然とのふれあいの推進、生態系ネットワーク（エコロジカル・ネットワーク）や私たちの暮らしを支える森・里・川・海のつながりの確保などが非常に重要です。加えて、希少野生動植物種の保存のため、外来種の駆除や固有種の保護と適正な管理を進めることが求められます。



写真：東浦自然環境学習の森

参考資料

◆ 愛知県における環境に関するイベント・取組について

愛知県では、「自然の叡智」をテーマにした「愛・地球博」が2005年に長久手市で開催されました。また、2010年に開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」では、生物多様性の損失を止めるために明確でわかりやすい「愛知目標」として20の個別目標が決められました。さらに、2014年には「持続可能な開発のための教育（ESD）」に関するユネスコ国際会議も開催され、持続可能な社会を支える担い手づくりのための緊急の行動を求める「あいち・なごや宣言」が採択されました。

これらのイベントを契機として、自然共生社会に対する県民の関心は徐々に高まっており、事業所においても、CSR（企業の社会的責任）などの観点から、これまで以上に環境に配慮した取組が求められています。

3 エスディーズ 最近耳にする「SDGs」って東浦町にも関係あるの？

人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しており、このままでは人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうと言われています。そんな危機感から、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」です。これは、東浦町のまちづくりを進める上でも重要な目標となりますので、この目標を踏まえたまちづくりの取組を進めていきます。

- ◆ 2015年に国連で採択された「2030年までの達成をめざす17の目標」
- ◆ 国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めた全ての人々が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています
- ◆ キーワードは「誰ひとり取り残さない」



「SDGs」として定められている世界共通の17の目標

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー*平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任、つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリーシップで目標を達成しよう | |

※ジェンダー：社会的、文化的に形成された男女の違いのこと

資料：令和元年版 環境・循環型社会・生物多様性白書、こども環境白書2019

参考資料に簡単な説明があります。必要に応じて読みながらお答えください。

こちらの用紙に回答してください。

【問１】貴事業所は、環境の問題に対して、どのようにお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 環境を守るための取組は、社会貢献（ＣＳＲ）として積極的に行う必要がある。
2. 環境を守るための取組を、ビジネスにも活用していきたい。
3. 環境を守るための取組は、通常の業務の中でできる範囲で行いたい。
4. 環境や法令などの基準は、最低限守る必要がある。
5. 環境は大事だが、本来の業務の方が大事である。
6. 環境の問題には関心がない。

【問２】環境に関する下のことに対して、貴事業所は興味や関心がありますか。（○はそれぞれ１つだけ）

	興味・関心 がある	興味・関心 はない	わからない
低炭素社会（地球温暖化対策）			
（１）地球温暖化の防止	1	2	3
（２）電気・ガス・燃料等のエネルギーの節約	1	2	3
（３）自然エネルギーの普及	1	2	3
（４）自動車利用の抑制	1	2	3
循環型社会			
（５）ごみの減量	1	2	3
（６）リサイクル・リユースの促進	1	2	3
（７）食品ロスの削減	1	2	3
（８）プラスチックごみの削減	1	2	3
自然共生社会（生物多様性）			
（９）まちの緑化	1	2	3
（１０）里山や農地の保全	1	2	3
（１１）多様な動物・植物・昆虫などの保全	1	2	3
（１２）外来生物の侵入防止	1	2	3

【問３】東浦町がつくっている下の計画や指針を、貴事業所では知っていますか。（○は１つだけ）

（１）「東浦町の環境を守る基本計画」（東浦町の環境基本計画）

1. 知っている、見たこともある 2. 知っているが見たことはない 3. 知らない

（２）「東浦町環境配慮指針（事業者編）」（環境を守るために行う具体的な手法・事例等を掲載）

1. 知っている、見たこともある 2. 知っているが見たことはない 3. 知らない

【問4】貴事業所では、日常の業務の中でどのような環境配慮をしていますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 事業所周辺の生活環境への配慮 | 2. 自動車利用の抑制 |
| 3. エコカーや次世代自動車の導入 | 4. 輸配送の効率化やグリーン配送の導入 |
| 5. ごみの減量、リサイクルの徹底 | 6. 用紙類の削減、ペーパーレス化 |
| 7. 事務用品等の事業所内での再利用 | 8. 輸送時・納品時の梱包材・包装材の削減 |
| 9. グリーン購入、環境にやさしい製品の購入 | 10. 敷地内の緑の増加 |
| 11. ビオトープなど生き物の環境づくり | 12. 外来種生物の侵入防止の取組 |
| 13. 節水の取組、水の有効利用 | 14. 日常的な節電・省エネルギーの実施 |
| 15. 省エネルギー機器の導入 | 16. 太陽光・風力等の再生可能エネルギーの導入 |
| 17. クールビズ、ウォームビズの実施 | 18. 温室効果ガスの排出権取引などの導入 |

上記の他に、その他に貴事業所で行っている環境配慮の取組をお書きください

【問5】貴事業所では、地球温暖化防止のための指針や目標等を定めて取り組んでいますか。（○は1つだけ）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 計画や指針、目標を定めて取り組んでいる |
| 2. 計画や目標は特に定めてはいないが、取組は行っている。 |
| 3. 特に取り組んではいない |

計画や指針、目標、取組の概要を教えてください

【問6】貴事業所が環境配慮の取組を行う場合に、どのようなことが課題となりますか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 資金の不足 | 2. 人材の不足 |
| 3. ノウハウの不足 | 4. 取組に手間や時間がかかる |
| 5. 顧客や取引先の理解が得られない | 6. 環境に関する情報の不足 |
| 7. 事業所内での意思統一が難しい | 8. 何をすれば良いかがわからない |
| 9. アドバイザーや協力者が必要 | 10. その他（ ） |

【問7】貴事業所では、第三者が認証する環境マネジメントシステムを運用していますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 現在運用している | 2. かつてはしていたが、現在はやめている |
| 3. 現在はしていないが、今後していきたい | 4. 現在はしていない、今後もある予定はない |

現在またはかつて運用していたシステムの名称をお書きください（ISO14001、エコアクションなど）

【問8】貴事業所による環境配慮の取組を、社外に広報・発信していますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自社のホームページに掲載している | 2. 社外向けの広報誌に掲載している |
| 3. 環境報告書を発行している | 4. その他の手段で発信している |
| 5. 社外への広報・発信はしていない | （発信方法 ） |

【問 9】貴事業所は、地域や住民、NPOなどと協働による環境活動を行っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--|--|
| 1. 現在、協働の環境活動を行っている
⇒活動を始めた経緯を教えてください | 2. かつては行っていたが、現在は行っていない
⇒活動を休止した理由を教えてください |
| 3. 現在は行っていないが、今後は行いたい
⇒今後行いたい理由などを教えてください | 4. 現在は行っていない、今後行う予定はない
⇒活動を行わない理由などを教えてください |

活動の経緯、理由などをお書きください

【問 9】で、「1」「2」「3」のいずれに回答した事業所のみお答えください。

【問 9-2】現在行っている、または今後行いたい、協働による環境活動はどのような種類のものですか。

また、かつて行っていた環境活動はどのような種類のものでしたか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地球温暖化の防止に関する取組 | 2. ごみの減量やリサイクルに関する取組 |
| 3. 自然環境の保全や緑化に関する取組 | 4. 地域のごみ拾いや美化に関する取組 |
| 5. 住民と一緒に環境を学習する取組 | 6. SDGsに関する取組 |
| 7. その他 () | |

【問 10】貴事業所が、協働による環境活動に取り組む際の条件や課題となることは何ですか。(○は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 地域・住民・NPOなどの適切な協働の相手とマッチングされること |
| 2. 環境が良くなったことが実感できる取組であること |
| 3. 東浦町や愛知県などの行政が関わっている |
| 4. 事業所の周辺での取組であること |
| 5. 自社の事業に関係するビジネスにつながる取組であること |
| 6. 地域の子どもが参加する取組であること |
| 7. 従業員の家族が参加したり、福利厚生にもつながる取組であること |
| 8. 環境の専門家が指導してくれること |
| 9. その他 () |

【問 11】「SDGs (エスディーゼーズ)」についてお聞きます。 ※SDGsについては参考資料をご覧ください。

(1) 貴事業所では「SDGs」について興味・関心がありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. とても興味・関心がある | 2. 少し興味・関心がある | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり興味・関心がない | 5. まったく興味・関心がない | |

(2) 貴事業所では「SDGs」を意識した取組を行っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 取り組んでいる、行う予定がある | 2. 予定はないが、取り組みたいと思う |
| 3. 取り組むことは考えていない | |

既に取り組んでいること、今後の取組予定、取り組みたいことがあれば、具体的にお書きください

【問 12】東浦町や地球全体の環境を守ることに對するご意見・ご提案がありましたら、お書きください。

【問 13】最後に、貴事業所について教えてください。

(1) 業種 (○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 農業・林業・漁業 | 2. 工業・採石業・砂利採取業 |
| 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業・郵便業 | 8. 卸売業・小売業 |
| 9. 金融業・保険業 | 10. 不動産業、物品賃貸業 |
| 11. 学術研究、専門・技術サービス業 | 12. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13. 生活関連サービス業、娯楽業 | 14. 教育、学習支援業 |
| 15. 医療、福祉 | 16. その他のサービス業 |
| 17. その他 (_____) | |

(2) 東浦町における事業所の形態 (○はあてはまるものすべて)

- | | | |
|-------------|-----------------|------------------|
| 1. 事務所 (本社) | 2. 事務所 (支店・営業所) | 3. 店舗・ショールーム |
| 4. 工場・作業場 | 5. 倉庫・物流施設 | 6. その他 (_____) |

(3) 東浦町における事業所の所在地 (○はあてはまるものすべて)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1. 森岡地区 | 2. 緒川地区 | 3. 緒川新田地区 |
| 4. 石浜地区 | 5. 生路地区 | 6. 藤江地区 |

(4) 東浦町の事業所の常勤職員の人数 (○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 10人未満 | 2. 10～29人 | 3. 30～39人 |
| 4. 30～49人 | 5. 50～99人 | 6. 100人以上 |

(5) 東浦町において事業を行っている年数 (○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～10年 | 3. 10～20年 |
| 4. 20～50年 | 5. 50～100年 | 6. 100年以上 |

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

この用紙を返信用封筒に入れて、**10月29日(火)**までに郵便ポストに投函してください。